

令和6年度

福祉用具・介護ロボット実用化支援・広報等一式  
報告書

令和7年3月

公益財団法人テクノエイド協会





# 目次

<b>第1部 本編</b> .....	<b>1</b>
1. 介護ロボット地域フォーラムの開催 .....	1
2. 介護ロボット全国フォーラムの開催 .....	7
3. 介護ロボットメーカー連絡会議の実施.....	11
4. 介護テクノロジー等活用ミーティングの実施 .....	13
5. 介護現場のニーズをふまえた介護機器の開発支援に係る取組.....	17
6. 介護ロボットのプラットフォーム事業における実証フィールドの整備 .....	30
7. 介護ロボットの試用貸出リストの作成.....	33
8. 介護ロボットの開発・導入に係る助成制度の調査 .....	34
9. 介護機器の安全利用に関する整理・報告・発信.....	36
10. 介護現場・開発企業、行政、マスコミ、海外等からの照会受付・情報発信.....	50
11. 介護ロボットに関する導入支援事業等の取組の実態調査等.....	54
<b>第2部 資料編</b> .....	<b>1</b>
1. 介護ロボット地域フォーラム 募集要項 .....	1
2. 介護ロボット地域フォーラム アンケート結果.....	15
3. 介護ロボット全国フォーラム パンフレット .....	55
4. 介護ロボット等モニター調査事業等 募集要項.....	67
5. 介護ロボットの試用貸出リスト .....	101
6. 介護ロボット等の開発・導入に係る助成制度 調査結果.....	437
7. 介護機器の安全利用に関する事例 新規加工事例等の一覧.....	553
8. 介護ロボット導入支援事業等の実態調査 調査票 .....	555



# 第1部 本編



# 1. 介護ロボット地域フォーラムの開催

## (1) 趣旨

日本の高齢化は世界に例を見ない速度で進行しており、生産年齢人口が減少し、介護ニーズが増大していく中、介護人材の確保は喫緊の課題であり、介護職員の働く環境改善を図り、さらには質の高いサービスを効率的に提供するため、介護現場へのテクノロジーの導入は不可欠となっている。

こうした中、厚生労働省では「介護現場の生産性向上に向けた介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業（以下、「介護ロボットのプラットフォーム事業」）を実施しているところであるが、本事業では、介護ロボットのプラットフォーム事業の相談窓口（地域拠点）が無い都道府県において、介護ロボット地域フォーラムを開催し、介護ロボットの体験展示や試用貸出の受付等を行う機関（以下「協力機関」）を募集した。

地域において、介護ロボットの普及啓発を行い、もって介護ロボットの適切かつ効果的な導入・利活用に資することを目的とした。

### ○介護ロボットのプラットフォーム事業の相談窓口（地域拠点）が無い都道府県

- ・北海道 ・青森県 ・宮城県 ・秋田県 ・山形県 ・福島県 ・群馬県 ・千葉県
- ・東京都 ・神奈川県 ・新潟県 ・富山県 ・石川県 ・山梨県 ・長野県 ・岐阜県
- ・静岡県 ・愛知県 ・三重県 ・滋賀県 ・京都府 ・大阪府 ・兵庫県 ・和歌山県
- ・島根県 ・岡山県 ・広島県 ・徳島県 ・愛媛県 ・高知県 ・福岡県 ・長崎県
- ・大分県 ・宮崎県 ・鹿児島県 ・沖縄県

なお、介護生産性向上総合相談センターのワンストップ窓口を設置する都道府県において開催を希望する場合は、関係機関及び厚生労働省老健局高齢者支援課と調整を行うこととした。

## (2) 対象とするロボットの範囲

### ロボット介護機器の開発重点分野（平成29年10月）

<p style="text-align: center;"><b>移乗支援</b></p> <p>○装着</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロボット技術を用いて介助者のパワーアシストを行う装着型の機器</li> </ul> <p>○非装着</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロボット技術を用いて介助者による抱え上げ動作のパワーアシストを行う非装着型の機器</li> </ul> <p style="font-size: small;">厚生労働省・経済産業省によるロボット技術の介護利用開発重点分野の策定 H24.11月 重点分野公表 H26.2月 追加改定(赤枠) H29.10月 追加改定(赤枠)</p>	<p style="text-align: center;"><b>移動支援</b></p> <p>○屋外</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等の外出をサポートし、荷物等を安全に運搬できるロボット技術を用いた歩行支援機器</li> </ul> <p>○屋内</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等の屋内移動や立ち座りをサポートし、特にトイレへの往復やトイレ内での姿勢保持を支援するロボット技術を用いた歩行支援機器</li> </ul> <p>○装着</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等の外出をサポートし、転倒予防や歩行等を補助するロボット技術を用いた装着型の移動支援機器</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>排泄支援</b></p> <p>○排泄物処理</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄物の処理にロボット技術を用いた設置位置調節可能なトイレ</li> </ul> <p>○トイレ誘導</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロボット技術を用いて排泄を予測し、的確なタイミングでトイレへ誘導する機器</li> </ul> <p>○動作支援</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロボット技術を用いてトイレ内での下衣の着脱等の排泄の一連の動作を支援する機器</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>見守り・コミュニケーション</b></p> <p>○施設</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護施設において使用する、センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム</li> </ul> <p>○在宅</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅介護において使用する、転倒検知センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム</li> </ul> <p>○生活支援</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>入浴支援</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロボット技術を用いて浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>介護業務支援</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロボット技術を用いて、見守り、移動支援、排泄支援をはじめとする介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、それを基に、高齢者等の必要な支援に活用することを可能とする機器</li> </ul>
---	--	--	---	--

### (3) 協力機関

令和6年4月26日～5月31日までの期間、募集を行い、12カ所から応募があり審査の結果、下記の6カ所に選定した。

No	開催地	開催日	機関名
①	石川県	11月9日(土)	一般社団法人日本福祉用具供給協会 石川県ブロック
②	京都府	11月21日 (木)	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会
③	静岡県	11月28日 (木)	公益財団法人介護労働安定センター 静岡支部
④	島根県	12月12日 (木)	公益財団法人介護労働安定センター 島根支部
⑤	沖縄県	12月19日 (木)	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会
⑥	愛知県	1月9日(木)	社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団 なごや福祉用具プラザ

### (4) 各都道府県の実施概要

#### ①石川県

協力機関	一般社団法人日本福祉用具供給協会 石川県ブロック
実施日時	令和6年11月9日(土) 10:00～16:00
実施場所	石川県産業展示館3号館
来場者数	約800名
出展者数	21社
シンポジウムの内容	①石川県健康福祉部長寿社会課長 「石川県の介護ロボット導入支援の取組み紹介」 ②社会福祉法人福志会松任 つるべ荘 「介護ロボット導入事例紹介」 ③石川県リハビリテーションセンター 「生産性向上につながる福祉用具・介護ロボット」
その他	介護ロボット試用貸出受付 「2024いしかわ介護フェスタ」同時開催

②京都府

協力機関	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会
実施日時	令和6年11月21日（木）10:00～16:00
実施場所	京都府立総合社会福祉会館 （ハートピア京都）
来場者数	70名（セミナー等） 100名（展示会）
出展者数	32社
シンポジウムの内容	①京都府 「介護ロボットの普及推進への取り組みについて」 ②株式会社NTTデータ経営研究所 「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業の紹介（動画）」 ③介護・生活支援ロボット普及推進協議会 「ケーススタディから学ぶロボット・ICTの効果的な活用について～ケーススタディから学ぶワーク～」 ④介護・生活支援ロボット普及推進協議会 「介護現場を取り巻くICT利活用の現状について」
その他	介護ロボット試用貸出受付 個別相談窓口を設置

③静岡県

協力機関	公益財団法人介護労働安定センター 静岡支部
実施日時	令和6年11月28日（木）10:00～16:00
実施場所	グランシップ静岡
来場者数	125名
出展者数	27社
シンポジウムの内容	①静岡県介護保険課 「静岡県における介護分野ICT化等導入支援の取組」 ②&Consulting Firm 「何から始める？生産性向上の取組について」 ③テクノエイド協会 「福祉用具・介護ロボットの施策の動向」
その他	介護ロボット試用貸出受付 取次ぎ件数：4件 ブース内に、「ミニ相談コーナー」を設置、専門家（ICTや業務効率化等のコンサルタント）に常駐してもらい、参加者（介護事業所）からの各種相談対応を展開

## ④島根県

協力機関	公益財団法人介護労働安定センター 島根支部
実施日時	令和6年12月12日(木) 11:00~15:00
実施場所	くにびきメッセ多目的ホール
来場者数	185名
出展者数	19社
シンポジウムの内容	「今後の生産性向上に向けた介護テクノロジー等の活用について」 (公財)テクノエイド協会 島根県 健康福祉部高齢者福祉課 (福)仁摩福祉会 特別養護老人ホームしおさい
その他	介護ロボット試用貸出受付 取次ぎ件数: 8件

## ⑤沖縄県

協力機関	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会
実施日時	令和6年12月19日(木) 10:00~16:00
実施場所	沖縄産業支援センター
来場者数	107名(セミナー等) 250名(展示会)
出展機器数	20社
シンポジウムの内容	①沖縄県・社福千尋会 「介護ロボットにおける沖縄県の取り組みと現場における実際の活用事例について」 ②株式会社NTTデータ経営研究所 「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業の紹介(動画)」 ③介護・生活支援ロボット普及推進協議会 「ケーススタディから学ぶロボット・ICTの効果的な活用について~ケーススタディから学ぶワーク~」 ④介護・生活支援ロボット普及推進協議会 「介護現場を取り巻くICT利活用の現状について」
その他	介護ロボット試用貸出受付 個別相談窓口を設置



⑥愛知県

協力機関	社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団 なごや福祉用具プラザ
実施日時	令和7年1月9日（木）10:00～17:00
実施場所	名古屋市公会堂（岡谷鋼機名古屋公会堂）
来場者数	523名
出展者数	39社
シンポジウムの内容	<p>①公益財団法人テクノエイド協会 「介護ロボット・介護現場における生産性向上の取組について 最新情報」</p> <p>②愛知県 福祉局 高齢福祉課 「愛知県の取組 介護テクノロジー導入支援事業について」</p> <p>③公益財団法人介護労働安定センター愛知支部 「あいち介護生産性向上総合相談センターの取組について」</p> <p>④国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 健康長寿支援ロボットセンター 「介護ロボットの開発、実証、普及のプラットフォーム構築事業について」</p> <p>⑤名古屋市 健康福祉局高齢福祉部 「名古屋市 介護ロボット等活用推進事業について」</p> <p>⑥社会福祉法人友愛十字会 「介護ロボットの普及・定着を考える / 介護職員の働きやすい職場環境づくりのために」</p> <p>⑦社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団 なごや福祉用具プラザ 「名古屋市介護ロボット等活用推進事業の取組報告」</p> <p>⑧特別養護老人ホーム なごやかハウス野跡 「名古屋市介護ロボット導入効果検証事業 見守り支援機器『aams』の導入の取組について」</p> <p>⑨特別養護老人ホーム なごやかハウス名楽 「名古屋市介護ロボット導入効果検証事業 移乗支援機器『移動式リフト EL580』の導入の取組について」</p>
その他	「福祉用具フェスタ」併催

※各地域フォーラム別のアンケート結果については、資料編2を参照のこと。

【開催の様子】



## 2. 介護ロボット全国フォーラムの開催

### (1) 趣旨

本事業では、厚生労働省と経済産業省が連携して行う介護ロボットに係る各種事業の進捗報告、さらには開発・普及に向けた先駆的な取組事例の紹介等を行うとともに、最新機器の展示、体験、相談の機会を設けることで、介護施設・サービス事業者への導入の参考としたり、新規参入を検討する開発企業に対し普及を行うことを目的とした。

### (2) 開催概要

日時：令和7年1月31日（金）11：00～16：30

場所：TOC有明4階コンベンションホール（東京都江東区有明3-5-7）

方法：会場開催、オンライン開催（シンポジウムのみ）

#### 【主な内容】

○WESTホール：開発企業40社による機器展示

○EASTホール：シンポジウム

※詳細は（4）シンポジウムの概要を参照。

### (3) 開催結果

会場とオンライン参加者を合わせると、766名の参加があった。  
それぞれの内訳は以下の通り。

①会場参加者：272名（事前登録者354名）

②オンライン参加者：494名（事前登録者564名）

#### 【会場の様子】





#### (4) シンポジウムの概要

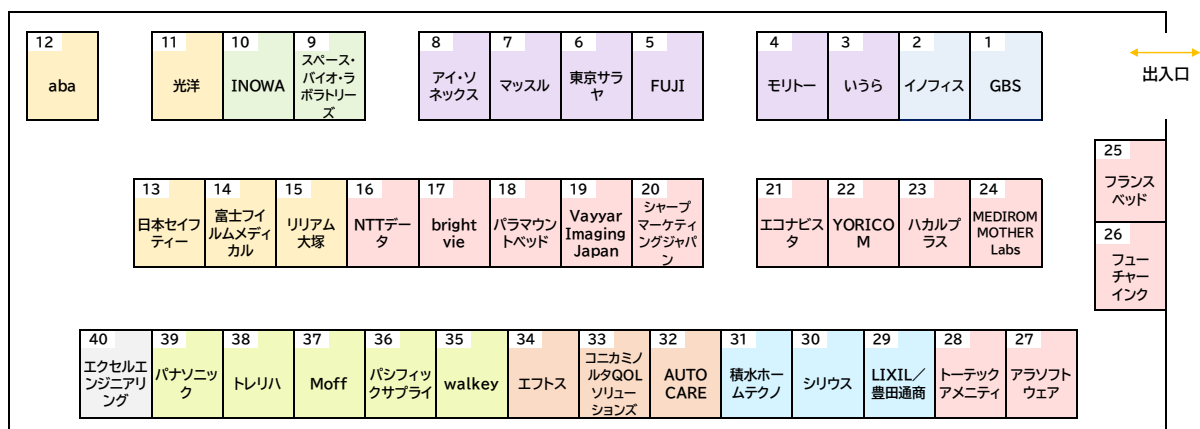
シンポジウムは入退場自由で実施し、「行政報告」「成果報告」「基調報告」の3つのセクションに区切って実施した。主な講演者及び、プログラムは以下の通り。

13:00	開会 挨拶 公益財団法人テクノエイド協会 常務理事 黒岩 嘉弘 司会 公益財団法人テクノエイド協会
13:10-13:50 (各20分) <b>行政報告</b>	<b>「テクノロジー等を活用した介護現場における生産性向上に関する最新動向」</b> 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 課長 峰村 浩司 氏 <b>「経済産業省における福祉機器の施策動向」</b> 経済産業省 商務・サービスグループ 医療・福祉機器産業室 室長 渡辺 信彦 氏
13:50-14:00	休憩
14:00-14:40 (各20分) <b>成果報告</b>	<b>「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の実施について」</b> 公益財団法人テクノエイド協会 企画部 伊東 由恵 <b>「介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業の取組状況」</b> 株式会社NTTデータ経営研究所 太刀川 遼 氏
14:40-14:50	休憩
14:50-16:10 (各20分) <b>基調報告</b>	<b>テクノロジーを活用した介護現場の生産性向上の実践</b> <b>「介護施設向けタイムスタディアプリのモニター報告について」</b> パラマウントベッド株式会社 小林 宥華 氏 <b>「介護施設における薬の仕分け、配薬ミス削減・生産性向上に資する製品・システムの社会実装」</b> エトリア株式会社 徳植 義人 氏 <b>テクノロジーを活用した新たな介護システムの提案、事例</b> ※活用ミーティング推薦 <b>「スタッフが本来の業務に集中できる環境づくりとその効果」</b> 株式会社プレイフル ナーシングホームLIBひらか 藤井 裕太 氏 <b>「『業務棚卸』をキーワードに介護現場のDX化を推進する」</b> 株式会社あきた創生マネジメント 阿波野 聖一 氏
16:10	閉場 公益財団法人テクノエイド協会

#### (5) 機器展示の概要

機器展示は、介護ロボット等の開発企業に出展者の募集を行い40社を選定した。会場では、デモの他、実際に試用して体験ができるなど、活発な意見交換が行われた。

##### 【会場レイアウト】



## 【出展企業一覧】

No	団体・企業名	機器名称	カテゴリ/分野	No	団体・企業名	機器名称	カテゴリ/分野
1	GBS(株)	Apogee+(アポジー・プラス) パワースーツ	移乗支援(装着)	21	エコナビスタ(株)	高齢者見守りシステム ライフリズムナビ+Dr.	見守り・コミュニケーション
2	(株)イノフィス	マッスルスーツ	移乗支援(装着)	22	YORICOM(株)	寄り添いコミュニケーション 星輝しおり	見守り・コミュニケーション
3	(株)いうら	ONBU(おんぶ)	移乗支援(非装着)	23	ハカルプラス(株)	見守り徘徊検知システム CAREai	見守り・コミュニケーション
4	(株)モリトー	介護リフトつるべY6セット Li-PINK Safety Robo	移乗支援(非装着)	24	(株)MEDIROM MOTHER Labs	遠隔体調管理システム[REMONY]	見守り・コミュニケーション
5	(株)FUJII	移乗サポートロボット Hug 防水タイプ (L1-01WP)	移乗支援(非装着)	25	フランスベッド(株)	M-Sleep Bio	見守り・コミュニケーション
6	東京サラヤ(株)	Sara Flex	移乗支援(非装着)	26	(株)フューチャーインク	多機能ベッドセンサ Vital Beats 3in1	見守り・コミュニケーション
7	マッスル(株)	ROBOHELPER SASUKE	移乗支援(非装着)	27	(株)アラソフトウェア	介護ロボットsmart R	見守り・コミュニケーション
8	アイ・ソネックス(株)	スカイリフトIR	移乗支援(非装着)	28	トーテックアメニティ(株)	見守りライフ	見守り・コミュニケーション
9	(株)スペース・パイオ・ラボラトリーズ	RE-Gait	移動支援	29	(株)LIXIL/豊田通商(株)	泡シャワー KINUAMI Care	入浴支援
10	(株)INOWA	体感型歩行自立支援システム Arbre(アルブル)	移動支援	30	(株)シリウス	介護用洗身用具 switle BODY	入浴支援
11	(株)光洋	おむつナビ	排泄支援	31	積水ホームテクノ(株)	wellsリフトキャリアー	入浴支援
12	(株)aba	Helppad2(ヘルパッド2)	排泄支援	32	(同)AUTOCARE	ケア記録AIアプリFonLog	介護業務支援
13	日本セイフティー(株)	ラップポン・オーブ 自動ラップ(S)	排泄支援	33	コニカミノルタ QOLソリューションズ(株)	HitomeQケアサポート	介護業務支援
14	富士フィルムメディカル(株)	iViz air	排泄支援	34	(株)エフトス	業務支援システム FTCare-i TOS	介護業務支援
15	(株)リリアム大塚	リリアムスポット 2	排泄支援	35	(株)walkey	walkey device	機能訓練
16	(株)NTTデータ	ボイスタ!アレクサで自立支援・コミュニケーション	見守り・コミュニケーション	36	パシフィックサプライ(株)	歩行訓練対応リフト [モーリフト パートナー255]	機能訓練
17	(株)ブライト・ヴィー	ケアデータコネクト	見守り・コミュニケーション	37	(株)Moff	モフトレ	機能訓練
18	パラマウントベッド(株)	見守り支援システム [眠りCONNECT]	見守り・コミュニケーション	38	(株)トレリハ	トレpro	機能訓練
19	Vayyar Imaging Japan (同)	ミリ波レーダーセンサー Vayyar Care(バヤーカー)	見守り・コミュニケーション	39	パナソニック(株)	施設向け 歩行トレーニングロボット	機能訓練
20	シャープマーケティング ジャパン(株)	ロボシルバーパークLite	見守り・コミュニケーション	40	(株)エグセルエンジニアリング	コグニテ褥瘡予測システム3.0A	その他(褥瘡対策)

## (6) パンフレットの作成

本フォーラムでは、来場者が分かりやすく当日の情報を得るため、またオンライン視聴者も出展企業や機器の情報を取得できるよう、公式パンフレットを作成した。

厚生労働省「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」

# 介護ロボット 全国フォーラム

テクノロジーを活用した介護現場の生産性向上を考えよう

令和7年  
**1/31**  
11:00~16:30

参加費 無料  
入場自由

開催場所  
**TOC有明**  
(東京都江東区有明)  
4階コンベンションホール  
WESTおよびEASTホール  
<https://www.toc-ariake.jp/>

公益財団法人テクノエイド協会  
The Association for Technical Aids(ATATA)

厚生労働省

本事業は厚生労働省の委託を受けて「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」の一環として行われます。

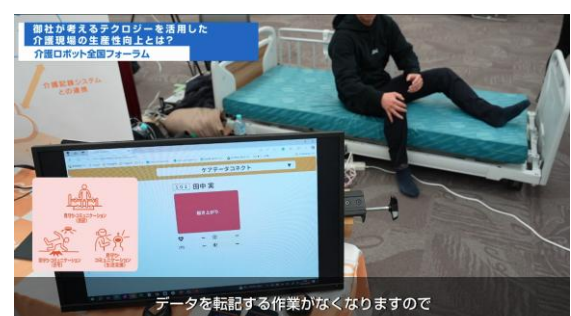
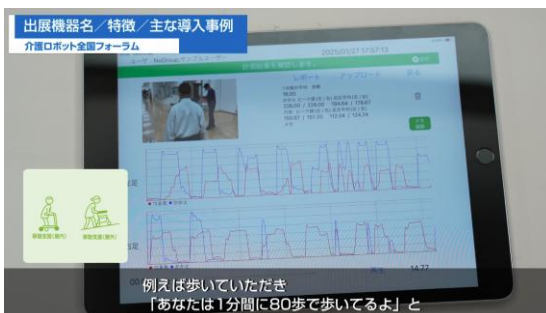
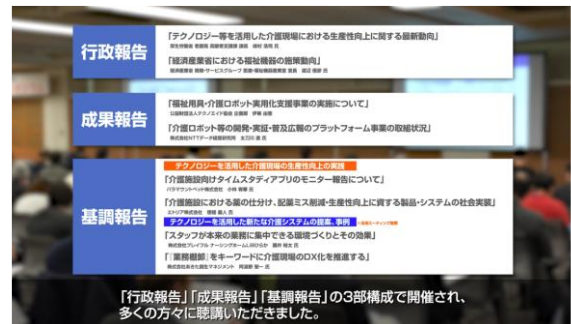
### ■ 出展機器

- GBS株式会社**  
Apogee+(アポジー・プラス) パワースーツ  
本製品は高齢者の移乗を支援する「Care Assist Apogee+」の「アポジー・プラス」機能を中心に、移動支援や排泄支援などの機能を統合し、介護現場での活用を支援します。  
〒104-0061 東京都中央区銀座5-10-1 Onizuka Bldg 2F  
TEL:03-5577-6945 E:market@gbstokyo.co.jp
- 株式会社イノフィス**  
マッスルスーツ  
高齢者の移乗を支援する「マッスル」は、介護現場での活用を支援します。移動支援や排泄支援などの機能を統合し、介護現場での活用を支援します。  
〒110-0052 東京都台東区根岸7-6-1 上ノ倉庫121号ビル  
TEL:03-5279-8929 E:info@inofis.com
- 株式会社いうら**  
ONBU(おんぶ)  
介護現場での移乗を支援する「ONBU」は、介護現場での活用を支援します。移動支援や排泄支援などの機能を統合し、介護現場での活用を支援します。  
〒174-0052 東京都板橋区根岸1-230-24  
TEL:03-5839-9811 E:info@inofis.com
- 株式会社モリトー**  
介護リフトつるべY6セット Li-PINK Safety Robo  
高齢者の移乗を支援する「モリトー」は、介護現場での活用を支援します。移動支援や排泄支援などの機能を統合し、介護現場での活用を支援します。  
〒110-0052 東京都台東区根岸1-230-24  
TEL:03-5839-9811 E:info@inofis.com

※資料編3を参照のこと。

## (7) 記録動画・機器紹介動画の作成

開催当日の様子を紹介する記録動画及び、個別の出展機器を紹介するインタビュー動画を作成し、ホームページに掲載することとした。





### 3. 介護ロボットメーカー連絡会議の実施

#### (1) 趣旨

福祉用具・介護ロボット関係企業に対して、行政の動向及び介護ロボットに関する最新の取り組み状況等について周知するとともに、企業間等の情報共有や技術連携を通じて、介護ロボット開発のための新たなイノベーションの創出につなげることを目的とした「介護ロボットメーカー連絡会議（以下「本会議）」を開催することとした。

#### (2) 本会議の呼びかけ等

本会議の開催にあたって以下の条件に適した関係各所に周知し、1,795カ所に参加を促した。

- 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業において、モニター調査やアドバイス支援事業を行い、既に商品化した介護ロボット等のメーカー（商品化に向けて開発を継続しているメーカーを含む。）
- ロボット介護機器開発等推進事業において採択され、既に商品化したロボット介護機器のメーカー（商品化に向けて開発を継続しているメーカーを含む。）
- 介護ロボット導入支援事業等において、採用された実績のある介護ロボットメーカー
- 次世代の福祉用具・介護ロボットの開発研究を行う者及び、この分野への新規参入や技術応用を希望しており、技術シーズを有している企業や団体、研究機関等（ハイテクとローテクは問わないこととする。）

#### (3) 開催結果

- ① 日 時：令和6年6月7日（金）10：00～14：40
- ② 方 法：会場とWeb（Zoom）のハイブリット開催
- ③ 参加者：会場149名・Web201名（事前登録）

(4) プログラム

行政報告
<p><b>○ 介護現場における生産性向上の推進について</b></p> <p>厚生労働省 老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 介護ロボット政策調整官 佐藤 修一 氏</p>
<p><b>○ 経済産業省におけるロボット介護機器政策について</b></p> <p>経済産業省 商務・サービスグループヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室 室長補佐 柴垣 宙央 氏 経済産業省 産業保安グループ製品安全課 川本 佐以子 氏</p>
情報提供
<p><b>○ 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の実施について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護現場のニーズをふまえた介護機器の開発に係る取組み 介護ロボット等モニター調査事業他の募集について</li> <li>・ 介護ロボット地域フォーラムの開催について</li> <li>・ 都道府県等における介護ロボットの開発・導入に係る助成事業について</li> <li>・ 福祉用具・介護ロボットの試用貸出事業の実施と募集について</li> <li>・ 介護機器の安全利用に関する整理・報告・発信について</li> <li>・ その他、令和6年度の主な事業の予定について</li> </ul> <p>公益財団法人テクノエイド協会 松本 美樹子</p>
<p><b>○ 介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業の取組状況</b></p> <p>株式会社NTTデータ経営研究所 太刀川 遼 氏</p>
取組報告
<p><b>○ 柏リビングラボ（産総研）の機能および支援内容について</b></p> <p>東京理科大学／産業技術総合研究所 松本 吉央 氏</p>
<p><b>○ プラットフォーム事業における 相談窓口の機能について</b></p> <p>公益財団法人いきいき岩手支援財団 岩手県高齢者総合支援センター 玉山 公一 氏</p>
<p><b>○ ひょうご介護テクノロジー導入・生産性向上支援センターの活動について</b></p> <p>兵庫県立福祉のまちづくり研究所 安藤 悠 氏</p>
基調報告
<p><b>○ 高齢者の自立支援と介護現場の生産性向上を目指して</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護ロボット等 開発支援事業の取り組みを通じて 広島パークヒル病院 西広島幸楽苑 山口 雅子 氏</li> <li>・ 介護ロボット等の開発のポイント、留意点 社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団 鈴木 光久 氏</li> </ul>

※上記報告の詳細な資料は、下記ページから取得可能。

[https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab24\\_detail](https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab24_detail)



## 4. 介護テクノロジー等活用ミーティングの実施

### (1) 趣旨

高齢者の急増から現役世代の急減に局面が変化するなか、介護ロボットやICT等のテクノロジーを上手に活用し、介護現場の生産性を向上する取り組みが各所で実施されている。

一方、テクノロジーを高齢者・障害者介護の現場において利用する場合、利用者のADLの維持・向上と安全確保は勿論のこと、介護サービスの質や介護職員の負担軽減にも十分配慮しながら導入・利活用することが求められる。

こうした背景のもと、介護テクノロジー等(福祉用具やロボット・ICT機器を含む。)の導入及び利活用に関する情報交換の場として「介護テクノロジー等活用ミーティング」を開催することとした。

本ミーティングでは、介護テクノロジー等の導入・利活用にあたっての工夫や課題を共有化し、介護現場における介護テクノロジー等の効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境の構築を推進することを目的とした。

### (2) 発表者の募集

開催日ごとにテーマを設け、介護テクノロジー等の利用に伴う工夫や課題、アイデア等について発表を希望する介護施設等を「介護ロボット等の開発・実証フィールド」の登録事業者等から募集し、応募のあった施設から事例を紹介した。

### (3) 本ミーティング参加の呼びかけ等

本ミーティングの周知は郵送及びメールにて合計4,275カ所に実施した。

#### 【A.郵送リスト】

番号	区分名	件数
1	実証フィールド登録者(メーカー・行政以外)	1024 件
2	R5ロボット全国フォーラム申込者(メーカー・行政以外)	464 件
3	都道府県・市区町村	1788 件
4	マスコミ関係	48 件
5	関係機関・団体	5 件
合計		3,329 件

#### 【B.メールリスト】

番号	区分名	件数
1	実証フィールド登録者(メーカー・行政以外)	856 件
2	都道府県・政令市 導入助成制度担当者	68 件
3	R6安全利用委員会	14 件
4	R6事故・ヒヤリハット情報提供者	8 件
合計		946 件

総計(A+B)	4,275 件
---------	---------

※B.メールリスト3及び4は、本報告書9「介護機器の安全利用に関する整理・報告・発信」の検討委員及び、調査の情報提供者を指す。

#### (4) 開催結果

全5回、開催日ごとにテーマを分けて実施した。

開催日	令和6年11月				
	5日 (火)	6日 (水)	7日 (木)	11日 (月)	12日 (火)
時間	13:00~15:00				
方法	オンライン (Zoom)				
テーマ	介護機器等 を活用した 生産性向上 の取組みを 推進しよう	介護機器等 を活用した 安心・安全な 介護を実現 しよう	介護機器等 を活用する ICT/DX 化を推進し よう	デイスervi ス等におけ る訓練・介護 機器等の導 入・利活用を 考えよう	居宅介護サ ービスにお ける介護機 器及びICT の導入・利 活用を考え よう
参加者数 (事前登録)	283名	217名	241名	163名	167名

#### (5) プログラム

詳細な内容は以下のとおり。

11月5日 (火)	
テーマ	<p>■厚生労働省・NTTデータ経営研究所資料 (全日共通) はこちら</p> <p>■活用ミーティング資料 (11月5日版) はこちら</p> <p><b>A. 介護機器等を活用した生産性向上の取組みを推進しよう</b></p>
開会 (13:00~13:05)	公益財団法人テクノエイド協会 活用ミーティング開催の背景、ねらい
セッション1 (13:05~14:15)	<p><b>1. 介護テクノロジーの効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境を考えよう</b></p> <p>①介護ロボットに関する最新情報など (15分) 介護現場における生産性向上の推進について 厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 介護ロボット政策調整官 佐藤 修一 氏</p> <p>②介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォームの構築、地域における生産性向上の取組に関する支援事業の実施状況について (15分) 介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業の取組状況 NTTデータ経営研究所 永田 拓磨 氏/太刀川 遼 氏</p> <p>③介護テクノロジーの導入、利活用に伴う工夫や課題、アイデア等について (各20分) 小規模施設におけるICT導入の取り組みとその効果 ~働きやすい職場へ~ 一般社団法人ケア・クリエイト グループホーム野の花 管理者 土肥 琴美 氏 生産性向上で取り組んできたこと ~内閣総理大臣表彰に至るまで~ 特別養護老人ホーム 六甲の館 施設長 溝田 弘美 氏</p>
個人ワーク (14:15~14:25)	<p><b>2. 現状と課題の整理</b></p> <p>セッション1を踏まえて、現状と課題、発言内容の整理</p>
セッション2 (14:25~15:00)	<p><b>3. 現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう (介護テクノロジー等の導入や利用にあたっての工夫や課題の共有化)</b></p> <p>オンライン上でフリーに意見交換や情報交換を行います</p>

11月6日（水）	
■厚生労働省・NTTデータ経営研究所資料（全日共通）はこちら ■活用ミーティング資料（11月6日版）はこちら	
テーマ	<b>B. 介護機器等を活用した安心・安全な介護を実現しよう</b>
開会 (13:00～13:05)	公益財団法人テクノエイド協会 活用ミーティング開催の背景、ねらい
セッション1 (13:05～14:15)	<b>1. 介護テクノロジーの効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境を考えよう</b> ①介護ロボットに関する最新情報など（15分） 介護現場における生産性向上の推進について 厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 介護ロボット政策調整官 佐藤 修一 氏
	②介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォームの構築、地域における生産性向上の取組に関する支援事業の実施状況について（15分） 介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業の取組状況 NTTデータ経営研究所 永田 拓磨 氏/太刀川 遼 氏
	③介護テクノロジーの導入、利活用に伴う工夫や課題、アイデア等について（各20分） <b>安心・安全・安楽な介護の実践と効果 ～人と介護テクノロジーの共生～</b> 特別養護老人ホーム七美ことぶき苑 サブリーダー・機能訓練指導員 平井 俊輔 氏 <b>ICT・IoT機器の活用による安心・安全なケアの実践</b> 特別養護老人ホーム自生園 機能訓練指導員 若村 浩樹 氏
	<b>2. 現状と課題の整理</b> セッション1を踏まえて、現状と課題、発言内容の整理
個人ワーク (14:15～14:25)	
セッション2 (14:25～15:00)	<b>3. 現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう（介護テクノロジー等の導入や利用にあたっての工夫や課題の共有化）</b> オンライン上でフリーに意見交換や情報交換を行きましょう

11月7日（木）	
■厚生労働省・NTTデータ経営研究所資料（全日共通）はこちら ■活用ミーティング資料（11月7日版）はこちら	
テーマ	<b>C. 介護機器等を活用するICT/DX化を推進しよう</b>
開会 (13:00～13:05)	公益財団法人テクノエイド協会 活用ミーティング開催の背景、ねらい
セッション1 (13:05～14:15)	<b>1. 介護テクノロジーの効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境を考えよう</b> ①介護ロボットに関する最新情報など（15分） 介護現場における生産性向上の推進について 厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 介護ロボット政策調整官 佐藤 修一 氏
	②介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォームの構築、地域における生産性向上の取組に関する支援事業の実施状況について（15分） 介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業の取組状況 NTTデータ経営研究所 永田 拓磨 氏/太刀川 遼 氏
	③介護テクノロジーの導入、利活用に伴う工夫や課題、アイデア等について（各20分） <b>ビジネスチャットを活用した介護DX</b> 特別養護老人ホーム 柏きらりの風 生産性向上委員会 遠藤 浩隆 氏/上野 立樹 氏 <b>安眠支援に向けた夜間業務 ～見守り機器を活用した業務改善～</b> 地域密着型特別養護老人ホーム ことぶきの森 施設長 藤井 俊文 氏
	<b>2. 現状と課題の整理</b> セッション1を踏まえて、現状と課題、発言内容の整理
個人ワーク (14:15～14:25)	
セッション2 (14:25～15:00)	<b>3. 現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう（介護テクノロジー等の導入や利用にあたっての工夫や課題の共有化）</b> オンライン上でフリーに意見交換や情報交換を行きましょう

11月11日（月）	
■厚生労働省・NTTデータ経営研究所資料（全日共通） <a href="#">はこちら</a> ■活用ミーティング資料（11月11日版） <a href="#">はこちら</a>	
テーマ	<b>D. デイサービス等における訓練・介護機器等の導入・利活用を考えよう</b>
開会 (13:00～13:05)	公益財団法人テクノエイド協会 活用ミーティング開催の背景、ねらい
セッション1 (13:05～14:15)	<b>1. 介護テクノロジーの効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境を考えよう</b> <b>①介護ロボットに関する最新情報など（15分）</b> 介護現場における生産性向上の推進について 厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 介護ロボット政策調整官 佐藤 修一 氏
	<b>②介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォームの構築、地域における生産性向上の取組に関する支援事業の実施状況について（15分）</b> 介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業の取組状況 NTTデータ経営研究所 永田 拓磨 氏/太刀川 遼 氏
	<b>③介護テクノロジーの導入、利活用に伴う工夫や課題、アイデア等について（各20分）</b> デイサービスにおけるAI・ロボットを活用した結果を見える化・数値化出来る機能訓練 デイサービスいきいき 湯沢/横手（株式会社e-MOTIONs）代表取締役 渡部 真吉 氏 一人ひとりに寄り添う運動のサポート ～歩行トレーニングロボットの導入～ 社会福祉法人シルヴァーウィング 戸山いつきの社 施設長 石塚 真理子 氏
個人ワーク (14:15～14:25)	<b>2. 現状と課題の整理</b> セッション1を踏まえて、現状と課題、発言内容の整理
セッション2 (14:25～15:00)	<b>3. 現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう（介護テクノロジー等の導入や利用にあたっての工夫や課題の共有化）</b> オンライン上でフリーに意見交換や情報交換を行きましょう

11月12日（火）	
■厚生労働省・NTTデータ経営研究所資料（全日共通） <a href="#">はこちら</a> ■活用ミーティング資料（11月12日版） <a href="#">はこちら</a>	
テーマ	<b>E. 居宅介護サービスにおける介護機器及びICTの導入・利活用を考えよう</b>
開会 (13:00～13:05)	公益財団法人テクノエイド協会 活用ミーティング開催の背景、ねらい
セッション1 (13:05～14:15)	<b>1. 介護テクノロジーの効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境を考えよう</b> <b>①介護ロボットに関する最新情報など（15分）</b> 介護現場における生産性向上の推進について 厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 介護ロボット政策調整官 佐藤 修一 氏
	<b>②介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォームの構築、地域における生産性向上の取組に関する支援事業の実施状況について（15分）</b> 介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業の取組状況 NTTデータ経営研究所 永田 拓磨 氏/太刀川 遼 氏
	<b>③介護テクノロジーの導入、利活用に伴う工夫や課題、アイデア等について（各20分）</b> スタッフが本来の業務に集中できる環境づくりとその効果 ナーシングホームLiBひらか 施設長 藤井 裕太 氏 人口減少社会に介護経営をリデザイン！『業務棚卸』をキーワードに介護現場のDX化を推進する 株式会社あきた創生マネジメント 代表取締役 阿波野 聖一 氏
個人ワーク (14:15～14:25)	<b>2. 現状と課題の整理</b> セッション1を踏まえて、現状と課題、発言内容の整理
セッション2 (14:25～15:00)	<b>3. 現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう（介護テクノロジー等の導入や利用にあたっての工夫や課題の共有化）</b> オンライン上でフリーに意見交換や情報交換を行きましょう

## 5. 介護現場のニーズをふまえた介護機器の開発支援に係る取組

### (1) 目的

本事業は、高齢者介護の現場において、高齢者の尊厳ある自立した生活の保障を目指すための「福祉用具・介護ロボット（以下「介護ロボット等）」について、実用化を促す環境を整備し、企業による製品化を促進することを通じて、要介護者の自立支援や介護者の負担軽減を図ることを目的とした事業である。

開発フェーズに応じて3つの事業から構成し、使用する側の「ニーズ」と開発する側の「シーズ」をマッチングする取り組みを行った。

- A. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業
- B. 試作介護機器へのアドバイス支援事業
- C. 介護ロボット等モニター調査事業

## 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業



### 背景

急激な高齢化の進展にともない、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など、介護ニーズは益々増大する一方、核家族化の進行や、介護する家族の高齢化など、要介護高齢者を支えてきた家族をめぐる状況も変化している。

また、介護分野においては、介護従事者の腰痛問題等が指摘されており、人材確保を図る上では、働きやすい職場環境を構築していくことが重要である。

このような中で、日本の高度な水準のロボット技術を活用し、高齢者の自立支援や介護従事者の負担軽減が期待されている。

### 現状・課題

#### 【介護現場からの意見】

- ・どのような機器があるのか分からない
- ・介護場面において実際に役立つ機器がない・役立て方がわからない
- ・事故について不安がある

ミスマッチ!!

#### 【開発側からの意見】

- ・介護現場のニーズがよく分からない
- ・実証試験に協力してくれるところが見つからない
- ・介護現場においては、機器を活用した介護に否定的なイメージがある
- ・介護ロボットを開発したけれど、使ってもらえない

### マッチング支援

介護現場のニーズに適した実用性の高い介護ロボットの開発が促進されるよう、開発の早い段階から現場のニーズの伝達や試作機器について介護現場での実証等を行い、介護ロボットの実用化を促す環境を整備する。



## (2) 対象となる介護ロボット等

以下の2要件をいずれも満たすものとしたが、高齢者の行動の自由を制限する可能性のある機器は対象外とした。

◆目的要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- 心身の機能が低下した高齢者の日常生活上の便宜を図る機器
- 高齢者の機能訓練あるいは機能低下予防のための機器
- 高齢者の介護負担の軽減のための機器
- 介護職員の間接業務を軽減するための機器

◆技術要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ロボット技術（※）を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器  
（※）①力センサーやビジョンセンサー等により外界や自己の状況を認識し、②これによって得られた情報を解析し、③その結果に応じた動作を行う
- 技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器
- 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発等推進事業（開発補助）」において採択された機器

## (3) 事業内容

### A. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業

#### 【概要】

開発コンセプトの段階（実機不要）や開発中（試作段階）の介護ロボット等について、介護施設等での自由な意見交換を行い、当該機器の課題や改良点及び、効果的な活用方法等について話し合いを行う。

#### 【募集対象者】

- 開発コンセプトの段階（実機不要）や開発中（試作段階）にある介護ロボット等のメーカー
- 介護現場等での意見交換を通じて、開発機器のコンセプトの構築を図りたいメーカー
- 構想あるいは試作介護機器について、現場のアドバイスをもらいたいメーカー

#### 【実施内容】

- 募集件数（先着順）  
10件程度
- 実施時期  
令和6年6月10日（月）～ ※実施期間：1日～2日程度
- 費用の交付  
介護職員等との意見交換：アドバイス協力費として、5万円

#### 【実施結果】

本事業は、令和6年6月10日より公募を開始し全部で3企業、11案件のマッチングを実施した。また、別冊「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2024」を作成した。詳細は第2章参照のこと。



【案件一覧】

機器名称	応募事業者	協力機関
サーマル・バイタルカメラ	マスプロ電工(株)	グループホームおおきな木
		特別養護老人ホーム六甲の館
		(医) 和同会 広島パークヒル病院
		(株) ライフケア創合研究所 いこいの家はびりセンター
センシング歩行車ユニット(キャスター、センサー、スマートフォン)	(株) 星光医療器製作所	(福) 湖星会 特別養護老人ホームラスール坂下
		特別養護老人ホームひなもり園
		(医) 康人会 適寿リハビリテーション病院
		(医) 和同会 広島パークヒル病院
AIカメラで介護現場をサポート Ace Care	東電タウンプランニング(株)	(福) シルヴァーウィング 特別養護老人ホームみさよはうす土支田
		(福) 恭和会 ケアハウス四季が丘
		(福) 播陽灘 特別養護老人ホームいやさか苑

B. 試作介護機器へのアドバイス支援事業

【概要】

開発中にある介護ロボット等又は、上市して間もない(1年以内)介護ロボット等について、福祉用具や高齢者に係わる専門職等が試用等を行い、専門的なアドバイスを行うことにより、適用対象者の想定を行うとともに、真に必要とされる機能や性能の検討を行い、もって使用場面のニーズを的確に捉えた機器開発を促すこととする。

実施に当たっては、福祉用具に関する事故・ヒヤリハット情報等を参考に、安全利用に資する機能等の検討・アドバイスを行い、安全機能を有する機器開発の促進を図る。

【募集対象者】

- 開発中又は、上市して間もない(1年以内)介護ロボット等があり、改良点や効果的な活用方法を検討したいメーカー
- 機器の対象者や適用範囲等を明確にしたいメーカー

【実施内容】

- 募集件数(先着順)  
15件程度
- 実施時期  
令和6年6月10日(月)～ ※実施期間:1週間～1ヶ月程度

● 費用の交付

試作介護機器へのアドバイス支援：アドバイス協力費として、8万円

【実施結果】

本事業は、令和6年6月10日より公募を開始し全部で6企業、18案件のマッチングを実施した。また、別冊「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2024」を作成した。詳細は第3章参照のこと。

【案件一覧】

機器名称	応募事業者	協力機関
遊歩リベルタ	(株) セリオ	介護付き有料老人ホーム タ佳ゆめみがさき
		(株) こだち デイサービス木まち
		(福) シルヴァーウィング 戸山いつきの杜
		かわさきJプロジェクト+
		(医) 和同会 広島パークヒル病院
オゾ・ダイレクト	(株) アクアエコ テック	グループホームいろり端水戸
		SOMPOケア(株) そんぽの家GH門真
移乗機JUST	(有) 京和工業	(福) 播陽灘 特別養護老人ホームいやさか苑
		(福) シルヴァーウィング 特別養護老人ホーム新とみ
クラウド型バイタル (生体信号) 測定器	(株) ネクスティ エレクトロニクス	(福) シルヴァーウィング 特別養護老人ホーム新とみ
		(株) ライフケア創合研究所 いこいの家はびりセンター
		デイサービスセンター あいの杜とちぎ
字幕表示システム Cotopat®Screen Cotopat®Mobile	京セラドキュメン トソリューション ズジャパン(株)	(医) 福岡桜十字
		(福) 友愛十字会 砧ホーム
		特別養護老人ホーム 六甲の館
		(医) 和同会 広島パークヒル病院
みずからのコエで、 移動支援できるサー ビス LOOVIC	LOOVIC(株)	(株) ライフケア創合研究所 いこいの家はびりセンター
		(福) シルヴァーウィング 戸山いつきの杜



## C.介護ロボット等モニター調査事業

### 【概要】

開発中又は上市して間もない（1年以内）介護ロボット等について、介護現場における使い勝手のチェックや介護ロボット等活用に係る具体的な課題やニーズの特定等を行い、もって企業が当該機器を開発又は改良する上で有用となる情報を収集するためのモニター調査を行う。また、モニター調査と合わせて実証試験を行うことも可能とした。

### 【募集対象者】

- 本モニター調査においては、テクノエイド協会が募集要項に示す枠組みに即したモニター調査を行う企業等を対象とした。  
※募集要項は、資料編4を参照のこと。
- 効果的なモニター調査を推進する観点から、専門職等による助言・指導及び協力施設等とのマッチングを希望する企業等を対象とした。

### 【実施内容】

- 募集件数（先着順）  
10件程度
- 実施期間  
1ヶ月～6ヶ月程度（協力施設等と要相談）
- 費用の交付  
モニター調査協力費として、15万円（応募企業に対する費用は交付なし）
- 実施の留意点
  - ・モニター調査を希望する企業とモニター調査に協力していただける介護施設等とのマッチングを一つの目的とした。
  - ・モニター調査においては、試作機の開発が完了していることを必要とした。
  - ・モニター調査の内容はテクノエイド協会のホームページより、情報提供を行うため、それに同意することとした。
  - ・適切かつ効果的なモニター調査を推進する観点から、モニター調査の計画作成及び実施にあたって、テクノエイド協会が設置するモニター調査検討委員会から指導・助言を行うこととした。
  - ・モニター調査は利用者の同意を得て実施することとし、また、実証試験を行う際には、倫理審査の実施を必須とした。

### 【モニター調査検討委員会の設置】

モニター調査案件の選考にあたっては、協会に設置するモニター調査検討委員会の審議を経て決定することとした。

検討委員の具体的な役割としては、モニター調査を行うことの妥当性等について、事前確認を行うとともに、当該機器の開発者が介護施設等において、より効果的なモニター調査が行えるよう、専門的な視点からアドバイスを行った。

## 【モニター調査検討委員 一覧】

(委員)

(五十音順・敬称略)

氏名	所属機関
市川 洌	福祉技術研究所株式会社
鈴木 健太	社会福祉法人 友愛十字会
鈴木 光久	社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団
福辺 節子	一般社団法人白新会 Natural being
古田 恒輔	神戸学院大学 総合リハビリテーション学部
◎ 山内 繁	NPO法人支援技術開発機構
渡邊 慎一	社会福祉法人横浜市総合リハビリテーションセンター

◎委員長

(オブザーバー)

(敬称略)

内田 正剛	厚生労働省老健局高齢者支援課 福祉用具・住宅改修係
佐藤 修一	厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室
早川 慎	厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室
兼子 雄	厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室

## 【モニター調査検討委員会の開催】

### ● 第1回モニター調査検討委員会

- ・日時：令和6年8月1日（木）10：00～16：20
- ・方法：オンライン（Zoom）
- ・内容：

〔 応募結果についての報告  
 応募企業によるプレゼンテーション  
 採択候補案件の決定及び、指導すべきポイントの確認〕

### ● 第2回モニター調査検討委員会

- ・日時：令和7年3月6日（木）10：00～15：40
- ・方法：オンライン（Zoom）
- ・内容：

〔 採択企業による成果報告  
 今年度モニター調査の振り返り、委員の意見聞き取り〕

### 【実施結果】

本事業は令和6年6月10日～7月10日まで募集を行い、13企業（14製品）より応募があった。事務局審査及び先述したモニター調査検討委員会を経て、12企業（12製品）を採択した。

開発・実証フィールドの登録施設に募集を行った結果、すべての案件でモニター調査を実施することができた。

また、別冊「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2024」を作成した。詳細は第4章参照のこと。

### 【案件一覧】

機器名称	応募事業者	協力機関
<b>【移乗支援】</b> 排泄サポートリフト TL-300 「ONBU（おんぶ）」	(株) いうら	(福) 播陽灘 特別養護老人いやさか苑
<b>【移動支援】</b> 遊歩リベルタ	(株) セリオ	リハビリ特化型デイサービス あいケアステーション ワザリハ
<b>【入浴】</b> 介護用洗身用具 「switle-BODY」	(株) シリウス	日本基準寝具 (株)
<b>【見守り】</b> 被介護者用 行動把握ソリューション	アイホン (株)	特別養護老人ホーム こささの里
<b>【介護業務支援】</b> 非接触型おむつセンサー AlgoDetect (アルゴディテクト)	(株) ツカモト コーポレーション	(福) シルヴァーウィング 特別養護老人ホーム新とみ
<b>【見守り】</b> 見守りシステム pakemo パケモ	新生電子 (株)	(福) シルヴァーウィング 特別養護老人ホーム みさよはうす土支田
<b>【介護業務支援】</b> 介護施設向け タイムスタディアプリ 「ときKANRI」	パラマウント ベッド (株)	介護老人保健施設 ノテ日本医療大学リハビリ

<b>【食事支援】</b> 食事介助ロボット O b i (オビー)	ダブル技研 (株)	(福) シルヴァーウィング 戸山いつきの杜
		(福) 友愛十字会 砧ホーム
<b>【見守り・コミュニケーション】</b> 介護施設向け コミュニケーションサポート ロボット CoRoMoCo®	T P R (株)	介護老人保健施設 ケアコートもりおか
		グループホームゆめ長居公園
<b>【見守り】</b> みまもりA i r	ノバルス (株)	(福) シルヴァーウィング 戸山いつきの杜
<b>【見守り】</b> P u l s e a i d (パルスエイド)	(株) シンセイ コーポレーシヨ ン	介護老人保健施設 ケアコートもりおか
		(福) シルヴァーウィング 戸山いつきの杜
<b>【コミュニケーション】</b> ボイスタ！	(株) N T T データ	(株) 来夢

今回のモニター調査の概要

番号	開発機器名	調査の概要
1	<p>【移乗支援】 排泄サポートリフトTL-300 「ONBU（おんぶ）」  株式会社いうら</p>	<p>【調査のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベッドや椅子から車椅子への移乗ができるか。</li> <li>・車椅子から便座への移乗ができるか。</li> <li>・脱衣や排泄介助は問題なくできるか。</li> <li>・ご利用者に身体的使用感はどうか、身体状況の改善があったか。</li> <li>・介護者の身体的負担の軽減や業務の省力化ができたか</li> </ul> <p>【使用場面・想定環境】</p> <p>①使用場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベッドからトイレ、トイレから車椅子への移乗と排泄介助</li> </ul> <p>②想定環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動線上に段差がないこと</li> <li>・浴室など水のかかる場所、湿度の高いところ、屋外では使用できない</li> </ul>
2	<p>【移動支援】 遊歩リベルタ  株式会社セリオ</p>	<p>【調査のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心身の機能が低下した高齢者の日常生活上の便宜を図ることができるか</li> <li>・高齢者の機能訓練または機能低下予防のための機器になり得るか</li> </ul> <p>【使用場面・想定環境】</p> <p>①使用場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活範囲の移動手段としての使用</li> <li>・継続した身体運動の一環としての使用</li> <li>・社会的生活の維持、またはフレイル予防の手段としての使用</li> </ul> <p>②想定環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急坂・段差の道は使用不可、旋回時は道幅の広い平坦なところで旋回する必要あり</li> <li>・当該機器はフレイル予防を目的としており、要介護状態の方への使用は事前に医師・介護職員へ要相談</li> </ul>
3	<p>【入浴支援】 介護用洗身用具 「switle-BODY」  株式会社シリウス</p>	<p>【調査のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護現場における作業（清拭と比較して）の効率化の確認</li> <li>・被使用者の充足度の確認</li> <li>・施設職員／要介護者の感想             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本用具の操作性等</li> </ul> </li> </ul>

番号	開発機器名	調査の概要
		<p>○ 本用具の体感的感想等</p> <p>【使用場面・想定環境】</p> <p>①使用場面 ベッドで寝たままの状態</p> <p>○使用時間</p> <p>○転落の危険性の有無</p> <p>○姿勢転換等に要する必要人員</p> <p>②想定環境</p> <p>—</p>
4	<p>【見守り】 被介護者用行动把握 ソリューション</p> <p>アイホン株式会社</p>	<p>【調査のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コール発生時の被介護者の状況が見えることによる介護者の身体的・精神的負荷の軽減効果</li> <li>・スマートフォンを使用したモニタリング機能による訪室回数削減効果</li> <li>・行動量が見える化できることが介護業務にもたらす効果</li> </ul> <p>【使用場面・想定環境】</p> <p>①使用場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被介護者：起き上がり、離床の検出と動作検出（落ち着きがない等の行動把握）</li> <li>・介護者：ケア中のコール着信時も映像により優先順位付と駆け付け要不要の判断、または事故発生時に非介護者の様子の確認や録画映像によるスタッフ間のインシデント共有、日常の被介護者の様子を把握したうえで被介護者家族への共有・報告</li> </ul> <p>②想定環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試用機器（端末）を仮設置するスペースが居室内に必要</li> <li>・試用機器（制御機器）を仮設置するスペースが共用部に必要</li> <li>・有線で構成されるため、居室内および共用部に仮設配線が必要</li> </ul>
5	<p>【介護業務支援】 非接触型おむつセンサー AlgoDetect（アルゴディテクト）</p> <p>株式会社ツカモトコーポレーション</p>	<p>【調査のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非接触おむつセンサーアルゴディテクトを活用することで、夜間のおむつ介助業務軽減やご利用者の睡眠の質の向上に寄与できるか。</li> </ul> <p>【使用場面・想定環境】</p> <p>①使用場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護度の高い入居者（自身による体の動作がほぼない方）のベッドにセンサーを設置し、夜間複数日でのセンサーの検知結果とおむつ介助記録との付け合わせ</li> </ul>

番号	開発機器名	調査の概要
		②想定環境 ・ 2.4GHz帯Wi-Fi環境（センサー毎に固定IPアドレスの付与が必要）
6	<b>【見守り】</b> 見守りシステム pakemo パケモ  新生電子株式会社	<b>【調査のねらい】</b> ・ 当製品を実際に介護施設の運用に沿って使用された場合に、現場目線で製品として需要のあるレベルになっているか評価する。 <b>【使用場面・想定環境】</b> ①使用場面 ・ 特養や老健などの介護施設において自力でベッドから立上りできる人、かつ、起き上がり行動や離床を検知したい人に対する使用 ・ 個室またはカーテンで仕切られている多床室、対応職員が少なくなる夜間での場面 ②想定環境 ・ 施設内の通信環境（Wi-Fi：5GHz／有線LAN）を利用
7	<b>【介護業務支援】</b> 介護施設向けタイムスタディアプリ「ときKANRI」  パラマウントベッド株式会社	<b>【調査のねらい】</b> ・ スマートフォンアプリの有用性 ○ 介護施設の職員が通常業務を行いながら自分自身でスマートフォンアプリを操作し、正確に記録することができるか ○ 業務の振返りのため、アプリを定期的を使用することが職員に許容されるか ・ 結果レポートの有用性 ○ 介護施設の管理者にとって活用できる情報となっているか ○ 業務および介護ロボット導入効果を見える化することができるか <b>【使用場面・想定環境】</b> ①使用場面 ・ 年1回～数回、業務状況の把握や業務改善の取り組み前後 で実施することを想定 ②想定環境 ー
8	<b>【食事支援】</b> 食事介助ロボット Obi（オビー）  ダブル技研株式会社	<b>【調査のねらい】</b> ・ どのようなユーザー、またどのような介護現場にとって、本機がより有効で、適しているのか、実際の食事現場の中で検証を実施したい。また、スイッチや必要な付属品、前後の流れの中でどのくらい介護負担が変わる

番号	開発機器名	調査の概要
		<p>のか定量的に検証を実施したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事動作の部分自立、QOLの向上、介護費の軽減(利用者と国の双方)などについて、公に示せるようなデータを取っていきたい。</li> </ul> <p>【使用場面・想定環境】</p> <p>①使用場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝昼晩など日常の食事時間にて、スタッフによる食事介助の代わりに想定した場面で実施することを想定</li> </ul> <p>②想定環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の食事テーブル及び実際の食事</li> </ul>
9	<p>【見守り・コミュニケーション】 介護施設向けコミュニケーション サポートロボット C o R o M o C o®  T P R株式会社</p>	<p>【調査のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理画面の感情推定結果の日毎の変化(例:管理画面上での、「満足」感情の増加等)</li> <li>・帰宅願望や徘徊をされる方への利用結果(例:帰宅願望や徘徊状況の推移)</li> <li>・入居者様がC o R o M o C oを使用することによる介護士さんの業務量の変化 (例:ナースコール回数の現象、対象の入居者様に対するケア時間の変化)</li> </ul> <p>【使用場面・想定環境】</p> <p>①使用場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜勤帯、打合せ等の職員さんが特に不足している時間の入居者との話し相手</li> <li>・夕方のように入居者が不穏になり易い時間帯の癒しアイテム</li> <li>・日常生活のスケジュールの促し(起床時間、食事時間(朝昼晩)、入浴時間、レクリエーション時間、就寝時間等)</li> </ul> <p>②想定環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定したW i F i環境</li> </ul>
10	<p>【見守り】 みまもりA i r  ノバルス株式会社</p>	<p>【調査のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当社製品は乾電池を使用する様々な製品で用いることができるという特性があるが、一方でどんな電池製品で用いると有用かについて活用範囲が限定的であったところ、複数の電池製品を用いて在宅介護で有効な使い方を検証し、それに合わせたアラート通知やレポートなどの機能拡充に繋げる。</li> </ul> <p>【使用場面・想定環境】</p> <p>①使用場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅介護の利用者宅に機器を設置し、協力事業者(社</li> </ul>



番号	開発機器名	調査の概要
		<p>会福祉法人シルヴァーウィング)の担当者がその状況モニターする</p> <p>②想定環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅介護利用者宅：電源（AC100V）</li> <li>・協力事業者モニター環境：ブラウザが動作するPC</li> </ul>
11	<p>【見守り】</p> <p>Pulse aid (パルスエイド)</p> <p>株式会社シンセイコーポレーション</p>	<p>【調査のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パルスエイドにおける介護施設にての有用性について</li> <li>・高齢者リハにおける有用性について</li> </ul> <p>【使用場面・想定環境】</p> <p>①使用場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のバイタルモニタリングについて</li> <li>・運営者のリスク管理について</li> </ul> <p>②想定環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器（Pulse aid）</li> <li>・スマートフォン</li> <li>・PC</li> </ul>
12	<p>【コミュニケーション】</p> <p>ボイスタ！</p> <p>株式会社NTTデータ</p>	<p>【調査のねらい】</p> <p>・スマートスピーカー”アレクサ”を使った高齢者向けサービス“ボイスタ！”を活用することで、高齢者の日常生活の利便性・QOL向上に加えて、介護職員の業務効率化、更には高齢者とご家族の繋がり形成を目的に調査を実施した。</p> <p>【使用場面・想定環境】</p> <p>①使用場面</p> <p>・高齢者の方には、高齢者住宅・訪問介護における各居室と居宅に機器を設置した上で日常使い頂く。介護職員の方には、スタッフステーション・居宅介護支援事業所・ヘルパーステーション等に同機器を設置し業務に活用頂くことに加えて、機器の一括管理システム(PCのブラウザ上で利用)により高齢者の各機器に対する情報通知やコンテンツ提供などを行い、高齢者の生活サポートを行う。また、高齢者のご家族にはボイスタ！専用のLINE機能を提供し、その上で見守り確認やビデオ通話等の機能をご利用頂く。</p> <p>②想定環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源2口とWiFi環境(5GHz帯)が必要</li> </ul>

## 6. 介護ロボットのプラットフォーム事業における実証フィールドの整備

### (1) 趣旨

介護ロボット等の開発及び、効果の検証等をより一層推進することを目的とし、協力いただける介護施設や事業所等を「介護ロボット等の開発・実証フィールド」として募集を行った。

本取組みに賛同いただいた介護施設等の情報は、リスト化して蓄積し厚生労働省と情報共有を図った。

### (2) 登録対象

介護施設、居宅サービス事務所、リハビリテーションセンター等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)</li> <li>・介護老人保健施設</li> <li>・介護療養型医療施設</li> <li>・介護医療院</li> <li>・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護</li> <li>・特定施設入居者生活介護</li> <li>・小規模多機能型居宅介護</li> <li>・認知症対応型共同生活介護(グループホーム)</li> <li>・地域密着型特定施設入所者生活介護</li> <li>・看護小規模多機能型居宅介護</li> <li>・養護老人ホーム</li> <li>・軽費老人ホーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有料老人ホーム</li> <li>・サービス付き高齢者向け住宅</li> <li>・在宅介護サービス</li> <li>・訪問介護・看護</li> <li>・通所介護施設(デイサービス)</li> <li>・ショートステイ</li> <li>・医療機関</li> <li>・リハビリテーションセンター</li> <li>・障害者福祉施設</li> <li>・福祉用具貸与サービス事業者</li> <li>・その他</li> </ul>
都道府県、市町村等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県</li> <li>・市町村</li> <li>・介護実習・普及センター</li> <li>・地域包括支援センター</li> <li>・その他</li> </ul>	

### (3) 協力施設等の募集

協力施設等の募集は、テクノエイド協会ホームページにおいて周知するとともに、以下の方法にて行った。

- ・都道府県・市区町村の高齢者支援担当および関係事業者団体等へ、登録募集の案内を郵送
- ・本報告書2「介護ロボット全国フォーラム」の公式パンフレットの裏面に登録募集の案内を掲載し、全ての来場者に配布するとともに、オンライン参加者にはアンケートにて希望を確認し、当日の講演資料とともに後日郵送
- ・本報告書4「介護テクノロジー等活用ミーティング」における参加者への呼び掛け、終了後の講演資料郵送(希望者のみ)に登録募集の案内を同封
- ・国際福祉機器展のテクノエイド協会出展ブースにおいて配布

## 【登録募集の案内】

### 介護施設・事業所・リハビリテーションセンター等の皆様へ

# 福祉用具・介護ロボット 開発・実証フィールド の募集(登録のお願い)

**福祉用具・介護ロボットの開発・普及に  
かかわる情報を提供します**

**募集する介護施設等**  
介護保険の施設・居宅サービス 関係事業者 等  
・登録はサービス事業所単位となります。  
・介護保険以外の医療機関や障害者施設・居宅サービスの事業者も登録可能です。

**登録リストの活用**  
(1)当協会や厚生労働省等から各事業所の案内や介護ロボットに関する最新情報をメールにて配信します。  
(2)登録情報は厚生労働省及びアットホーム事業等の窓口へ提供します。

**登録方法**  
右記 <https://www.techno-aids.or.jp/robot> テクノ 開発・実証フィールド **検索** から  
次のボタンをクリックして、登録を行ってください

介護施設・居宅サービス事業所、  
リハビリテーションセンター  
等の方はこちら

都道府県、市町村、介護実習・普及センター  
地域包括支援センター  
等の方はこちら

**お問い合わせ先** 公益財団法人 テクノエイド協会 企画部  
〒162-0823 東京都新宿区神楽坂1-1 セントラルプラザ4階  
TEL 03-3266-6883  
Mail monitor@techno-aids.or.jp

公益財団法人 テクノエイド協会  
The Association for Technical Aids(ATKA)

## 福祉用具・介護ロボットの 開発・実証フィールドを募集します

**背景・目的**  
日本の高齢化は世界に例を見ない速度で進行しており、高齢者の自立支援と介護者の負担軽減、さらに質の高い介護サービスを効果的に行うためには、ロボットやIT等の技術を用いた福祉用具・介護ロボット(介護ロボット等)の開発と利用が不可欠です。  
厚生労働省では「介護ロボット導入支援事業」において、介護現場への介護ロボット等の導入支援を行っているところですが、介護現場のニーズを踏まえた開発や有効性の検証等を促進するためには、介護現場と開発企業等の連携がより一層必要とされています。  
こうした背景を踏まえ、テクノエイド協会では、介護ロボット等の開発・実証フィールドを募集し、介護ロボット等の開発及び、効果の検証等をより一層促進することを目的としております。  
本事業の趣意をご理解いただき、賛同いただける介護保険の施設・居宅サービス等の関係事業者様におかれましては、ご登録いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

**介護ロボットの開発・実証フィールドとは?**  
これまでと同様ですが、福祉用具・介護ロボット実用化促進事業において、開発や上市して見られない介護ロボット等に関する意見交換やアドバイス、モニター試験に協力する意向を示していただく介護施設や事業所となります。  
また、実証フィールドとは、開発中の介護ロボットの安全性や使用効果の検証・検証等に協力する意向を示していただく介護施設等から選定させていただきます。  
どちらも個別の案件がある際に、事務局よりメールにて情報提供させていただきます。趣意には当該案件の旨をご記載いただき、協力の可否を判断していただければと思います。

**登録対象のサービス種別等**

1. 介護老人福祉施設	8. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	15. 在宅介護サービス(特設介護老人ホーム)	16. 転倒・墜落・嚥下
2. 介護老人保健施設	9. 施設等運営型認知症対応型共同生活介護	17. 通所介護施設(デイサービス)	18. シニアフィットネス
3. 介護療養型医療施設	10. 小規模多機能型居宅介護	19. 居宅介護	20. リハビリテーションセンター
4. 介護予防施設	11. 介護老人ホーム(入居型)	21. 療養型介護施設	22. 福祉用具実用サービス事業所
5. 在宅型認知症対応型老人福祉施設	12. 介護老人ホーム(サービス付き高齢者向け住宅)	23. その他	
6. 特別養護老人ホーム	13. 特別老人ホーム		
7. 小規模多機能型居宅介護	14. サービス付き高齢者向け住宅		

**関連資料**

福祉用具・介護ロボット実用化  
支援事業 専用ホームページ

福祉用具・介護ロボットの  
開発・実証フィールドの募集について  
(登録のお願い)

公益財団法人 テクノエイド協会  
The Association for Technical Aids(ATKA)

## 【介護ロボット全国フォーラムの公式パンフレット(裏面)】

### 「福祉用具・介護ロボットの 開発・実証フィールド」の募集について

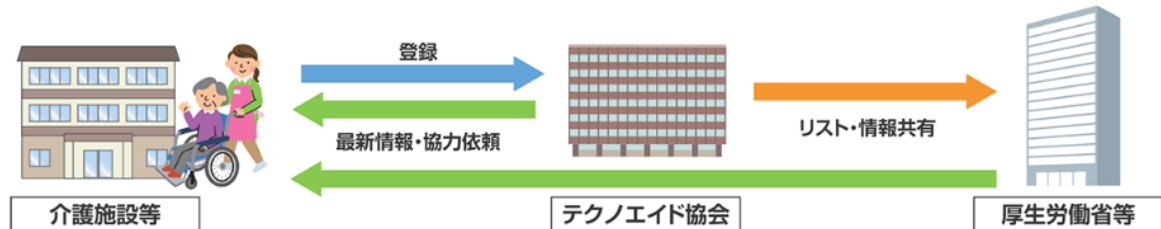
テクノエイド協会では、介護ロボット等の開発及び、実証等をより一層推進するため、ご協力いただける介護施設・居宅サービス事業所等を募集しています。

詳細はテクノエイド協会ホームページをご確認ください。  
皆様のご登録お待ちしております。

**事務局** 公益財団法人テクノエイド協会 企画部 伊東・松本・美和・五島(ごしま)  
〒162-0823 東京都新宿区神楽坂1-1 セントラルプラザ4階  
電話番号 03(3266)6883 電子メール robocare@techno-aids.or.jp

#### (4) 登録リストの活用

リスト化した情報は厚生労働省と情報共有を図り、各種事業のメール発出に利活用された。具体的には、「介護ロボット等の開発・普及・実証広報のプラットフォーム事業」や「介護ロボット等による生産性向上の取組に関する効果測定事業」等で活用した。



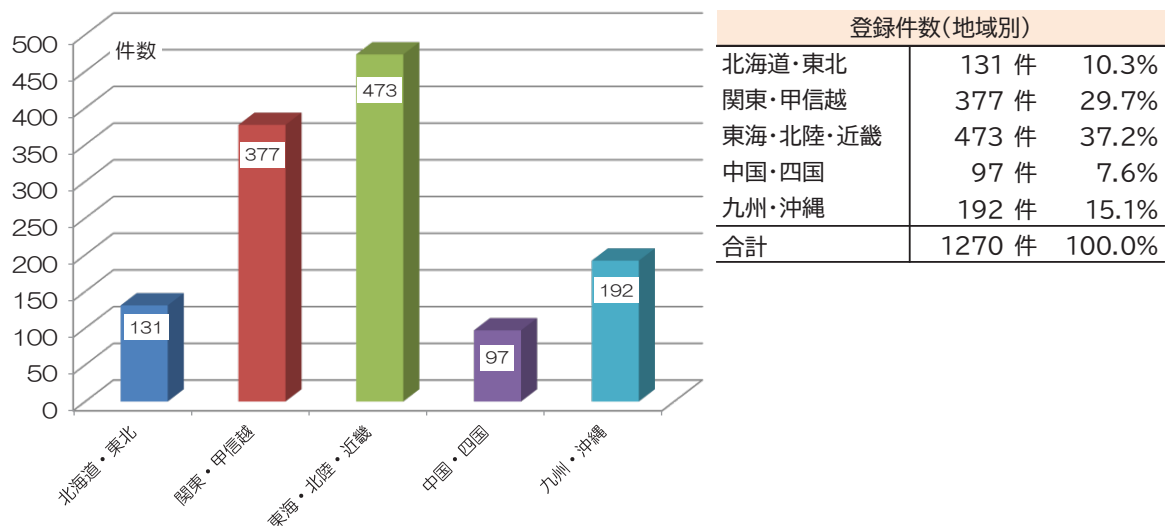
#### (5) 登録状況（令和7年2月時点）

##### 【サービス種別ごとの登録状況】

登録件数(種類別)			登録件数(種類別)		
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	333件	26.2%	福祉用具貸与サービス事業者	17件	1.3%
介護老人保健施設	152件	12.0%	サービス付き高齢者向け住宅	17件	1.3%
通所介護施設(デイサービス)	124件	9.8%	リハビリテーションセンター	16件	1.3%
有料老人ホーム	92件	7.2%	ショートステイ	14件	1.1%
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	67件	5.3%	地域包括支援センター	12件	0.9%
在宅介護サービス	49件	3.9%	介護実習・普及センター	12件	0.9%
市町村	45件	3.5%	都道府県	6件	0.5%
障害者福祉施設	39件	3.1%	軽費老人ホーム	6件	0.5%
医療機関	37件	2.9%	看護小規模多機能型居宅介護	3件	0.2%
訪問介護・看護	25件	2.0%	介護医療院	2件	0.2%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	25件	2.0%	介護療養型医療施設	1件	0.1%
特定施設入居者生活介護	24件	1.9%	養護老人ホーム	1件	0.1%
小規模多機能型居宅介護	20件	1.6%	その他	131件	10.3%
			合計	1,270件	100.0%

※上記登録状況は、テクノエイド協会のホームページから見られるようにした。

##### 【地域ごとの登録状況】



## 7. 介護ロボットの試用貸出リストの作成

### (1) 趣旨

介護ロボット開発企業等に対して試用貸出への参加を募り、同意を得ることができた企業・製品名等を掲載した「介護ロボットの試用貸出リスト」を作成することにより、介護ロボットの効果的な導入支援・利活用を推進することを目的とした。

リストへの掲載は、重点分野に該当する介護ロボットを基本とし、機器の詳細及び貸出に関する情報を掲載した。

取りまとめたリストは、厚生労働省が実施する「介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業」の相談窓口等において、開発企業と試用貸出を希望する介護施設等間の取次ぎ等で活用された。

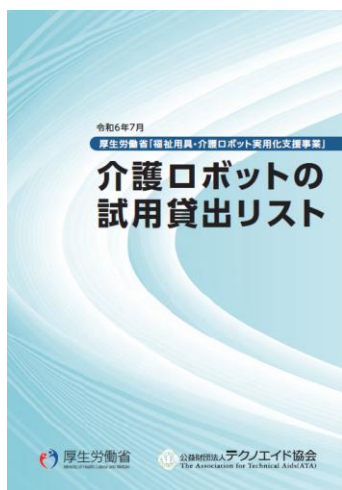
### (2) 掲載の対象

重点分野に該当する分野の介護ロボットを基本として、介護ロボットメーカー連絡会議及び介護ロボットフォーラムへの参加企業及び、厚生労働省が行う「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」や経済産業省（AMED）が行う「ロボット介護機器開発等推進事業」において開発支援を受けた機器等のうち、既に商品化している機器とした。

また、リスト掲載にあたっては、全国各地からの要望に応じる試用貸出を行うことに同意した企業の機器とした。

### (3) 掲載募集について

令和6年4月26日～5月20日まで募集を行い、掲載対象の機器に該当する82製品を掲載した。



**A-01 移乗支援**

株式会社ジェイテクト  
**介護・看護用アシストスーツ J-PAS fleairy (ジェイバスフレアリー)**

問い合わせ先 株式会社ジェイテクト  
※介護オールライフとジェイテクトは同じトヨタグループに属しております

〒450-0002 愛知県名古屋市中区名駅四丁目11番27号 シンフォニー豊田ビル12F  
TEL 052-533-5198 MAIL jteyok@aku@tai.toyota.net

所属部署 株式会社介護オールライフ 担当名称 知山知寿

**機器の概要**

動きを検知してモーターアシスト力の調整を可能とするアクティブタイプで、適切な選定する作業動作に対応し、しっかりとアシスト感を提供。フレーム構造をもち、ベルト巻き上げ式により大荷物を搬送を実現しました。介護作業における腰部の負担を大幅に軽減効果。トイレ空間等での立位保持介助では59%軽減、オムツ交換などの片腰姿勢保持で約54%軽減を実現します。IP55を取得し、浴室作業可。

機器の写真

販売開始 2021年3月 販売価格 382,800円(税込) TAISコード 02013-000002

**機器の仕様**

介護作業現場の負担軽減に特化した履きタイプのアシストスーツです。移動だけでなく、車椅子乗降時や入浴時、トイレ利用時など様々な用途に対応します。フレームレスの設計で、20kgまで重量が対応でき、軽量かつ高強度を実現しているため、介護者も、される側の両方に優しく動作しています。センサー検知で人の動作に感知し、背中や股間まで伸びたベルトをモーターで巻き上げることで、人の上半身を軽くサポートします。防水機能を備え、浴室内での入浴作業でも安心して、トイレ空間等での立位保持介助では腰部にかかる負担を59%軽減、おむつ交換などの片腰姿勢で約54%の負担軽減を実現します。

**機器の貸出**

必須環境・推奨環境

100V電源(充電用)

試用期間中のサポート  
アシストスーツをより有効にご使用いただけるよう、使用のコツをサポートします。ご購入希望の際にご相談ください。

貸出期間 1週間 貸出可能台数 1台

入浴介助もOK

製品カタログ <https://active-life.jp/jpasfleairy/catalog/>

パンフレット 使用方法等の動画 <https://www.youtube.com/channel/UCxQR8MWD9F2zuUkAN6eOHA>

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

※資料編5を参照のこと。



## 8. 介護ロボットの開発・導入に係る助成制度の調査

### (1) 開発に係る助成制度の調査

#### ①目的

介護ロボット等の開発にあたり企業が活用できる助成制度を調査し、その結果を一覧に取りまとめ、介護ロボット等の開発メーカー等へ提供するとともに、厚生労働省が行う「介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業」の相談窓口やリビングラボネットワーク、研究機関等へ情報提供することとした。

また、結果の一覧については、テクノエイド協会のホームページにも掲載した。

#### ②調査対象

- ・都道府県及び政令指定都市、中核市における産業振興担当の窓口
- ・地域において介護機器の開発に係る助成事業を行っている法人等

#### ③調査内容

介護機器の開発にあたり、企業が活用できる助成制度の内容について、以下の事項について、調査することとした。

- |        |          |               |
|--------|----------|---------------|
| ・事業の名称 | ・実施団体    | ・事業内容         |
| ・対象者   | ・範囲または条件 | ・公募期間         |
| ・予算規模  | ・実績      | ・主管課及び実施団体の窓口 |

#### ④調査結果

調査対象に対し5月と11月の計2回の調査を実施し、最終的には全国で79件の事業について収集し、都道府県別に取りまとめた。

### (2) 導入に係る助成事業の調査

#### ①目的

介護ロボット等の導入にあたり介護施設や居宅介護事業所等が活用できる助成制度を調査し、その結果を一覧に取りまとめ、介護施設や居宅介護事業所等へ提供するとともに、厚生労働省が行う「介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業」の相談窓口やリビングラボネットワーク、研究機関等へ情報提供することとした。

また、結果の一覧については、当協会のホームページにも掲載した。

#### ②調査対象

- ・都道府県及び政令指定都市における高齢福祉担当の窓口

#### ③調査内容

介護機器の導入にあたり、介護施設等が活用できる助成制度の内容について、以下の事項について、調査することとした。

- |        |          |               |
|--------|----------|---------------|
| ・事業の名称 | ・実施団体    | ・事業内容         |
| ・対象者   | ・範囲または条件 | ・公募期間         |
| ・予算規模  | ・実績      | ・主管課及び実施団体の窓口 |

#### ④調査結果

調査対象に対し5月と11月の計2回の調査を実施し、最終的には全国で68件の事業について収集し、都道府県別に取りまとめた。

##### 【開発助成】

掲載総件数	79件
-------	-----

No.	都道府県	掲載件数	No.	都道府県	掲載件数
1	北海道	4件	26	京都府	3件
2	青森県	5件	27	大阪府	1件
3	岩手県	1件	28	兵庫県	1件
4	宮城県	1件	29	奈良県	1件
5	秋田県	2件	30	和歌山県	0件
6	山形県	2件	31	鳥取県	0件
7	福島県	7件	32	島根県	3件
8	茨城県	1件	33	岡山県	1件
9	栃木県	1件	34	広島県	2件
10	群馬県	2件	35	山口県	2件
11	埼玉県	1件	36	徳島県	0件
12	千葉県	1件	37	香川県	0件
13	東京都	3件	38	愛媛県	0件
14	神奈川県	6件	39	高知県	0件
15	新潟県	1件	40	福岡県	2件
16	富山県	3件	41	佐賀県	1件
17	石川県	2件	42	長崎県	0件
18	福井県	1件	43	熊本県	0件
19	山梨県	4件	44	大分県	1件
20	長野県	1件	45	宮崎県	0件
21	岐阜県	1件	46	鹿児島県	0件
22	静岡県	4件	47	沖縄県	0件
23	愛知県	1件	48	全国	3件
24	三重県	1件			
25	滋賀県	2件			

##### 【導入助成】

掲載総件数	68件
-------	-----

No.	都道府県	掲載件数	No.	都道府県	掲載件数
1	北海道	3件	26	京都府	1件
2	青森県	1件	27	大阪府	1件
3	岩手県	1件	28	兵庫県	1件
4	宮城県	2件	29	奈良県	1件
5	秋田県	1件	30	和歌山県	2件
6	山形県	1件	31	鳥取県	1件
7	福島県	2件	32	島根県	1件
8	茨城県	2件	33	岡山県	3件
9	栃木県	2件	34	広島県	1件
10	群馬県	2件	35	山口県	1件
11	埼玉県	3件	36	徳島県	1件
12	千葉県	2件	37	香川県	1件
13	東京都	1件	38	愛媛県	1件
14	神奈川県	5件	39	高知県	2件
15	新潟県	1件	40	福岡県	4件
16	富山県	1件	41	佐賀県	1件
17	石川県	1件	42	長崎県	1件
18	福井県	1件	43	熊本県	1件
19	山梨県	1件	44	大分県	1件
20	長野県	1件	45	宮崎県	1件
21	岐阜県	1件	46	鹿児島県	1件
22	静岡県	1件	47	沖縄県	1件
23	愛知県	1件			
24	三重県	1件			
25	滋賀県	1件			

※開発、導入助成の各調査結果の詳細は資料編6を参照のこと。



## 9. 介護機器の安全利用に関する整理・報告・発信

### (1) 福祉用具に係る重大製品事故情報の周知

#### ①概要

厚生労働省では、消費者庁のホームページで公表されている「消費生活用製品の重大製品事故」のプレスリリースの中から、福祉用具に係る重大製品事故を抜粋し、各関係機関へ随時周知を行っている。

プレスリリースは、毎週火曜日と金曜日に公開されており、テクノエイド協会では公開された情報の中から福祉用具に係る重大製品事故を抽出し、毎週月曜日に厚生労働省へ報告することとしている。また、本情報については、厚生労働省から都道府県等に対し、情報提供を行っている。また、協会ホームページには最新の状況を掲載している。

#### 【主な周知先】

- ・各都道府県、指定都市、中核市
- ・一般社団法人日本福祉用具供給協会
- ・一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会
- ・一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会
- ・公益財団法人テクノエイド協会

#### ②報告様式

周知方法として、事務連絡及び以下の一覧表を付記している。

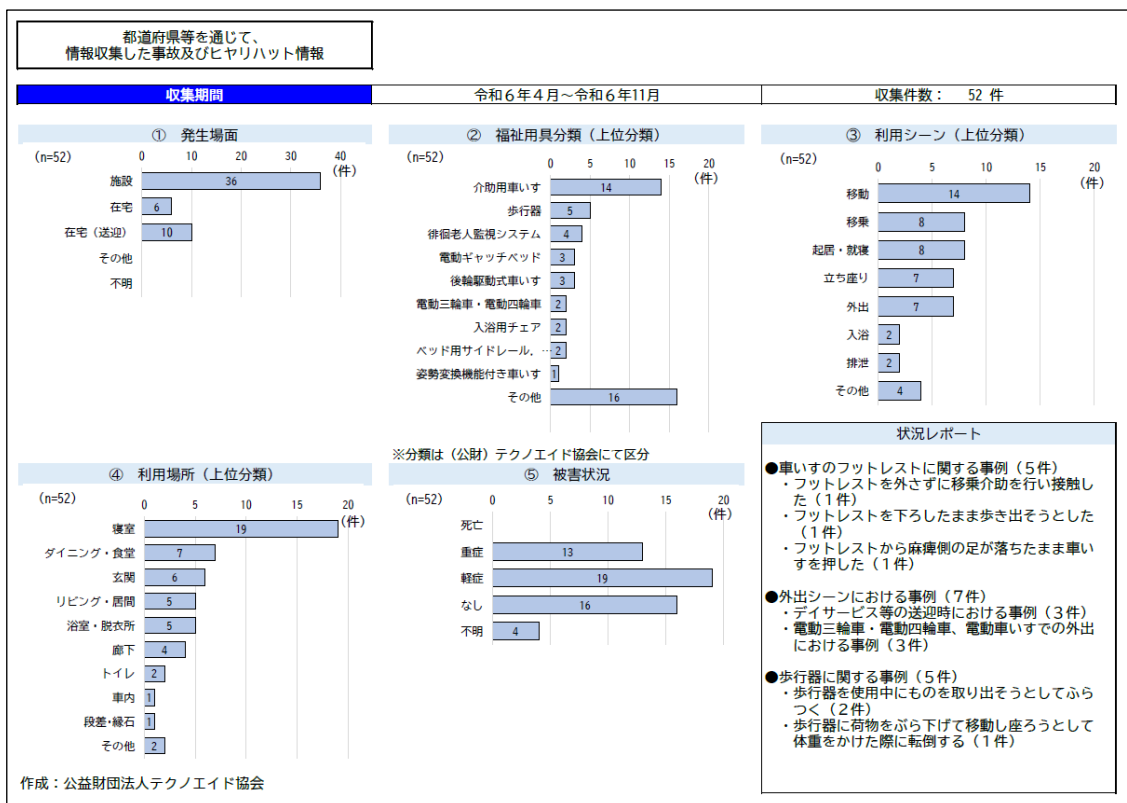
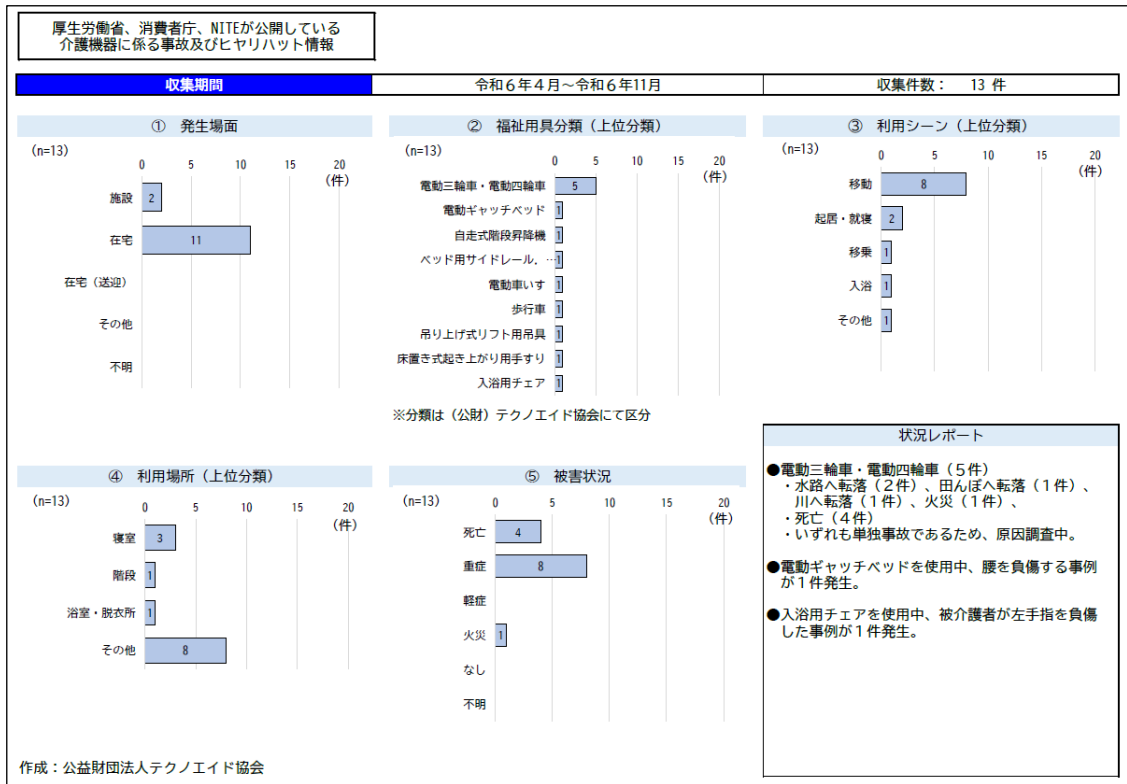
(令和6年度の状況を記載している)

情報提供日	消費者庁公表日	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生源都府県	備考
令和6年4月15日(月)	令和6年4月9日(火)	令和6年2月16日	令和6年4月3日	電動車いす(ジョイスティック形)	重傷1名	使用者(70歳代)が当該製品を使用中、歩道から外れ、転倒、負傷した。当該製品に起因するのかが、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	福岡県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和6年3月26日
	令和6年4月12日(金)	令和6年3月24日	令和6年4月8日	電動車いす(ハンドル形)	死亡1名	使用者(80歳代)が当該製品を使用中、当該製品ごととんぼに転落し、死亡した。当該製品に起因するのかが、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	宮崎県	
令和6年5月13日(月)	令和6年5月8日(水)	令和6年3月7日	令和6年4月30日	電動歩行車	重傷1名	使用者(90歳代)が当該製品を使用中、転倒し、足を負傷した。当該製品に起因するのかが、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	愛知県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和6年4月23日
令和6年5月20日(月)	令和6年5月14日(火)	令和6年4月25日	令和6年5月9日	電動車いす(ハンドル形)	死亡1名	使用者(70歳代)が当該製品で走行中、用水路へ転落し、死亡した。当該製品に起因するのかが、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	福岡県	
令和6年5月27日(月)	令和6年5月24日(金)	令和6年4月13日	令和6年5月21日	電動車いす(ハンドル形)	死亡1名	使用者(80歳代)が、当該製品とともに水路で発見され、死亡が確認された。当該製品に起因するのかが、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	愛媛県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和6年5月8日
令和6年7月29日(月)	令和6年7月26日(金)	令和6年7月9日	令和6年7月23日	電動車いす(ハンドル形)	死亡1名	使用者(90歳代)が、当該製品とともに川で発見され、死亡が確認された。当該製品に起因するのかが、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	徳島県	
令和6年8月19日(月)	令和6年8月14日(水)	令和6年6月20日	令和6年8月8日	介護ベッド用手すり	重傷1名	施設で使用者(80歳代)が負傷し、現場に当該製品があった。当該製品に起因するのかが、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和6年6月25日 介護ベッド用手すりについての注意喚起を実施(特記事項を参照)
令和6年8月5日(月)	令和6年7月30日(火)	令和6年7月17日	令和6年7月26日	電動車いす(ハンドル形)	火災	施設で当該製品を使用し、当該製品を焼損する火災が発生していた。当該製品に起因するのかが、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	大阪府	
令和6年9月17日(火)	令和6年9月13日(金)	令和6年8月20日	令和6年9月9日	介護ベッド	重傷1名	当該製品を使用中、腰を負傷した。当該製品に起因するのかが、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	福岡県	
令和6年9月24日(火)	令和6年9月20日(金)	令和6年9月2日	令和6年10月5日	椅子(入浴介護用)	重傷1名	施設で当該製品を使用し、被介護者(80代)が当該製品の座面をつかんだ状態で、介護者が左手を持ち上げたところ、被介護者が左手指を負傷した。 調査の結果、当該製品の座面下の金属フレームと本体座面部分との間に指が入る隙間があったため、被介護者の指が隙間に入った状態で介護者がそれに気付かず被介護者の腕を引上げたことで、手指が挟まれて負傷したものと推定される。	佐賀県	令和6年10月11日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であったため、製品起因か否かが特定できていない事故として公表しているもの
令和6年11月11日(月)	令和6年11月8日(金)	令和6年2月14日	令和6年3月18日	階段移動用リフトS	重傷1名	当該製品を使用中、搭乗者(80歳代)が転落し、負傷した。調査の結果、当該製品は、駆動スイッチに起動条件がなく、より動作時に駆動輪が階段の先端に着地した場合、機体が起き上がり、また、前方転倒を抑制する機能が不備であったため、当該製品の使用中にバランスを崩して事故に至ったものと推定される。	愛知県	令和6年3月22日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であったため、製品起因か否かが特定できていない事故として公表しているもの
	令和6年11月9日(金)	令和6年9月22日	令和6年11月5日	手すり(床置き式)	重傷1名	使用者(80歳代)が当該製品に接触し、右足を負傷した。当該製品に起因するのかが、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	広島県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和6年10月28日
令和6年12月16日(月)	令和6年12月13日(金)	令和6年6月3日	令和6年12月11日	介護リフト	重傷1名	施設で当該製品を使用し、搭乗者(80歳代)をベッドから車いすに移乗していたところ、当該製品から転落し、負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	大阪府	事業者が重大製品事故として認識したのは令和6年10月29日報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対して厳重注意
	令和6年12月10日(火)	令和6年11月23日	令和6年12月5日	介護ベッド	死亡1名	使用者(80歳代)が当該製品のサイドフレームと脚フレームの間に挟まった状態で発見され、死亡が確認された。当該製品に起因するのかが、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	静岡県	
令和6年12月23日(月)	令和6年12月17日(火)	令和6年9月16日	令和6年12月12日	電動車いす(ジョイスティック形)	重傷1名	当該製品を使用中、タイヤのゴムがリムから外れ、転倒、負傷した。当該製品に起因するのかが、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和6年12月10日
令和7年1月27日(月)	令和7年1月24日(金)	令和7年1月10日	令和7年1月21日	手すり(床置き式)	重傷1名	当該製品を使用中、当該製品が破損し、転倒、足を負傷した。当該製品に起因するのかが、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	三重県	
令和7年1月6日(月)	令和6年12月27日(金)	令和6年12月14日	令和6年12月24日	電動車いす(ハンドル形)	死亡1名	使用者(70歳代)が当該製品を使用中、当該製品ごと水路に転落し、死亡した。当該製品に起因するのかが、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	
令和7年2月17日(月)	令和7年2月12日(水)	令和7年1月24日	令和7年2月7日	電動車いす(ハンドル形)	死亡1名	使用者(80歳代)が、当該製品とともに水路で発見され、病院へ搬送後、死亡が確認された。当該製品に起因するのかが、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	愛媛県	

※本報告書では、機種・型式、事業者名を非表示としている。

### ③最新事故情報

消費者庁やNITEが公表する最新の事故情報と都道府県等から情報提供された件数や特徴を「最近の傾向」としてテクノイド協会のホームページで定期的に情報提供し、注意喚起することとした。



<https://www.techno-aids.or.jp/hiyari/accident.html>

## (2) 介護機器の安全利用に関する整理・報告・発信について

### ①背景・目的

高齢者の自立を支援し、介護者の負担を軽減する「福祉用具・介護ロボット（以下「介護機器」）」は、高齢者の心身機能の維持・向上、さらには活動や参加を促すものとして、重要な役割を果たすものである。

一方、こうした介護機器を安全・快適に使用するためには、高齢者の身体的及び精神的な状態は勿論のこと、使用する場面や環境など、利用者の置かれている状態に合致した機器を選定し、利用することが求められる。

近年、在宅・施設を問わず、介護機器を使用する機会は増加しており、令和3年度の介護報酬改定に関する審議報告では、「福祉用具の事故等に関して、再発防止の観点から、市町村等においてどのような内容の情報が収集されているか実態把握を行うとともに、関係省庁及び関係団体が連携しつつ、事故が起きる原因等の分析や情報提供の方法等について、今後、更なる効果的な取組を検討すべき。」となされた。

こうした背景を踏まえ、本事業では、介護機器の使用に際しての安全性等の確保をより一層推進するため、福祉用具に係る重大製品事故情報の把握及び周知を行うほか、事故やヒヤリハットの情報収集を行うこととした。また収集した情報を効果的に活用するための検討委員会を設置し、必要な整理を行うとともに、事故やヒヤリハット情報について、関係機関等への発信を行った。

### ②対象範囲

本事業において、取り扱う介護機器の範囲は、以下のとおりとした。

- 介護保険において福祉用具貸与・特定福祉用具販売の対象となっている福祉用具
- ロボット介護機器の開発重点分野（平成29年10月）に該当する介護ロボットとし、かつ実用的に使用されているもの
- その他、在宅及び施設・事業所等において、使用される福祉用具等（高齢者の日常生活の便宜を図るための用具及び、介護を行う者の負担の軽減を図る用具）

### ③事業内容

- a) 介護機器の安全利用に関する検討委員会等の設置・開催
- b) 事故及びヒヤリハット情報の収集
- c) 要因の分析及び事例の作成
- d) 事故及びヒヤリハット情報の提供
- e) 福祉用具に係る重大製品事故情報の周知

### ④検討委員会の設置

福祉用具等に関する有識者及び実務者、関係事業者団体等からなる検討委員会を設置し、事故及びヒヤリハット情報の収集ならびに有効活用の仕組みの検討を行った。

また、収集した情報の精査、検討事例の抽出、要因分析及び加工事例の作成は、事例検討部会を設置して行った。

介護機器の安全利用に関する検討委員会 委員名簿

○検討委員会

(五十音順・敬称略)

氏名	所属
◎ 伊藤 勝規	とちぎノーマライゼーション研究会
後藤 憲治	日本福祉用具供給協会
七種 秀樹	日本介護支援専門員協会
酒井 健一	製品評価技術基盤機構製品安全センター情報解析企画課 (NITE)
清水 壮一	日本福祉用具・生活支援用具協会 (JASPA)
山田 一久	全国老人福祉施設協議会
東島 弘子	国際医療福祉大学大学院 (福祉支援工学分野)
前田 雅晴	全国老人保健施設協会
松下 能万	日本介護福祉士会
肥後 一也	全国福祉用具専門相談員協会

◎委員長

○事例検討部会

(五十音順・敬称略)

氏名	所属
◎ 石川 哲也	株式会社仁済
伊藤 勝規	とちぎノーマライゼーション研究会
鈴木 健太	社会福祉法人友愛十字会
堤 道成	有限会社サテライト
堀家 京子	武蔵野市福祉公社

◎委員長

○オブザーバー

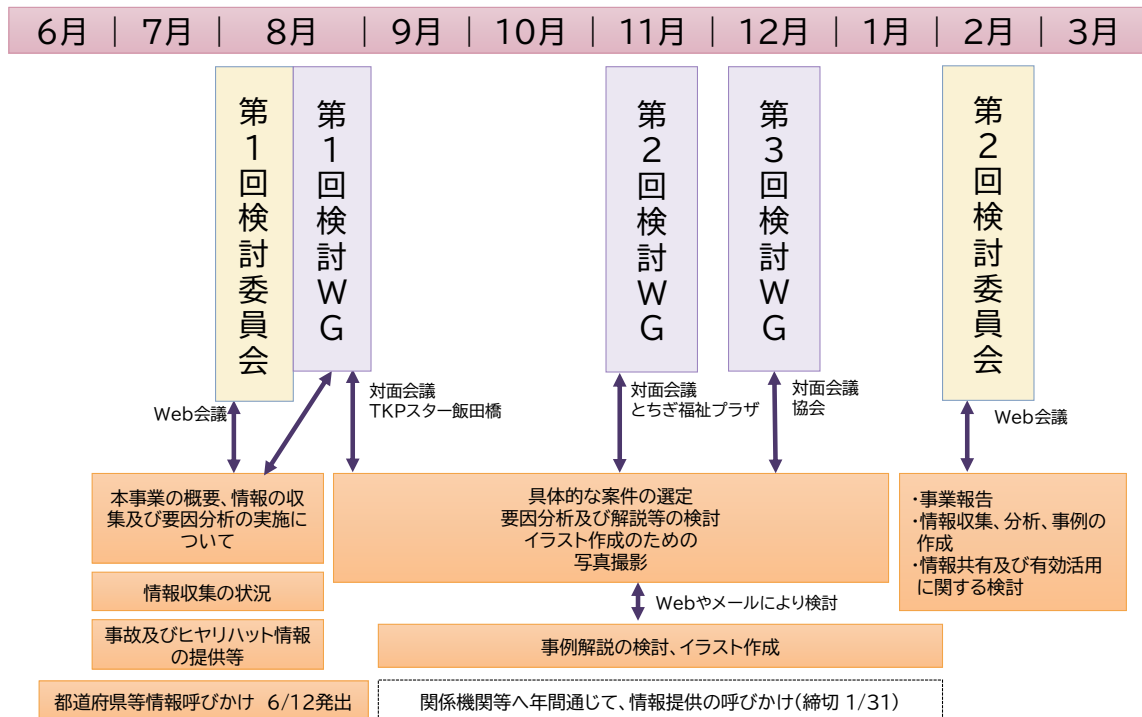
(敬称略)

氏名	所属
三浦 範大	製品評価技術基盤機構製品安全センター製品安全支援課 (NITE)
稲垣 利彦	消費者庁消費者安全課
川本佐以子	経済産業省産業保安グループ製品安全課
出戸 浩朗	経済産業省商務・サービスグループ医療・福祉機器産業室
内田 正剛	厚生労働省老健局高齢者支援課 福祉用具・住宅改修係
兼子 雄	厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室

⑤ 検討委員会の実施結果

事業は以下の流れで実施した。

検討委員会・検討WG等 事業の流れ



a) 第1回 検討委員会

○日時 令和6年8月2日（金）10:00～11:30

○場所 テクノエイド協会・会議室（オンライン開催）

- 内容
- ・本事業の概要と概要図
  - ・情報の収集及び要因分析等の実施について
  - ・情報収集の状況
  - ・事故及びヒヤリハット情報等の提供について
  - ・情報共有及び有効活用に関する検討について

b) 第1回 事例検討部会

○日時 令和6年8月23日（金）14:00～16:00

○場所 TKPスター貸会議室飯田橋（対面開催）

- 内容
- ・本事業の概要と概要図
  - ・情報の収集及び要因分析等の実施について
  - ・情報収集の状況
  - ・事故及びヒヤリハット情報等の提供について
  - ・情報共有及び有効活用に関する検討について
  - ・要因分析及び加工する事例の選定について



### c) 第2回 事例検討部会

○日時 令和6年11月8日(金) 9:00~15:00

○場所 とちぎ福祉プラザ モデルルーム (対面開催)

- 内容
- ・情報収集の状況及び本年度の事例作成等について
  - ・要因分析及び加工事例を作成する案件について
  - ・写真撮影及びイラストに込めるポイントの確認
  - ・メーカーヒヤリングの内容報告

#### 【具体的な実施方法】

- ✓ 伊藤委員長に協力を得て、とちぎ福祉プラザ モデルルームで実施
- ✓ 事例イラストに必要な福祉用具等のデモ機を用意
- ✓ 写真撮影の前に、想定される要因の検討、事例及びイラストイメージの共有
- ✓ 委員が自ら介助者、被介助者のモデルとなり、写真を撮影

#### 【第2回事例検討部会の様子】



### d) 第3回 事例検討部会

○日時 令和6年12月26日(木) 14:00~17:00

○場所 テクノエイド協会・会議室 (対面開催)

- 内容
- ・情報収集の状況及び事例の作成について
  - ・収集事例の概要について (速報版)
  - ・新規事例及び文言等を見直す事例に関する検討
  - ・情報共有及び有効活用に関する検討について

e) 第2回 検討委員会

○日時 令和7年2月25日(火) 10:00~11:30

○場所 テクノエイド協会・会議室(オンライン開催)

- 内容
- ・本事業の概要
  - ・新規収集及び要因分析、事例の作成について
  - ・新たに作成したヒヤリハット事例について
  - ・情報共有及び有効活用に関する検討について

⑥事故及びヒヤリハット情報の収集

介護機器の利用に伴う事故を未然に防止するため、高齢者福祉の現場において、発生又は、発生が見込まれる介護機器にかかわる「事故及びヒヤリハット情報」を収集した。

a) 公開されている情報からの情報収集

消費者庁及び独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)において、公開されている事故情報等の収集を行った。

情報源	データベース・報告	備考	件数
消費者庁 → 厚労省から関係機関等へ事務連絡されたもの	消費者庁が公表している消費生活用製品の重大製品事故をもとに、厚生労働省が作成している「福祉用具に係わる重大製品事故」情報	令和3年3月5日から事務連絡されたもの	71件
NITE	・事故情報収集結果及び最新事故情報のうち介護機器に該当するもの	事故発生日が令和3年11月からのもの NITE SAFE-Liteにおいて公表されている事故原因等を参考に事例を検討している	2件
合計			73件

※) この集計は、R5-1-001以降のものである。

b) 都道府県及び市町村、介護保険サービスを行う介護施設・事業所等からの情報収集

国が示している事故報告書標準様式の送付、テクノエイド協会において作成した情報提供シート(エクセルの送付又はホームページの入力フォーム)により情報収集を行った。

情報源	区分	機関数	件数
事故報告書標準様式	市町村	25機関	223件
情報提供シート	介護事業所	132機関	182件
合計		157機関	405件

※) この集計は、R5-2-001以降のものである。



⑦要因分析及び事例作成について

当協会では、既に412の事例を作成し情報提供しているところであり、基本、これまでに無い「事故及びヒヤリハット情報」の要因分析及び事例作成を行った。

また、今回取得した情報をもとに、これまでに作成した事例についても、必要に応じて加筆・修正等を行った。

一方、情報収集したもののうち、①事故の原因があきらかに製品に起因するもの（製品の整備不良や経年変化等によるものを除く）及び、②一般用浴室椅子等、汎用製品、③事故内容の説明が、「母が介護ベッドから転落し骨折して入院した。」「勤務しているグループホームで高齢者が車いすから転落。」等、状況が具体的にイメージできないものについては、昨年と同様、検討から除外した。

本年度の事例作成にあたり、検討対象数が一定数あることから、昨今の高齢者介護の現状等を踏まえ、以下に該当する案件から優先的に検討を行った。

（優先的に検討するカテゴリ）

- 消費者庁が公表している消費生活用製品の重大製品事故をもとに、厚生労働省が作成している「福祉用具に係る重大製品事故」
- 死亡・重症事故をまねくおそれのあるもの
- 在宅の独居高齢者、老々介護
- 認知症高齢者にかかわるもの
- 介護施設やデイサービスの場面（例えば、送迎車や特殊入浴浴槽、リフト）のもの

以上のことを踏まえ、本年度は以下のとおり要因分析及び事例作成等を行った。

令和6年度 要因分析及び事例作成等

情報源	件数
(1) 公開されている情報からの情報収集	1件
(2) 都道府県及び市町村、介護保険サービスを行う介護施設・事業所等からの情報収集	8件
(3) 既存事例等の見直し（※） ※文言の修正等、軽微なものを含む	2件
合計	11件

〔備考〕

(1) (2) については、令和6年7月20日時点の情報をもとに検討した。

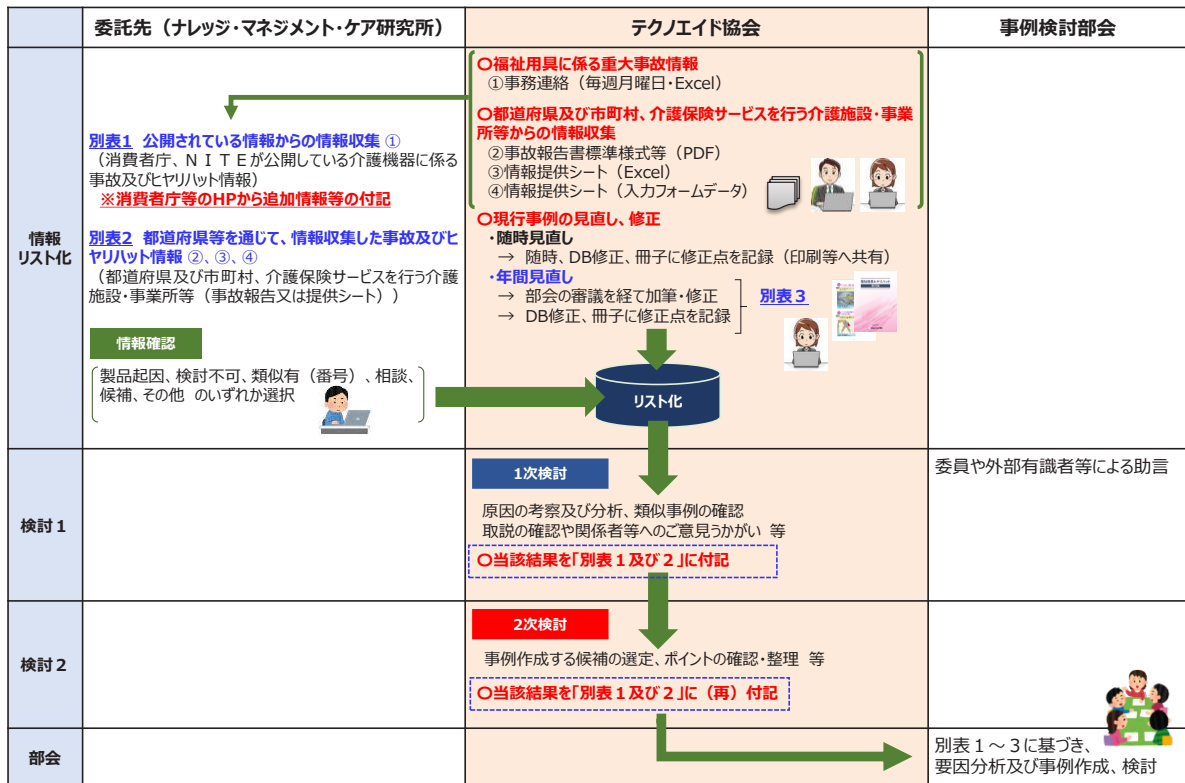
なお、本年度の事故及びヒヤリハットの事例収集については、令和7年1月31日まで行ったが、今回の検討対象から外れた情報については、協会にて以下の区分で整理しておくこととし、次回以降の検討に備えることとした。

(情報収集したものの区分)

- |           |        |
|-----------|--------|
| ・ 製品起因    | ・ 検討不可 |
| ・ 類似有（番号） | ・ 相談   |
| ・ 候補      | ・ その他  |

のいずれかを選択して情報整理

## 情報収集（リスト化）から事例検討・作成の流れ



### ⑧情報の発信方法について

#### a) インターネットによる情報提供

当協会のホームページにて、これまで情報提供していた事例（412事例）に、本年度新たに9事例（新規9事例、見直し2事例）を加えて、広く情報提供することとした。

また、リンク集では、消費者庁の情報をもとに厚生労働省から事務連絡される「福祉用具に係る重大製品事故について」の情報提供を行うとともに、消費者庁や経済産業省、製品評価技術基盤機構等、関連団体等において公表される福祉用具に関する各種の情報を提供することとした。

#### （本年度の新たに工夫、改良した点）

- ・消費者庁等が公表する最新の（福祉用具にかかわる）事故情報へのアクセスを円滑化するための方策を講じることとした。
- ・合わせて、事故の発生場所や利用シーン、被害状況が概観できるようにした。
- ・ヒヤリハット事例を研修教材として活用できるよう、新たなページを設けた。
- ・福祉用具の分類コードについて、最大3つの付与を可能とし検索・閲覧のしやすさを向上することとした。

## 【ホームページのデザイン】

福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報

Information on accidents and near-misses of welfare equipment

ホーム > 福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報

厚生労働省  
独立行政法人  
厚生労働省

### 福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報

この「福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報」は、福祉用具及び介護テクノロジーの利用にかかわる「事故及びヒヤリハット情報」を収集し、その要因分析及び対策を行い、介護現場で起こる可能性のある事故や怪我等を未然に防止することを目的としたものです。



Case:324 リフトのハンガーのフックにきちんと繋がったはずのスリングシートベルトが外れ、転落しそうになる

Case:138 足が滑ってバランスを崩し、転落しそうになる

Case:388 可動型階段昇降機（リフトアップ式）を操作中、本人の姿勢を変えようと手を伸ばしたら、昇降機の前方に倒れた

↓ 最新事故 ↓

最新事故情報 | 事例検索 | 事例集 | 情報提供のお願い | 情報の取り扱い | リンク集 | 研修教材 | お知らせ

事例を探す

フリーワード | 詳しい 詳細 | 検索 | 全件表示

2月20日時点 412件

利用シーンから探す

認知・支援 | 移動 | 立ち上がり | 移動

主な利用場所から探す

家庭 | リビング・居間 | ダイニング・食卓 | トイレ

福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報

Information on accidents and near-misses of welfare equipment

ホーム > 福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報 > 検索結果

最新事故情報 | 事例検索 | 事例集 | 情報提供のお願い | 情報の取り扱い | リンク集 | 研修教材 | お知らせ

### 検索結果一覧

厚生労働省  
独立行政法人  
厚生労働省

フリーワード | 詳しい 詳細 | 検索 | 全件表示

2月20日時点 412件

412件の結果があります

1 | 2 | 3 | 4 | >

Case 1  
下に落ちたモノを拾おうとして、前方へ転倒しそうになる

事例集の概要 | 情報コード (CCTAGS) | 122106 (後継型動式用です) | 詳細へ

Case 2  
フットサポートを踏んだ状態で立ち上がり、滑いすべり転倒しそうになる

事例集の概要 | 情報コード (CCTAGS) | 122106 (後継型動式用です) | 詳細へ

Case 3  
わずかな段差を上ろうとして、前方へ転倒しそうになる

事例集の概要 | 情報コード (CCTAGS) | 122106 (後継型動式用です) | 詳細へ

Case 4  
車いすを動かす時に、手摺を挟みそうになる

事例集の概要 | 情報コード (CCTAGS) | 122103 (合衆用です) | 詳細へ

Case 5  
フットサポートが急に倒れ、身体がとたえ、前方へ転倒しそうになる

事例集の概要 | 情報コード (CCTAGS) | 122106 (後継型動式用です) | 詳細へ

## 【リンク集（福祉用具の安全な利用の推進、関係団体等をリンクして紹介）】

事例検索 | 事例集 | 情報提供のお願い | 情報の取り扱い | **リンク集** | お知らせ

### リンク集

- 厚生労働省
- 独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE)
- 一般社団法人日本福祉用具協会
- 医療・介護ベッド安全協会
- 消費者庁
- 公益社団法人テクノアイド協会
- 電機業界安全協会
- ASPA介護リフト普及協会
- 経済産業省
- 一般社団法人日本福祉用具生産者協会 (JASPA)
- 株式会社工業総合研究所
- 一般財団法人JASPEC

厚生労働省のHP

介護保険給付等における事例の報告形式等について (介護保険給付情報vol.943)

(令和3年3月19日発表)019第1号は厚生労働省を補助機関者支援課長はか署名通知

福祉用具の重大製品事故報告に係る情報提供について (厚生労働省)

消費者庁のHP ※福祉用具以外も含む。

消費者安全 - 消費者の生命・身体の安全の確保に関する取り組み -

消費者安全法の重大事故等に関する公表情報 (毎月) (年間)

消費者安全法に基づき、製品情報から製品情報(一元的・集約的)の分析、原因の調査を行い、被害の発生、防止策を促している。

経済産業省のHP ※福祉用具以外も含む。

高齢者の製品事故について

独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) の事故情報収集制度について

独立行政法人製品評価技術基盤機構のHP (NITE) ※福祉用具以外も含む。

事故情報収集制度の概要

製品事故情報・リコール情報 ※

NITEでは、1996年頃から収集した事故について、データベースをホームページで公開している。

事故情報データベース

「車いす」などのキーワードにより該当案件の抽出が可能。製品に起因する事故については、事業者名や型式についても公表している。

SAFE-Lite (セーフ・ライト)

スマートフォンやパソコンから簡単に無料で利用できる製品事故に特化したWeb検索ツール。日ごろ使用している感覚的な言葉から事故情報を検索することができ、製品事故リスクへの気づきに活用できる。

<https://www.nite.go.jp/data/000135187.pdf>

<https://www.nite.go.jp/data/000141434.pdf>

プレスリリース

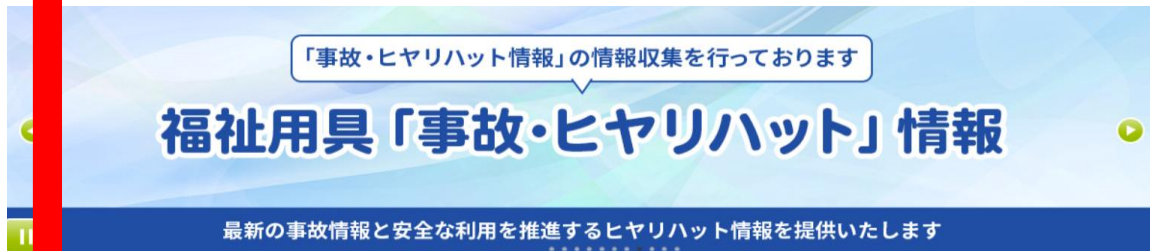
製品事故発生から消費者の安全確保まで (製品評価技術基盤機構) を取り巻く、製品評価技術基盤機構 (NITE) の取り組みについて

## 【トップページに2種類のバナーを配置】

### ○最新事故情報の検索



### ○ヒヤリハット事例の検索



## 【最新事故情報の新設・アクセスの円滑化】

最新事故情報

事例検索 事例集 情報提供のお願い 情報の取り扱い リンク集 研修教材 お知らせ

### 最新事故情報

厚生労働省老健局 委託事業  厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

この「最新事故情報」は、消費者庁やNITEが公表する最新の事故情報と都道府県等から情報提供された件数や特徴を「最近の傾向」として定期的に情報提供し、注意喚起するものです。

厚生労働省、消費者庁、NITEが公開している  
介護機器に係る事故及びヒヤリハット情報

都道府県等を通じて、  
情報収集した事故及びヒヤリハット情報

#### 1. 最新事故情報の検索

厚生労働省

[福祉用具に係る重大製品事故について（令和7年2月17日現在）（PDF：287KB）](#)  
[福祉用具の重大製品事故報告に係る情報提供について（令和3年3月5日付 厚生労働省 事務連絡）（PDF：105KB）](#)

**事故情報データベースシステム**  
消費者庁

生命・身体被害に関する「消費生活上の事故情報」を公開。



**SAFE-Lite（セーフ・ライト）**  
独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）

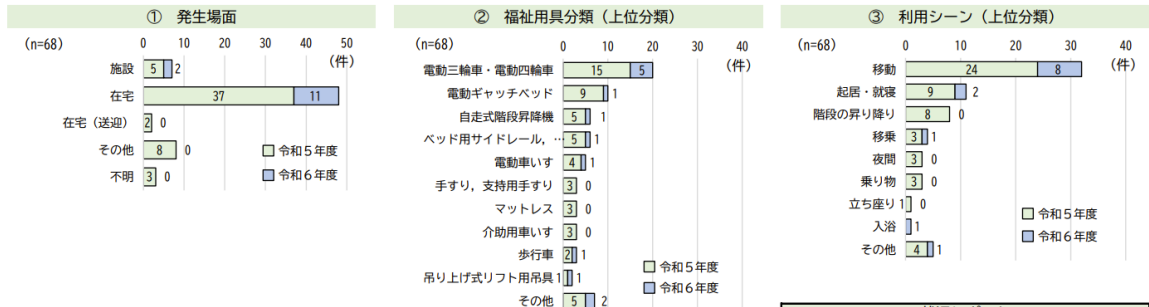
製品事故に特化したWeb検索ツール。感覚的な言葉から事故情報を検索、製品事故リスクへの気づきに活用。



# 【最近の動向について概観できるような工夫】

厚生労働省、消費者庁、NITEが公開している  
介護機器に係る事故及びヒヤリハット情報

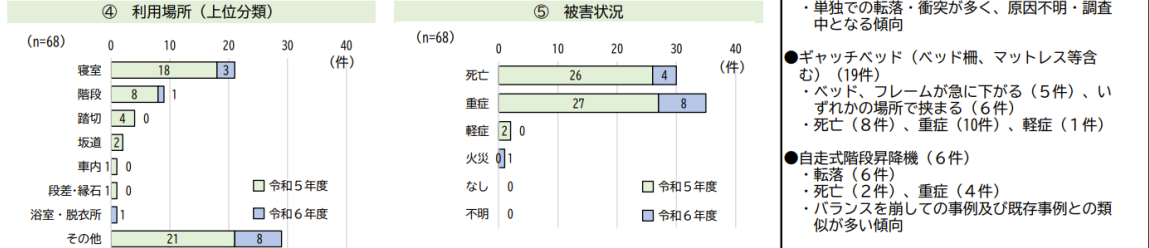
これまでの累計	令和5年4月～令和6年11月	収集件数： 68 件
---------	----------------	------------



※分類は(公財)テクノイド協会にて区分  
※介助用車いすの中には、自走用車いすを介護で使用している場合も含む

**状況レポート**

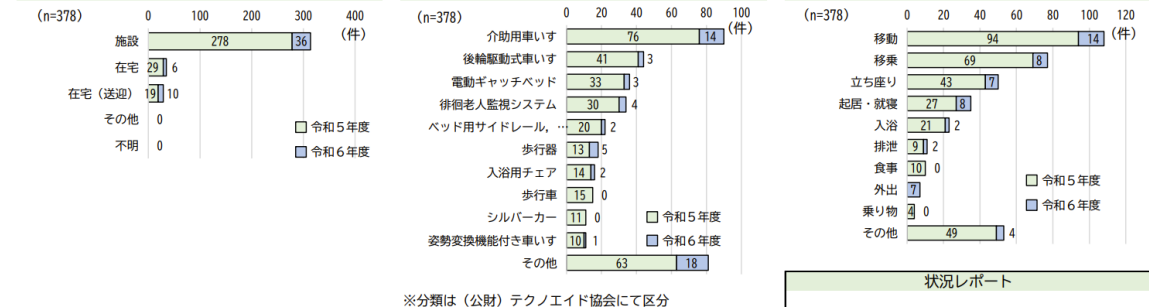
- 電動三輪車・電動四輪車 (20件)
  - ・道路等での転落・衝突 (16件)、踏切内 (4件)
  - ・死亡 (15件)、重症 (4件)
  - ・単独での転落・衝突が多く、原因不明・調査中となる傾向
- ギャッチベッド (ベッド柵、マットレス等含む) (19件)
  - ・ベッド、フレームが急に下がる (5件)、いずれかの場所で挟まる (6件)
  - ・死亡 (8件)、重症 (10件)、軽症 (1件)
- 自走式階段昇降機 (6件)
  - ・転落 (6件)
  - ・死亡 (2件)、重症 (4件)
  - ・バランスを崩しての事例及び既存事例との類似が多い傾向



作成：公益財団法人テクノイド協会

都道府県等を通じて、  
情報収集した事故及びヒヤリハット情報

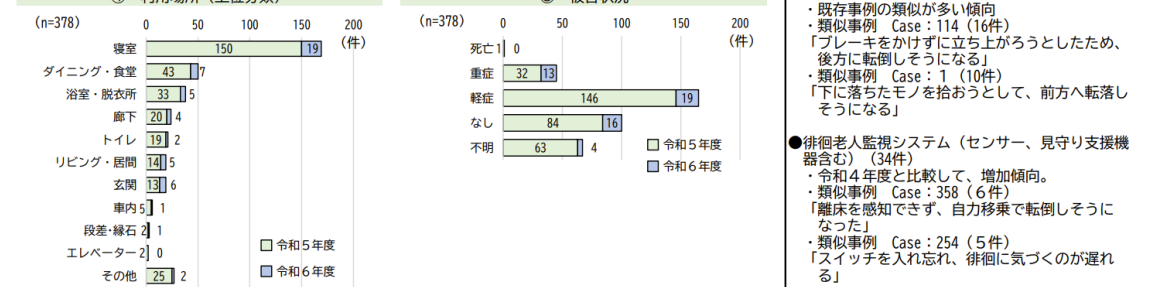
これまでの累計	令和5年4月～令和6年11月	収集件数： 378 件
---------	----------------	-------------



※分類は(公財)テクノイド協会にて区分

**状況レポート**

- 車いす(後輪駆動式含む) (134件)
  - ・既存事例の類似が多い傾向
  - ・類似事例 Case: 114 (16件)
  - 「ブレーキをかけずに立ち上がろうとしたため、後方に転倒しそうになる」
  - ・類似事例 Case: 1 (10件)
  - 「下に落ちたモノを拾おうとして、前方へ転落しそうになる」
- 徘徊老人監視システム(センサー、見守り支援機器含む) (34件)
  - ・令和4年度と比較して、増加傾向。
  - ・類似事例 Case: 358 (6件)
  - 「離床を感知できず、自力移乗で転倒しそうになった」
  - ・類似事例 Case: 254 (5件)
  - 「スイッチを入れ忘れ、徘徊に気づくのが遅れる」



作成：公益財団法人テクノイド協会



## b) 研修素材の提供


介護・福祉教育等の養成校や介護教室において、福祉用具の使い方・選び方の教育が行われる際、利用できる研修素材を提供（ダウンロード可）することとした。


### 福祉用具ヒヤリハット 研修教材（講師用）

Case : 333  
ひざ掛けがキャスターに絡まり、前方に転落しそうになる

**場面の説明**

ひざ掛けがキャスターに絡んで車いすが急停止。利用者が前方へ飛ばされるように転落しそうになった。



利用シーン	移動
主な利用場所	廊下
介護保険の種目	車いす
分類コード (OCTABS)	122103 (介動用車いす)
介護ロボット	—
二次元バーコード	

**解説**

寒い季節や病気・障害で体温調節がうまくできない人が、ひざ掛け等で防寒対策をする場面はよくあります。介護者も利用者もひざ掛けがずり落ちていることに気が付かなかったために生じてしまいました。また、マフラーが大車輪に絡まるといった事例もあります。キャスターや大車輪に絡まないような予測的な対応が大切です。

**参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）**

人：介護者も利用者も、ひざ掛けが絡まる事を予測していなかった  
 人：防寒対策が不十分だった  
 モノ：ひざ掛けの固定が不十分だった  
 管理：キャスターに絡まる危険性を指導されていなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会 Copyright 2000-2023 Association for Technical Aids, Inc. All rights reserved.


### 福祉用具ヒヤリハット 研修教材（受講者用）

日付： \_\_\_\_\_ 所属： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_

Case : 333  
ひざ掛けがキャスターに絡まり、前方に転落しそうになる

**場面の説明**

ひざ掛けがキャスターに絡んで車いすが急停止。利用者が前方へ飛ばされるように転落しそうになった。



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会 Copyright 2000-2023 Association for Technical Aids, Inc. All rights reserved.

## c) ヒヤリハットの重要性に関する周知

### ヒヤリハットとは

■ 福祉用具を安全に利用するためのハンドブック（テクノエイド協会）から掲載  
<https://www.techno-aids.or.jp/qap/info/20180726090527.pdf>

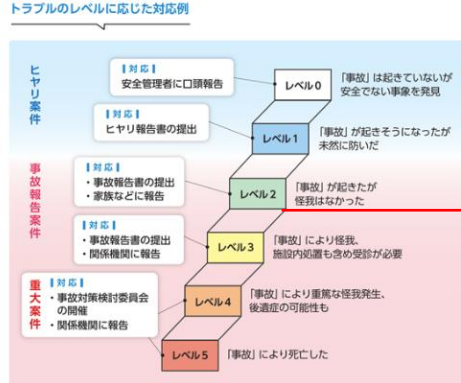


**スノーボールモデル**

「トラブル」は、雪山を転げ落ちる雪玉（スノーボール）のように 拡大しつづけます。できるだけ問題が小さなおうちに 対応しましょう。もし大問題になっても、更に大きくなる前に、隠べいや取り 繕いや先送りすることなく、気づいた時に 対応を立てましょう。

できるだけ小さなおうちに 対応を。仮に大問題になっても、その時点で 対応しましょう。

#### トラブルのレベルに応じた対応例

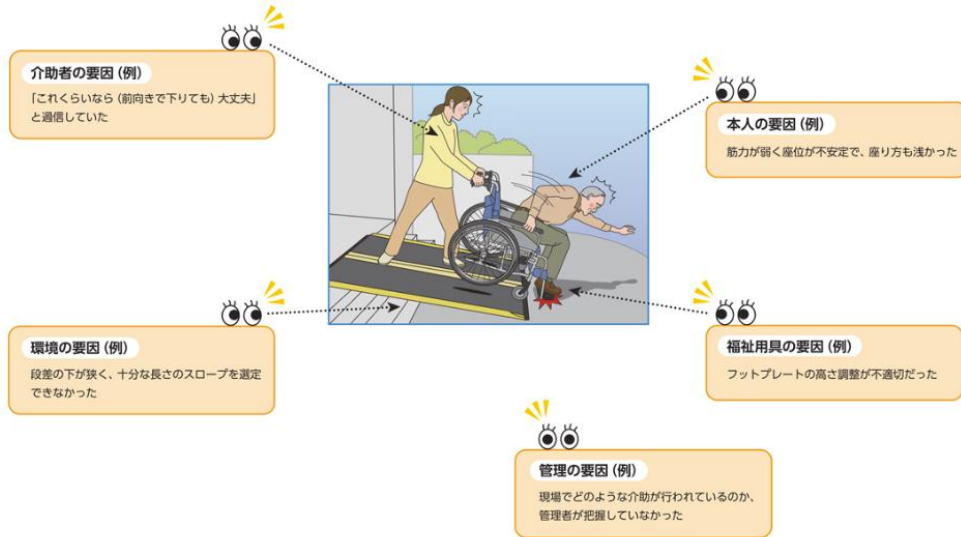


「ヒヤリハットの延長線上に事故はある」という概念を整理した取り組み例です。「レベル0」では、「車いすのブレーキの効きが悪くなっている」「○○さんの家の玄関マットが滑りやすい」といった、これからヒヤリハットになりそうな事象の情報です。「ヒヤリハット」と「事故」の明確な線引きはなく、このような階層ごとの考え方を参考に 対応を決めておいてはいかがでしょうか。

○想定される要因の事例紹介



事故は様々な要因が相互に作用しあって起こります。  
複数の視点で、要因と対策を考えていくことが大切です。

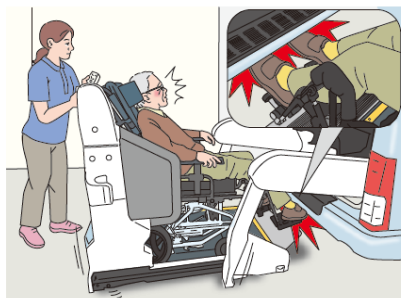


d) 冊子による情報提供 (電子書籍版)

本年度新たに作成した事例を掲載した事例集を作成することとし、当協会のホームページ等に掲載し、ダウンロードして広く活用できることとした。

**No. 8 全長の長いリクライニング車いすで車両との間に足を挟みそうになった**

**現場の説明**  
リクライニング車いすのフットサポートを上げたままリフトを上昇させたところ、車両後端部に足先を挟み込みそうになった



**利用シーン** 乗り物  
CCTA95 121218

**解説**  
膝が曲がりにくい本人の身体状況、車いすの形状、リフトの大きさや昇降時の固定装置の有無などさまざまな条件が関係しますが、結果として重大な事故につながりかねない事象です。リクライニング車いすは全長が長くなるのでリフトを利用する時には可能な限りフットサポートは降ろし、操作中は常に目視確認するなど注意が必要です。リフトに車いすの固定装置がある場合には固定してから昇降操作を行うと危険の回避にもつながります。

**参考要因**

- 人 足先が車両後端部まで出ているとは思わなかった
- 人 車いすの全長が長くリフトの前寄りに車いすを乗せるとバックドアを開けるときに都合が良いと考えた
- モノ 車両後端部との挟み込みに対して安全装置が働いていなかった
- 管理 膝が曲がりにくい利用者を想定したリフト操作の注意点を考えていなかった

**No. 9 腋下に入れたパッドの挿入が不十分で外れ、転倒しそうになった**

**現場の説明**  
ベッドからの立ち上がりを介助する際、スタンディングリフトの腋下パッドの挿入が不十分だったため外れ、後方にバランスを崩した



**利用シーン** 起居・就寝/移乗  
CCTA95 123606

**解説**  
腋下にパッドを挿入する構造のスタンディングリフトでは、腋下パッドを十分に挿入し、同時に胸パッドに身体を密着させた状態で体重を腋下と胸に分散させることが大切です。そのためには、まず最初にベッド上で済めの褥座位となり手すりをしっかり握るなど基本的な使い方理解することが重要です。握ることが出来ない場合などでは背中にベルトをまわす構造のリフトを選定するなど、身体機能に適合した機種を選定しましょう。

**参考要因**

- 人 胸パッドに身体を密着させることの重要性を認識していなかった
- モノ 背中をサポートするベルトの無い機種であった
- 管理 適切な使用方法の伝達が行われていなかった
- 管理 用意されている機種がどの程度の身体機能の被介護者に適合するが管理されず、現場まかせであった

※上記の詳細については、資料編 7、さらに別冊として作成した「福祉用具ヒヤリハット事例集 2024」を参照されたい。



## 10. 介護現場・開発企業、行政、マスコミ、海外等からの照会受付・情報発信

### (1) 概要

本事業の委託先である公益財団法人テクノエイド協会内に相談窓口を設置し、介護ロボットに関わる相談対応を行った。

主には、介護ロボットに関する開発や活用方法などについて、開発企業や介護福祉施設等からの疑問や質問に電話や電子メールで回答した。この「介護ロボット実用化に関する相談窓口」は平成25年7月より継続的に実施しているところである。

#### ① 開設日

平成25年7月29日（以降、継続中）

#### ② 開設場所

公益財団法人テクノエイド協会 企画部内

#### ③ 内容

##### 【電話相談窓口】

○専用電話番号：03-3260-5121

（※つながらない場合には、企画部電話番号：03-3266-6883）

コーディネーターが、介護ロボットの実用化に関する相談に応じる。

##### 【ホームページ相談窓口】

○メールアドレス：[robocare@techno-aids.or.jp](mailto:robocare@techno-aids.or.jp)

○お問合せ専用入力フォーム：

[https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyos.html#tab21\\_detail](https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyos.html#tab21_detail)

#### ④ 主な利用内容

（利用者側の方）

- ・安全利用の調査に関して、どのような事例を送付すればよいのか？
- ・介護ロボット開発・実証フィールドの登録メリット等について。
- ・開発企業とのマッチング方法について詳細を知りたい。
- ・介護ロボットの導入を検討しているが、まずは試用貸出を利用したい。等

（開発に携わっている方）

- ・介護ロボットを開発しているが、厚生労働省等での認定はあるのか。
- ・テクノエイド協会の事業に参画したいが、具体的な方法を知りたい。
- ・今後、本分野に参画する予定だが、現場のニーズを知りたい。
- ・開発が完了した製品の市場を広げていくためにはどのようなことが必要か。等

#### ⑤ その他

開発中又は開発を計画している介護ロボットについては、相談窓口を通じて「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」、「試作介護機器へのアドバイス支援事業」、「介護ロボット等モニター調査事業」等に繋げることとした。

## (2) 相談内容

テクノエイド協会内で相談を受けた内容については、その場で内容を記録しており、最終的には月報として取りまとめている。主な問合せ内容については、下記の表の通りであった。

相談者種別	主な問合せ内容
メーカー関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護ロボット導入助成制度について</li> <li>・ 介護テクノロジー利用の重点分野について</li> <li>・ 導入助成事業の対象となるか否かの相談</li> <li>・ 開発助成制度について</li> <li>・ 開発助成事業の対象機器となるか否かの相談</li> <li>・ 介護保険制度の給付対象について</li> <li>・ 所有する要素技術の活用法</li> <li>・ 開発機器へのアドバイス相談</li> <li>・ モニター調査等実施事業についての相談</li> <li>・ 協会が発行している冊子への掲載方法</li> <li>・ 介護ロボットの展示やイベントの開催情報 など</li> </ul>
介護施設関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試用貸出事業に参加してみたい</li> <li>・ 福祉用具等の安全利用に関して</li> <li>・ ヒヤリハット情報の対象と提供方法について</li> <li>・ 施設への導入検討のため、機器紹介希望</li> <li>・ モニター調査等実施事業の内容</li> <li>・ 意見交換会やモニター調査等の協力機関としての応募方法</li> <li>・ 介護ロボットの選定アドバイス</li> <li>・ 介護ロボット活用ミーティングへの参加</li> <li>・ 介護ロボットフォーラムの問合せ など</li> </ul>
行政関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒヤリハット情報の対象と提供方法について</li> <li>・ 介護ロボット展示・イベントのための相談（機器紹介）</li> <li>・ 介護ロボットの動向にかかわる講演依頼</li> <li>・ 介護ロボットの助成対象に関わる相談</li> <li>・ 介護ロボット導入施設、実績、事例の紹介依頼</li> <li>・ 福祉用具・介護ロボットの導入、利活用の状況、課題について など</li> </ul>
マスコミ関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護ロボット導入実績（導入実態調査）</li> <li>・ 介護ロボット開発動向・普及活用状況</li> <li>・ 協会で開催している各種イベントについて</li> <li>・ 最新事故情報の内容について など</li> </ul>

### (3) 月別相談状況

#### ①介護ロボットに係る相談業務／受付入力・月報作成システム

月報については、様式を定め記録システムを構築している。これによって月別の相談内容をはじめ、問合せ先の種別や連絡先、問合せ方法等の情報を集約することができることとした。

#### 【介護ロボットに係る相談業務】受付入力・月報作成システム

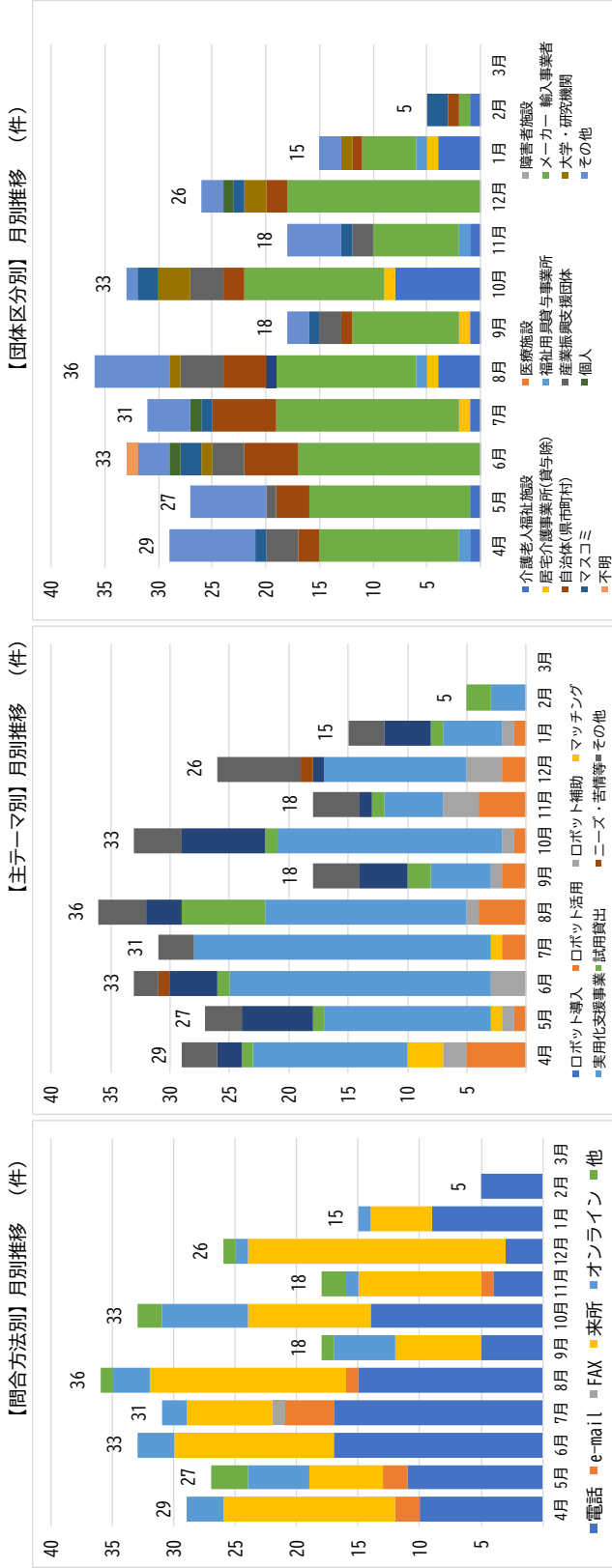
	A	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	Seq	日付	記入者	② 方法	方法 _他	③ 主テーマ	主 テ- マ- マ- 他	主テーマ 備考TAIS コード	④ 団体名	⑤ 名前連絡 先	TEL・ e-mail	⑥ 団体区分	企業コード	⑦ 問合せ内容	⑧ 対応備考
2	① 545														

#### 本システムの主な入力項目の解説

1. Seq：問合わせの総計の番号。
2. 方法：専用電話の他、メールや来所等でも相談を受付けているため、方法を選択する。
3. 主テーマ：相談内容が多岐に渡る為、テーマを項目分けし、選択する。
4. 団体名：問合せ者の所属、団体名を記載する。
5. 氏名連絡先：氏名及び、電話番号を記載する。
6. 団体区分：問合せ者がどのカテゴリに属するか選択する。
7. 問合せ内容：具体的な問合せ内容を記載する。
8. 対応・備考：問合せ内容に対し、どのように対応したか共有のため、記載する。

## ②年度推移集計

令和6年度の問合せの推移集計結果は以下の通りであった。(2025年2月28日現在)



月	方法					主テーマ										団体区分														
	電話	e-mail	FAX	来所	オンライン	他	計	ロボット導入	ロボット活用	ロボット補助	マッチング	実用化支援事業	試用貸出	イベント	ニーズ・苦情等	その他	計	介護老人福祉施設	医療施設	障害者施設	居宅介護事業所(貸与除)	福祉用具貸与事業所	メーカー	輸入事業者	大学・研究機関	個人	その他	不明	計	
4月	10	2		14	3		29	5	2	3	13	1	2			3	29	1	1					1	13	2	3	1	8	29
5月	11	2		6	5	3	27	1	1	14	1	6	3	27	3	27	1								15	3	1	7	27	
6月	17			13	3		33		3	22	1	4	1	2	33									17	5	3	1	2	1	33
7月	17	4	1	7	2		31	2	1	25				3	31									17	6		1	1	4	31
8月	15	1		16	3	1	36	4	1	17	7	3	4	36	4									13	4	4	1	7	36	
9月	5			7	5	1	18	2	1	5	2	4	4	18	1									10	1	2	1	2	18	
10月	14			10	7	2	33	1	1	19	1	7	4	33	8									13	2	3	2	1	33	
11月	4	1		10	1	2	18	4	3	5	1	1	4	18	1									8	2	1	5	18		
12月	3			21	1	1	26	2	3	12		1	1	26										18	2	2	1	2	26	
1月	9			5	1		15	1	1	5	1	4	3	15	4									5	1	1	2	15		
2月	5						5		3	2				5	1									1	1	2		5		

## 1 1. 介護ロボットに関する導入支援事業等の取組の実態調査等

### (1) 調査目的

介護ロボットの活用を促進するためには現在の導入実態を把握することが重要である。そこで、都道府県における介護ロボットに関する導入支援事業等の取組の実施状況について調査を実施した。

### (2) 実施概要

調査対象：47都道府県の介護ロボットに関する導入支援事業等所管部署

実施方法：電子メールより調査票送付、電子メールにて回収

調査期間：令和6年12月4日（水）～令和7年1月10日（金）17：00

回収件数：47件

### (3) 調査結果

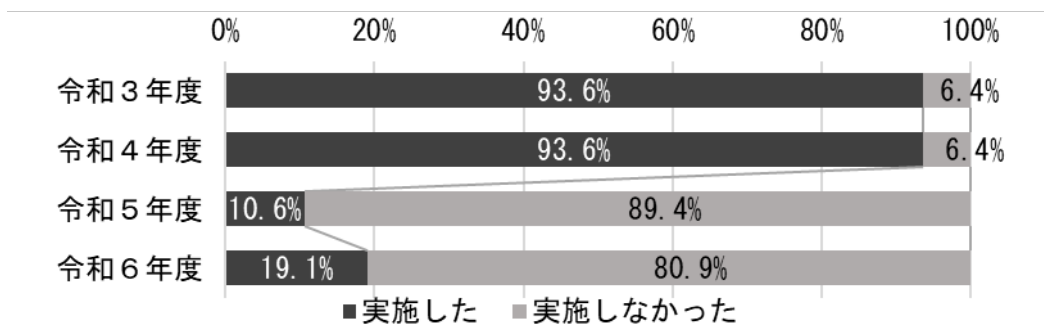
令和5年度及び6年度は介護ロボットの導入に関する支援事業へ活用できる財源が複数存在したことから、本調査では支援事業の実施有無と共に、「実施した」場合にはその財源を回答いただいた。また、本調査における集計は地域医療介護総合確保基金によって実施した支援事業（ICTは除く）のみを対象とするため、介護ロボット導入支援事業、あるいは、介護テクノロジー導入支援事業を「実施した」と回答した都道府県のみを集計し、その他の回答（『令和5年度補正予算による「介護サービス事業者の生産性向上や協働化等を通じた職場環境改善事業」を実施した』、『「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」などの他財源による「介護ロボット導入支援事業」を実施した』、『実施しなかった』）については、全て「実施しなかった」に集約し、詳細な集計からは除いた。

#### ①地域医療介護総合確保基金による令和6年度「介護テクノロジー導入支援事業」の実施概況

##### a) 介護テクノロジー導入支援事業の実施状況

令和6年度は9件で地域医療介護総合確保基金による介護テクノロジー導入支援事業が実施された。「実施しなかった」という回答は38件あり、その理由は地域医療介護総合確保基金以外の財源で介護ロボットの導入支援事業を実施したというものであった。

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
実施した	44	93.6%	44	93.6%	5	10.6%	9	19.1%
実施しなかった	3	6.4%	3	6.4%	42	89.4%	38	80.9%
合計	47	100%	47	100%	47	100%	47	100%



b) 来年度の実施予定

令和6年度に介護テクノロジー導入支援事業を実施した9件を対象に、来年度の実施予定と実施内容を確認したところ、来年度の実施予定については、7件が「来年度実施を予定している」と回答した。また、4件は「今年と同様に実施」、3件は「内容をより充実させて実施」と回答した。

【来年度の実施予定（今年度事業を実施した都道府県のみ回答）】

割合	回答数	割合
来年度実施を予定している	7	77.8%
実施の予定はない	2	22.2%
合計	9	100%

【来年度、どのように実施するか（今年度事業を実施した都道府県のみ回答）】

	回答数	割合
今年と同様に実施	4	44.4%
内容をより充実させて実施	3	33.3%
テーマ、分野を絞って実施	0	0.0%
実施しない	2	22.2%
合計	9	100%

【「内容をより充実させて実施」と回答した場合の具体的な内容（主な回答）】

- ・ 予算規模及び補助上限額の拡大等。
- ・ 国の拡充に合わせて実施。
- ・ 単価増額及び対象機器の拡大を検討。

c) 公募期間

令和6年度介護テクノロジー導入支援事業を実施した9件の公募期間は以下のとおり。

	公募開始	公募終了（予定）	追加募集	
			公募開始（予定）	公募終了（予定）
栃木県	4月1日	5月31日	-	-
東京都	10月8日	11月5日	-	-
新潟県	9月27日	12月27日	-	-
石川県	9月9日	10月4日	12月9日	12月23日
三重県	7月11日	8月13日	-	-
山口県	6月24日	8月30日	-	-
徳島県※	-	-	-	-
福岡県	8月5日	9月27日	-	-
沖縄県	9月13日	10月11日	-	-

※徳島県は11月末時点で計画提出前の要望調査のみの実施のため回答なし。

d) 補助対象の上限額や補助率などの設定内容とその理由

国の要綱において、「一定の要件を満たす事業所」と「それ以外の事業所」で補助内容が異なるため、各ケースにおいて補助対象の上限額や補助率などの設定内容を把握した。加えて、各ケースでその上限額や補助率を設定した理由についても確認した。

各ケースの補助対象の上限額や補助率などの設定内容およびその設定理由は以下のとおり。

【一定の要件を満たす事業所（n=9）】

	上限額			補助率		
	国の要綱のとおり	それ以外	対象無	3/4	それ以外	対象無
移乗支援（装着型・非装着型）入浴支援	5	3	1	5	3	1
上記以外の機器	8	0	1	5	3	1

	あり
補助上限台数の制限	6
上記以外の独自の基準	2

【上記の上限額や補助率などを設定した理由（複数回答可）】

理由（複数回答）	回答数
国の実施要綱を基に実施しているため	5
予算が限られているため	4
他の補助事業と同じ基準にしている	2
その他	3

【その他】

- ・本県は基金の補助要綱にある一定の条件を満たす事業所とそれ以外の事業所の区分をしていない。
- ・過年度まで他課でほぼ同一事業を実施しており、その事業を当課の事業に統合する形で実施しているため、従前の補助率を用いている。
- ・補助率を県独自で4/5としているため、国の実施要綱の「一定の条件を満たす事業所」のみを補助対象としている。



【それ以外の事業所（n＝9）】

	上限額			補助率		
	国の要綱のとおり	それ以外	対象無	1/2	それ以外	対象無
移乗支援（装着型・非装着型）入浴支援	4	3	2	6	1	2
上記以外の機器	6	1	2	6	1	2

	あり
補助上限台数の制限	5
上記以外の独自の基準	3

【上記の上限額や補助率などを設定した理由（複数回答可）】

理由（複数回答）	回答数
国の実施要綱を基に実施しているため	5
予算が限られているため	4
他の補助事業と同じ基準にしている	1
その他	1

【その他】

- ・補助率を県独自で4／5としているため、国の実施要綱の「一定の条件を満たす事業所」のみを補助対象としている。

【参考：令和6年度国の実施要綱】

- ・移乗支援（装着型・非装着型）、入浴支援は、1機器あたり上限100万円、その他は上限30万円。
  - ・補助上限台数：必要台数
  - ・補助率※：一定の要件※※を満たす事業所は、3／4を下限に都道府県の裁量により設定。それ以外の事業所は1／2を下限に都道府県の裁量により設定。
- ※「介護現場の生産性向上に係る環境づくり」は一律3／4  
 ※※導入計画書において目標とする人員配置を明確にした上で、見守りセンサーやインカム、介護記録ソフト等の複数の機器を導入し、職員の負担軽減等を図りつつ、人員体制を効率化させる場合。

【「補助上限台数に制限を設けている場合」の具体的な内容】

- ・入所系サービスは利用定員を10で除した数、在宅系サービスは利用定員を20で除した数を上限とする。
- ・介護ロボットの補助台数は、各区分に該当する介護ロボットのうち、いずれか1台まで。
- ・施設・居住系サービスは利用定員数の1／10台、在宅系サービスは利用定員数又は前年度の1月当たりの平均利用者数の1／20台。
- ・施設・居住系サービスについては利用定員数を10で除した数、在宅系サービスについては利用定員数を20で除した数（小数点以下は切り捨てる。ただし、1台未満は切り上げるものとする。）
- ・利用定員数の2割まで。

- ・利用定員数に0.2を乗じて得た数 ※小数点以下切り捨て。1未満は1とする。
- ・利用定員の2割。

【「独自の基準を設けている場合」の具体的な内容（主な回答）】

- ・とちぎ介護人材育成認証制度においてレベル3を取得している事業者は上記の数の2倍を補助上限台数とする。
- ・その他、セミナーや機器の見学会への協力を条件に、補助率を移乗支援・入浴支援→7/8(補助上限額1,000千円)  
※うち、1/8については都の予算にて補助、その他→3/4(補助上限額600千円)とする補助を実施。
- ・見守りセンサー付きベッド：上限額10万円(補助率1/2)

e) 介護現場の生産性向上に係る環境づくり (n=9)

	上限額			補助率		
	国の要綱のとおり	それ以外	対象無	3/4	それ以外	対象無
介護現場の生産性向上に係る環境づくり	2	2	5	3	1	5

補助要件の設定内容（複数回答）	回答数
取組計画により、職場環境の改善を図り、職員へ還元することを明記	4
既に導入されている機器、また本事業で導入する機器と連携し、生産性向上に資すること	4
プラットフォーム事業の相談窓口や介護生産性向上総合相談センターの活用	4
ケアプランデータ連携システム等の利用	3
LIFE標準仕様を実装した介護ソフトで実際にデータ登録を実施すること	4
その他	0

※徳島県については要望調査における内容を記載している。

f) 介護ロボットやICT等を活用するためのICTリテラシー習得に必要な経費 (n=9)

上限額	
対象有	対象無
4	5

※徳島県については要望調査における内容を記載している。

※※要件や基準等の設定に対する回答はなかった。

g) 導入支援事業の対象とする分野 (n = 9)

	回答数	割合
支援分野を限定していない	9	100.0%
支援分野を限定している	0	0.0%
合計	9	100.0%

※徳島県については要望調査における内容を記載している。

h) 提出された介護ロボット導入計画と採択状況 (n = 8)

令和6年度に提出された介護ロボット導入計画と採択状況については、以下のとおり回答を得た。

※徳島県は11月末時点で計画提出前の要望調査のみの実施のため件数の回答なし。

【令和6年度に提出された計画件数及びそのうち11月末までに交付決定した計画件数】

	11月末までに提出された計画件数					左記のうち導入支援事業の対象として 交付決定した計画件数				
	施設・居宅系		在宅系		合計	施設・居宅系		在宅系		合計
	一定要件 を満たす	それ以外	一定要件 を満たす	それ以外		一定要件 を満たす	それ以外	一定要件 を満たす	それ以外	
栃木県	0	82	0	66	148	0	9	0	1	10
東京都	0	314	0	30	344	0	0	0	0	0
新潟県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川県	58	0	42	0	100	48	0	12	0	60
三重県	86	0	76	0	162	0	0	0	0	0
山口県	4	17	2	12	35	4	17	2	12	35
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	250	0	40	0	290	0	0	0	0	0
沖縄県	28	9	46	0	83	6	3	0	0	9
合計	426	422	206	108	1,162	94	29	54	13	190

【採択率（導入支援事業の対象として交付決定した計画件数÷提出された計画件数）】

	採択率 (導入支援事業の対象として交付決定した計画 件数÷提出された計画件数)				
	施設・居宅系		在宅系		合計
	一定要件 を満たす	それ以外	一定要件 を満たす	それ以外	
栃木県	-	11%	-	2%	7%
東京都	-	0%	-	0%	0%
新潟県	-	-	-	-	-
石川県	83%	-	29%	-	60%
三重県	0%	-	0%	-	0%
山口県	100%	100%	100%	100%	100%
徳島県	-	-	-	-	-
福岡県	0%	-	0%	-	0%
沖縄県	21%	33%	0%	-	11%
合計	22%	7%	26%	12%	16%

i) 応募状況及び対応状況 (n=8)

令和6年度の応募状況について、4件が「当初の予算額を大きく超える応募があった」と回答した。

	回答数	割合
予算額に満たない応募があった	4	50.0%
当初の予算内で対応できる範囲で採択した	2	50.0%
予算を増額して採択した	0	0.0%
その他	2	50.0%
当初の予算額とほぼ同額の応募があった	1	12.5%
当初の予算内で対応できる範囲で採択した	0	0.0%
予算を増額して採択した	0	0.0%
その他	1	100.0%
当初の予算額を大きく超える応募があった	3	37.5%
当初の予算内で対応できる範囲で採択した	1	33.3%
予算を増額して採択した	0	0.0%
その他	2	66.7%
合計	8	100.0%

※徳島県は11月末時点で計画提出前の要望調査のみの実施のため回答なし

j) 応募された計画の中で、認められない計画 (n=8)

応募された計画の中で、認められない計画について、「介護ロボットの技術的3要素を満たしていない」と回答したのは3件であった。その他の自由記述には、対象外事業所からの申請や、基準を満たしていない申請などにより受理しなかったとの理由があった。

	回答数	割合
介護ロボットの技術的3要素 (センサー系、知能・制御系、駆動系)を 満たしていない	2	25.0%
認められなかった計画はない	2	25.0%
その他	4	50.0%
合計	8	100%

※徳島県は11月末時点で計画提出前の要望調査のみの実施のため回答なし

【その他】

- ・ 訪問サービス事業者が見守り機器等、サービス内容に合致しない機器を申請してくる等。
- ・ 現在手続き中。
- ・ 申請時点で機器を導入していた。
- ・ 見守り機器の導入に先立って見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの申請があった。

k) 交付決定補助額

交付決定補助額（令和3年～令和5年度は実績、令和6年度は11月時点の交付決定補助額）は以下のとおり。

	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（11月末時点）
北海道	285,256,000円	856,812,000円	-	-
青森県	42,088,000円	69,960,000円	-	-
岩手県	73,611,000円	111,443,000円	-	-
宮城県	162,964,000円	-	-	-
秋田県	59,225,000円	45,357,000円	-	-
山形県	21,997,000円	57,139,000円	-	-
福島県	69,616,000円	136,724,000円	-	-
茨城県	44,018,000円	50,435,000円	30,218,000円	-
栃木県	16,524,000円	19,545,000円	-	18,338,000円
群馬県	24,813,000円	52,798,000円	-	-
埼玉県	40,249,000円	41,506,000円	-	-
千葉県	49,864,000円	43,496,000円	-	-
東京都（介護保険課）	287,824,000円	828,538,000円	-	0円
東京都（施設支援課）	446,934,000円	-	-	-
神奈川県	359,602,000円	359,036,000円	-	-
新潟県	34,716,000円	20,474,000円	7,666,000円	0円
富山県	-	39,861,000円	-	-
石川県	27,525,000円	35,480,000円	-	57,490,000円
福井県	10,430,000円	-	-	-
山梨県	5,911,000円	17,708,000円	-	-
長野県	2,637,000円	6,823,000円	-	-
岐阜県	96,765,000円	122,886,000円	-	-
静岡県	112,316,000円	86,369,000円	-	-
愛知県	282,704,000円	302,952,000円	-	-
三重県	104,700,000円	296,702,000円	-	0円
滋賀県	63,328,000円	62,198,000円	-	-
京都府	-	71,077,000円	-	-
大阪府	174,872,000円	258,473,000円	299,702,000円	-
兵庫県	742,931,000円	971,840,000円	-	-
奈良県	4,512,000円	15,553,000円	-	-
和歌山県	114,462,000円	98,201,000円	-	-
鳥取県	32,122,000円	84,882,000円	-	-
島根県	30,073,000円	58,669,000円	-	-
岡山県	11,908,000円	10,237,000円	-	-
広島県	11,239,000円	15,239,000円	-	-
山口県	9,890,000円	12,107,000円	11,433,000円	8,781,000円
徳島県	22,852,000円	39,442,000円	-	0円
香川県	5,615,000円	4,217,000円	-	-
愛媛県	35,893,000円	67,754,000円	-	-
高知県	5,526,000円	78,738,000円	-	-
福岡県	263,255,000円	323,202,000円	-	0円
佐賀県	39,523,000円	44,028,000円	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	54,314,000円	64,441,000円	-	-
大分県	42,781,000円	57,511,000円	-	-
宮崎県	90,748,000円	98,347,000円	4,000,000円	-
鹿児島県	81,564,000円	64,489,000円	62,404,000円	-
沖縄県	5,397,000円	10,896,000円	-	20,570,000円
合計	4,505,094,000円	6,113,585,000円	415,423,000円	105,179,000円

※東京都の令和3年度については、介護保険課と施設支援課の2部署でそれぞれ独自の補助要件を設け実施したため分けて計上している。

※※栃木県、石川県の令和6年度については、1計画内で介護ロボット及びICTへの補助が混在し、切り分け不可のため、一部ICT導入への補助実績を含む。

※※※宮崎県については、令和5年度は補正予算による実施だが、令和4年度に採択した計画を令和5年度に繰り越して予算執行しているため、実績を計上している。



1) 介護ロボットの効果的な活用に関する支援 (n = 47)

介護ロボットの効果的な活用について、「介護サービス事業者に対する生産性向上（業務改善）支援事業で実施している」が16件、「上記以外で実施している」と回答したのは18件だった。「上記以外で実施している」場合の内容（自由記述）は、セミナーや個別相談会の開催、アドバイザーの派遣などであった。

	回答数	割合
介護サービス事業者に対する生産性向上（業務改善）支援事業で実施している	16	34.0%
上記以外で実施している	18	38.3%
実施していない	13	27.7%
合計	47	100.0%

【実施している場合の内容】

- ・ 介護サービス事業者の生産性向上や協働化を通じた職場環境改善事業国庫補助金を活用。
- ・ 介護事業所支援相談センターにて、介護ロボット・ICT関係及びその他業務改善アドバイザーを派遣し、相談対応を実施している。
- ・ 介護生産性向上総合相談センターにより支援。
- ・ 生産性向上総合支援センターによる相談支援業務、伴走支援業務、ロボット機器等の展示及び試用貸出業務、研修会開催業務、生産性向上関連情報収集・提供事業。
- ・ 効果的な機器の活用に係るセミナーの開催や、効果的な機器の導入に向けた伴走型支援、次世代介護機器の展示・貸出を実施。
- ・ 伴走支援。
- ・ とやま介護テクノロジー普及・推進センターにて導入支援に関する研修や伴走支援等を実施している。
- ・ 「ふくい介護テクノロジー・業務改善支援センター」（介護生産性向上総合相談センター）において、無料相談、専門家の個別派遣、セミナー開催などを実施。
- ・ 介護生産性向上総合相談窓口における相談対応。
- ・ あいち介護生産性向上総合相談センターにおいて、相談受付や試用貸出などの支援を実施。
- ・ 介護ロボット活用等に関する研修会の支援や周知を行っている。
- ・ 「滋賀県介護現場革新サポートデスク」（生産性向上相談窓口）における各種研修の実施や「しが介護現場革新アドバイザー」等による相談対応により支援している。
- ・ 県単独事業として専門家派遣事業を実施している。
- ・ 岡山県介護生産性向上総合相談センターによる個別相談や伴走支援、研修会の開催。
- ・ 導入事例紹介セミナー・展示体験会の開催、生産性向上総合相談センターにおいて、相談・支援及び試用貸出を実施。
- ・ 介護テクノロジー定着支援事業で「導入支援と一体的に行う業務改善支援」のメニューを設け、支援を行った。
- ・ 介護生産性向上総合相談センターにおいて、助言を実施。
- ・ 抱え上げない介護（ノーリフトケア）の研修の中で、移乗支援ロボットについても取り扱っている。
- ・ 青森県社会福祉協議会内にあおもり介護生産性向上相談センターを設置し、介護事業者

からの相談等を受け付けている。

- ・ 本県の交付要綱に規程のうえ実施しているが、介護事業所からの事業計画書の提出がない。
- ・ 介護ロボットの普及促進伴走支援。
- ・ 業務改善にかかる研修・伴走支援業務アドバイザーや試用貸出の紹介等。
- ・ 介護生産性向上総合相談センター事業の一環として実施。
- ・ 業務改善やテクノロジー活用に関する相談対応や介護ロボット等の体験展示・試用貸出、生産性向上の取組の普及を目的とした研修会の開催等を実施。
- ・ 第三者による業務改善支援、介護現場における生産性向上の取組に関する研修・相談等。
- ・ 生産性向上セミナーの開催・専門家による無料訪問相談。
- ・ 介護生産性向上総合相談センターによる支援を実施。（相談窓口の設置、介護ロボットの試用貸出・展示、セミナー、伴走支援プログラム）
- ・ 相談窓口を起点とした専門家によるサポート。
- ・ 生産性向上に係る支援に知識・経験を有する第三者から業務改善に関する助言、指導等を受ける経費や職員のスキルアップ研修等の経費が発生した場合に支援する。
- ・ 介護生産性向上支援センターを通じた事業者への介護ロボット等の導入支援。
- ・ 介護生産性向上総合相談センターを設置し、相談対応や有識者派遣、研修会の開催、介護ロボット・ICT機器の展示等を実施している。
- ・ 令和6年6月に設置した介護生産性向上総合相談センターにおいて、介護ロボットの導入等による業務効率化の相談対応やアドバイザーの派遣などを実施。

m) 介護ロボット導入支援事業を円滑に遂行するために必要とする情報（複数回答）

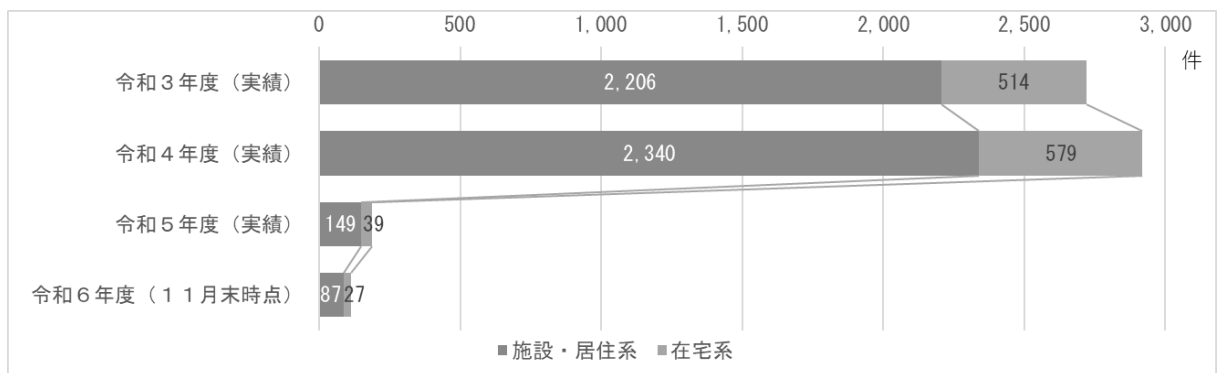
令和6年度に介護テクノロジー導入支援事業を実施した10都道府県において、介護テクノロジー導入支援事業等を円滑に遂行するために必要とする情報として回答が多かったのは介護ロボットの対象範囲（10件）、介護ロボットに関する機器情報および介護ロボットの活用事例（各9件）であった。

	回答数
介護ロボットに関する機器情報	9
介護ロボットの対象範囲	10
介護ロボットの活用事例	9
展示会や研修会の開催情報	6
介護ロボットに関するヒヤリハット情報	4
その他	0

②地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業等」の実績

a) 地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業並びに介護テクノロジー導入支援事業」の実績（計画件数）（単位：件）

	令和3年度（実績）			令和4年度（実績）			令和5年度（実績）			令和6年度（11月末時点） （一定の要件を満たす）			令和6年度（11月末時点） （それ以外）			令和6年度（11月末時点） （合計）		
	施設・居住系	在宅系	合計	施設・居住系	在宅系	合計	施設・居住系	在宅系	合計	施設・居住系	在宅系	合計	施設・居住系	在宅系	合計	施設・居住系	在宅系	合計
北海道	114	16	130	278	53	331	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	19	8	27	12	5	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	31	4	35	36	31	67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	35	12	47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	45	41	86	13	4	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	22	7	29	28	11	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	48	10	58	74	8	82	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	30	2	32	40	4	44	31	4	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	15	4	19	14	4	18	-	-	-	0	0	0	9	1	10	9	1	10
群馬県	58	8	66	78	24	102	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	50	13	63	35	11	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	63	19	82	64	17	81	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都 介護保険課	139	18	157	190	24	214	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京都 施設支援課	79	0	79	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	77	0	77	87	12	99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	60	25	85	32	18	50	11	12	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富山県	-	-	-	43	7	50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	19	8	27	25	10	35	-	-	-	48	12	60	0	0	0	48	12	60
福井県	20	17	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	3	2	5	3	0	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	5	1	6	5	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	60	34	94	69	41	110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	110	41	151	77	36	113	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	112	15	127	114	14	128	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	29	3	32	51	10	61	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滋賀県	19	2	21	17	9	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	23	2	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	110	12	122	102	5	107	61	7	68	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	179	23	202	166	34	200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	8	0	8	5	0	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	56	26	82	44	22	66	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	28	1	29	47	0	47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	32	11	43	69	19	88	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	10	2	12	10	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	29	13	42	36	14	50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	24	7	31	29	12	41	11	8	19	4	2	6	17	12	29	21	14	35
徳島県	24	9	33	30	10	40	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香川県	9	4	13	4	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	29	6	35	33	10	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	4	5	9	16	6	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	125	25	150	124	26	150	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀県	31	9	40	25	9	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	109	19	128	52	24	76	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	26	9	35	25	7	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	48	1	49	59	13	72	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	60	20	80	48	9	57	34	8	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	3	2	5	8	1	9	-	-	-	6	0	6	3	0	3	9	0	9
合計	2,206	514	2,720	2,340	579	2,919	149	39	188	58	14	72	29	13	42	87	27	114



※令和6年度は11月末までに交付決定した計画件数を回答している。

※※栃木県、石川県の令和6年度については、1計画内で介護ロボット及びICTへの補助が混在し、切り分け不可のため、一部ICT導入への補助実績を含む。

※※※宮崎県については、令和5年度は補正予算による実施だが、令和4年度に採択した計画を令和5年度に繰り越して予算執行しているため、実績を計上している。

b) 地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業並びに介護テクノロジー導入支援事業」の実績（導入台数）（単位：台）

	令和3年度（実績） （合計）										令和4年度（実績） （施設・居住系）											
	移乗支援	移動支援	排泄支援	見守り	コミュニケーション	入浴支援	介護業務支援	Wi-Fi工事	インカム	介護記録とのシステム連動	合計	移乗支援	移動支援	排泄支援	見守り	コミュニケーション	入浴支援	介護業務支援	Wi-Fi工事	インカム	介護記録とのシステム連動	合計
北海道	25		1	1,164	2	12		81	26		1,311	37		4	4,131	2	7		91	284	18	4,574
青森県	3	11		209			2	5	3		233	6	6		377	7			5			401
岩手県	11		3	626	3	2		55	40		740			1	309		5		13	89	16	433
宮城県	3	4	2	746				11	61	281	1,108											
秋田県	21	4	3	186	4	4		30		39	291				120		7		8			135
山形県	3			322			5			20	350	4		5	281	2	5				40	337
福島県	8			541	2	7		12	5		575	5		1	512	2	10		23			553
茨城県	11			449		2	1	14			477	3		2	639		2		11			657
栃木県				106		1		14			121				65				9	30	4	108
群馬県	5		3	80		2		16	2		108	31			295			2	13			341
埼玉県	23		6	156	2	8					195	3			226		3					232
千葉県	16			337	3	29		11	1		397				405	1	6		10			427
東京都 介護保険課	169	1	16	2,265	8	35					2,494	830	1	6	3,420		45		43			4,345
東京都 施設支援課				1,768				62	331	21	2,182											
神奈川県	13			2,685	2	5		26			2,731	12			2,176	5	6		45			2,244
新潟県	14		1	139	5	2		29			190	2			24	1	5		20	1		53
富山県													23		349				10	1		383
石川県	12		1	101	1						115	9		4	140	3	4		3			163
福井県	11	1		74	1	1	3				91											
山梨県	1			56				1			58				151							151
長野県				25							25	4			21				2			27
岐阜県	22		12	493	12	7	1	13	93		653	14	1	25	398	1	1		16	3		459
静岡県	25	3	6	521	4	27		28			614	13			309		20		9			351
愛知県	30		3	1,625	4	13		30	9	3	1,717	34		1	1,790	1	2		37		1	1,866
三重県	31		3	521	1			12	20		588	4			1,490		8		28			1,530
滋賀県	18			366		1					385	2		3	301				2			308
京都府												5		5	404		2		5	82	5	508
大阪府	39		8	857	2	12		32	24	2	976	21		7	1,491	2	5		31	385	4	1,946
兵庫県	80	30	23	3,378	3	8	15	70	114	24	3,745	81	5	1	4,301	5	7		64	34	34	4,532
奈良県				51				1			52				126				4			130
和歌山県	5	1	10	788	2	11		15	4		836	12		1	404		7		8			432
鳥取県	4			48				1	90	1	144	1			135	3	3		5	1		148
島根県	13		2	125				6			146	12			198	1	2		16	87	1	317
岡山県	16			24	2	1		13	2	8	66	10			18				2	4		34
広島県	57			82				1			140	51			46	1		21				119
山口県	15			83		5					103	19			42	8	2		3			74
徳島県	21			162	2			7	5		197	11		6	151		4		4			176
香川県	1	3		50		1		3	1		59				25				3			28
愛媛県	4			235		1	3	9	4	7	263	15			436		5		6	5	5	472
高知県		5	1	35	4					1	46	2		1	276		1		11		1	292
福岡県	94	3	23	961	7	24		37	16	5	1,170	53	1	2	1,131	6	2		40		1	1,236
佐賀県	27			144				13			184	15			148		3		8	87	8	269
長崎県																						
熊本県	24			297		23	1	21			366	14			169	1	1		13	4		202
大分県	13		1	319				1	6	1	341				337				7	4		348
宮崎県	18		1	762				12	9	19	821	13			929		2		12	8	5	969
鹿児島県	39	1	7	290	5	5		23	6	6	382	25			268		2		8	9		312
沖縄県	6			8				1			15	6			56				4			66
合計	951	67	136	24,260	81	254	26	716	892	418	27,801	1,402	14	75	29,020	52	184	23	652	1,158	108	32,688

※令和4年度の導入台数について、「Wi-Fi工事」および「介護機器とのシステム連動」はすべて1計画につき1台として計上している。

	令和5年度（実績） （施設・居住系）																合計		
	移乗支援（装着）	移乗支援（非装着）	移動支援（屋外）	移動支援（屋内）	移動支援（装着）	排泄支援（排泄物処理）	排泄支援（トイレ誘導）	排泄支援（動作支援）	見守り・コミュニケーション（施設）	見守り・コミュニケーション（在宅）	見守り・コミュニケーション（生活支援）	入浴支援	介護業務支援	W i - F i 工事	インカム（親機の件数）	介護記録とのシステム連動		（介護ロボット等） その他の機器	ウェアラブル端末
北海道																			-
青森県																			-
岩手県																			-
宮城県																			-
秋田県																			-
山形県																			-
福島県																			-
茨城県		12		2			6		332			1							353
栃木県																			-
群馬県																			-
埼玉県																			-
千葉県																			-
東京都 介護保険課																			-
東京都 施設支援課																			-
神奈川県																			-
新潟県		2							8			1		5					16
富山県																			-
石川県																			-
福井県																			-
山梨県																			-
長野県																			-
岐阜県																			-
静岡県																			-
愛知県																			-
三重県																			-
滋賀県																			-
京都府																			-
大阪府		7							2,008		6	12		45	325	5			2,408
兵庫県																			-
奈良県																			-
和歌山県																			-
鳥取県																			-
島根県																			-
岡山県																			-
広島県																			-
山口県		3		24					23				5						55
徳島県																			-
香川県																			-
愛媛県																			-
高知県																			-
福岡県																			-
佐賀県																			-
長崎県																			-
熊本県																			-
大分県																			-
宮崎県									20					1					21
鹿児島県		11				4			202	10		2		9	25				263
沖縄県																			-
合計	0	35	0	26	0	4	6	0	2,593	10	6	16	5	60	350	5	0	0	3,116

※令和5年度の導入台数について、「W i - F i 工事」「介護機器とのシステム連動」及び各都道府県にて計画ごとに台数の把握を実施していないものはすべて1計画につき1台として計上している。

※※宮崎県については、令和5年度は補正予算による実施だが、令和4年度に採択した計画を令和5年度に繰り越して予算執行しているため、実績を計上している。

	令和5年度（実績） （在宅系）																		
	移乗支援（装着）	移乗支援（非装着）	移動支援（屋外）	移動支援（屋内）	移動支援（装着）	排泄支援（排泄物処理）	排泄支援（トイレ誘導）	排泄支援（動作支援）	見守り・コミュニケーション（施設）	見守り・コミュニケーション（在宅）	見守り・コミュニケーション（生活支援）	入浴支援	介護業務支援	W i - F i 工事	インカム（親機の件数）	介護記録とのシステム連動	その他の機器（介護ロボット等）	ウェアラブル端末	合計
北海道																			-
青森県																			-
岩手県																			-
宮城県																			-
秋田県																			-
山形県																			-
福島県																			-
茨城県							5		6		1								12
栃木県																			-
群馬県																			-
埼玉県																			-
千葉県																			-
東京都 介護保険課																			-
東京都 施設支援課																			-
神奈川県																			-
新潟県		1								9		2		3	5				20
富山県																			-
石川県																			-
福井県																			-
山梨県																			-
長野県																			-
岐阜県																			-
静岡県																			-
愛知県																			-
三重県																			-
滋賀県																			-
京都府																			-
大阪府		3							8		1		3						15
兵庫県																			-
奈良県																			-
和歌山県																			-
鳥取県																			-
島根県																			-
岡山県																			-
広島県																			-
山口県		2		1						5		1							9
徳島県																			-
香川県																			-
愛媛県																			-
高知県																			-
福岡県																			-
佐賀県																			-
長崎県																			-
熊本県																			-
大分県																			-
宮崎県																			-
鹿児島県										20		1		4					25
沖縄県																			-
合計	0	6	0	1	0	0	5	0	14	34	1	5	0	10	5	0	0	0	81



	令和5年度(実績) (合計)															合計				
	移乗支援 (装着)	移乗支援 (非装着)	移動支援 (屋外)	移動支援 (屋内)	移動支援 (装着)	排泄支援 (排泄物処理)	排泄支援 (トイレ誘導)	排泄支援 (動作支援)	見守り・コミュニ ケーション(施設)	見守り・コミュニ ケーション(在宅)	見守り・コミュニ ケーション(生活支援)	入浴支援	介護業務支援	Wi-Fi工事	インカム(親機の件数)		介護記録との システム連動	(介護ロボット等) その他の機器	ウェアラブル端末	
北海道																				-
青森県																				-
岩手県																				-
宮城県																				-
秋田県																				-
山形県																				-
福島県																				-
茨城県		12		2			11		338		1	1								365
栃木県																				-
群馬県																				-
埼玉県																				-
千葉県																				-
東京都 介護保険課																				-
東京都 施設支援課																				-
神奈川県																				-
新潟県		3							8	9		3		8	5					36
富山県																				-
石川県																				-
福井県																				-
山梨県																				-
長野県																				-
岐阜県																				-
静岡県																				-
愛知県																				-
三重県																				-
滋賀県																				-
京都府																				-
大阪府		10							2,016		6	13		48	325	5				2,423
兵庫県																				-
奈良県																				-
和歌山県																				-
鳥取県																				-
島根県																				-
岡山県																				-
広島県																				-
山口県		5		25					23	5		1	5							64
徳島県																				-
香川県																				-
愛媛県																				-
高知県																				-
福岡県																				-
佐賀県																				-
長崎県																				-
熊本県																				-
大分県																				-
宮崎県									20					1						21
鹿児島県		11				4			202	30		3		13	25					288
沖縄県																				-
合計	0	41	0	27	0	4	11	0	2,607	44	7	21	5	70	355	5	0	0	0	3,197

	令和6年度(11月末時点) (施設・居住系)															合計			
	移乗支援(装着)	移乗支援(非装着)	移動支援(屋外)	移動支援(屋内)	移動支援(装着)	排泄支援(排泄物処理)	排泄支援(トイレ誘導)	排泄支援(動作支援)	見守り・コミュニケーション(施設)	見守り・コミュニケーション(在宅)	見守り・コミュニケーション(生活支援)	入浴支援	介護業務支援	W i - F i 工事	インカム(親機の件数)		介護記録とのシステム連動	その他の機器(介護ロボット等)	ウェアラブル端末
北海道																			-
青森県																			-
岩手県																			-
宮城県																			-
秋田県																			-
山形県																			-
福島県																			-
茨城県																			-
栃木県																			-
群馬県									83					3	60	3			149
埼玉県																			-
千葉県																			-
東京都 介護保険課																			0
東京都 施設支援課																			-
神奈川県																			-
新潟県																			0
富山県																			-
石川県	1	13					8		164		3		12	64				265	
福井県																			-
山梨県																			-
長野県																			-
岐阜県																			-
静岡県																			-
愛知県																			-
三重県																			0
滋賀県																			-
京都府																			-
大阪府																			-
兵庫県																			-
奈良県																			-
和歌山県																			-
鳥取県																			-
島根県																			-
岡山県																			-
広島県																			-
山口県		11						6	33		1							51	
徳島県																			0
香川県																			-
愛媛県																			-
高知県																			-
福岡県																			0
佐賀県																			-
長崎県																			-
熊本県																			-
大分県																			-
宮崎県																			-
鹿児島県																			-
沖縄県				1					115										116
合計	1	24	0	1	0	0	8	6	395	0	0	4	0	15	124	3	0	0	581

※令和6年度の導入台数について、「W i - F i 工事」「介護機器とのシステム連動」及び各都道府県にて計画ごとに台数の把握を実施していないものはすべて1計画につき1台として計上している。

	令和6年度（11月末時点） （在宅系）																		
	移乗支援（装着）	移乗支援（非装着）	移動支援（屋外）	移動支援（屋内）	移動支援（装着）	排泄支援（排泄物処理）	排泄支援（トイレ誘導）	排泄支援（動作支援）	見守り・コミュニケーション（施設）	見守り・コミュニケーション（在宅）	見守り・コミュニケーション（生活支援）	入浴支援	介護業務支援	W i - F i 工事	インカム（親機の件数）	介護記録とのシステム連動	その他の機器（介護ロボット等）	ウェアラブル端末	合計
北海道																			-
青森県																			-
岩手県																			-
宮城県																			-
秋田県																			-
山形県																			-
福島県																			-
茨城県																			-
栃木県									2										2
群馬県																			-
埼玉県																			-
千葉県																			-
東京都 介護保険課																			0
東京都 施設支援課																			-
神奈川県																			-
新潟県																			0
富山県																			-
石川県	2	2							9					4	7				24
福井県																			-
山梨県																			-
長野県																			-
岐阜県																			-
静岡県																			-
愛知県																			-
三重県																			0
滋賀県																			-
京都府																			-
大阪府																			-
兵庫県																			-
奈良県																			-
和歌山県																			-
鳥取県																			-
島根県																			-
岡山県																			-
広島県																			-
山口県		3			2					13									18
徳島県																			0
香川県																			-
愛媛県																			-
高知県																			-
福岡県																			0
佐賀県																			-
長崎県																			-
熊本県																			-
大分県																			-
宮崎県																			-
鹿児島県																			-
沖縄県																			0
合計	2	5	0	0	2	0	0	0	11	13	0	0	0	4	7	0	0	0	44

	令和6年度（11月末時点） （合計）																			
	移乗支援（装着）	移乗支援（非装着）	移動支援（屋外）	移動支援（屋内）	移動支援（装着）	排泄支援（排泄物処理）	排泄支援（トイレ誘導）	排泄支援（動作支援）	見守り・コミュニケーション（施設）	見守り・コミュニケーション（在宅）	見守り・コミュニケーション（生活支援）	入浴支援	介護業務支援	W i - F i 工事	インカム（親機の件数）	介護記録とのシステム連動	その他の機器（介護ロボット等）	ウェアラブル端末	合計	
北海道																				-
青森県																				-
岩手県																				-
宮城県																				-
秋田県																				-
山形県																				-
福島県																				-
茨城県																				-
栃木県									85					3	60	3				151
群馬県																				-
埼玉県																				-
千葉県																				-
東京都 介護保険課																				0
東京都 施設支援課																				-
神奈川県																				-
新潟県																				0
富山県																				-
石川県	3	15					8		173			3		16	71				289	
福井県																				-
山梨県																				-
長野県																				-
岐阜県																				-
静岡県																				-
愛知県																				-
三重県																				0
滋賀県																				-
京都府																				-
大阪府																				-
兵庫県																				-
奈良県																				-
和歌山県																				-
鳥取県																				-
島根県																				-
岡山県																				-
広島県																				-
山口県		14			2			6	33	13		1							69	
徳島県																				0
香川県																				-
愛媛県																				-
高知県																				-
福岡県																				0
佐賀県																				-
長崎県																				-
熊本県																				-
大分県																				-
宮崎県																				-
鹿児島県																				-
沖縄県					1				115											116
合計	3	29	0	1	2	0	8	6	406	13	0	4	0	19	131	3	0	0	625	

③その他の介護ロボット開発・普及の促進に関する事業の実施状況

a) 「介護テクノロジー導入支援事業」「介護サービス事業者の生産性向上や協働化等を通じた職場環境改善事業」以外の実施状況

令和6年度における「介護テクノロジー導入支援事業」「介護サービス事業者の生産性向上や協働化等を通じた職場環境改善事業」以外での介護ロボット開発・普及等に関する支援の実施状況については、「実施した」と回答したのは14都道府県だった。その具体的な支援内容は、以下以下、b)～d)のとおり。

	回答数	割合
実施した	14	29.8%
実施していない（令和7年度実施予定がある）	0	0.0%
実施していない	33	70.2%
合計	47	100.0%

b) 開発支援

該当なし。

c) 導入支援

		令和7年度
秋 田 県	事業名	あきた介護業務「カイゼン」サポートセンター運営事業
	予算額	12,364千円
	事業内容	生産性向上総合相談センターの運営
	対象者	県内介護事業所
	対象人数（対象社数）	—
	実施時期	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

d) 普及・啓発支援

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
東京都	事業名	組織・人材マネジメント事業	組織・人材マネジメント事業
	執行額	109,562千円	164,231千円
	事業内容	①生産性向上セミナーの開催 ②公開見学会の開催 ③展示スペースの運営（出張展示含む） ④次世代・デジタル器導入前セミナーの開催 ⑤次世代・デジタル器導入後セミナーの開催 ⑥アドバンスセミナーの開催 ⑦人材育成セミナーの実施 ⑧個別相談の実施 ⑨専門相談の実施	①生産性向上セミナーの開催 ②個別相談（生産性向上に向けた個別相談及び機器導入に向けた個別相談） ③次世代・デジタル器導入前セミナーの開催 ④次世代・デジタル器導入後セミナーの開催 ⑤アドバンスセミナーの開催 ⑥公開見学会の開催 ⑦機器展示スペースの運営（出張展示含む） ⑧専門家による情報提供 ⑨人材育成セミナーの実施 ⑩相談窓口の設置・運営 ⑪試用機器の貸出
	対象者	都内介護事業所	都内介護事業所
対象人数(対象社数)	①生産性向上セミナーの開催 2種類1回ずつ動画配信 ②公開見学会の開催 50事業所(延4回) ③展示スペースの運営(出張展示含む) 常設は通年、出張は2回 ④次世代・デジタル器導入前セミナーの開催 270事業所(15事業所×18回) ⑤次世代・デジタル器導入後セミナーの開催 動画配信 ⑥アドバンスセミナーの開催 継続分20事業所1日間 新規分20事業所2日間 ⑦人材育成セミナーの実施 ⑧種類動画配信1回ずつ ⑨個別相談の実施 ⑩専門相談の実施	①生産性向上セミナーの開催 2種類1回ずつ動画配信 ②個別相談（生産性向上に向けた個別相談及び機器導入に向けた個別相談） ③次世代・デジタル器導入前セミナーの開催 270事業所(15事業所×18回) ④次世代・デジタル器導入後セミナーの開催 動画配信 ⑤アドバンスセミナーの開催 継続分20事業所1日間、新規分24事業所2日間 ⑥公開見学会の開催 50事業所(延4回) ⑦機器展示スペースの運営(出張展示含む) 常設は通年、出張は2回 ⑧専門家による情報提供 ⑨人材育成セミナーの実施 3種類動画配信1回ずつ ⑩相談窓口の設置・運営 ⑪試用機器の貸出	
実績	①生産性向上セミナーの開催 youtube配信 ②公開見学会の開催 45事業所 ③展示スペースの運営(出張展示含む) 常設見学166名、体験19件 相談8件 ④導入前セミナーの開催 次世代82事業所 デジタル48事業所 ⑤導入後セミナーの開催 youtube配信 ⑥アドバンスセミナーの開催 継続分20事業所1回 新規分20事業所3回 ⑦人材育成セミナーの実施 ⑧種類動画配信1回ずつ ⑨個別相談の実施 19事業所 ⑩専門相談の実施	一部未定	
兵庫県	事業名	ノーリフティングケア地域研修	ノーリフティングケア地域研修
	執行額	27,926千円の範囲内で実施している。	27,117千円の範囲内で実施している。
	事業内容	ノーリフティングケアの理念や考え方を普及するため、講義、事例発表及び機器体験等を実施。(介護生産性向上推進総合事業(介護生産性向上総合相談センター)による。)	ノーリフティングケアの理念や考え方を普及するため、講義、事例発表及び機器体験等を実施。(介護生産性向上推進総合事業(介護生産性向上総合相談センター)による。)
	対象者	県内介護サービス施設・事業所	県内介護サービス施設・事業所
	対象人数(対象社数)	各回50名	各回50名
	実績	163名(5会場の合計)	119名(5会場の合計)
	事業名	介護テクノロジー活用施設見学会	生産性向上ビギナー研修
	執行額	27,926千円の範囲内で実施している。	27,117千円の範囲内で実施している。
	事業内容	介護テクノロジーの活用が進んでいる施設を見学し、運用の方法や導入を成功させるポイントを学ぶ(介護生産性向上総合相談センター)による。	業務改善・生産性向上の取組方法の紹介及び実践施設からの事例報告を実施(介護生産性向上推進総合事業(介護生産性向上総合相談センター)による。)
対象者	県内介護サービス施設・事業所	県内介護サービス施設・事業所	
対象人数(対象社数)	20名	各回50名	
実績	18名	64名(5会場の合計)	
事業名		介護テクノロジー活用施設見学会	
執行額		27,117千円の範囲内で実施している。	
事業内容		介護テクノロジーの活用が進んでいる施設を見学し、運用の方法や導入を成功させるポイントを学ぶ(介護生産性向上総合相談センター)による。	
対象者		県内介護サービス施設・事業所	
対象人数(対象社数)		各日32名	
実績		78名(3日間の合計)	
岡山市	事業名	介護ロボット普及促進研修事業(岡山市)	介護ロボット普及促進研修事業(岡山市)
	執行額	9,131千円	14,000千円
	事業内容	介護ロボットの貸与、研修会の実施	介護ロボットの貸与、研修会の実施
	対象者	岡山市内の介護事業所	岡山市内の介護事業所
	対象人数(対象社数)	50事業所	50事業所
実績	33事業所	50事業所	



④介護ロボットに関するイベントや会議等の開催状況

令和6年度に管内で開催された介護ロボットの展示等を含むイベントは以下のとおり。

都道府県	イベント名称	開催日	開催場所 (市町村名)	主催者	来場者数	出展 企業数	運営費に対する 公的資金の投入 の有無
岩手県	令和6年度介護テクノロジー導入研修会	令和6年8月6日	盛岡市	岩手県、公益財団法人いきいき岩手支援財団	213人	11社	有
	令和6年度いわて働きやすい介護現場サポートセミナー&介護ロボット等展示会	令和7年2月18日	盛岡市	岩手県、公益財団法人いきいき岩手支援財団	-	-	有
宮城県	医療と介護のロボット展	令和6年8月30日、31日	仙台市	宮城県 一般社団法人東北医療・介護ロボット普及協会	500人	42社	有
秋田県	生産性向上に向けたセミナー 介護ロボット・ICT機器展示会	令和6年9月29日	秋田市	秋田県	230人	15社	有
栃木県	介護の日フェスティバル 令和6年度第1回介護テクノロジー導入支援セミナー	令和6年11月4日	宇都宮市	栃木県	340人	12社	有
群馬県	令和6年度第2回介護テクノロジー導入支援セミナー	令和6年7月11日	前橋市	群馬県	47人	10社	有
	令和6年度第2回介護テクノロジー導入支援セミナー	令和6年8月21日	前橋市	群馬県	50人	11社	有
千葉県	千葉県介護業務改善支援事例発表会 介護ロボット・ICT体験展示会	令和7年3月6日	オークラ千葉ホテル (千葉市)	千葉県	200人	12~14	有
	千葉市介護ロボットフェア	令和6年11月20日	ホテルポート プラザちば (千葉市)	千葉市	50人	37社	有
新潟県	生産性向上の取組に関する研修会 ※介護生産性向上総合相談センター事業の一環として 介護ロボット・ICT機器展示会	令和6年12月2日	長岡産業交流会館 (長岡市)	(公財)介護労働安定センター ※センター受託者	会場：59人 オンライン：49人	-	有
	※介護生産性向上総合相談センター事業の一環として	令和6年12月2日、3日	長岡産業交流会館 (長岡市)	(公財)介護労働安定センター ※センター受託者	250人	26社	有
山梨県	介護ロボット展示・体験会	令和6年6月7日	甲府市	山梨県社会福祉協議会	86人	17社	有
長野県	生産性向上の取組に関する研修会&介護ロボット・ICT機器展示会	令和6年8月29日	松本市	県	105人	12社	有
	生産性向上の取組に関する研修会&介護ロボット・ICT機器展示会	令和6年8月30日	長野市	県	114人	12社	有
滋賀県	福祉用具セミナー・展示体験会	令和6年8月20日	米原市	◆滋賀の緑創造実践センター 社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 ◆滋賀県立リハビリテーションセンター ◆滋賀県介護支援専門員連絡協議会 ◆一般社団法人日本福祉用具供給協会滋賀ブロック ◆滋賀県介護現場革新サポートデスク	101人	18社	有
兵庫県	ひょうご福祉用具・介護ロボットフェスティバル2024	令和6年7月24日、25日	姫路市	兵庫県、兵庫県立福祉のまちづくり研究所	776人	69社	有
広島県	ICT・介護ロボット導入支援セミナー(東部地区)	令和6年7月13日	尾道市	広島県介護福祉士養成施設協会	102人	9社	有
	ICT・介護ロボット導入支援セミナー(西部地区)	令和6年11月22日	広島市	広島県介護福祉士養成施設協会	130人	79社	有
	介護テクノロジー体験・研修会(西部地区)	令和6年7月12日	広島市	一般社団法人日本福祉用具供給協会広島県ブロック	100人	12社	有
	介護テクノロジー体験・研修会(東部地区)	令和6年7月17日	福山市	一般社団法人日本福祉用具供給協会広島県ブロック	100人	12社	有
	福祉用具フェア&展示会	令和6年11月22日、23日	広島市	一般社団法人日本福祉用具供給協会広島県ブロック	1,605人	79社	無
徳島県	キックオフセミナー「介護現場での生産性向上の進め方」 介護生産性向上セミナー	令和7年1月20日 令和7年2月21日	徳島市 阿波市	徳島県(介護生産性向上総合相談センター) 徳島県(介護生産性向上)	150人 150人	10社 未定	有 有
香川県	かがわ介護王座決定戦	令和6年11月13日	サンメッセ香川 (高松市)	香川県	194人	8社	有
高知県	高知県介護生産性向上スタートアップセミナー	令和6年10月30日	高知市	県(こうち介護生産性向上総合支援センター)	59人	10社	有
佐賀県	さがサポセンターいきいき館祭	令和6年11月17日	佐賀市	佐賀県在宅生活サポートセンター	-	-	-
	リフトリーダー養成研修	令和7年2月15日、16日	佐賀市	佐賀県在宅生活サポートセンター	-	-	-
	抱えん県！佐賀	令和7年3月16日	佐賀市	佐賀県リハビリテーション3団体協議会	-	-	-
長崎県	介護テクノロジー機器展示会	令和6年8月26日~30日	長崎市	ながさき介護現場サポートセンター	188人	12社	有
	介護生産性リーダー研修	令和6年10月11日他5回	佐世保市	ながさき介護現場サポートセンター	60人	12社	有
	介護テクノロジー普及促進セミナー・機器展示会	令和7年2月19日	大村市	ながさき介護現場サポートセンター	100人	13社	有
宮崎県	2024 介護テクノロジーフェスタIn日南	令和6年8月22日	日南市	日南市連携協議会みらい	109人	32社	無
	2024 福祉機器展inひゅうが	令和6年11月12日	日向市	日向市	100人	30社	無
	介護ロボット・ICTエキシビジョン	令和6年12月18日	延岡市	宮崎県	18人	22社	有
	介護ロボット・ICTエキシビジョン	令和6年12月19日	宮崎市	宮崎県	45人	30社	有
	介護ロボット・ICTエキシビジョン	令和6年12月20日	都城市	宮崎県	30人	24社	有

⑤地域医療介護総合確保基金による令和6年度「介護生産性向上推進総合事業」の実施概況

令和6年度「介護生産性向上推進総合事業」について、32件が「実施した」と回答した。それぞれの実施内容と補助額については、以下のとおり。

	回答数	割合
実施した	32	68.1%
実施していない	15	31.9%
合計	47	100%

※実施回答（北海道、青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、滋賀県、大阪府、兵庫県、和歌山県、岡山県、広島県、徳島県、愛媛県、高知県、福岡県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県）

【実施内容】

○都道府県等による介護現場革新会議の設置に伴う必要な経費

	件数	経費
北海道	3	6,537千円
青森県	1	694千円
岩手県	1	717千円
秋田県	0	0千円
山形県	0	0千円
福島県	0	0千円
千葉県	0	0千円
東京都	0	0千円
神奈川県	0	0千円
新潟県	1	320千円
富山県	0	0千円
石川県	0	0千円
福井県	0	0千円
山梨県	1	1,543千円
長野県	1	162千円
岐阜県	0	0千円
静岡県	1	542千円
愛知県	0	0千円
滋賀県	0	0千円
大阪府	1	301千円
兵庫県	1	441千円
和歌山県	0	0千円
岡山県	0	0千円
広島県	1	128千円
徳島県	3	300千円
愛媛県	1	500千円
高知県	1	9,910千円
福岡県	0	0千円
長崎県	0	0千円
大分県	0	0千円
宮崎県	2	793千円
鹿児島県	0	0千円
合計	19	22,888千円

※11月末時点で実績が確定していない都道府県は、0件・0千円としている

○介護事業所の取組（モデル的取組）に必要な経費

回答のあった都道府県はなかった。

○都道府県等が取組む介護の魅力発信や職員の定着支援等に要する必要な経費

	実施事業名	補助金額
石川県	I C T・I o T 導入職員推進養成研修	1,200千円
合計		1,200千円

○第三者が精細性向上の取組を支援するための費用の支援（コンサル経費の補助）

回答のあった都道府県はなかった。

※兵庫県では介護テクノロジー定着支援事業において4件、1,920千円を予定している。

- ⑥令和6年度「介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・I C Tの導入支援事業」（地域医療介護総合確保基金、施設整備分）の実施状況および実績  
「介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・I C Tの導入支援事業」（地域医療介護総合確保基金、施設整備分）の実施状況について、令和6年度28件が「実施した」と回答した。また、32件が「来年度実施を予定している」と回答した。

	回答数	割合
実施した	28	59.6%
実施しなかった	19	40.4%
合計	47	100%

【来年度の実施予定】

	回答数	割合
来年度実施を予定している	32	68.1%
実施の予定はない	15	31.9%
合計	47	100%

【介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行うロボット・センサー・ICTの  
導入支援件数・補助額（都道府県の合計）の実績】

	件数	金額
北海道	2	29,233千円
青森県	13	230,148千円
福島県	3	140,729千円
栃木県	1	35,280千円
群馬県	3	13,480千円
埼玉県	11	108,818千円
神奈川県	108	3,780,723千円
静岡県	12	518,816千円
滋賀県	8	97,743千円
兵庫県	2	49,602千円
奈良県	6	112,546千円
和歌山県	10	243,149千円
鳥取県	8	142,668千円
広島県	30	759,704千円
愛媛県	3	62,992千円
高知県	2	69,440千円
鹿児島県	5	243,386千円
沖縄県	1	36,640千円
合計	228	6,675,097千円

## 第 2 部 資料編





# 令和6年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業における 「介護ロボット地域フォーラムの協力機関」

## 募集要項

**募集期限 令和6年4月26日(金)～5月31日(金)**

厚生労働省が実施する「介護現場の生産性向上に向けた介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業」の相談窓口（地域拠点）が無い都道府県において、介護ロボット地域フォーラムを開催し、介護ロボットの体験展示や試用貸出の受付等を行う機関を募集します。

本事業は、当協会が厚生労働省から受託した「福祉用具・介護ロボット実用化支援・広報等一式」の一環として行うものであり、予定の件数や予算に到達した時点で募集を終了しますので、予めご了承ください。

なお、募集期間中に予定の件数に達しない場合は、継続して募集します。詳しくは、当協会までお尋ねください。

**公益財団法人テクノエイド協会**

## 目次

1. 目的 .....	1
2. 対象となる機関 .....	1
3. 対象とする介護ロボットの範囲 .....	2
4. 実施内容 .....	2
5. 交付額及び実施件数 .....	3
6. 協力機関の選定等について .....	3
7. 実施期間 .....	4
8. 実施結果報告の提出 .....	4
9. 関係書類 .....	4
10. 本件に関するお問い合わせ及び実施要望書の提出先 .....	4
11. 様式 .....	5
様式1「介護ロボット地域フォーラム 実施要望書」 .....	5
様式2「介護ロボット地域フォーラム 経費明細書」 .....	6
様式3「介護ロボット地域フォーラム 請求書」 .....	7
様式4「介護ロボット地域フォーラム 実施結果報告書」 .....	8
様式5「介護ロボット地域フォーラム 支出経費明細書」 .....	10

# 令和6年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業における 「介護ロボット地域フォーラムの協力機関」 募集要項

## 1. 目的

日本の高齢化は世界に例を見ない速度で進行しており、生産年齢人口が減少し、介護ニーズが増大していく中、介護人材の確保は喫緊の課題であり、介護職員の働く環境改善を図り、さらには質の高いサービスを効率的に提供するため、介護現場へのテクノロジーの導入は不可欠となっています。

こうした中、厚生労働省では「介護現場の生産性向上に向けた介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業（以下、「介護ロボットのプラットフォーム事業」）を実施しているところですが、本事業では、介護ロボットのプラットフォーム事業の相談窓口（地域拠点）が無い都道府県において、介護ロボット地域フォーラムを開催し、介護ロボットの体験展示や試用貸出の受付等を行う機関（以下「協力機関」）を募集します。

地域において、介護ロボットの普及啓発を行い、もって介護ロボットの適切かつ効果的な導入・利活用に資することを目的とします。

（参考）

介護ロボットのプラットフォーム事業 ホームページ

<https://www.kaigo-pf.com/>

## 2. 対象となる機関

- (1) 都道府県又は市町村（特別区、一部事務組合及び広域連合を含む。）
- (2) 福祉用具・介護ロボットの普及啓発を行っている機関
- (3) 過去に介護ロボットに係るフォーラム等を行った実績がある機関
- (4) その他、本事業の実施が可能であると認められた法人

上記（1）～（4）のいずれかに該当することとする。ただし、（1）の市町村が行う場合、当該市だけではなく所在県の全域をカバーすることとします。

※個人の申請は認めない。

介護ロボットのプラットフォーム事業の相談窓口（地域拠点）が無い都道府県  
（令和6年4月時点）

・北海道	・青森県	・宮城県	・秋田県	・山形県	・福島県	・群馬県	・千葉県
・東京都	・神奈川県	・新潟県	・富山県	・石川県	・山梨県	・長野県	・岐阜県
・静岡県	・愛知県	・三重県	・滋賀県	・京都府	・大阪府	・兵庫県	・和歌山県
・島根県	・岡山県	・広島県	・徳島県	・愛媛県	・高知県	・福岡県	・長崎県
・大分県	・宮崎県	・鹿児島県	・沖縄県				

なお、介護生産性向上総合相談センターのワンストップ窓口を設置する都道府県において開催を希望する場合は、関係機関及び厚生労働省老健局高齢者支援課と調整を行うこととします。

### 3. 対象とする介護ロボットの範囲

「ロボット技術の介護利用における重点分野」（平成29年10月改訂）における6分野13項目に概要する機器及び、介護施設・事業所のサービスの質の向上・効率的なサービス提供に資する機器・システムを対象範囲とします。

#### ロボット介護機器の開発重点分野（平成29年10月）

<p><b>移乗支援</b></p> <p>○装着</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>ロボット技術を用いて介助者のパワーアシストを行う装着型の機器</li> </ul> <p>○非装着</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>ロボット技術を用いて介助者による抱え上げ動作のパワーアシストを行う非装着型の機器</li> </ul> <p>厚生省・経産省による ロボット技術の介護利用 開発重点分野の策定</p> <p>H24.11月 重点分野公表 H26.2月 追加改定(青枠) H29.10月 追加改定(赤枠)</p>	<p><b>移動支援</b></p> <p>○屋外</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者等の外出をサポートし、荷物等を安全に運搬できるロボット技術を用いた歩行支援機器</li> </ul> <p>○屋内</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者等の屋内移動や立ち座りをサポートし、特にトイレへの往復やトイレ内での姿勢保持を支援するロボット技術を用いた歩行支援機器</li> </ul> <p>○装着</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者等の外出をサポートし、転倒予防や歩行等を補助するロボット技術を用いた装着型の移動支援機器</li> </ul>	<p><b>排泄支援</b></p> <p>○排泄物処理</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>排泄物の処理にロボット技術を用いた設置位置調節可能なトイレ</li> </ul> <p>○トイレ誘導</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>ロボット技術を用いて排泄を予測し、的確なタイミングでトイレへ誘導する機器</li> </ul> <p>○動作支援</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>ロボット技術を用いてトイレ内での下衣の着脱等の排泄の一連の動作を支援する機器</li> </ul>	<p><b>見守り・コミュニケーション</b></p> <p>○施設</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>介護施設において使用する、センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム</li> </ul> <p>○在宅</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅介護において使用する、転倒検知センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム</li> </ul> <p>○生活支援</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者等とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器</li> </ul>	<p><b>入浴支援</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>ロボット技術を用いて浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器</li> </ul> <p><b>介護業務支援</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>ロボット技術を用いて、見守り、移動支援、排泄支援をはじめとする介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、それを基に、高齢者等の必要な支援に活用することを可能とする機器</li> </ul>
--	---	---	--	---

### 4. 実施内容

以下のとおりとします。地域の実情やニーズに応じて計画してください。

#### (1) 必須項目

##### 介護ロボット地域フォーラムの開催

##### ①介護ロボットの体験展示

10種類以上の展示を行うこと。

##### ②介護ロボットの試用貸出の受付

当該地域の要望を受付、全国11か所（予定）の相談窓口等に取次ぐこと。

##### ③介護ロボットに関するシンポジウムの開催

介護ロボットの普及に係るシンポジウムを開催すること。

シンポジウムでは、厚生労働省が行う介護ロボットのプラットフォーム事業の紹介や、開催地等の自治体における介護ロボットの開発・導入・普及・活用に係る取組や介護現場の生産性向上に係る取組の紹介を行うとともに、介護ロボットに係る最新動向等について情報提供を行うこととする。

## (2) 任意項目

地域フォーラム開催時のイベントとして、福祉用具・介護ロボットの導入、利活用に関する地域の実情やニーズに応じた企画を立案していただいで差し支えありません。

例えば、

- ・介護ロボット導入支援事業による好事例の紹介
- ・上手に導入・利活用するためのノウハウ、ワークショップの開催
- ・安全体制を確保するための取組紹介
- ・ICTやロボット技術を活用した生産性向上に関する取組紹介
- ・ロボット技術等を活用した新しい面会システムの取組紹介

## (3) アンケート調査の実施

アンケート調査を実施し、地域フォーラムの結果を取りまとめてください。

### 【調査項目】

#### 来場者共通事項

- ・来場者の属性（介護従事者・開発企業等の別、職種等）
- ・シンポジウムに対する意見
- ・体験展示・試用貸出に対する意見
- ・介護ロボットの利用意向  
（自身が介護者として介護ロボットを使用する意向があるか、被介護者となった場合に介護ロボットを使用した介護を受けたいか等）
- ・相談窓口やリビングラボの利用の意向や意見

#### 対介護施設

- ・介護ロボットの導入・活用状況（導入分野・導入台数）
- ・介護ロボットの導入・活用にあたっての課題
- ・生産性向上に関する委員会の設置状況
- ・生産性向上推進体制加算の取得意向 等

### (インフルエンザ等感染症の対応)

地域フォーラムの開催は、原則、会場開催を予定することとし、インフルエンザ等感染症予防等の徹底をお願いいたします。

## 5. 交付額及び実施件数

○交付額 1か所あたり、120万円程度（税込み）

※補助対象となる費目については、別表の対象経費を参照してください。

※謝金及び旅費、会場借料は別途精算払いとなります。

○実施件数 6か所

## 6. 協力機関の選定等について

本事業を希望される機関は、「**実施要望書(様式1)**」及び「**経費明細書(様式2)**」、法人概要、介護ロボットに係る過去の実績が分かるものを令和6年4月26日（金）～令和6年5月31日（金）の間に、電子メールにて当協会あてに（[monitor@techno-aids.or.jp](mailto:monitor@techno-aids.or.jp)）提出してください。

応募されたものから、順次、当協会から厚生労働省に再委託の協議を行い、協力機関

を決定して参ります。

なお、協力機関の選定にあたっては、全国的な地域のバランスをふまえるとともに、要望書の内容を加味して決定いたします。

募集期間中に予定の件数に達しない場合は、継続して募集します。選定状況は、当協会までお尋ねください。

## 7. 実施期間

内定後～令和7年2月末

## 8. 実施結果報告の提出

本事業を実施した機関は、事業終了後速やかに「**実施結果報告書(様式4)**」及び「**支出経費明細書(様式5)**」、アンケート調査の結果を電子メールにて、当協会あてに提出してください。(送信先:[monitor@techno-aids.or.jp](mailto:monitor@techno-aids.or.jp))

## 9. 関係書類

- 様式1「介護ロボット地域フォーラム 実施要望書」
- 様式2「介護ロボット地域フォーラム 経費明細書」
- 様式3「介護ロボット地域フォーラム 請求書」
- 様式4「介護ロボット地域フォーラム 実施結果報告書」
- 様式5「介護ロボット地域フォーラム 支出経費明細書」

## 10. 本件に関するお問い合わせ及び実施要望書の提出先

**公益財団法人テクノエイド協会 企画部** (伊東・松本・五島 (ごしま))

〒162-0823

東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階

TEL 03(3266)6883

電子メール [monitor@techno-aids.or.jp](mailto:monitor@techno-aids.or.jp)



## 11. 様式

様式1「介護ロボット地域フォーラム 実施要望書」

令和 年 月 日

### 介護ロボット地域フォーラム 実施要望書

#### 1. 協力機関

事業名	〇〇〇介護ロボット地域フォーラム
機関名称	
住所	〒
連絡担当者 所属 氏名	
電話	
電子メールアドレス	

※「〇〇〇」には開催地（実施する都道府県）を記載してください。

#### 2. 実施する都道府県

#### 3. 実施体制（人員体制や自治体・相談窓口等との連携状況 等）

#### 4. 実施内容（実施予定日・実施会場・展示予定機器 等）

#### 5. 実施スケジュール

※記載には文字数の制限はありません。必要に応じて頁を増やしてください。

様式2「介護ロボット地域フォーラム 経費明細書」

〇〇〇介護ロボット地域フォーラム 経費明細書

(1) 経費明細 ※1か所あたり、120万円程度(税込み)

	項目	支出予定額	積算内訳
直接 経費	賃金・人件費		
	消耗品費		
	雑役務費		
	会議費		
	通信運搬費		
	印刷製本費		
	保険料		
	光熱水費		
	委託費		
一般管理費			
合計			

(2) 謝金、旅費、借料及び損料 ※別途、精算払いとなります。

	項目	支出予定額	積算内訳
直接 経費	謝金		
	旅費		
	借料及び損料		
合計			

※ 記載にあたっては、文字数の制限はございませんので、適宜、記載枠を広げて、具体的に、ご記入ください。

# 請求書

金 \_\_\_\_\_ 円

令和6年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の一環として行う「介護ロボット地域フォーラム」について、上記のとおり請求します。

なお、上記金額は次の口座にお振り込み下さい。

1. 振込先

金融機関名	銀行	支店
預貯金種別		
口座番号		
(フリガナ) 口座名		

2. 協力機関及び開催地

協力機関名	
担当者名	
開催地（都道府県）	

令和 年 月 日

公益財団法人 テクノエイド協会  
理事長 大橋謙策 殿

(請求者)  
住所 〒

事業者名

代表者

印

### 介護ロボット地域フォーラム 実施結果報告書

1. 協力機関

事業名	〇〇〇介護ロボット地域フォーラム
機関名称	
住所	〒
連絡担当者 所属 氏名	
電話	
電子メールアドレス	

2. 実施した都道府県

3. 実施体制

4. 実施方法

5. 実施結果

○実施日時、場所

○来場者数

○体験展示の内容（展示機器名・台数等）

○試用貸出の取次ぎ件数

○シンポジウムの内容（講演者・講演概要等）

○その他、地域フォーラムにおいて実施した、介護ロボットの開発・導入・普及・活用等に資する取組

(アンケート調査の結果や本事業で作成したパンフレット、当日の写真など入れてください。なお、アンケート結果の集計方法については、別途ご案内いたします。)

※記載には文字数の制限はありません。必要に応じて頁を増やしてください。

〇〇〇介護ロボット地域フォーラム 支出経費明細書

(1) 経費明細 ※1か所あたり、120万円程度(税込み)

	項目	支出額	積算内訳
直接 経費	賃金・人件費		
	消耗品費		
	雑役務費		
	会議費		
	通信運搬費		
	印刷製本費		
	保険料		
	光熱水費		
	委託費		
一般管理費			
合計			

(2) 謝金、旅費、借料及び損料 ※別途、精算払いとなります。

	項目	支出額	積算内訳
直接 経費	謝金		
	旅費		
	借料及び損料		
合計			

※記載にあたっては、文字数の制限はございませんので、適宜、記載枠を広げて、具体的に、ご記入ください。

対象経費

(申請できる経費)

本事業の実施に必要な賃金、消耗品費、雑役務費、会議費、通信運搬費、印刷製本費、保険料、光熱水費、委託費、謝金、旅費交通費、借料及び損料の直接経費等並びに一般管理費

各項目の具体的な支出例は、以下のとおりです。経費の算出に当たっては、所属機関の規定等に基づくこと。

なお、謝金及び旅費交通費、借料及び損料につきましては、精算払いとなります。

直接経費	具体的な支出例	
(1)	賃金・人件費	・ 事業実施に必要な作業等を行う者の人件費 ・ 事業実施に必要な臨時に雇用する者の費用
	消耗品費	・ 各種事務用紙、文具の類、収入印紙、雑誌等、その性質が使用することによって消耗され又は毀損しやすいもの、長期間の保存に適さない物品の購入費
	雑役務費	・ 振込手数料、両替手数料 ・ 会議録等の作成費 ・ 介護ロボットの貸与費及び、設置セットアップ費用 ・ アンケート結果の入力費 等
	会議費	・ 会議時の費用等
	通信運搬費	・ 郵便料、運搬料、電話料等
	印刷製本費	・ パンフレットや報告書等の印刷費
	保険料	・ 試用等に係る保険料等
	光熱水費	・ 電気使用料、ガス使用料、水道使用料等及びこれらの使用に伴う計器類の使用料等 ・ 自動車等の燃料費
	委託費	・ 業務の一部を外部機関に委託するための費用
(2)	謝金	・ 事業の協力機関に属さないシンポジウムの講師等に対する謝礼 下記の参考単価基準額を参照
	旅費交通費	・ 事業実施に必要な旅行交通費（シンポジウムの講師等）
	借料及び損料	・ 会場借上料
一般管理費	直接経費（1）の15%以内とします	

参考単価基準額

(賃金)

一日（8時間）当たり 8,300 円を基準とし、雇用者が負担する保険料は別に支出する。

注）一日において8時間に満たない時間又は8時間を超えた時間で賃金を支出する場合には、1時間当たり 1,030 円で計算するものとする。

(謝金)

定型的な用務を 依頼する場合	医師又は相当者	日給 14,100 円
	大学（短大含む）卒業者又は専門技術を有する者及び担当者	日給 7,800 円
	その他	日給 6,600 円





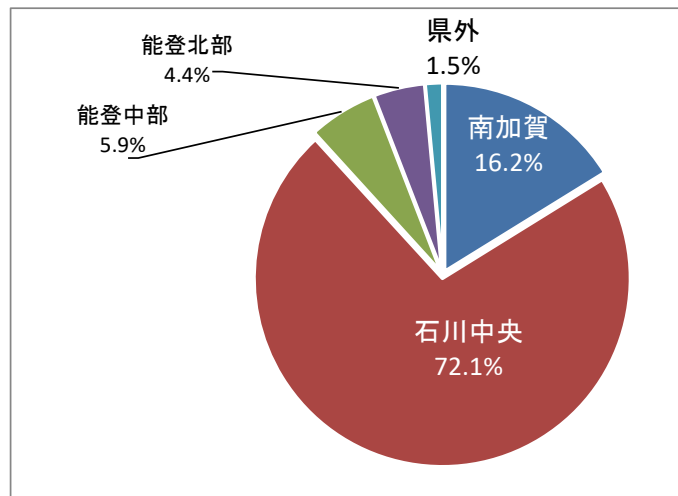
## 2. 介護ロボット地域フォーラム アンケート結果

### ①石川県

#### <来場者アンケート集計結果>

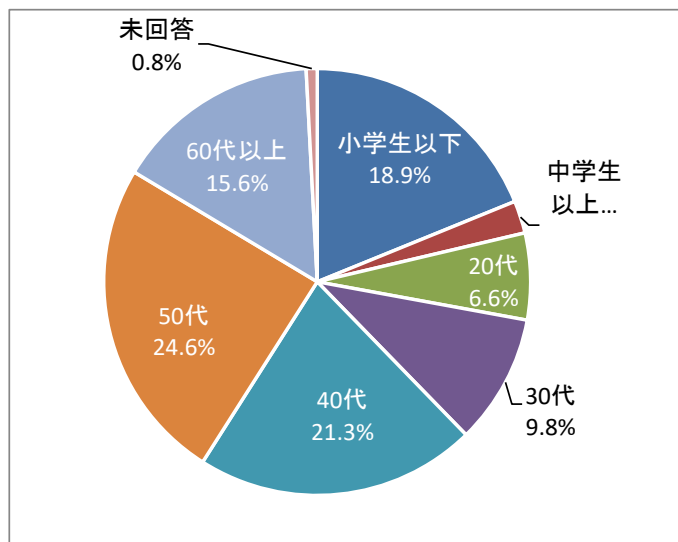
##### ■来場地域

南加賀	11人	16.2%
石川中央	49人	72.1%
能登中部	4人	5.9%
能登北部	3人	4.4%
県外	1人	1.5%
未回答	人	0.0%



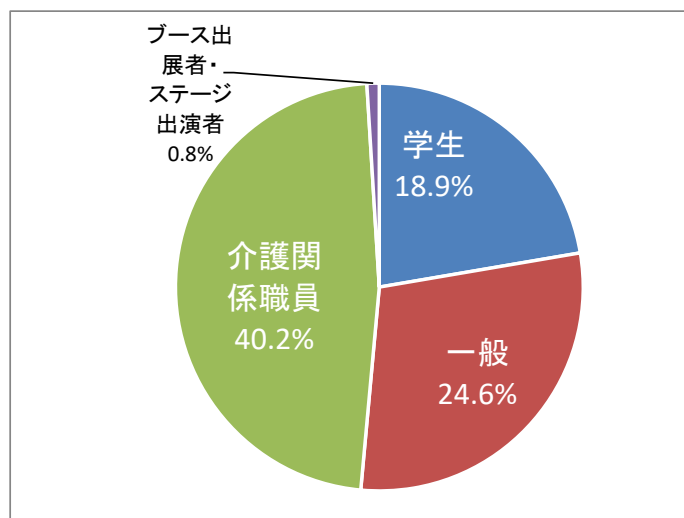
##### ■来場者年齢

小学生以下	23人	18.9%
中学生以上	3人	2.5%
20代	8人	6.6%
30代	12人	9.8%
40代	26人	21.3%
50代	30人	24.6%
60代以上	19人	15.6%
未回答	1人	0.8%



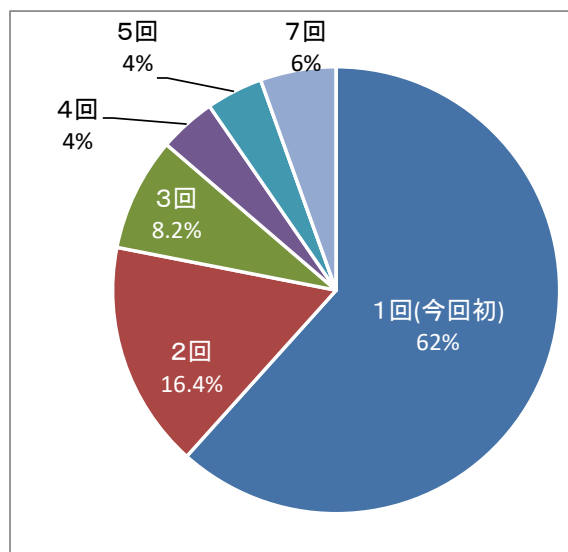
##### ■来場者の職業

学生	23人	18.9%
一般	30人	24.6%
介護関係職員	49人	40.2%
ブース出展者・ステージ出演者	1人	0.8%
その他	人	0.0%



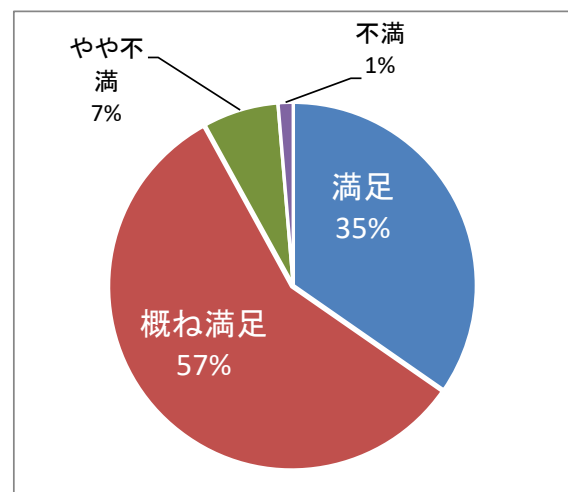
■フェスタへの来場回数

1回(今回初)	45人	61.6%
2回	12人	16.4%
3回	6人	8.2%
4回	3人	4.1%
5回	3人	4.1%
6回	人	0.0%
7回	4人	5.5%
未回答	人	0.0%



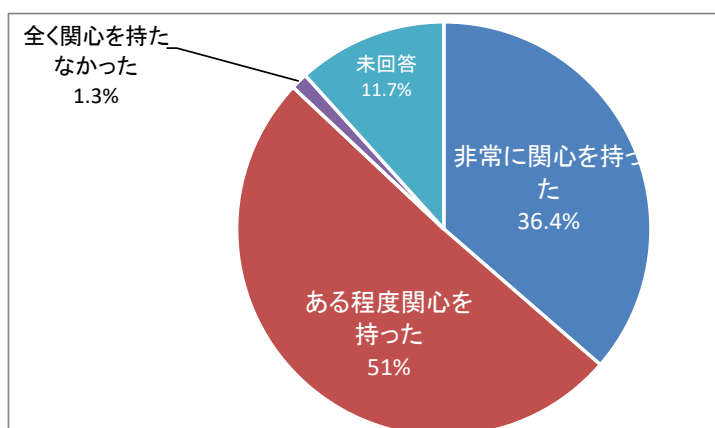
■フェスタ全般についての満足度

満足	26人	34.7%
概ね満足	43人	57.3%
やや不満	5人	6.7%
不満	1人	1.3%



■介護の仕事に対して、どの程度関心を持ったか

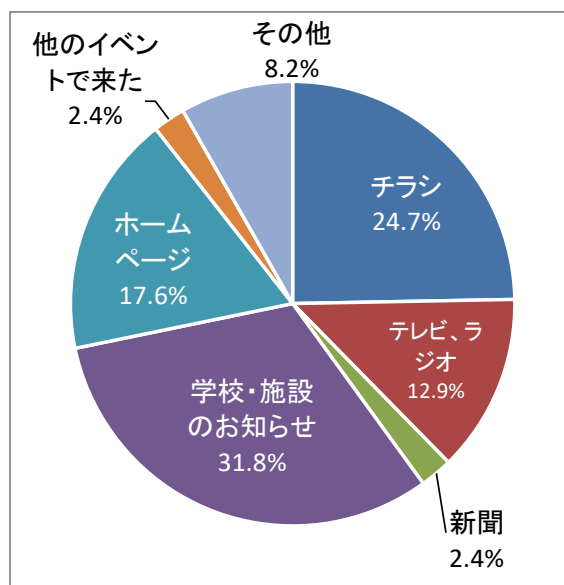
非常に関心を持った	28人	36.4%
ある程度関心を持った	39人	50.6%
あまり関心を持たなかった	人	0.0%
全く関心を持たなかった	1人	1.3%
未回答	9人	11.7%



■フェスタの開催を知ったきっかけ（複数回答可）

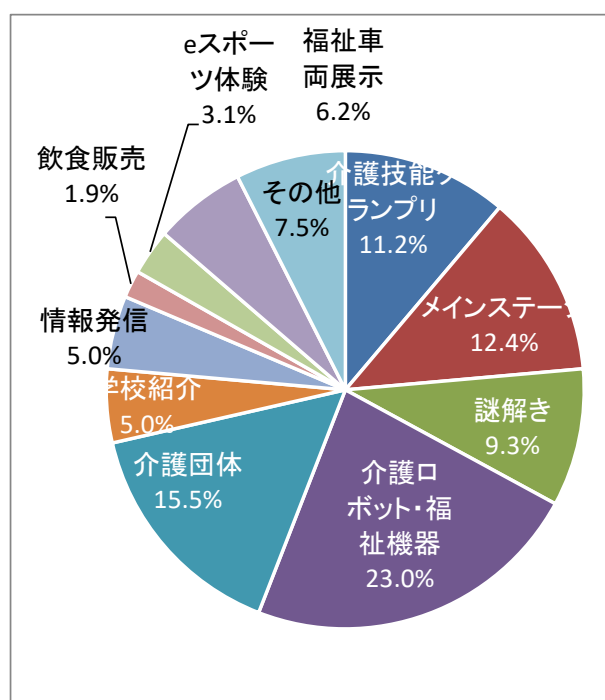
チラシ	21人	24.7%
テレビ、ラジオ	11人	12.9%
新聞	2人	2.4%
学校・施設のお知らせ	27人	31.8%
ホームページ	15人	17.6%
他のイベントで来た	2人	2.4%
その他	7人	8.2%

※ その他・・・家族の紹介 等



■どのコーナーが楽しかったか（複数回答可）

介護技能グランプリ	18人	11.2%
メインステージ	20人	12.4%
謎解き	15人	9.3%
介護ロボット・福祉機器	37人	23.0%
介護団体	25人	15.5%
学校紹介	8人	5.0%
情報発信	8人	5.0%
飲食販売	3人	1.9%
eスポーツ体験	5人	3.1%
福祉車両展示	10人	6.2%
その他	12人	7.5%



## 令和6年度いしかわ介護フェスタ 一般来場者アンケート意見抜き出し

項目	意見	内容
全般	良い意見	予想以上に雰囲気明るくて楽しめました。家族も楽しめるのではと思いました。
	良い意見	ステージやブースが楽しかった
	良い意見	様々な体験が出来ました
	良い意見	たくさん、話をして、知識が増えたような気になりました。
	良い意見	将来のことに役立てると思いました。
	良い意見	知らないことを知れた。
	良い意見	色々体験できた。
	良い意見	新しいことがあった。
	良い意見	また来年も来たい。
	良い意見	長く続けてほしい。
	良い意見	回を経るごとにパワーアップしていて来る度新たな発見がありとても良いです。準備・企画等大変ですが来年も楽しみにしています。
	良い意見	今後仕事して行く上で参考になりました。
	良い意見	福祉現場で働いている上で、効率、効果を考えるに役立つ
	改善点	この事業の対象が、専門職なのか、一般の方なのかで、見せ方も仕掛けも違うのかなと思います。介護の仕事に関心を持ってもらうことがねらいなら、一般の方が興味を引く飲食、体験会ブースを増やしたり、保育所学校にも周知されるといいのかと
	改善点	もっと宣伝した方がいいと思う。
	改善点	福祉業界はいろんな界隈とコラボして、知ってもらう、広げる必要があると思います、スポーツ、食品、販売、衣類など、ブランド力も借りながら向上していかなくてはいけない。
	改善点	謎解きラリーや介護クイズ大会など子供中心のものであり、全員が学んだり知ったりする場ではないと思いました。謎解きラリーは子供のみしか参加できず、介護クイズの内容は全員が楽しめるものではあったが、10名にももらえる景品の中の親子ペア招待券だけは子供がいない家庭でもらえたとしても夫婦などで行ったりできないのでどうなのかなと思いました。中身全部が子供から大人までよかったなと思えるような景品にするとよいと思います。
改善点	このフェスティバルは多くの人に介護に興味をもってもらい、体験したりして学び、身内などに何かあり困ったときに、フェスティバルのことを思い出し、相談などをし、安定した生活を送ること、そして介護で働いてみたいと思う人が増えるきっかけ作りだと思って行ったのですが、全く違いました。改めて石川県の福祉業界の質の低さを実感すると共に、今後の石川県の福祉業界に不安などを感じました。	
改善点	看護している側のコミュニケーションをもっと知りたい。	
改善点	他の月の開催も検討してほしい。	
改善点	出来たら2日間やってほしい。または春にやってほしい。	
団体ブース	良い意見	体験コーナーが充実していた。
	良い意見	知りたいブースが沢山あった。
	良い意見	ブースの体験イベントが楽しかった。ハンドマッサージが気持ちよかった。
	良い意見	各ブースが見やすい。
	良い意見	ステージやブースが楽しかった
	良い意見	同じ施設で長年働き、最近モチベーション低下気味だったが、色んなブースを見て良い刺激を受けた。ただ子供と行ったため、ゆっくり見れなくて残念。でも子供が楽しめるブースもあり、職員の方も子供に優しくしてくれて、ありがたかったです。

団体ブース	良い意見	関係学校の学生との体験を通した触れ合いや、VR体験で身近に感じた。
	良い意見	体験ブースの皆さんの雰囲気良かった
	良い意見	マッサージを受けて、気持ちの良さを感じました。同じ様に気持ち良く感じてもらうようにしたいと思いました。
	改善点	子供だけしかできない時は紙に書く各ブースの前に書いてほしい（子供と言わず大人もできるようにしてほしい）。
	改善点	16石川県鍼灸マッサージ師会は順番待ちが多く締め切られてしまい残念でした。それもただ残念なのではなく、1人1人に用意された用紙を記入し椅子にそれを置き順番待ちをその場でせず他のところへ行って順番近くなったら来るというシステムで、私達のような人が多いからあとから来ようとか、他の所行ってから最後にしようと考えてそこへ行った人は楽しめませんでした。どの場所もその場で順番を待つというシステムだったので、そこを改善してください。
	改善点	15の石川県精神保健福祉士会の場所はいったい何をするために来られたのかなって疑問に感じました。来場者が自ら声をかけ来るまで待つという態度で近寄りたたい雰囲気のためか相談者も全くおらず、まあ1名だけ来られてる場面も見ましたが、何より終了時間までおらずとても早い時間に片付けて途中で帰るくらいなら初めから来なければよいと思います。
改善点	鍼きゅうで、横になるときは、周りの目が気になりました。	
介護ロボット・福祉機器コーナー	良い意見	今後のICT・IoTを再確認できたことはよかった。
	良い意見	介護技能や介護ロボットや福祉機器の導入について学ぶ事ができた。
	良い意見	ロボットセミナーなど分かりやすい。
	良い意見	技術や機器の幅広い展示があり活気があった。
	良い意見	いろいろな機器をお試しできて良かった。
	良い意見	いろんな介護ロボットや福祉機器を知ることができた
	良い意見	いろんな機器をみる事ができた
	良い意見	介護機器の実物やどのように使用するかのデモンストレーションがあり、レクの実演もあってよかった。
	良い意見	ロボットのデモを体験できた
	良い意見	実用可能なロボットがたくさんあった。
メインステージ	改善点	スクリーンの文字が見えづらかった。
	改善点	スクリーンが見づらかった。
	改善点	研修のモニターがとても見にくい。
飲食	改善点	キッチンカーが少ない。もう少し食べるものがあったらいいかな。
	改善点	もう少し、キッチンカーが多いといい。
	改善点	お昼近くにお伺いしましたが、コンテストの時間だったためか、参加者が少なく感じました。飲食がメインではないイベントだとは思っているのですが、お昼ごはんになりそうなものがもう少しあるとよいかと。
会場	改善点	会場内が寒いです。
	改善点	会場に入るまでの案内板がなくて迷った。もう少しのぼりや案内板があるとスムーズに入れた。
	改善点	会場まで行くのに時間がかかりました。
	改善点	駐車場が空いておらずなかなか止められなかった。
その他	良い意見	介護技能グランプリの質が皆さん素晴らしい。
	良い意見	災害等のコーナーは本当に勉強になった。





## 調査概要

**【調査対象】** 令和6年度京都府介護ロボットフォーラム（70名）

※講演会受講者 アンケート

**【回答数】**

29件

**【調査日】**

令和6年11月21日（木）

**【調査方法】**

フォーラム受講者・展示会へ紙面にて配布

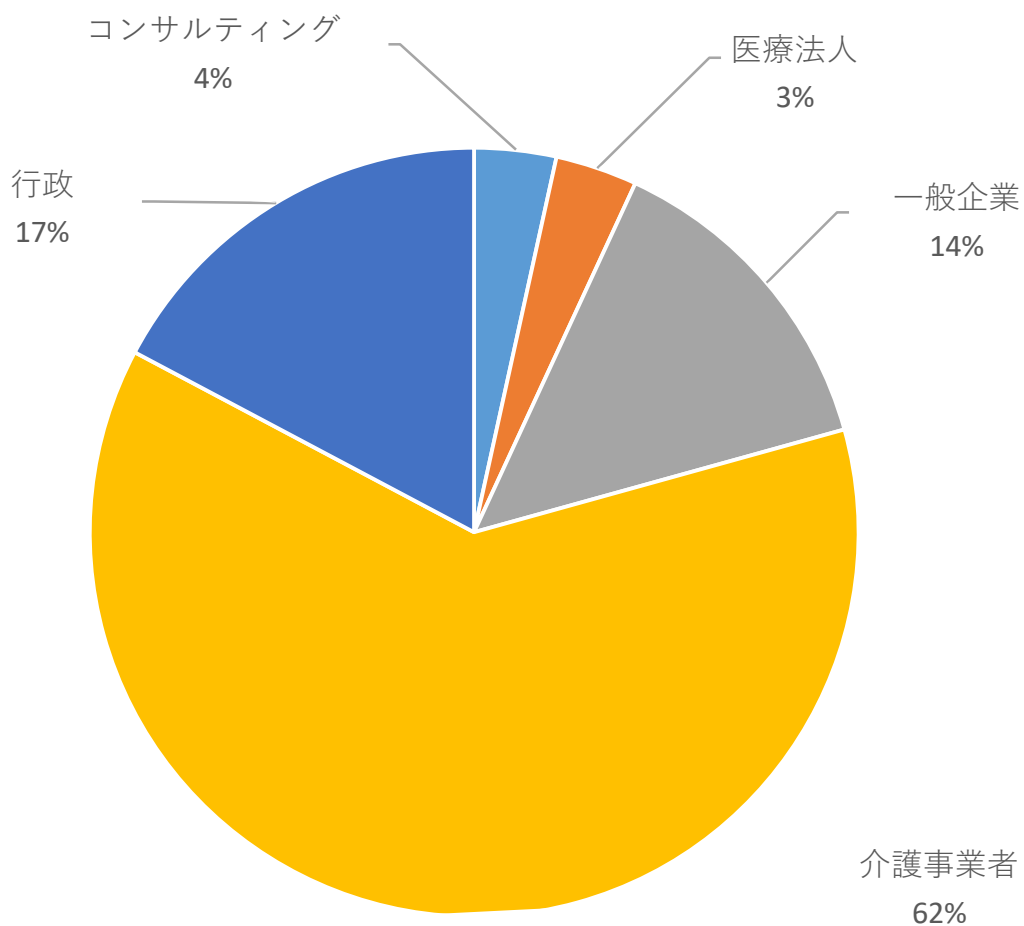
**【調査内容】**

受講者の属性及び、フォーラム、展示会、プラットフォーム等への意見収集

(1) あなたの勤め先を教えてください。

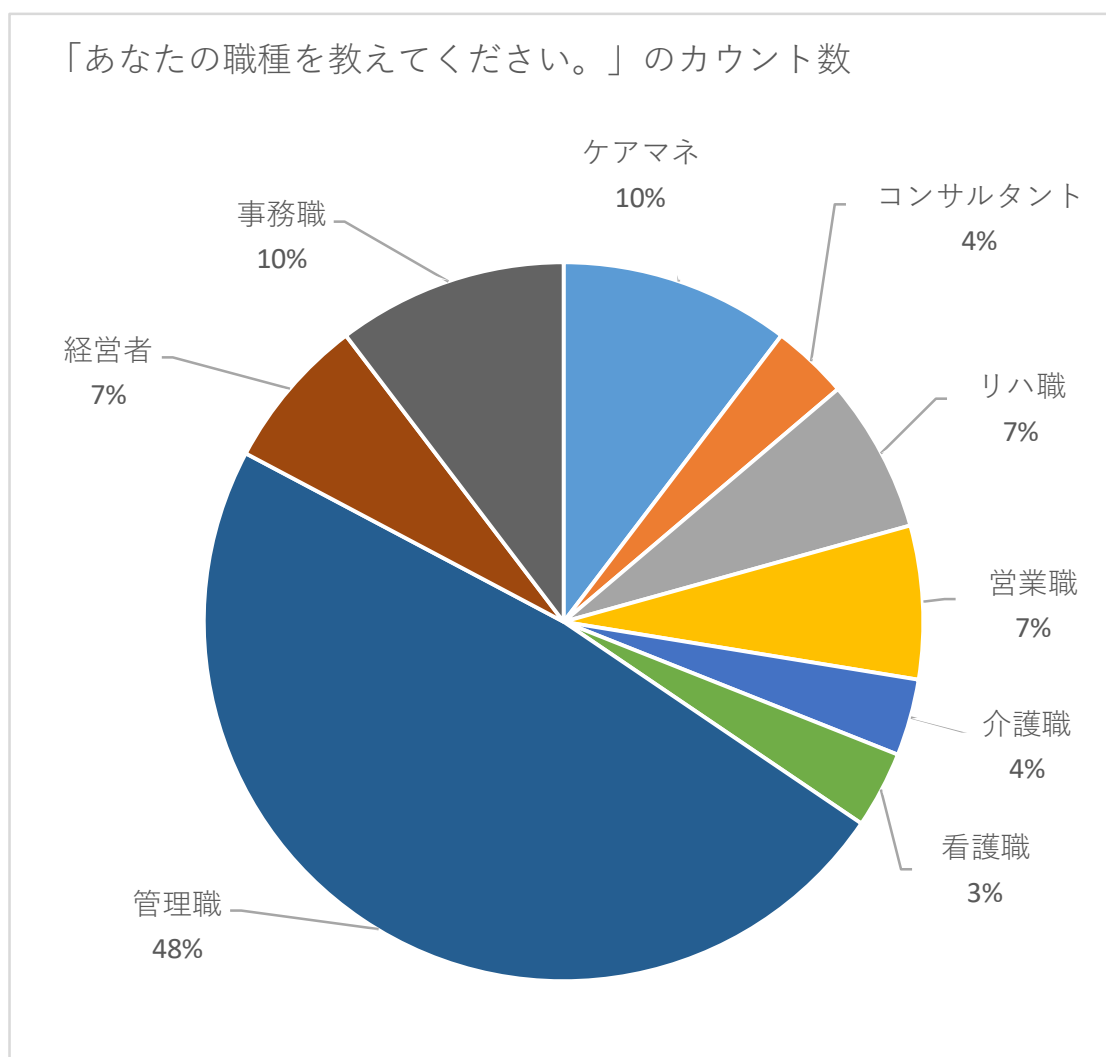
勤め先	人数	割合
コンサルティング	1	3.4%
医療法人	1	3.4%
一般企業	4	13.8%
介護事業者	18	62.1%
行政	5	17.2%
合計	29	100%

「あなたの勤め先を教えてください。」のカウント数



(2) あなたの職種を教えてください。

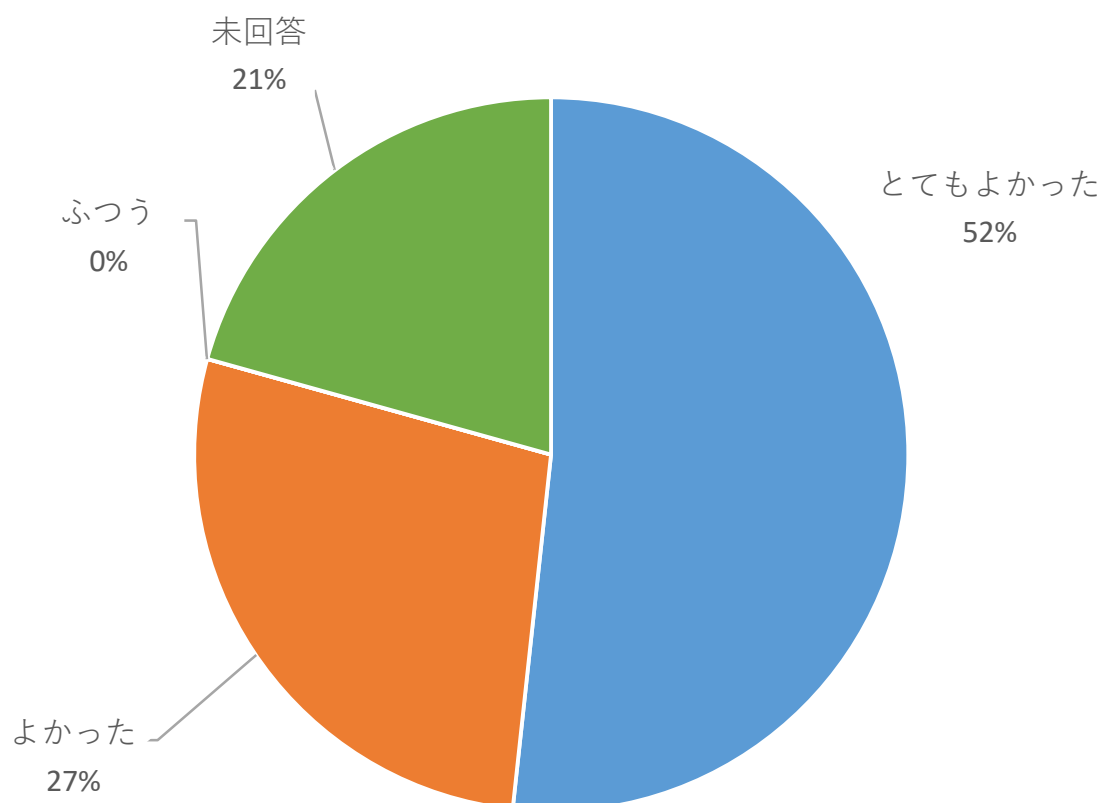
職種	人数	割合
ケアマネ	3	10.3%
コンサルタント	1	3.4%
リハ職	2	6.9%
営業職	2	6.9%
介護職	1	3.4%
看護職	1	3.4%
管理職	14	48.3%
経営者	2	6.9%
事務職	3	10.3%
合計	29	100%



(3) フォーラムは有意義なものとなったでしょうか？

選択	人数	割合
とてもよかった	15	51.7%
よかった	8	27.6%
ふつう	0	0.0%
あまりよくなかった	0	0.0%
よくなかった	0	0.0%
未回答	6	20.7%
合計	29	100%

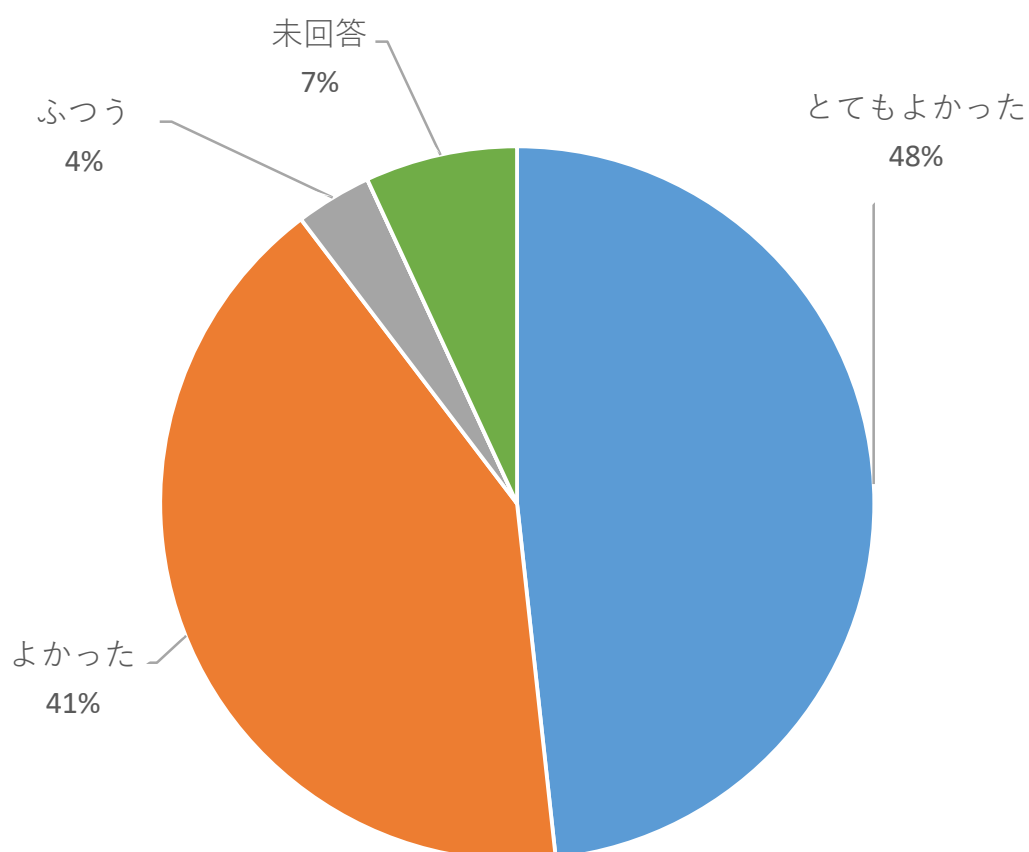
「フォーラムは有意義なものとなったでしょうか？」  
のカウント数



(4) 展示会は有意義なものとなったでしょうか？

選択	人数	割合
とてもよかった	14	48.3%
よかった	12	41.4%
ふつう	1	3.4%
あまりよくなかった	0	0.0%
よくなかった	0	0.0%
未回答	2	6.9%
合計	29	100%

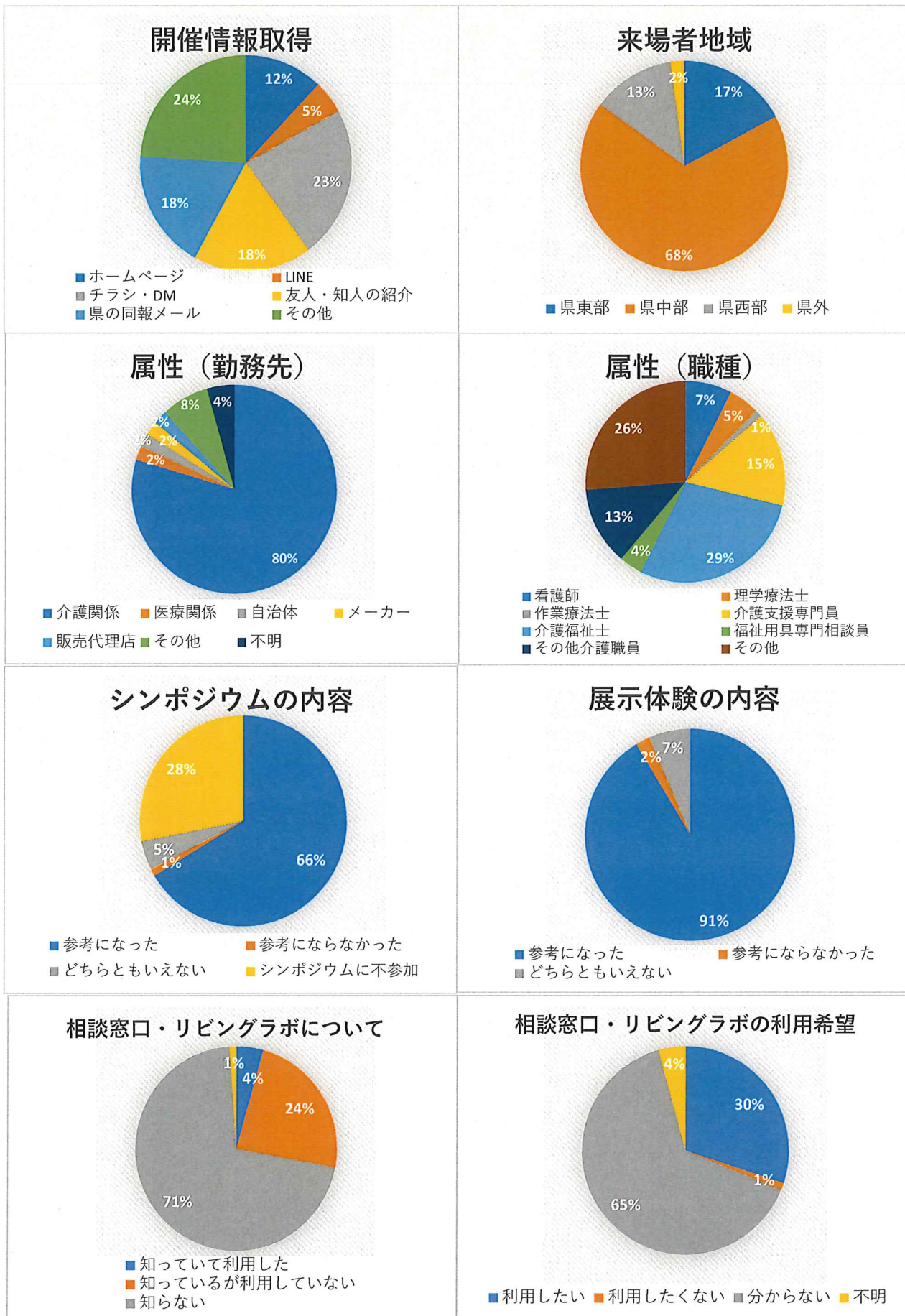
「展示会は有意義なものとなったでしょうか？」  
のカウント数





③静岡県

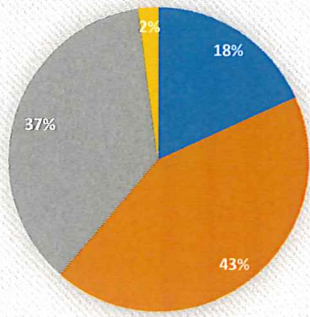
「介護ロボット地域フォーラム」アンケート集約結果（93枚）





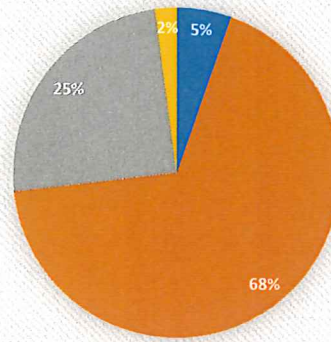
「介護ロボット地域フォーラム」アンケート集約結果（93枚）

試用貸出について



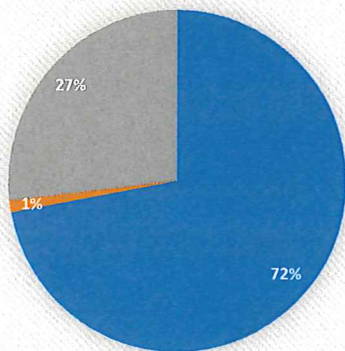
■ 知っているが利用した ■ 知っているが利用していない ■ 知らない ■ 不明

展示台数について



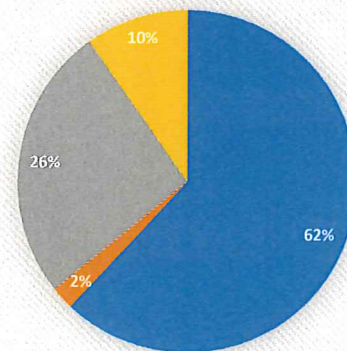
■ 多いと感じた ■ 今回くらいでよい ■ 少ないと感じた ■ 不明

展示機器は興味があったか



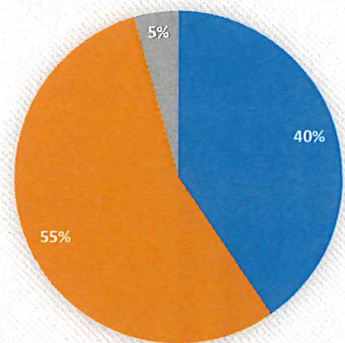
■ あった ■ なかった ■ 不明

介護ロボットを利用したいか



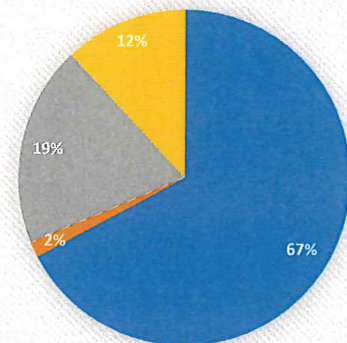
■ 思う ■ 思わない ■ どちらともいえない ■ 不明

職場でロボットを導入済みか



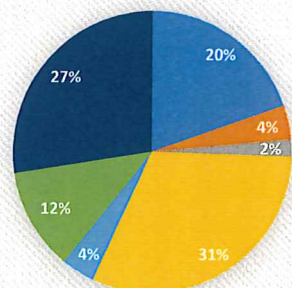
■ 導入している ■ 導入していない ■ 不明

導入活用での課題は



■ ある ■ ない ■ どちらともいえない ■ 不明

導入ロボットのタイプは



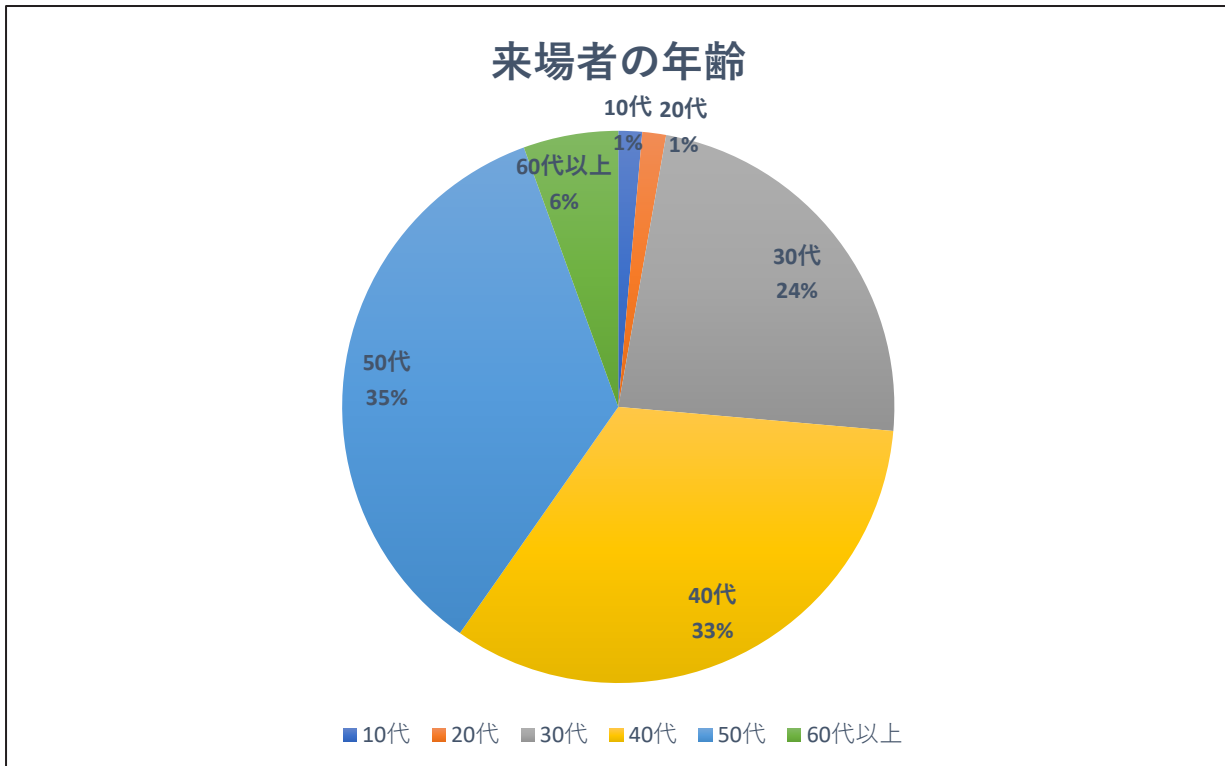
■ 移乗 ■ 移動 ■ 排泄支援  
■ 見守り ■ コミュニケーション ■ 入浴支援  
■ 介護業務支援

## 令和6年度 介護ロボット地域フォーラム島根 アンケート集計

入場者数	185	アンケート数	72	回収率	39%
------	-----	--------	----	-----	-----

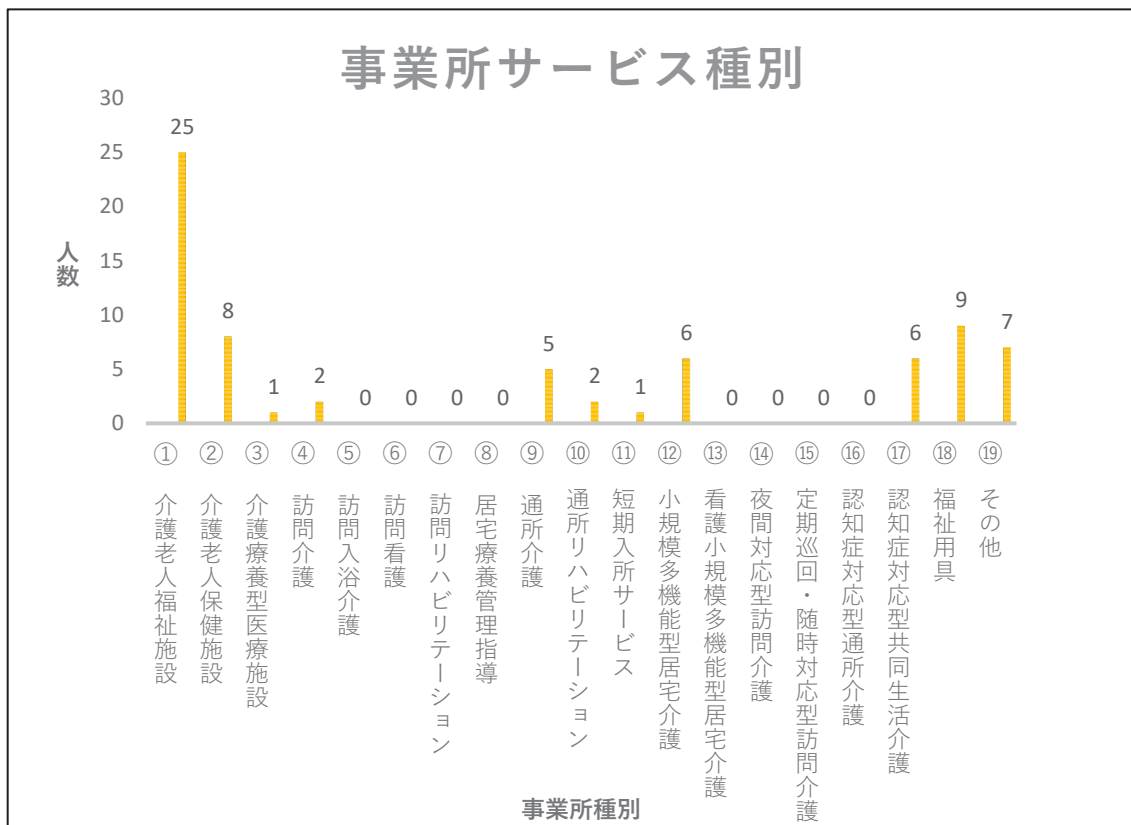
### 1. 年齢について

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
人数	1	1	17	24	25	4



2. お勤めの事業所のサービス種別を教えてください。

事業所種別	人数
① 介護老人福祉施設	25
② 介護老人保健施設	8
③ 介護療養型医療施設	1
④ 訪問介護	2
⑤ 訪問入浴介護	0
⑥ 訪問看護	0
⑦ 訪問リハビリテーション	0
⑧ 居宅療養管理指導	0
⑨ 通所介護	5
⑩ 通所リハビリテーション	2
⑪ 短期入所サービス	1
⑫ 小規模多機能型居宅介護	6
⑬ 看護小規模多機能型居宅介護	0
⑭ 夜間対応型訪問介護	0
⑮ 定期巡回・随時対応型訪問介護	0
⑯ 認知症対応型通所介護	0
⑰ 認知症対応型共同生活介護	6
⑱ 福祉用具	9
⑲ その他	7



### 3. 今回のシンポジウム参加の方でご意見があればお聞かせください。

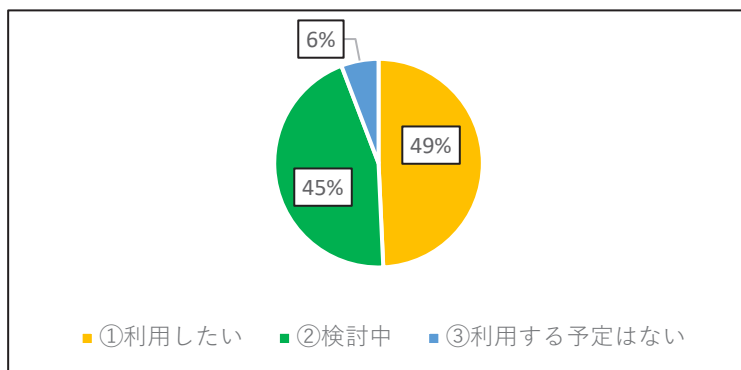
- ・生産性向上を図るために、介護テクノロジーを取り入れていく必要がある事がよくわかった。
- ・リビングラボの意味がわかりました。
- ・とても参考になりました。
- ・高校生も見学に来られていて、すごいと思いました。
- ・イメージ改善と言われた言葉がすてきだと思った。
- ・北欧の福祉は理想です。
- ・経営陣は、介護ロボット導入は加算取得が目的でしかない。
- ・導入への働きかけの一助になった。
- ・インカムを導入していく段階で、現在使用している施設での対応など参考にさせていただきたい。人材確保が困難な状況で質を維持した支援ができるように職員の意識改革を行いながら協力体制を作っていきたいと思います。
- ・職員のゆとりにつながる取組みを進めていきたい。
- ・様々な介護ロボットや機器があることを知りました。実際現場では精神的負担を強いているので、今後眠りスキャンを導入予定です。それだけではなく様々なものを導入出来たらよいと思いました。たくさん話を聞き大変勉強になりました。
- ・現場報告は非常に参考になった。
- ・お金がかかる事であるが、今後は必要だと思う。楽になる介護にしたい。
- ・今後どのように人材を確保するか、自施設でどう取り組むべきかも考えさせられました。その1つとしてICTや介護ロボットの導入をしっかりと検討したいです。
- ・職員の負担軽減につなげられ、とても良いと思いました。
- ・3名の発表を聞き、県の状況・実践状況をみて結果に繋がられるよう自身も思考を変えていく必要があると感じた。
- ・職員が減る中、ロボットも活用しながら職員の負担をどう減らしていくのか勉強になった。
- ・ICT以外のシンポジウムもあれば参加したい。
- ・介護ロボットを導入したいが、何が自施設に適しているのかわからない。
- ・実際導入している施設の話が聞いて良かった。導入してどうだったかなど意見を直接聞くことができたことは今後の機器導入に向けて参考になった。
- ・もう少しゆっくり詳しく聞きたかった。
- ・介護現場で使用された内容が聞け、参考になった。
- ・最近のトレンドではと思いますので、今後も情報発信をお願いします。
- ・最新の介護機器が沢山あり、実際に使用方法や体験することができた。実際目に見たり触れる機会がなかったが、今回あらゆる場面での介護現場の現状に即した物があり驚いた。まだまだこの地域に導入している事業所は少ないと思うので、今後働き手が減少する中で、どんどん積極的に活用出来たら良いと思う。
- ・データに基づいて説明いただき、わかりやすかった。
- ・もっと深く話が聞きたかった。
- ・実際に見ることができ、勉強になりました。
- ・時間がもう少しあると良かった。(質疑応答など)  
内容がとても良かった。まとめも「その通り」とヒザポンでした。
- ・国、行政は設備に対し様々な支援・補助の拡大に力を入れてください。

#### 4. 体験展示、試用貸出についてご意見があればお聞かせください。

- ・わかりやすく説明していただきました。
- ・集計業務も多いので、その事務手続きを削減したい。
- ・インカム情報が欲しかったです。
- ・見守りセンサーなどもレンタルがあればいいな、と思いました。
- ・排泄ケアに関心があります。
- ・もう少し沢山のものを見たかった。
- ・見守りセンサーについてとても気になった。介護業務の負担軽減に使用したいと思う。
- ・プライバシーに配慮したカメラもあり、今後安全面・プライバシー両方のことを事を考え、利用者様にも説明する必要性を考えさせられました。
- ・開催頻度を増やして欲しい。施設でデモをして欲しい。
- ・実際に体験させていただき、職場で導入したい思いが強まりました。
- ・センサー作動が早ければ早いほど、事故を未然に防げると感じた。
- ・事前の準備が不十分なブースがあり、しっかりと展示物を確認することができなかつたので、WiFi環境などの確認をして頂きたい。使用に関して不安を感じることもあった。
- ・家族の負担を減らすために、排尿予測機器がとても良さそうだったと思った。
- ・新しい技術を直接見ることができて良かった。
- ・介護ロボットについて知ることができ良かった。
- ・体験してみないとわからない介護ロボットがあり、高性能でびっくり！
- ・購入したい物もあった。
- ・移乗支援ロボット（パナソニックのリショーン）のデモを希望します。インカム・自動運転もあれば希望します。バイタル測定等は、技術が確立したものをお願いします。入浴支援の体験がしたいです。
- ・体験できるコーナーばかりで、とてもわかりやすかった。実際に体験することが一番の近道だと思った。あとは、事業所がどのくらい積極的な導入できるかという部分はあ。是非様々な会社の方にプレゼンをしてもらいたいと思った。
- ・導入時の費用・維持費・使用方法・システムトラブル時の対応など、見てわかるようにしてもらおうと良かった。
- ・すごく良かった。
- ・インカムとLIFE支援について知りたかった。
- ・いろいろなタイプがあり、迷ってしまう。
- ・体験した装着型パワーアシストの貸出をして欲しい。パワーアシストのシンプル化、簡略化、ワンタッチ装着を求めます。
- ・前回と同じ会社が多く、新しいものも見たかった。
- ・思ったより介護ロボットの数は少ないと思いましたが、お話をうかがうと実りあるお話や情報が得られました。

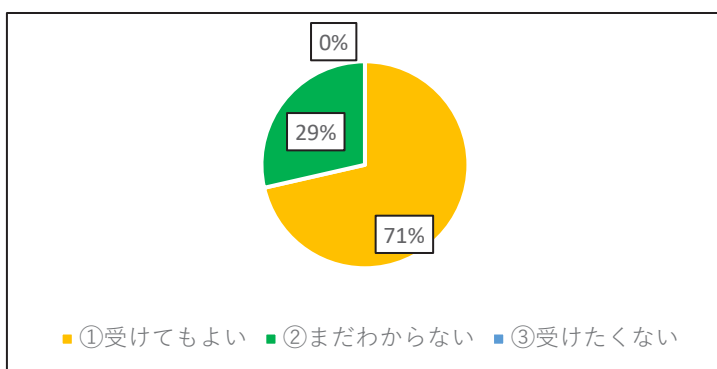
5. 今後、介護ロボットを利用していきたいですか。

①利用したい	②検討中	③利用する予定はない
34	31	4



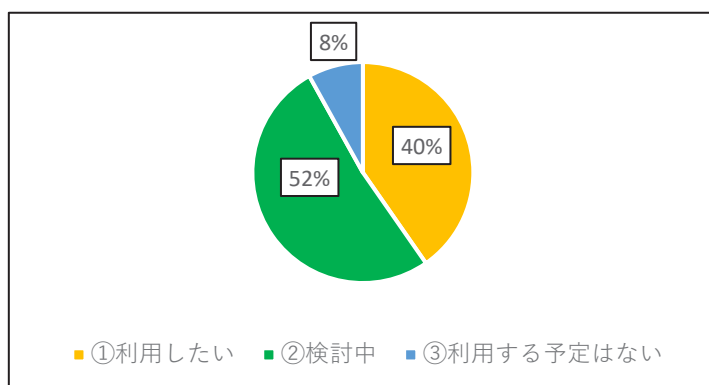
6. 今後、自分が被介護者となった場合に介護ロボットを使用した介護をうけたいですか。

①受けてもよい	②まだわからない	③受けたくない
50	20	0



7. 今後、相談窓口やリビングラボを利用していきたいですか。

①利用したい	②検討中	③利用する予定はない
25	32	5



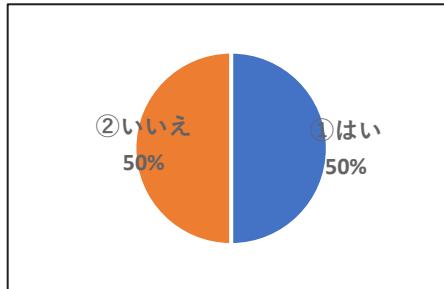
8. 相談窓口、リビングラボについてご意見があればお聞かせください。

・オンラインでの情報交換が良いです。

【介護施設で働いている方へのご質問】

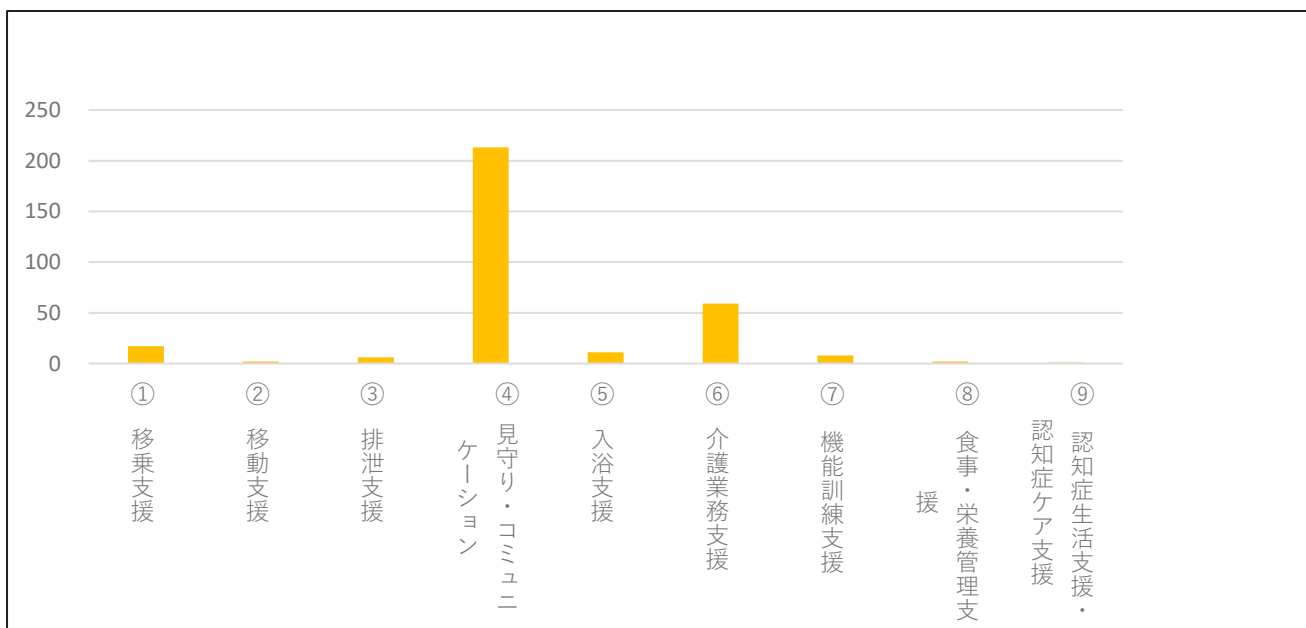
1. あなたの施設では介護ロボットの導入はされていますか。

①はい	28
②いいえ	28



2. はいと答えられた方、どのような機器を導入されていますか。

機器種類	導入台数
① 移乗支援	17
② 移動支援	2
③ 排泄支援	6
④ 見守り・コミュニケーション	213
⑤ 入浴支援	11
⑥ 介護業務支援	59
⑦ 機能訓練支援	8
⑧ 食事・栄養管理支援	2
⑨ 認知症生活支援・認知症ケア支援	1



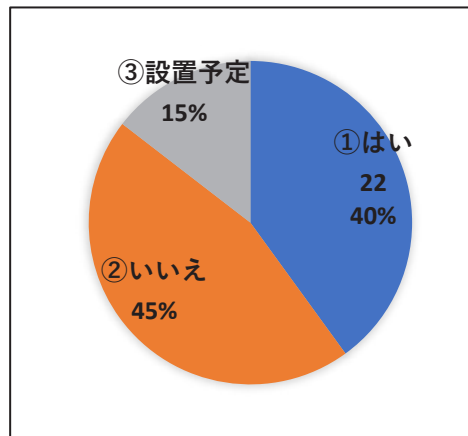


### 3. 介護ロボットの導入・活用にあたっての課題があれば教えてください。

- ・高額であるため導入しにくい。レンタル等、リースで手軽に導入したりメンテナンスや指導助言を受けれると良い。
- ・ランニングコストの低減。
- ・介護ロボットは、ロボットというネームはやめた方が分かりやすい。介護機器で良いのでは？
- ・高齢の職員にとって不安が強くあるので、簡単なロボットであると助かる。外国人の為の記録システム（母国語が介護専門用語に変換される）があると良い。
- ・資金面。施設でどう浸透させていくか。
- ・移乗機器は場所をとるため、自施設では使えない印象を受けた。コンパクトなものが欲しい。
- ・ロボットの使用説明書をもう少し簡単にして欲しい。
- ・費用及び使い方。
- ・費用（導入・維持費）、使用方法の周知・教育指導。
- ・高い金額のものを購入し活用したはいいが、後で他にもっといいもの・自施設に適したものがあつた時、そのまま購入したのを使い続ける方がいいか、別のものを新たに購入した方がいいか迷います。
- ・柔軟な発想。新しい考え。固定観念の排除。ICT・ロボットなどPC知識やSNS関係の知識がある職員の確保。

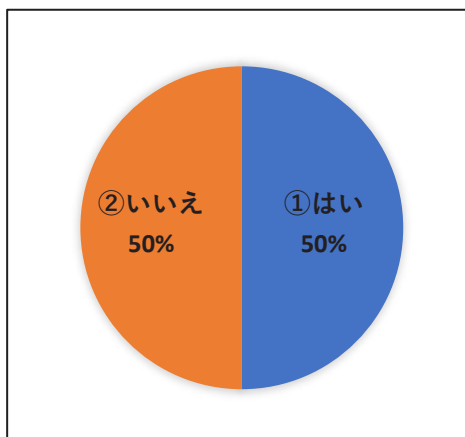
### 4. 生産性向上に関する委員会を設置していますか。

①はい	22
②いいえ	25
③設置予定	8



### 5. 生産性向上推進体制加算の取得をお考えですか。

①はい	25
②いいえ	25





## 調査概要

**【調査対象】** 令和6年度沖縄県介護ロボットフォーラム（107名）

※講演会受講者 アンケート

**【回答数】**

75件

**【調査日】**

令和6年12月19日（木）

**【調査方法】**

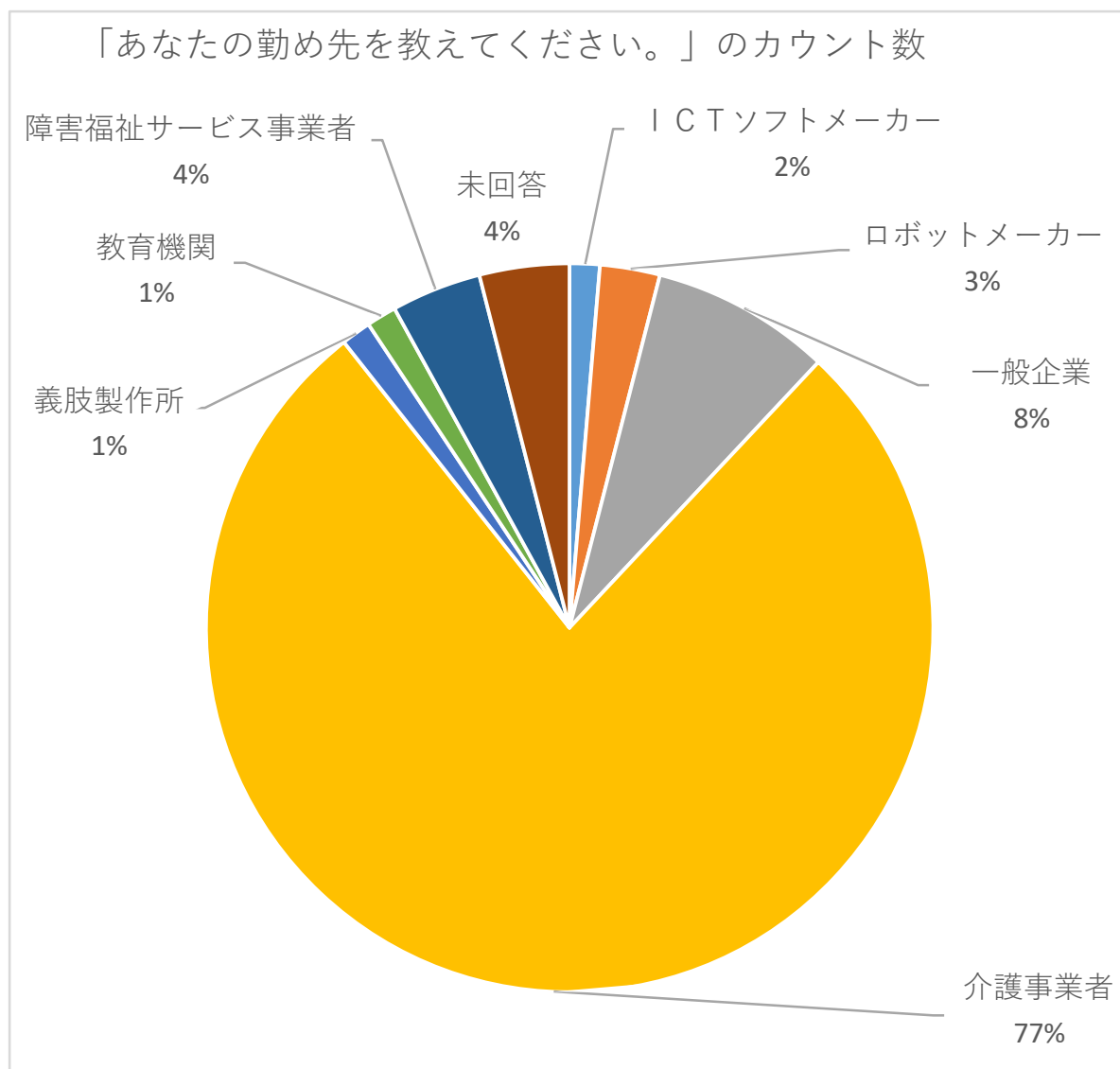
フォーラム受講者・展示会へ紙面にて配布

**【調査内容】**

受講者の属性及び、フォーラム、展示会、プラットフォーム等への意見収集

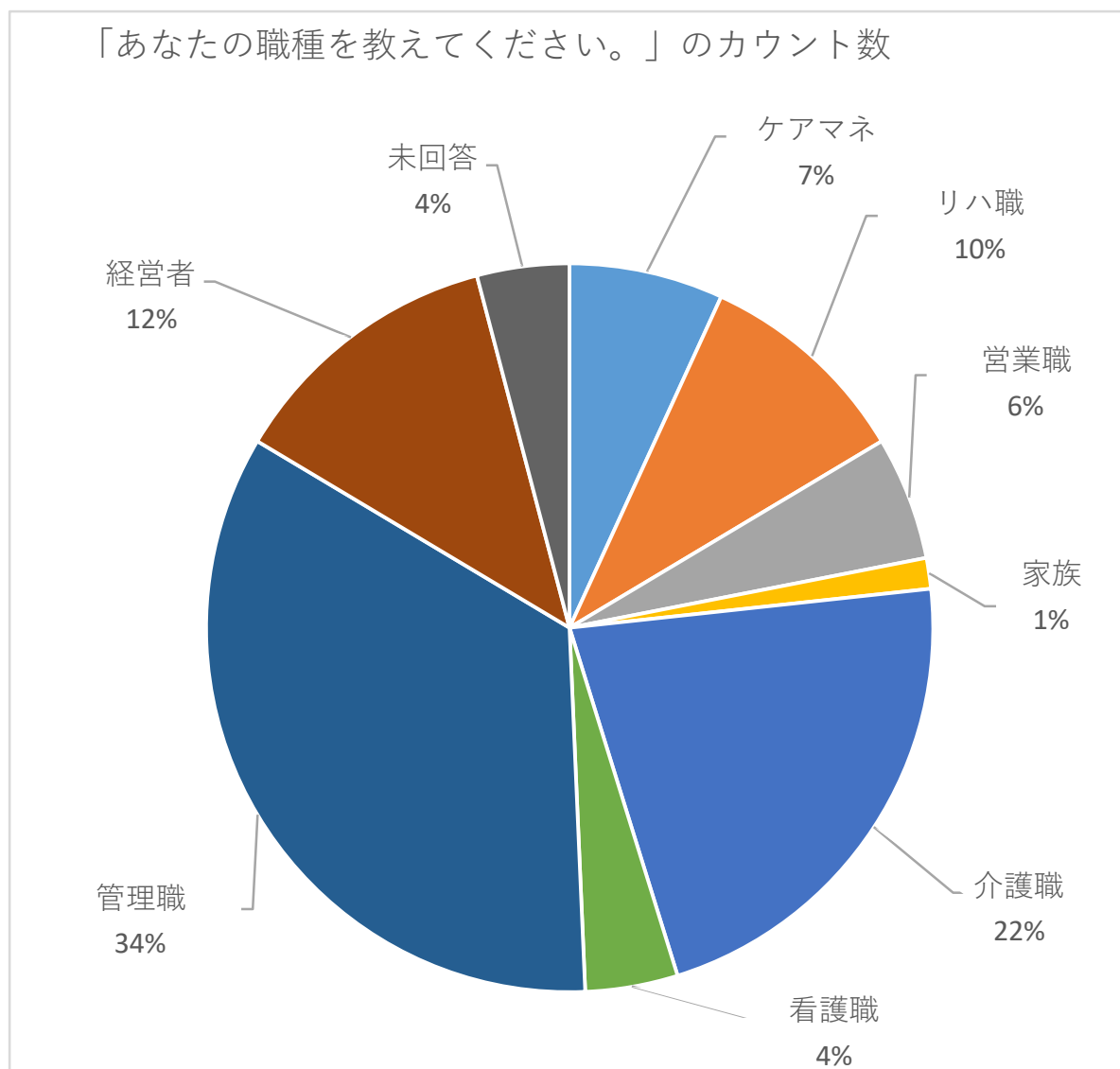
(1) あなたの勤め先を教えてください。

勤め先	人数	割合
ICTソフトメーカー	1	1.3%
ロボットメーカー	2	2.7%
一般企業	6	8.0%
介護事業者	58	77.3%
義肢製作所	1	1.3%
教育機関	1	1.3%
障害福祉サービス事業者	3	4.0%
未回答	3	4.0%
合計	75	100%



(2) あなたの職種を教えてください。

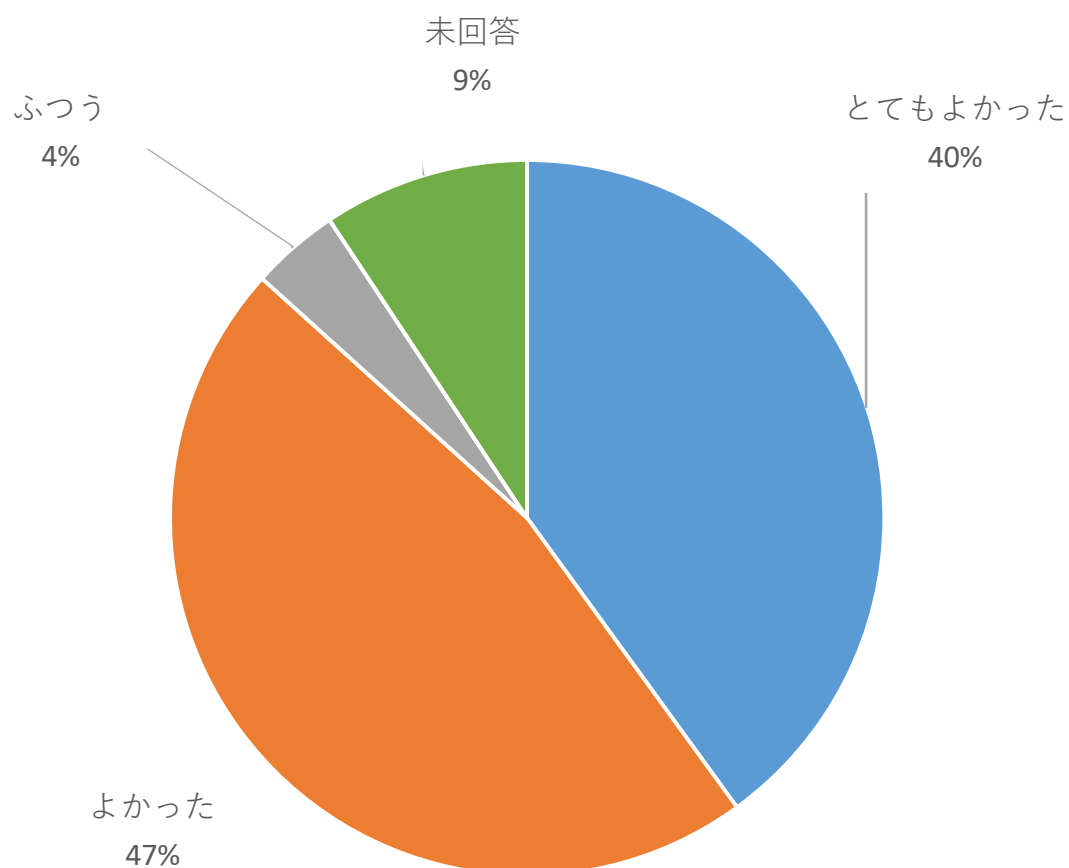
職種	人数	割合
エンジニア	2	3%
ケアマネ	5	6.7%
リハ職	7	9.3%
営業職	4	5.3%
家族	1	1.3%
介護職	16	21.3%
看護職	3	4.0%
管理職	25	33.3%
経営者	9	12.0%
未回答	3	4.0%
合計	75	100%



(3) フォーラムは有意義なものとなったでしょうか？

選択	人数	割合
とてもよかった	30	40.0%
よかった	35	46.7%
ふつう	3	4.0%
あまりよくなかった	0	0.0%
よくなかった	0	0.0%
未回答	7	9.3%
合計	75	100%

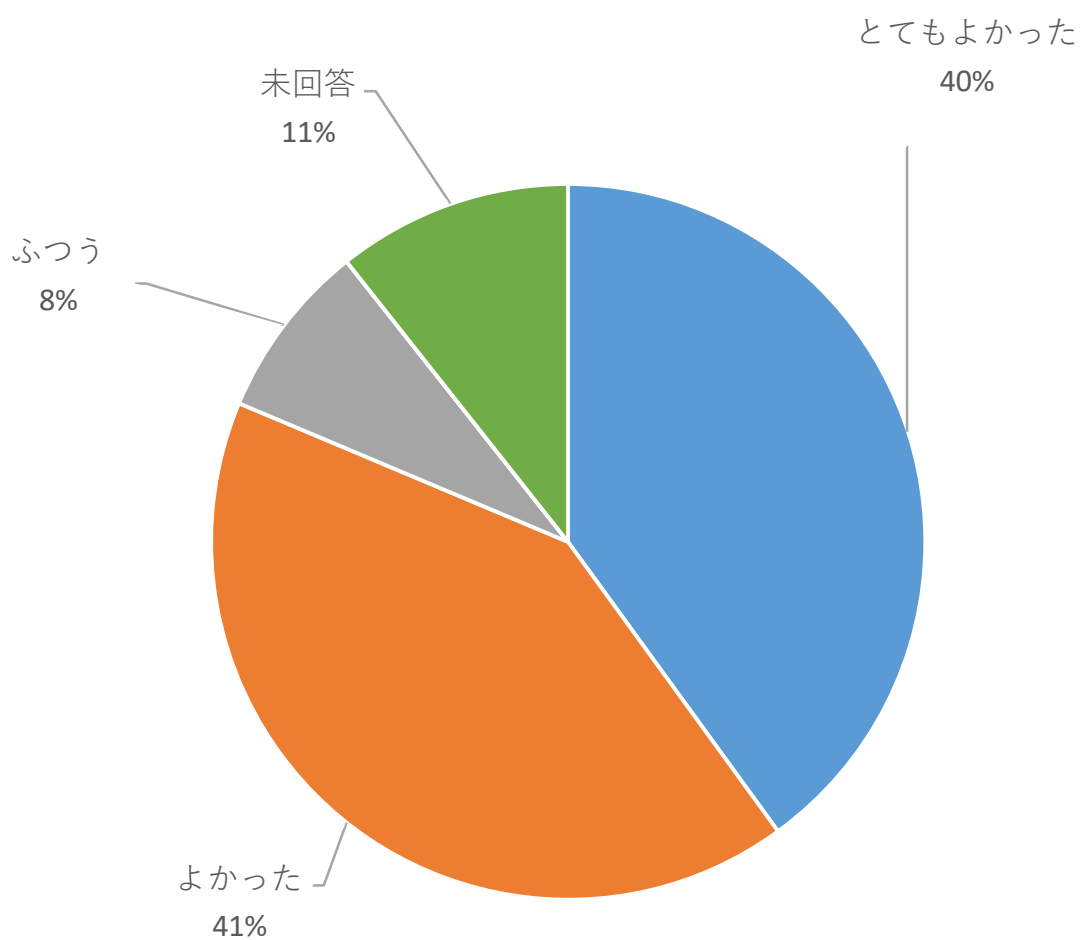
「フォーラムは有意義なものとなったでしょうか？」  
のカウント数



(4) 展示会は有意義なものとなったでしょうか？

選択	人数	割合
とてもよかった	30	40.0%
よかった	31	41.3%
ふつう	6	8.0%
あまりよくなかった	0	0.0%
よくなかった	0	0.0%
未回答	8	10.7%
合計	75	100%

「展示会は有意義なものとなったでしょうか？」  
のカウント数







## ⑥愛知県

### 【アンケート調査】

対象：あいち・なごや介護ロボット地域フォーラム、福祉用具フェスタ参加者

調査期間：令和7年1月9日(木)

配布数：420枚

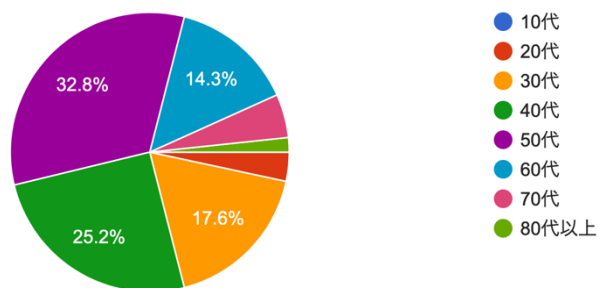
回収数：119枚

### ◆アンケート結果（全体）

---

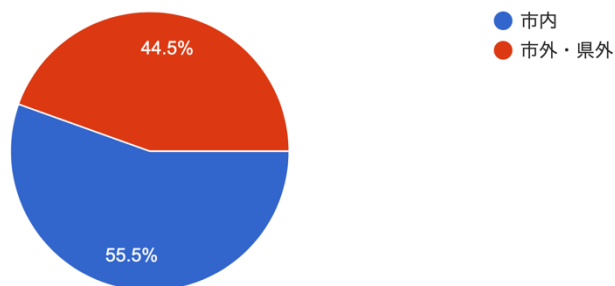
Q1. あなたの年齢をお答えください。

119件の回答



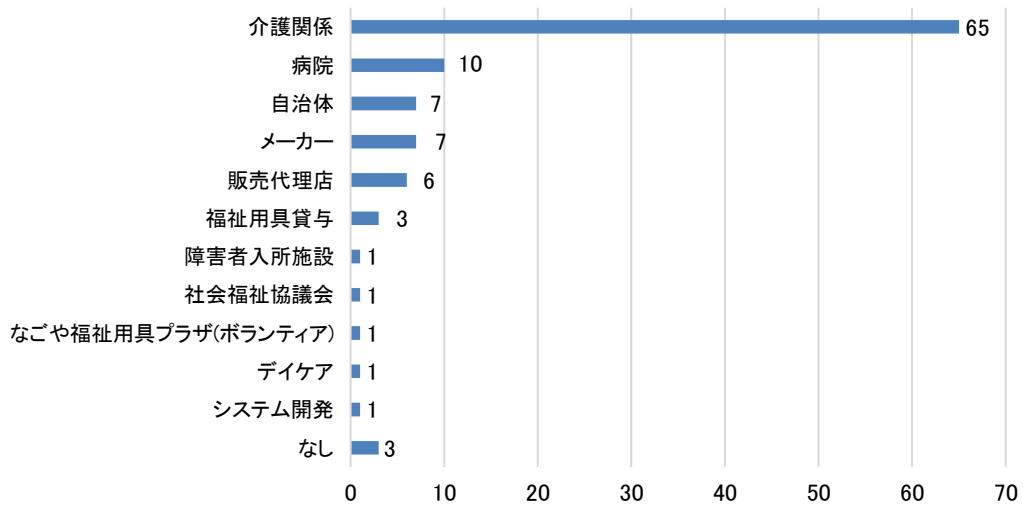
Q2. あなたのお住いの地域をお答えください。

119件の回答

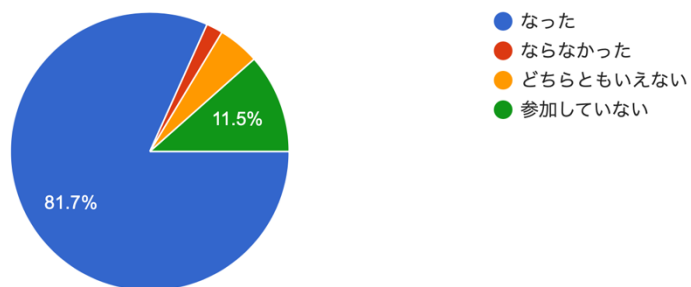


市外	県外
・愛西市 ・阿久比町 ・安城市 ・一宮市 ・岩倉市 ・大府市 ・岡崎市 ・尾張旭市 ・春日井市 ・蟹江町 ・小牧市 ・瀬戸市 ・知立市 ・豊田市 ・長久手市 ・みよし市	・大阪府茨木市 ・神奈川県横浜市 ・岐阜県 ・静岡県磐田市 ・三重県 ・三重県松阪市

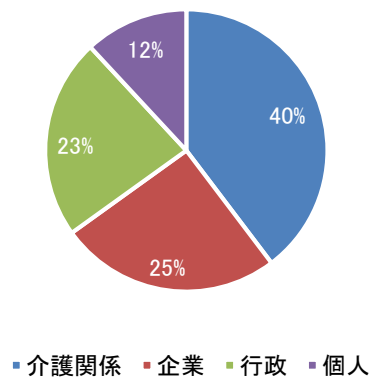
Q 3. あなたの勤務先について、お答えください。(全体)  
106 件の回答



Q 4. シンポジウムの内容は参考になりましたか。  
104 件の回答

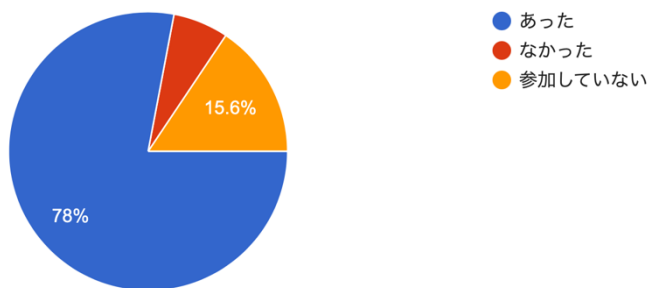


シンポジウム参加者属性



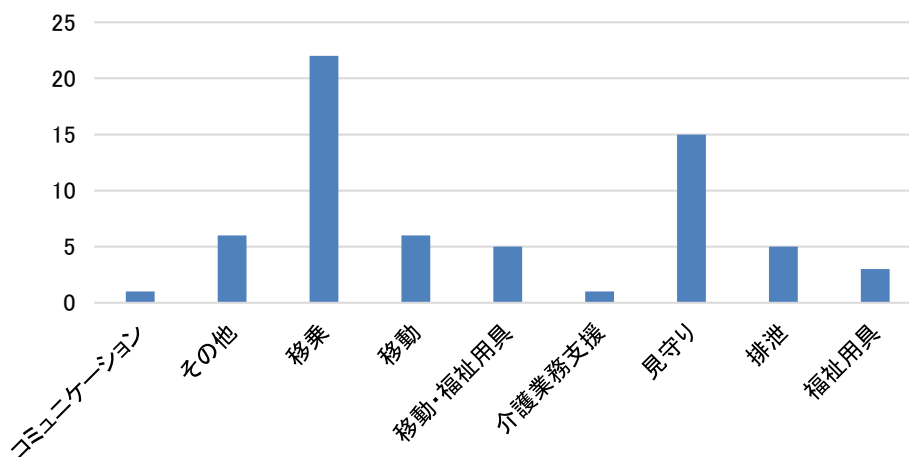
Q 5. 展示機器の中で興味のあるものはありましたか。

109 件の回答



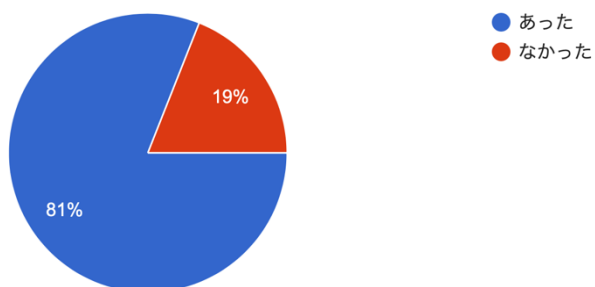
Q 5-1. 展示機器の中で興味のあるものはありましたか。(分類)

64 件の回答



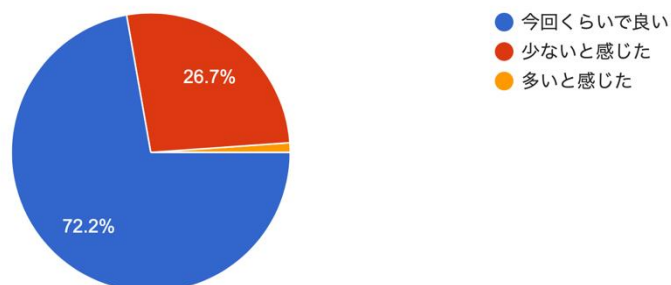
Q 6. 展示機器の中で現場で試用してみたい機器はありましたか。

79 件の回答

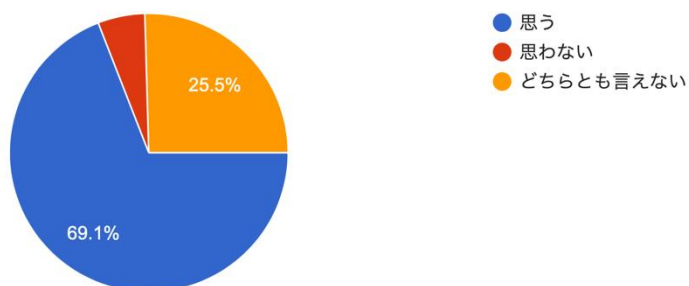


Q6-1. 展示機器の中で現場で試用してみたい機器はありましたか。(理由)
最新のスーツを他の職員と体験してみたいから。
非接触で見守ることができるから。
トイレ介助で使いたい。
利用者さんの運動を楽しくできそう。
歩行困難で買い物等外出希望の利用者が多いため。
排尿ケアの介護負担の軽減がしたい。
現場スタッフの身体的負担が軽減できるため。
いろいろな種類の機器を見てみたい。
トイレと移乗時に楽にできたため。
将来、足が今以上に悪くなり歩けなくなったら歩行器を使うしかないと思うから。
カメラ付きナースコール(スマホ連動)が使えるか試したい。
エスケープが増加している利用者様の対策に良さそうであったため。
新しい情報が欲しかったので。
情報収集をするため。
最新のスーツを体験してみたかったから。
移乗機器を装着したところ効果“大”であったため。
利用者様が使いそうだから。
居室全体の見守りと、入退室等を自由に線引きできるため。
臭いなく後処理できるところ。
おむつ交換がしやすそう。
現場への負担が減ると思うため。
腰への負担軽減のため。

Q7. 展示機器の台数はどうでしたか。  
90件の回答



Q 8. あなたが介護を受ける際に介護ロボットを利用して欲しいと思いますか。  
110 件の回答

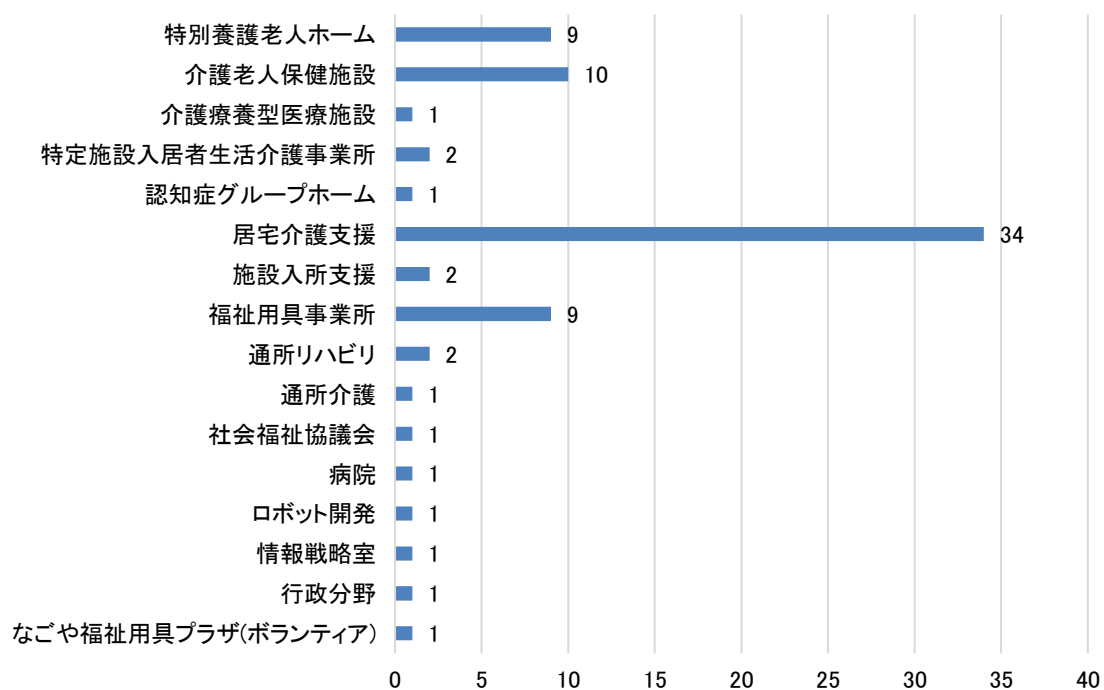


Q 8-1. あなたが介護を受ける際に介護ロボットを利用して欲しいと思いますか。(理由)
介護スタッフの負担軽減になるため。
年齢、経験関係なく、同じ動作、対応ができる為。
そのほうが効果的だと思います。
独居でも、自身で操作できるロボットがあると良い。独居生活、住み慣れた家で過ごせるために。
自分に使えて楽にできるものがあれば、負担もかからないと思う。
気を使わなくても良い。もっともっと進化してほしい。
介護する側、される側がリスクなく、負担なく継続できる介護を実現するためには、ロボット活用が重要と考えるため。
安心感。
一定の動作で安心感がある。
最新機器の利用と介護負担の軽減のため。
人が相手だと気をつけてしまう。
介助方法がいつも変わらないため。
毎日のことだから負担が少ない方が良かったから。
介助者に負担をかけたくない。
介護する側、される側、両方とも安楽が期待できるのではないか。
20年前になるが私の祖父も祖母も自宅で家族の手で介護し看取っている。その経験から自宅で最期を迎えることの幸せを知っている。反面、施設で介護することの苦労もよく分かるため。
人手不足が加速する中、人の手での介護は限界があるため。
金額や使いやすさ。
介護負担が減るから。
スタッフの皆さんの負担軽減になりそうです。
介護者がいない。
体験してみないとわからない。
痛みを伴わないように負担少なく。
簡単に効果のある体の小さい女性が日常的に使用できる機器が欲しい。
楽になる反面、使い方が難しいものもあるため。

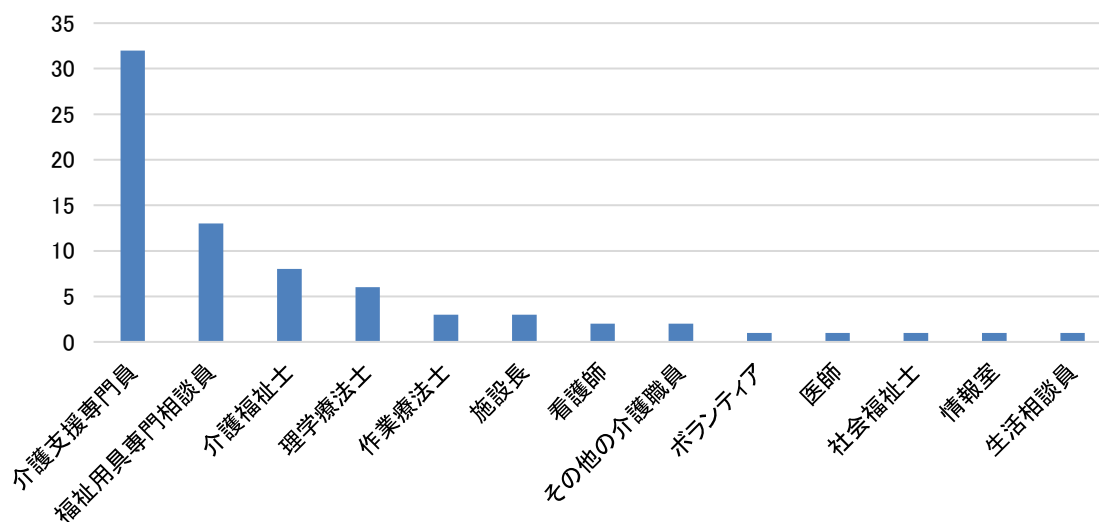
使用感を試してから使えると良い。
ADL 介護は人にしてもらいたい(コミュニケーションが取れる、人だからできる細やかな配慮を受けれる)が外出などは今後 WC(電動車いす)の増加やもっと IT 化しても良さそうに感じているため。
人に気を使わずに済む。
安定感。
介護スタッフの負担軽減になるため。
お互いの負担軽減になるの。
こちらの体の状態によっても違うと思うので。
職員のレベルなく毎回同じ介護が受けられる。
一回リフトを体験させてもらった際、思ったより安心感があったため。
プログラムさえしっかりしていれば生身の人間よりもよいと思う。
介護者の負担軽減のため。
リフトは腰に負担が少ないから 介護してくれる方に気を使わなくてすむ。
必要なら利用すべき。
ロボットを使うと優しい介護になるとセミナーでお話いただいたが機器の使用方法を職員が理解し手順に沿って使用してもらえるのであれば活用してほしいと思う。
介護者が楽になるのなら利用してほしい。
使用された人の痛みがあるようなものは嫌だと思う。
介護職の負担を少なくして優しい介護をしてほしいから。
介護者の負担軽減が必要と思うため。
お互いの身体への負担軽減のため。
使用感によると思う 介護者の負担が減ると思うと使用したほうがいい。
安心して介護を受けることができるならロボットは必要と思います。
職員さんの負担軽減と自立支援は嬉しいがコールが同時になって優先順位が自分が低かったら悲しいなと思いました(優先順位つけて訪問すると言っていたので)その時の様子が見れるといいなど。
介護者の負担軽減のため。
怖さはあるがこれからさらに進化していくと思うから。

◆アンケート結果（介護従事者）

Q 9. あなたの所属について、お答えください。  
77 件の回答

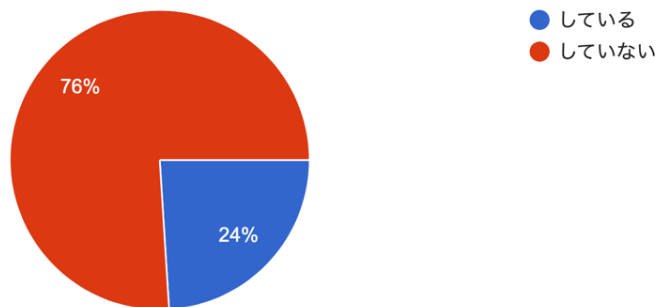


Q 10. あなたの職種について、お答えください。  
74 件の回答

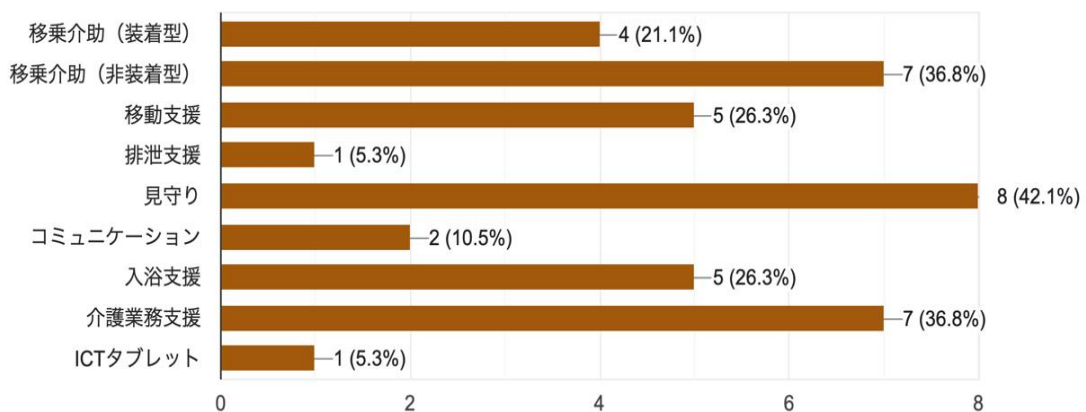




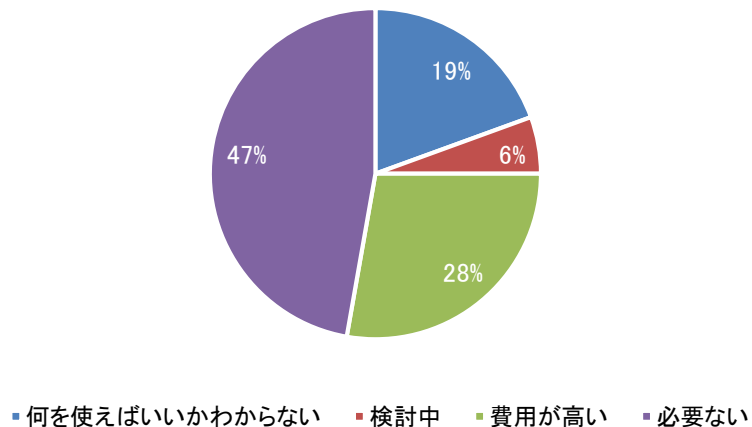
Q 1 1. 現在。あなたの現場では介護ロボットを導入していますか。  
75 件の回答



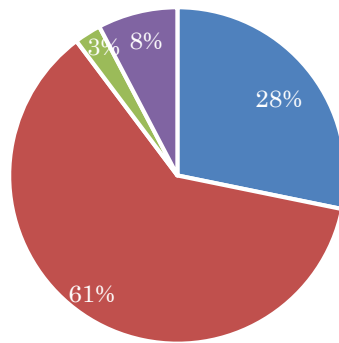
Q 1 2. どのようなタイプの介護ロボットですか。  
19 件の回答



Q 1 3. 導入していない理由は何ですか。  
36 件の回答

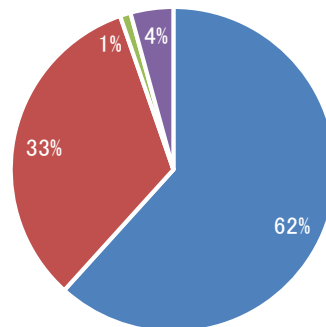


Q 1 4. あいち介護生産性向上総合相談センターで、介護サービスの質の向上や人材定着に向けた研修会、介護ロボット・ICT 機器の試用貸出、相談に応じていることを知っていますか。  
78 件の回答



■ 知っている ■ 知らない ■ 利用したことがある ■ 利用はないが興味がある

Q 1 5. なごや福祉用具プラザで介護ロボットや福祉用具の展示・相談、導入支援を行っていることを知っていますか。  
94 件の回答



■ 知っている ■ 知らない ■ 利用したことがある ■ 利用はないが興味がある

◆アンケート結果（全体）

Q16. 本日のフォーラムの感想や介護ロボットに対する意見などを自由に記述してください。
在宅支援のケアマネをしています。自宅での介護者、本人支援のロボットも普及すると良いと思いました(介護ソフト~徘徊感知器など)。
楽に仕事ができると良いと思いました。
非常にアットホームな感じで良かった。
一般の人が家庭で使えるような介護ロボットを！
身近な場所で、このようなフォーラムを開催していただきありがとうございました。とても参考になりました。
展示機器の台数が多いが、取り扱う種類が少なく感じた。
出展している会社の関係者としてきましたが、セミナーでお客様は展示会場におらず、メーカーは全社手持ち無沙汰で大変残念です。セミナーは1時間ごとに開けてやるなど、出展者のことを考えた展示会にしてください。
電動車いす、電動カート等を一般にも普及していくことで、免許返納時などに利用者の抵抗感が減少するのでは。
新しい機器を体験できてよかった。
丁寧に説明していただいた。
同じような機器が多すぎて迷う。そのために相談が必要だと思った。シンポジウム内で似た内容が多かった。
インフルエンザが流行っている中、席にゆとりがあると良いと思いました。
将来的にロボットを開発した際に展示をしていただきたい。
砧ホーム様の講演はロボットのことだけではなく、マネジメントにも関係する話で、とても勉強になり働く活力にもなりました。
是非ともこのような機会を増やしてほしいです。できれば、名古屋市周辺のエリアも参加できると良いと思います（長久手市、尾張旭市、日進市等）。
参加させていただきよかったです。
なごや福祉用具プラザへ一度行きます。
私も足が悪いのでいろいろ参考になりました(足の体操等)。
もう少し偏りのない展示であると嬉しかったです。特にデイケアではコミュニケーション(失語の方)や認知症の方への支援で限界を感じていたり、リハビリがメインのためそれらに関する機器が見れると良かったと思います。実際に試したり、各会社からの方から直接お話を聞ける機会は貴重であったためまた参加させていただきたいと思いました。
大変だと思いますが、年に3回ぐらいのペースで展示会等していただきたい。
今後も、どんどん発展して行く分野と思いますが、利用者さんや家族の思いをこれからも汲み取ってってください。
資料を配布してほしかったです。
学ぶために。
家でも気軽に使えるロボットがあると良いなと思う。
導入後の効果 継続が大切。
シンポジウムの資料が欲しかった 介護ロボットはますます必要になってくる。
とても勉強になりました ありがとうございました。
導入にあたって検討→決定→補助申請→導入→サポートまで一連の支援はやはり必要。コンサル的な支

<p>援を望みます。プラザさん、総合相談センターさん、国立長寿さん等、窓口が増える事は良いが、やはり一体的に一本化で動いてほしい。「ここに行けば!」としてもらったほうがわかりやすい。</p>
<p>PowerPoint での説明は字が細かすぎて判読できません。発表者には要点を整理しポイント大きく編集した資料を用意していただくよう主催者には事前にチェックしてほしい。それが官公庁のサービスレベルを上げることにつながります。</p>
<p>プラザ活動等もっと周知して多くの方に知っていただき、活用してもらうことでより良い施設が増えると思います。今回のようなフォーラム等を多く実施してほしいです。またせっかく実施するのであればより多くの方に知ってもらうために周知方法を工夫すると良いと思います。</p>
<p>いろいろな介護ロボットに触れることができ興味深く参加できた。</p>
<p>ICT について理解を深めることができた。</p>
<p>スライドがぼやけており読むことができない。資料もない。助成金が特定施設に限られていることに不公平感がある。</p>
<p>最先端の福祉用具のを知ることができて今後利用者様にも提案していけたらと思います。</p>
<p>使用方法や目的をしっかりと理解すること、前向きな評価が出来るような環境作りが大切だと感じた。</p>
<p>介護ロボットが普及して介護人材の不足が解決されその結果利用者さんが安心して過ごしていけることになるといいなと思いました。</p>
<p>展示コーナーとフォーラムが同じ場所が良かったと思う。</p>



厚生労働省「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」

# 介護ロボット 全国フォーラム

テクノロジーを活用した介護現場の生産性向上を考えよう

令和7年

1/31 金

11:00~16:30

参加費  
無料  
入退場自由

開催場所

**TOC有明**

(東京都江東区有明)

4階コンベンションホール

WESTおよびEASTホール

<https://www.toc-ariake.jp/>

 公益財団法人テクノエイド協会  
The Association for Technical Aids(ATA)

 厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

本事業は厚生労働省の委託を受けて「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」の一環として行うものです。

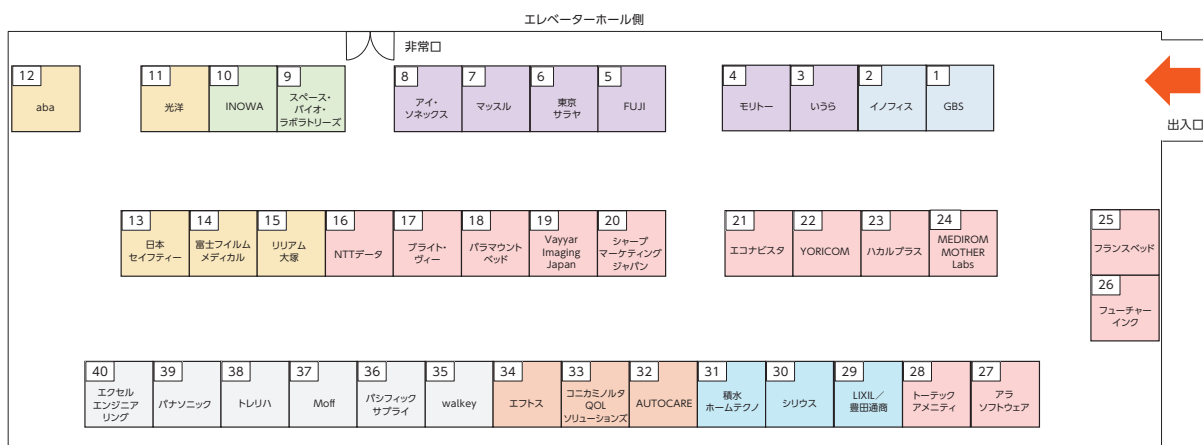
# 介護ロボット全国フォーラム

テクノロジーを活用した介護現場の生産性向上を考えよう

## WESTホール

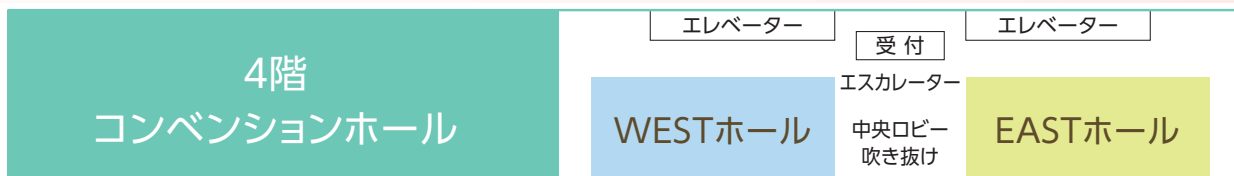
### 最新機器の展示、体験、デモ、相談 (11:00~16:30)

高齢者や障害者の自立や介助、介護者の業務を支援する介護ロボットを中心に、製品化された実機の展示・説明・相談ほか(40社の実機を展示)



窓側

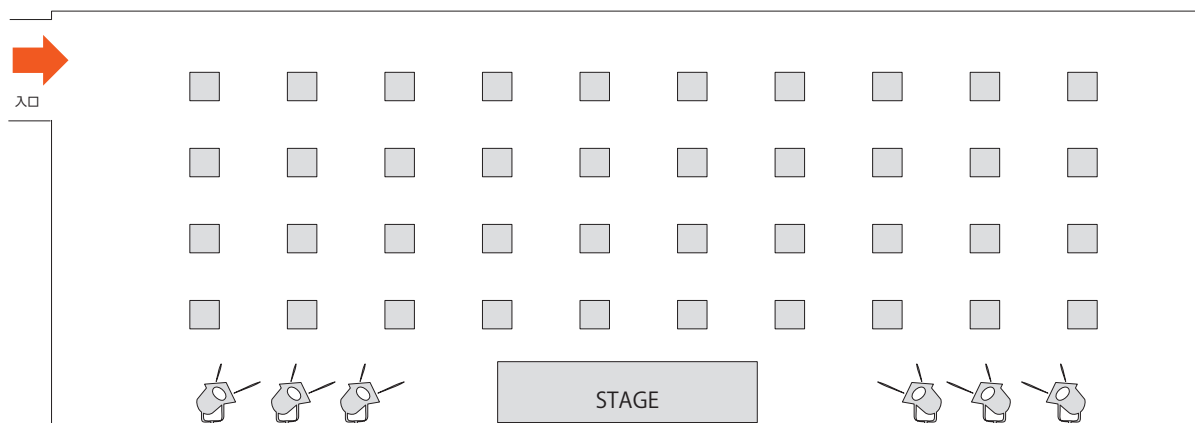
No	団体・企業名	機器名称	カテゴリ/分野	No	団体・企業名	機器名称	カテゴリ/分野
1	GBS(株)	Apogee+(アポジー・プラス) パワースーツ	移乗支援(装着)	21	エコナビスタ(株)	高齢者見守りシステム ライフリズムナビ*+Dr.	見守り/コミュニケーション
2	(株)イノフィス	マッスルスーツ	移乗支援(装着)	22	YORICOM(株)	寄り添いコミュニケーション 星輝しおり	見守り/コミュニケーション
3	(株)いすら	ONBU(おんぶ)	移乗支援(非装着)	23	ハカルプラス(株)	見守り徘徊検知システム CAREai	見守り/コミュニケーション
4	(株)モリトー	介護リフトつるべ-Y6セット Li-PINK Safety Robo	移乗支援(非装着)	24	(株)MEDIROM MOTHER Labs	遠隔体調管理システム[REMONY]	見守り/コミュニケーション
5	(株)FUJI	移乗サポートロボット Hug 防水タイプ(L1-01WP)	移乗支援(非装着)	25	フランスベッド(株)	M-Sleep Bio	見守り/コミュニケーション
6	東京サラヤ(株)	Sara Flex	移乗支援(非装着)	26	(株)フューチャーインク	多機能ベッドセンサ Vital Beats 3in1	見守り/コミュニケーション
7	マッスル(株)	ROBOHELPER SASUKE	移乗支援(非装着)	27	(株)アラソフトウェア	介護ロボットsmart R	見守り/コミュニケーション
8	アイ・ソネックス(株)	スカイリフトiR	移乗支援(非装着)	28	トーテックアメニティ(株)	見守りライフ	見守り/コミュニケーション
9	(株)スペース・バイオ・ラボラトリーズ	RE-Gait	移動支援	29	(株)LIXIL/豊田通商(株)	泡シャワー KINUAMI Care	入浴支援
10	(株)INOWA	体感型歩行自立支援システム Arbre(アルブル)	移動支援	30	(株)シリウス	介護用洗身用具 switle BODY	入浴支援
11	(株)光洋	おむつナビ	排泄支援	31	積水ホームテクノ(株)	wellsリフトキャリー	入浴支援
12	(株)aba	Helppad2(ヘルプパッド2)	排泄支援	32	(同)AUTOCARE	ケア記録AIアプリFonLog	介護業務支援
13	日本セイフティ(株)	ラップボン・オープン自動ラップ(S)	排泄支援	33	コニカミノルタ QOLソリューションズ(株)	HitomeQケアサポート	介護業務支援
14	富士フィルムメディカル(株)	iViz air	排泄支援	34	(株)エフトス	業務支援システム FTCare-i TOS	介護業務支援
15	(株)リリアム大塚	リリアムスポット 2	排泄支援	35	(株)walkey	walkey device	機能訓練
16	(株)NTTデータ	ボイスタ!アレクサで自立支援・コミュニケーション	見守り/コミュニケーション	36	パシフィックサプライ(株)	歩行訓練対応リフト「モーリフト パートナー255」	機能訓練
17	(株)ブライト・ヴィー	ケアデータコネクト	見守り/コミュニケーション	37	(株)Moff	モフトレ	機能訓練
18	パラマウントベッド(株)	見守り支援システム「眠りCONNECT」	見守り/コミュニケーション	38	(株)トレリハ	トレpro	機能訓練
19	Vayyar Imaging Japan (同)	ミリ波レーダーセンサー Vayyar Care(バヤーカー)	見守り/コミュニケーション	39	パナソニック(株)	施設向け歩行トレーニングロボット	機能訓練
20	シャープマーケティングジャパン(株)	ロボシルバーパークLite	見守り/コミュニケーション	40	(株)エグセルエンジニアリング	コグニト褥瘡予測システム3.0A	その他(褥瘡対策)



## EASTホール

### シンポジウム (13:00~16:10)

介護ロボットに係る重点政策及び、事業の成果、先進事例の報告等を行います。(入退室自由)



13:00	開会 挨拶 公益財団法人テクノエイド協会 常務理事 黒岩 嘉弘 司会 公益財団法人テクノエイド協会
13:10-13:50 (各20分)	<b>「テクノロジー等を活用した介護現場における生産性向上に関する最新動向」</b> 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 課長 峰村 浩司 氏 <b>「経済産業省における福祉機器の施策動向」</b> 経済産業省 商務・サービスグループ 医療・福祉機器産業室 室長 渡辺 信彦 氏
13:50-14:00	休憩
14:00-14:40 (各20分)	<b>「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の実施について」</b> 公益財団法人テクノエイド協会 企画部 伊東 由恵 <b>「介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業の取組状況」</b> 株式会社NTTデータ経営研究所 太刀川 遼 氏
14:40-14:50	休憩
14:50-16:10 (各20分)	<b>テクノロジーを活用した介護現場の生産性向上の実践</b> <b>「介護施設向けタイムスタディアプリのモニター報告について」</b> パラマウントベッド株式会社 小林 宥華 氏 <b>「介護施設における薬の仕分け、配薬ミス削減・生産性向上に資する製品・システムの社会実装」</b> エトリア株式会社 徳植 義人 氏 <b>テクノロジーを活用した新たな介護システムの提案、事例</b> ※活用ミーティング推薦 <b>「スタッフが本来の業務に集中できる環境づくりとその効果」</b> 株式会社プレイフル ナーシングホームLIBひらか 藤井 裕太 氏 <b>「『業務棚卸』をキーワードに介護現場のDX化を推進する」</b> 株式会社あきた創生マネジメント 阿波野 聖一 氏
16:10	閉場 公益財団法人テクノエイド協会

16:30 閉場



## ■ 出展機器



### 移乗支援(装着)

## 1 GBS株式会社

### Apogee+ (アポジー・プラス) パワースーツ

最大36Kgの持ち上げ支援を提供するGerman BionicのApogee+(アポジー・プラス)パワースーツ。移乗や歩行の際にアクティブなアシストを提供、1回の持ち上げで最大36kgの負担を軽減で、パワースーツに一体化されたグリップが、介護者の持ち上げや体勢の変更を容易にし、介護作業を効率化できます。



問合せ先

〒104-0061 東京都中央区銀座6-10-1 GinzaSixオフィス棟13F  
TEL.03-5577-6943 E-mail:sales-jp@germanbionic.com

## 2 株式会社イノフィス

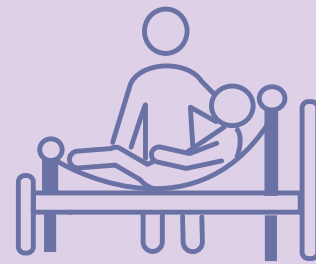
### マッスルスーツ

装着者の動作をアシストし、人や物を抱え上げたり、中腰姿勢を続けたりする際の身体負担を軽減。移乗介助、およびベッドでの排泄介助、体位変換などで活躍し、介助者の腰への負担を軽減します。また、本製品は防水仕様になっています。従来よりもスリムかつシリーズ最強の補助力と歩きやすさの両立を実現しました。



問合せ先

〒192-0082 東京都八王子市東町7-6 エバース第12八王子ビル5階  
TEL.080-5376-8889 E-mail:k-nagasawa@innophys.jp



### 移乗支援(非装着)

## 3 株式会社いورا

### ONBU(おんぶ)

ベッドや車椅子からトイレまでの移乗介助を補助し、介護者の負担を軽減する排泄サポートリフトです。立位保持が困難な方でも座位のまま移乗できます。また、リフトで抱き上げたまま下衣を降ろすことができます。吊り具を使いませんので、効率的な移乗介助と排泄介助ができます。



問合せ先

〒174-0063 東京都板橋区前野町2丁目30-24  
TEL.03-5939-8611 E-mail:tokyo@iura.co.jp

## 4 株式会社モリトー

### 介護リフトつるべー Y6セット Li-PINK Safety Robo

床走行リフトがロボット化。吊り具の掛け忘れ確認装置(音声ガイド)搭載で掛け間違いを未然に防ぎ、安心・安全にご使用いただけます。約20kgの重さを感じるとリフトが一旦止まり、音声ガイドが流れます。



問合せ先

〒135-0063 東京都江東区有明3丁目5番7号 TOC有明EAST 9階2号室  
TEL.03-5531-5555 E-mail:info@moritoh.co.jp

## 5 株式会社FUJI

### 移乗サポートロボット Hug 防水タイプ (L1-01WP)

一人で立ち上がることが難しいご利用者様のための移乗サポートロボットです。施設・病院において、脱衣・入浴時の立位保持、シャワーキャリーへの移乗、臀部シャワーなどお風呂場での移乗負担を軽減することが出来ます。ベルトやスリングを使わないので、リモコンの「たつ」「すわる」ボタン操作で簡単に利用できます。



問合せ先 〒472-8686 愛知県知立市山町茶碓山19  
TEL.0566-81-8276

## 6 東京サラヤ株式会社

### Sara Flex

サラフレックスは、利用者の起立をサポートする補助器具です。軽量で安定性に優れ、調整可能なデザインで、体調に合わせた最適なサポートが提供できます。立ち上がり動作を支援し、転倒リスクを低減。また、介護者の負担も軽減し、安全かつ快適に起立を支援します。家庭や施設で幅広く使用可能です。



問合せ先 〒194-0035 東京都町田市忠生2-5-47  
TEL.042-789-0511

## 7 マッスル株式会社

### ROBOHELPER SASUKE

「抱き上げ式」の移乗介護ロボット。簡単なレバー操作で120kgの方まで移乗が可能です。寝たままの姿勢の下に専用シートを敷き込み、シート全面で支え、体圧を分散しながら抱き上げます。揺れの少ない安定した乗り心地で被介護者の負担が軽減されます。介護をうける方・おこなう方の双方に、やさしさと安心をお届けします。



問合せ先 〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋6階  
TEL.06-6229-9550 E-mail:healthcare@musclecorp.com

## 8 アイ・ソネックス株式会社

### スカイリフトiR

座った姿勢や立った姿勢で移乗できるスタンディングリフト。移乗・移動はもちろん、おむつやパッド交換、立位・座位訓練など様々な生活場面で使用できるので、介護者の負担軽減だけではなく、ケアの質向上による要介護者のADLやQOL向上にも役立ちます。また、狭い空間でも介助しやすいコンパクト設計です。



問合せ先 〒702-8004 岡山県岡山市中区江並100番地7  
TEL.086-200-1550

## 9 株式会社スペース・バイオ・ラボラトリーズ

### RE-Gait

脳卒中片麻痺の方にみられるように、歩く時に足首が適切に使えないと、つまずいて転んだり、足を大きく回して歩いたりするようになります。RE-Gait(リゲイト)は、靴内のセンサで歩行を検知し、歩行時の足首の動きを適切にサポートすることで正しい歩容を促します。膝が痛い方やフレイルの方にもお使い頂けます。



問合せ先 〒730-0015 広島県広島市中区橋本町9-7 Dolce Square 4階  
TEL.082-563-5019 E-mail:contact@spacebio-lab.com



移動支援(屋内)



移動支援(屋外)

## ■ 出展機器

### 10 株式会社INOWA

#### 体感型歩行自立支援システム Arbre (アルブル)

シューズを履き、ベルトを装着することで、歩きを“体感”、装着したベルトでパートナーも歩きを“共感”できます。ベルトの振動のリズムを与えることで、歩きかけを与えることもできます。



問合せ先 〒106-0045 東京都港区麻布十番2-12-5-701  
TEL.03-5730-0282 E-mail:info@arbrewalk.jp



排泄支援  
(排泄物処理)



排泄支援  
(動作支援)



排泄支援  
(排泄予測)

### 11 株式会社光洋

#### おむつナビ

専用尿取りパットにセンサーを取り付けることでパットの濡れ具合を検知して、スマートデバイス等にお知らせします。直接確認に行かなくてもパットの濡れ具合がわかるので、無駄な交換回数を減らし利用者様・職員様の心身の負担を軽減します。排尿量などのデータも収集されるので、簡単に排泄ケアの見直しが行えます。



問合せ先 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい4-4-2  
TEL.045-556-0154

### 12 株式会社aba

#### Helppad2 (ヘルプパッド2)

センサーが排泄の「におい」に反応して便と尿をそれぞれ検知。入居者の排泄をヘルプパッド2がお知らせしますので、必要なタイミングでのおむつ交換が可能となり、排泄ケア業務の負担軽減につながります。



問合せ先 〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田1054-200  
TEL.047-409-2105 E-mail:helppad@aba-lab.com

### 13 日本セイフティー株式会社

#### ラップオン・オーブ 自動ラップ(S)

排泄物を自動で個別包装し、菌と臭いを密閉します。排泄物が直接触れないためトイレのお手入れが簡単で、おむつと同様に廃棄することが可能です。ポディーが樹脂になり、より軽量に、消毒なども簡単にできるようになりました。普段使いとして隔離が必要な感染症対策に、また災害時にはBCP対策トイレとして役立ちます。



問合せ先 〒102-0082 東京都千代田区一番町21番地 一番町東急ビル11F  
TEL.03-6369-2223 E-mail:wrappon@nihonsafety.com

### 14 富士フイルムメディカル株式会社

#### iViz air

AI機能により膀胱の残尿量の計測と直腸の便貯留の有無を可視化し、排泄周期の予測をサポートします。適切なタイミングでのトイレ誘導や排泄ケアを実施することで、利用者様の身体的・精神的負担の軽減。また不必要な介助業務や夜間呼び出しが減少し、介護職員の負担軽減や離職率の低下に貢献いたします。



問合せ先 〒106-0031 東京都港区西麻布2-26-30 富士フイルム西麻布ビル  
TEL.03-6419-8050

## 15 株式会社リリアム大塚

### リリアムスポット 2

「リリアムスポット 2」は、膀胱内の尿の溜まり具合の目安を10段階の目盛り表示で確認できるヘルスケア家電（非医療機器）です。トイレ誘導のタイミングが合わずお困りの方、尿意が曖昧な方や尿意を頻繁に訴える方など、尿の溜まり具合や排尿後に尿を出し切れているかを確認したい時にお役立ていただくことができます。



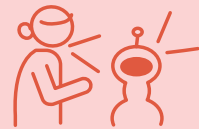
問合せ先 〒252-0239 神奈川県相模原市中央区中央1-1-1 シプラタ生命相模原ビル3階  
TEL.042-707-4258 E-mail:Liliium-inq@otsuka.jp



見守り・コミュニケーション  
(施設)



見守り・コミュニケーション  
(在宅)



見守り・コミュニケーション  
(生活支援)

## 16 株式会社NTTデータ

### ボイスタ！ アレクサで自立支援・コミュニケーション

「ボイスタ!」は、声だけで使えるスマートスピーカー「アレクサ」を使ったサービスです。声での家電操作や、食事やレクの声掛け、脳トレ・リハビリコンテンツなどで入居者の自立を支援、スタッフの負担も軽減します。また、ビデオ通話や家族アプリによるコミュニケーションによる入居者家族の安心も提供します。



問合せ先 〒143-0023 東京都大田区山王1丁目3-5 NTTDATA大森山王ビル6F  
TEL.050-5546-9368 E-mail:info-voista@am.nttdata.co.jp

## 17 株式会社ブライト・ヴィー

### ケアデータコネクト

ケアデータコネクトは複数の見守りセンサーの情報を介護記録システムに送信したり、ひとつのアプリケーションに集約して表示できるシステムです。バイタル機器をはじめナースコール、睡眠センサー、見守りカメラ、インカム等、多様なセンサーや機器に対応しております。



問合せ先 〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー17階  
TEL.03-5436-7349 E-mail:cdc-info@brightvie.me

## 18 パラマウントベッド株式会社

### 見守り支援システム「眠りCONNECT」

「眠りSCAN」を利用した見守り支援システム「眠りCONNECT」がバージョンアップ。見やすい画面とデータのダッシュボード管理に加え、居室の温度・湿度やドアの開閉状態も確認でき、更なる安全性向上に寄与します。また、業務記録とレポート作成ができるアプリ「ときKANR」を出展。業務の見える化や集計で生産性向上に活用できます。



睡眠が見えることで、  
介護業務の効率化と  
個別ケアの推進に。

問合せ先 〒136-8670 東京都江東区東砂2-14-5  
TEL.03-3648-1171 E-mail:n.mochiduki@paramount.co.jp

## 19 Vayyar Imaging Japan 合同会社

### ミリ波レーダーセンサー Vayyar Care (バヤークア)

最先端のミリ波レーダー技術により1台のセンサーがご利用者の居室内の位置、ベッドや部屋の出入り、転倒の有無を検知します。カメラを使用しないためプライバシーが守られ、トイレや脱衣場等にも設置可能です。各社ナースコール、見守りシステム用のセンサーとしてご採用いただく前提で設計されています。



問合せ先 〒108-0075 東京都港区港南2-16-1 品川イースワングローブ 7F  
TEL.03-6894-2365 E-mail:shigeki.takeda@vayyar.com



## ■ 出展機器

### 20 シャープマーケティング ジャパン株式会社

#### ロボシルバークLite

●シャープのコミュニケーションロボット「ロボホン」を活用してレクリエーションを行うことができます。●タブレットで簡単に操作できます。●かるた(7種類)、ゲーム(クイズ1000問、しりとり3種類)、歌(270曲)、体操・ダンス(83曲)等のメニューを搭載し、施設職員によるレクリエーションの実施を支援します。



問合せ先 〒105-0023 東京都港区芝浦1丁目2番3号 シーバンス館  
E-mail:contact-sales@sharp.co.jp

### 21 エコナビスタ株式会社

#### 高齢者見守りシステム ライフリズムナビ®+Dr.

ライフリズムナビ+Dr.はAIがサポートする高齢者見守りシステムです。

ライフリズムナビ+Dr.の中核をなす「AI搭載SleepSensor」が睡眠、体動、心拍、呼吸データを取得。その他に設置した各種センサーのデータとあわせてAIが解析し、申し送りなどをサポートします!夜間定時巡視の削減や申し送り漏れの軽減に貢献します。全国の介護施設、住宅型施設や医療機関の皆様の悩み解決にお役立ていただけます。



問合せ先 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3番1号 KKDビル6F  
TEL.03-6206-9207 E-mail:event-mg@econavista.com

### 22 YORICOM株式会社

#### 寄り添いコミュニケーション 星輝しおり

服薬・口腔ケアのお声かけ、家族への見守り、独居などお話し相手に、体操・クイズのレクリエーションを支援。生成AI×3Dバーチャルアシスタントによる高齢者の自立した日常生活を支援する話題提供型のデジタルコミュニケーションサービス。



問合せ先 〒485-8510 愛知県小牧市大字岩崎2808番地  
TEL.0568-66-6014 E-mail:contact@yorisoi-communication.com

### 23 ハカルプラス株式会社

#### 見守り徘徊検知システム CAREai

動きに反応する超音波センサー、離床すると反応する起き上がりセンサー、踏むと反応するふむふむセンサーを介して離床動作や移動について感知し、転倒防止や転落予防を図ることのできる見守り機器であります。



問合せ先 〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南3-12-9  
TEL.03-3392-6311 E-mail:sanjo\_m@hakarupl.jp

### 24 株式会社 MEDIROM MOTHER Labs

#### 遠隔体調管理システム「REMONY」

REMONYは充電不要のウェアラブルデバイスを活用した見守りシステムです。心拍数、睡眠、体表温、歩数、活動量を測定し、自動同期されたデータをPCやタブレットで一元管理可能。在宅や施設で活用でき、心拍異常や転倒時のアラート機能で迅速な対応を支援します。



問合せ先 〒135-0091 東京都港区台場2-3-1 トレードピアお台場16F  
TEL.03-6721-7293 E-mail:team\_mother@medirom.co.jp

### 25 フランスベッド株式会社

#### M-Sleep Bio

ベッドの床板とマットレスの間に設置する非接触型のセンサーです。心拍数・呼吸数・体動を検知することで、ご利用者様の睡眠状態とベッド上での状態をモニタリング可能です。ベッド上での状態や数値を日報化することができる為、日々のケアやアセスメントへの活用、生活リズムにおける問題点の改善等にも寄与致します。



問合せ先 〒106-0032 東京都港区六本木4丁目1-16  
E-mail:fb-kikaku\_grp@francebed.jp

## 26 株式会社フューチャーインク

### 多機能ベッドセンサ Vital Beats 3in1

Vital Beats 3in1は、マットレスの下に敷くだけで心拍や呼吸をモニタできます。睡眠状態がリアルタイムで把握できるため、夜間介護の負担軽減に役立ち、起き上がりの検知は離床時の転倒予防にも効果的です。通信機のモニタ画面やお使いのPC等で状態を確認でき、個別のアラート設定も可能です。



問合せ先 〒992-8510 山形県米沢市城南4-3-16  
TEL.0238-36-3336 E-mail:info@futureink.co.jp

## 27 株式会社アラソフトウェア

### 介護ロボットsmart R

最前線のAIを駆使したプライバシー配慮型 見守りカメラ 安否確認システムeye-Box smart RはPCとカメラ、スマートフォンなどを使用した介護施設向けシステムです。施設職員の業務効率化を目的とした入居者管理を行いつつ、入居者のプライバシーに配慮したシルエット映像処理で行動解析を行います。



問合せ先 〒090-0836 北海道北見市東三輪4丁目16-10宮内MS1  
TEL.0157-33-1167 E-mail:arasoft@arasoftware.com

## 28 トーテックアメニティ株式会社

### 見守りライフ

ベッド脚に取り付けるだけで導入できる高齢者見守りシステム。  
ベッド上の動きから動作を検知し、複数の入居者の同時見守りが可能。  
○検知速度が速く、誤報も少ないため、転倒事故を確実に低減  
○ベッドに寝るだけで体重測定が可能のため、職員の負担軽減を実現  
○オプションのカメラでは、万が一の転倒事故時に状況分析が可能



問合せ先 〒451-0045 愛知県名古屋市中区名駅2-27-8(名古屋プライムセントラルタワー 7F)  
TEL.052-533-6919 E-mail:mlife@totec.co.jp

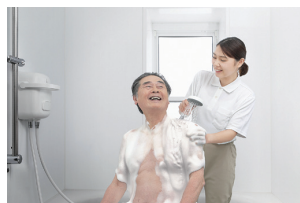


入浴支援

## 29 株式会社LIXIL / 豊田通商株式会社

### 泡シャワー KINUAMI Care

ボディソープとお湯で泡立てたきめ細かなもっちり泡で、全身を包み込む新感覚シャワー。ご利用者様のリラクゼーション効果はもちろん、入浴介助作業が抜群に楽になり、時間短縮による費用削減効果も見込めます。乾燥による皮膚トラブルの予防、褥瘡や疾患など皮膚トラブルのある方のケアにも最適です。



問合せ先 〒108-8208 東京都港区港南2-3-13  
TEL.050-3155-9812 (豊田通商株式会社)

## 30 株式会社シリウス

### 介護用洗身用具 switle BODY

介護用洗身用具switle BODY(スイトルボディ)は、要介護者が普段寝ているベッドから移動することなく、介護者1人だけで、シャワーを浴びたように身体を洗うことができます。入浴における介護者の肉体的、精神的な負担を軽減するとともに、準備や後始末の手間などを省力化することが可能です。



問合せ先 〒110-0015 東京都台東区東上野1-14-9 中島ビル201  
TEL.03-5817-4474 E-mail:info@sirius-agent.co.jp

## ■ 出展機器

### 31 積水ホームテクノ株式会社

#### wellsリフトキャリア

洗体から入槽、出槽まで乗り換え不要で  
 移乗介助の負担を軽減。より安全・安心  
 で満足度の高い入浴サービスの提供を  
 お手伝い。簡単操作で扱い易く、入浴ケ  
 アの均一化にもお役立ていただけます。



問合せ先

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-25-3 あいおいこっせいや和損保新宿ビル11階  
 TEL.03-6328-0624 E-mail:toyohiro.okada@sekisui.com



介護業務支援  
 介護分野で活用できる機器・技術等

### 32 合同会社AUTOCARE

#### ケア記録AIアプリFonLog

ケア記録AIアプリFonLogは、スマートフォンのIoTセンサとAIを活用し、介護記録を効率化す  
 るアプリです。Wi-Fi環境が不十分な施設でも導入可能で、多部屋施設やタイムスタディが必要  
 な現場に最適。記録時間短縮や帳票カスタマイズで業務負担を軽減します。



ケア記録AIアプリ  
**FonLog**

問合せ先

〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの2-5 研究室2(共創テクノロジー)  
 TEL.050-6872-5642 E-mail:autocare@autocare.ai

### 33 コニカミノルタ QOLソリューションズ株式会社

#### HitomeQケア サポート

行動分析センサーから得られる映像と  
 データで、利用者様のことがより分かる!普  
 段のケア(介護過程)はそのままに、スタッ  
 プ様の日々に溶け込み介護現場をDXしま  
 す。導入・活用支援も充実!



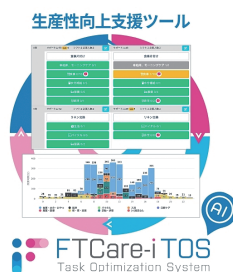
問合せ先

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15 ヒキタカ飯田橋ビル5F  
 TEL.03-6262-1552 E-mail:hitomeq-info@konicaminolta.com

### 34 株式会社エフトス

#### 業務支援システム FTCare-i TOS

FTCare-i TOSは、介護記録・情報共有に  
 加え、計画および業務量の“見える化”を  
 実現する生産性向上支援ツールです。  
 「計画作成>分析・調整>実施>評価・見  
 直し>計画へ反映」という一連の業務フ  
 ローをスムーズにアシストします。  
 AIサポート機能(入力、レポート作成など)  
 も充実しています。



生産性向上支援ツール  
**FTCare-i TOS**  
 Task Optimization System

問合せ先

〒441-8113 愛知県豊橋市西幸町字浜池333-9 サイエンスコア307  
 TEL.0532-43-6721 E-mail:info@ftcare-i.com



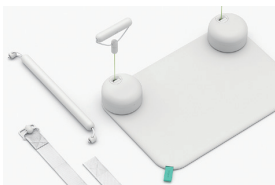
機能訓練・その他

## 35 株式会社walkey

### walkey device

walkey deviceは100年歩ける体をつくるオールインワンリハビリマシン。

医療機器メーカーが開発したコンパクトなワイヤー型リハビリマシンと、ADL別動画による運動指導で手をかけずに機能訓練をサポート。低負荷でありながら運動効率が高く、リハビリから自立支援まで安全にご利用いただけます。



問合せ先

〒152-0035 東京都目黒区自由が丘1-14-14 原田ビル2F  
E-mail:info@walkey.co.jp

## 36 パシフィックサプライ株式会社

### 歩行訓練対応リフト 「モーリフト パートナー255」

安定した歩行の獲得を支援する機器です。優れた可動性と適切な位置に調整できるサポートアーム、そして危険な転倒を防ぐ専用ベストが利用者を安全に手助けします。ハンガーの垂直昇降パターンにより利用者は常に支柱までの距離が一定に保たれます。総重量49kgでありながら255kgの方まで対応します。



問合せ先

〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1  
TEL.072-875-8008 E-mail:info@p-supply.co.jp

## 37 株式会社Moff

### モフトレ

機能訓練支援サービス「モフトレ」は訓練業務の効率化と身体機能の見える化を両立するサービスです。デイサービス等における機能訓練計画書・訓練プログラム・記録作成・レポート作成・ADL評価・LIFE連携に対応しています。自動レポートによる成果の見える化で、ご家族やケアマネジャー等へのアピールも実現します。

### 機能訓練支援プログラム

### M モフトレ



センサー

計画書作成システム  
身体機能レポート作成  
LIFE連携

問合せ先

〒108-0073 東京都港区三田1丁目3-40 天翔オフィス麻布十番101  
TEL.050-5306-0210 E-mail:contact@moff.mobi

## 38 株式会社トレリハ

### トレpro

携帯アプリで体力測定を行い、その結果より利用者様の身体機能に合った運動プログラムを瞬時に作成できるシステムです。また、デイサービスの計画書作成機能も搭載しています。



問合せ先

〒006-0815 北海道札幌市手稲区前田5条13丁目3-1  
TEL.090-6112-2880 E-mail:torepro@toreriha.com

## 39 パナソニック株式会社

### 施設向け 歩行トレーニングロボット

歩行トレーニングロボットは、気軽に負荷のある歩行トレーニングができ、記録が可能な新しいタイプの機器です。ワンタッチで、ご利用者様一人ひとりに合わせた運動負荷や目標、ハンドルの高さが設定可能。記録も自動で残り、データも見やすく出力できるので、継続性の高い歩行トレーニングが提供できます。



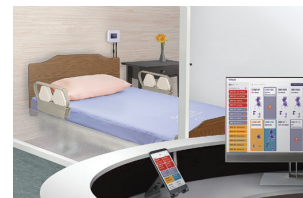
問合せ先

〒571-8508 大阪府門真市大字門真1006番地  
E-mail:wtr\_sales@gg.jp.panasonic.com

## 40 株式会社 エクセルエンジニアリング

### コグニト褥瘡予測システム3.0A

安全管理と褥瘡予測のトータルシステム。非装着型センサーにより、24時間連続検知が可能です。独自の多段階の離床警告および感知技術を利用し、スタッフに迅速に離床を通知します。可視化された体圧点の分布と組み合わせで体位変換をお知らせをします。また、心拍数や呼吸数もモニタリング可能です。



問合せ先

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-12-14 晴花ビル 9階  
TEL.03-5280-7120 E-mail:excel\_contact@excel-jpn.com



# 「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド」の募集について

テクノイド協会では、介護ロボット等の開発及び、実証等をより一層推進するため、ご協力いただける介護施設・居宅サービス事業所等を募集しています。

### 開発・実証フィールドの募集

**背景・目的**

日本の高齢化は世界に例を見ない速度で進行しており、高齢者の自立支援と介護者の負担軽減、さらに質の高い介護サービスを効果的に行うためには、ロボット技術を用いた福祉用具・介護ロボット（介護ロボット等）の開発と実証が不可欠です。厚生労働省では「介護ロボット導入支援事業」において、介護現場への介護ロボット等の導入支援を行っているところですが、介護現場のニーズを踏まえた開発や有効性の検証を進めるためには、介護現場と開発企業との連携がより一層必要とされています。こうした背景を踏まえ、テクノイド協会では、介護ロボット等の開発・実証フィールドを募集し、介護ロボット等の開発及び、効果の検証等をより一層推進することを目的としております。本事業の趣旨をご理解いただき、賛同いただける介護施設の施設・居宅サービス等の関係事業者様におかれましては、ご登録いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

**介護ロボットの開発・実証フィールドとは？**

これまで同様ですが、福祉用具・介護ロボット実用化支援事業において、開発中や上市して間もない介護ロボット等に対する意見交換やアドバイス、モニター調査に協力する意向を示していただく介護施設や事業者となります。また、実証フィールドとは、開発中の介護ロボットの安全性や使用効果の評価・検証等に協力する意向を示していただける介護施設等とさせていただきます。どちらも相応の条件がある度に、事務局よりメールにて情報配信させていただきます。最終的には当該案件の内容をご確認いただき、協力の可否を判断していただければと思います。

**募集する介護施設等**

介護施設の施設・居宅サービス 関係事業者 等  
 ※ 登録はサービス事業所単位となります。  
 ※ 介護施設以外の医療機関や障害者施設、居宅サービスの事業者も登録可能です。

**登録方法**

下記の入力フォームより登録を行ってください。

介護施設・居宅サービス事業所、リハビリテーションセンター等  
 都道府県、市町村、介護実習・普及センター、地域福祉支援センター等

※一時的保存できないため、あらかじめ入力内容をご確認ください

**登録リストの活用**

(1) 当協会や厚生労働省等から各事業の実況や介護ロボットに関する最新情報をメールにて配信します。  
 (2) 登録情報は厚生労働省及びプラットフォーム事業等の委託先へ提供します。



詳細はテクノイド協会ホームページをご確認下さい。  
 皆様のご登録お待ちしております。

**事務局** 公益財団法人テクノイド協会 企画部 伊東・松本・美和・五島(ごしま)  
 〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階  
 電話番号 03(3266)6883 電子メール robocare@techno-aids.or.jp

企業向け

令和6年度  
福祉用具・介護ロボット実用化支援事業

「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」及び、  
「試作介護機器へのアドバイス支援事業」、  
「介護ロボット等モニター調査事業」の実施について

## 募集要項

令和6年6月

### 公益財団法人テクノエイド協会

本事業は、当協会が厚生労働省老健局から受託した「福祉用具・介護ロボット実用化支援・広報等一式」の一環として行う事業です。従って、予定する件数や予算に到達しだい受付終了となりますので、予めご了承ください。詳しくは、当協会までお尋ねください。

本事業に使用する様式は、当協会のホームページ（<https://www.techno-aids.or.jp/>）からダウンロードしてください。

## 目次

1. 目的、事業の概要	1
2. 事業内容	3
A. 「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」の募集	3
(1) 募集対象者	3
(2) 募集の対象となる介護ロボット等	3
(3) 実施内容等	4
(4) 「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2024」の作成について	5
B. 「試作介護機器へのアドバイス支援事業」の募集	5
(1) 募集対象者	5
(2) 募集の対象となる介護ロボット等	5
(3) 実施内容等	6
(4) 「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2024」の作成について	7
C. 「介護ロボット等モニター調査事業」の募集	7
(1) 募集対象者	7
(2) 募集の対象となる介護ロボット等	7
(3) 実施内容	8
(4) モニター調査の枠組み	9
(5) 応募書類と方法	10
(6) 募集期間	10
(7) 採否の決定等	11
(8) モニター調査の流れ	11
(9) 「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2024」の作成について	13
3. 本事業に関する問い合わせ先（事務局）	13
4. 様式（企業向けの様式）	15
様式A（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書）	15
様式B（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書）	16
様式C（介護ロボット等モニター調査事業 要望書）	18
様式D（介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書）	19
様式E（介護ロボット等モニター調査事業 事業報告書）	22
5. 参考資料（介護施設等向けの様式）	23
様式1（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書）	23
様式2（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書）	25
様式3（請求書：介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作介護機器へのアドバイス支援事業）	26
様式4（介護ロボット等モニター調査 実施希望書）	27
様式5（介護ロボット等モニター調査 結果報告書）	29
様式6（請求書：介護ロボット等モニター調査）	31
公益財団法人テクノエイド協会の概要	32

# 「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」及び、 「試作介護機器へのアドバイス支援事業」、 「介護ロボット等モニター調査事業」の実施について

## ～ 募集要項 ～

### 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業



#### 背景

急激な高齢化の進展にともない、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など、介護ニーズは益々増大する一方、核家族化の進行や、介護する家族の高齢化など、要介護高齢者を支えてきた家族をめぐる状況も変化している。

また、介護分野においては、介護従事者の腰痛問題等が指摘されており、人材確保を図る上では、働きやすい職場環境を構築していくことが重要である。

このような中で、日本の高度な水準のロボット技術を活用し、高齢者の自立支援や介護従事者の負担軽減が期待されている。

#### 現状・課題

##### 【介護現場からの意見】

- ・どのような機器があるのか分からない
- ・介護場面において実際に役立つ機器がない・役立て方がわからない
- ・事故について不安がある

ミスマッチ!!

##### 【開発側からの意見】

- ・介護現場のニーズがよく分からない
- ・実証試験に協力してくれるところが見つからない
- ・介護現場においては、機器を活用した介護に否定的なイメージがある
- ・介護ロボットを開発したけれど、使ってもらえない

#### マッチング支援

介護現場のニーズに適した実用性の高い介護ロボットの開発が促進されるよう、開発の早い段階から現場のニーズの伝達や試作機器について介護現場での実証等を行い、介護ロボットの実用化を促す環境を整備する。

資料：厚生労働省

## 1. 目的、事業の概要

当協会では、厚生労働省老健局より受託し「福祉用具・介護ロボット実用化支援・広報等一式」を実施しています。

本事業は、高齢者介護の現場において、高齢者の尊厳ある自立した生活の保障を目指すための「福祉用具・介護ロボット（以下「介護ロボット等）」について、実用化を促す環境を整備し、企業による製品化を促進することを通じて、要介護者の自立支援や介護者の負担軽減を図ることを目的とした事業です。

この度、本事業の一環として、使用する側の「ニーズ」と開発する側の「シーズ」をマッチングする取り組みとして、次頁以降に記載する3事業を行うことと致しました。

それぞれの事業の趣旨を踏まえ、いずれか（あるいは複数）の事業を希望される企業の方は、本書記載の内容に沿って応募してください。

なお、本事業は、予算の範囲で実施するものであり、予定の件数や予算に到達しだい受付終了となり

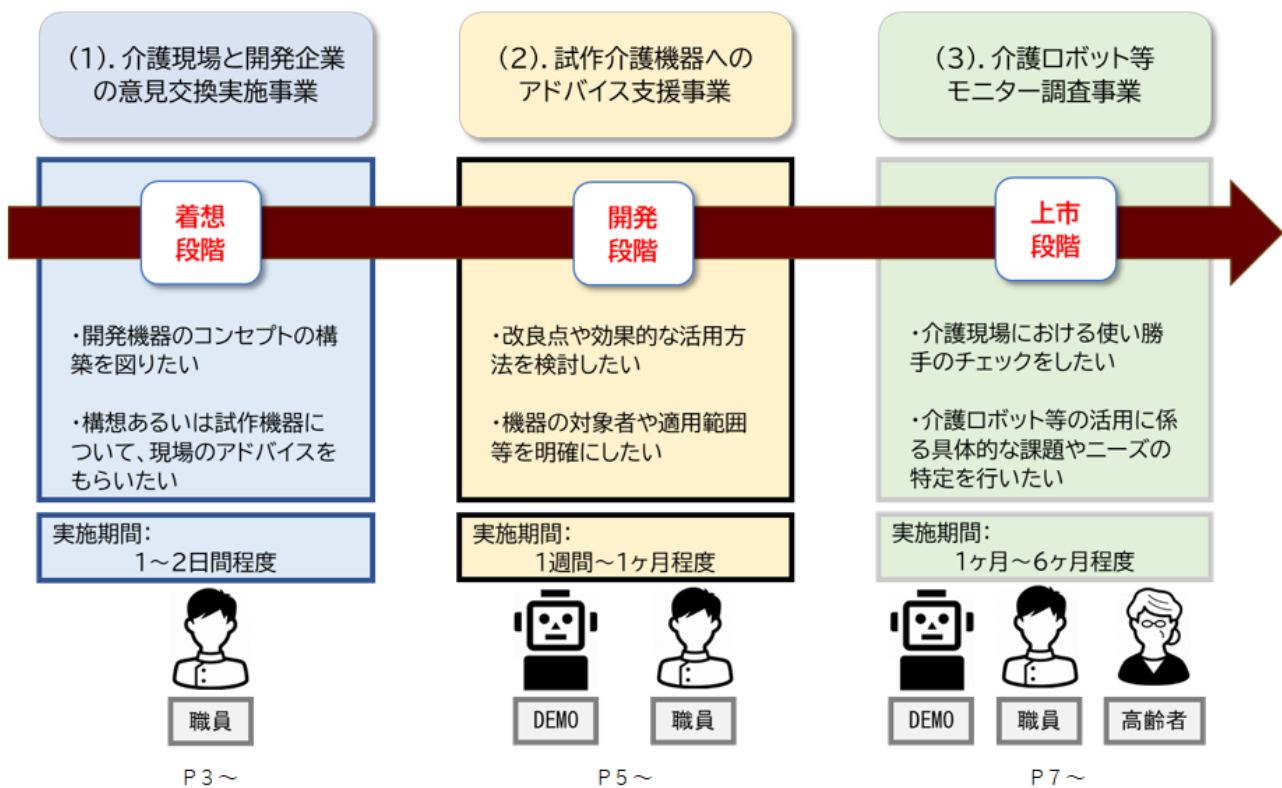
ますので予めご了承ください。

また、本事業においては、介護現場・有識者等からの意見を通じて、介護ロボット等に対する利用効果や使い勝手等の課題や改良点等について支援を実施するものではありませんが、利用効果や使い勝手等の課題は、使用場所（提供サービス）・使用場面・利用者像等によって様々異なるものです。

本事業への参加を以て、介護現場での活用方法の検討や機器の改良等を終えるのではなく、継続して介護現場の生産性向上に向けた介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業（以下、「介護ロボットのプラットフォーム事業」という。）等を活用し、改善に努めて頂くようお願いいたします。

### 3事業の概要

（開発段階に応じた事業メニュー）



※開発（検討）中の機器がどの段階にあるか不明な場合は、当協会までご相談ください。

開発段階に応じた事業メニュー		開発段階	機器等	実施期間
A	介護現場と開発企業の意見交換実施事業	コンセプト段階 開発中（試作段階）		1～2日間程度
B	試作介護機器へのアドバイス支援事業	開発中もしくは上市間もない（1年以内）	必須	1週間～1ヶ月程度
C	介護ロボット等モニター調査事業	開発中もしくは上市間もない（1年以内）	必須	1ヶ月～6ヶ月程度

(事業で使用する様式)

事業メニュー		依頼書 様式A	依頼概要書 様式B	要望書 様式C	計画概要書 様式D	事業報告書 様式E
A	介護現場と開発企業の意見交換実施事業	○	○			
B	試作介護機器へのアドバイス支援事業	○	○			
C	介護ロボット等モニター調査事業			○	○	○
本書の掲載頁 →		P 1 5	P 1 6	P 1 8	P 1 9	P 2 2

※Cの事業には、応募期限があります。(P 1 0)

※各様式は、当協会ホームページからダウンロードできます。

なお、本事業によって得た利用者等の個人情報についての、目的外使用、また、第三者に開示若しくは漏洩してはならないものとする。

## 2. 事業内容

### A. 「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」の募集

開発コンセプトの段階（実機不要）や開発中（試作段階）の介護ロボット等について、介護施設等での自由な意見交換を行い、当該機器の課題や改良点及び、効果的な活用方法等についての話し合いを行います。

※本事業は、原則、実際の高齢者が試用するものではありません。

#### (1) 募集対象者

以下に掲げる企業を対象とします。

- 開発コンセプトの段階（実機不要）や開発中（試作段階）にある介護ロボット等のメーカー
- 介護現場等での意見交換を通じて、開発機器のコンセプトの構築を図りたいメーカー
- 構想あるいは試作介護機器について、現場のアドバイスをもらいたいメーカー

#### (2) 募集の対象となる介護ロボット等

以下の2要件をいずれも満たすものとしませんが、高齢者の行動の自由を制限する可能性のある機器は対象としません。

◆目的要件（以下のいずれかの要件満たす機器であること。）

- 心身の機能が低下した高齢者の日常生活上の便宜を図る機器
- 高齢者の機能訓練あるいは機能低下予防のための機器
- 高齢者の介護負担の軽減のための機器
- 介護職員の間接業務を軽減するための機器



◆技術要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ロボット技術（※）を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器  
（※）①カセンサーやビジョンセンサー等により外界や自己の状況を認識し、②これによって得られた情報を解析し、③その結果に応じた動作を行う
- 技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器
- 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発等推進事業（開発補助）」において採択された機器

### （3）実施内容等

#### ①募集件数（先着順）

10件程度（複数の介護施設で行うことも可能）

令和6年6月10日（月）以降、先着順とします。応募内容が本事業の趣旨に合致するものか、当協会にて審査のうえ採否を決定します。不明瞭な記載や内容に不備がある場合、また本事業の趣旨に反する案件等については、受付しない場合もあります。

#### ②実施時期

令和6年6月～（※実施期間：1日～2日程度 協力施設等と要相談）

#### ③費用の交付

応募企業に対する費用の交付はありませんが、ご協力いただく介護施設等に対して下記の金額を当協会から交付します。

- ・介護職員等との意見交換：アドバイス協力費として、5万円

#### ④企業と介護施設等のマッチング

協力いただく介護施設等は、原則として、当協会が募集している「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド（介護施設等）」の中から選定していただくことになります。

注）既縁の介護施設等が有る場合であっても登録が必要になります。

#### ⑤応募の書類と方法について

##### ●提出書類

様式A	介護現場と開発企業の意見交換実施事業等	依頼書	……	P15
様式B	介護現場と開発企業の意見交換実施事業等	依頼概要書	……	P16
任意様式	会社概要（A4で1枚程度）			

##### ●提出方法

電子メール（FAXによる提出は不可。）

##### ●提出期限

先着順（受付可能な機器や時期、内容等については、当協会までお尋ねください。）

上記の様式は、当協会のホームページからダウンロードしてください。

当協会ホームページ：[https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab22\\_detail](https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab22_detail)

～ 以下は、協力いただく介護施設等の関係書類です。参考として掲載しています。 ～

様式 1	介護現場と開発企業の意見交換実施事業等	実施希望書	………	<b>P 2 3</b>
様式 2	介護現場と開発企業の意見交換実施事業等	実施報告書	………	<b>P 2 5</b>
様式 3	介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作介護機器へのアドバイス支援事業 請求書		………	<b>P 2 6</b>

### 意見交換の実施方法等について

原則、現地での意見交換等を行うこととしますが、インフルエンザ等感染症の流行に伴い、介護施設等への来所が制限されたり、禁止される場合も想定されます。そうした場合には、オンライン会議に切り替えるなど、介護施設等の意向に従うことといたします。

また、実施にあたっては、原則、当協会が間に入ることといたします。

## (4) 「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2024」の作成について

事業終了時に成果報告を冊子として取りまとめる予定です。原稿の作成にご協力をお願いいたします。

(参考) 福祉用具・介護ロボットの開発と普及2023

<https://www.techno-aids.or.jp/robot/kaihatsu2023book/index.html?pNo=1>

## B. 「試作介護機器へのアドバイス支援事業」の募集

開発中にある介護ロボット等又は、上市して間もない（1年以内）介護ロボット等について、福祉用具や高齢者に係わる専門職等が試用等を行い、専門的なアドバイスを行うことにより、適用対象者の想定を行うとともに、真に必要とされる機能や性能の検討を行い、もって使用場面のニーズを的確に捉えた機器開発を促します。

実施にあたっては、福祉用具に関する事故・ヒヤリハット情報等を参考に、安全利用に資する機能等の検討・アドバイスを行い、安全機能を有する機器開発の促進を図ります。

※本事業は、原則、実際の高齢者が試用するものではありません。

### (1) 募集対象者

以下に掲げる企業を対象とします。

- 開発中又は、上市して間もない（1年以内）介護ロボット等があり、改良点や効果的な活用方法を検討したいメーカー
- 機器の対象者や適用範囲等を明確にしたいメーカー

### (2) 募集の対象となる介護ロボット等

以下の2要件をいずれも満たすものとしますが、高齢者の行動の自由を制限する可能性のある機器は対象としません。



◆目的要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ▶ 心身の機能が低下した高齢者の日常生活上の便宜を図る機器
- ▶ 高齢者の機能訓練あるいは機能低下予防のための機器
- ▶ 高齢者の介護負担の軽減のための機器
- ▶ 介護職員の間接業務を軽減するための機器

◆技術要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ▶ ロボット技術（※）を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器  
（※）①カセンサーやビジョンセンサー等により外界や自己の状況を認識し、②これによって得られた情報を解析し、③その結果に応じた動作を行う
- ▶ 技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器
- ▶ 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発等推進事業（開発補助）」において採択された機器

### （3）実施内容等

#### ①募集件数（先着順）

15件程度（複数の介護施設で行うことも可能）

令和6年6月10日（月）以降、先着順とします。応募内容が本事業の趣旨に合致するものか、当協会にて審査のうえ採否を決定します。不明瞭な記載や内容に不備がある場合、また本事業の趣旨に反する案件等については、受付しない場合もあります。

#### ②実施時期

令和6年6月～（※実施期間：1週間～1ヶ月程度 協力施設等と要相談）

#### ③費用の交付

応募企業に対する費用の交付はありませんが、ご協力いただく介護施設等に対して下記の金額を当協会から交付します。

- ・ 試作介護機器へのアドバイス支援：アドバイス協力費として、8万円

#### ④企業と介護施設等のマッチング

協力いただく介護施設等は、原則として、当協会が募集している「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド（介護施設等）」の中から選定していただくことになります。

注）既縁の介護施設等が有る場合であっても登録が必要になります。

#### ⑤応募の書類と方法について

##### ●提出書類

- |      |                     |       |    |             |
|------|---------------------|-------|----|-------------|
| 様式 A | 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 | 依頼書   | …… | <b>P 15</b> |
| 様式 B | 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 | 依頼概要書 | …… | <b>P 16</b> |
| 任意様式 | 会社概要（A4で1枚程度）       |       |    |             |

##### ●提出方法

電子メール（FAXによる提出は不可。）

##### ●提出期限

先着順（受付可能な機器や時期、内容等については、当協会までお尋ねください。）

上記の様式は、当協会のホームページからダウンロードしてください。

当協会ホームページ：[https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab22\\_detail](https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab22_detail)

～ 以下は、協力いただく介護施設等の関係書類です。参考として掲載しています。 ～

様式 1	介護現場と開発企業の意見交換実施事業等	実施希望書	………	<b>P 2 3</b>
様式 2	介護現場と開発企業の意見交換実施事業等	実施報告書	………	<b>P 2 5</b>
様式 3	介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作介護機器へのアドバイス支援事業 請求書			<b>P 2 6</b>

※様式 1 及び 2、3 は、「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」と同様の様式です。

#### アドバイス支援の実施方法等について

原則、現地でのアドバイス支援を行うこととしますが、インフルエンザ等感染症の流行に伴い、介護施設等への来所が制限されたり、禁止される場合も想定されます。そうした場合には、オンライン会議に切り替えるなど、介護施設等の意向に従うことといたします。

また、実施にあたっては、原則、当協会が間に入ることといたします。

#### (4) 「福祉用具・介護ロボットの開発と普及 2024」の作成について

事業終了時に成果報告を冊子として取りまとめる予定です。原稿の作成にご協力をお願いいたします。

(参考) 福祉用具・介護ロボットの開発と普及 2023

<https://www.techno-aids.or.jp/robot/kaihatsu2023book/index.html?pNo=1>

### C. 「介護ロボット等モニター調査事業」の募集

開発中又は上市して間もない（1年以内）介護ロボット等について、介護現場における使い勝手のチェックや介護ロボット等活用に係る具体的な課題やニーズの特定等を行い、もって企業が当該機器を開発又は改良する上で有用となる情報を収集するためのモニター調査を行うこととします。

モニター調査と合わせて、実証試験を行うことも可能です。

#### (1) 募集対象者

以下の2つの条件を満たす必要があります。

- ① 本モニター調査は、後述する（4）に示す枠組みに即したモニター調査を行う企業等が対象となります。
- ② 効果的なモニター調査を推進する観点から、専門職等による助言・指導及び協力施設等とのマッチングを希望する企業等が対象となります。

※工学的な安全性についての確認が必要な機器については、介護ロボットのプラットフォーム事業における相談窓口やリビングラボをご活用ください。

#### (2) 募集の対象となる介護ロボット等

以下の2要件をいずれも満たすものとしませんが、高齢者の行動の自由を制限する可能性のある機器は対象としません。

◆目的要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ▶ 心身の機能が低下した高齢者の日常生活上の便宜を図る機器
- ▶ 高齢者の機能訓練あるいは機能低下予防のための機器
- ▶ 高齢者の介護負担の軽減のための機器
- ▶ 介護職員の間接業務を軽減するための機器

◆技術要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ▶ ロボット技術（※）を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器  
（※）①カセンサーやビジョンセンサー等により外界や自己の状況を認識し、②これによって得られた情報を解析し、③その結果に応じた動作を行う
- ▶ 技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器
- ▶ 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発等推進事業（開発補助）」において採択された機器

### （3）実施内容

#### ①実施期間

採択決定後～令和7年1月末

※モニター調査の期間は、内容や規模を考慮し協力施設等を相談して決定すること。

#### ②採択件数

10件程度

#### ③モニター調査の期間

1ヶ月～6ヶ月程度（協力施設等と要相談）

#### ④費用の交付

応募企業に対する費用の交付はありませんが、ご協力いただく介護施設等に対して下記の金額を当協会から交付します。

- ・モニター調査協力費として、15万円

#### ⑤企業と介護施設等のマッチング

協力いただく介護施設等は、原則として、当協会が募集している「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド（介護施設等）」の中から選定していただくこととなります。但し、予定する予算に到達した時点でマッチングは終了となります。

#### ⑥モニター調査実施にあたっての留意

- ・モニター調査を希望する企業とモニター調査に協力していただける介護施設等とのマッチングを一つの目的としております。
- ・モニター調査においては、試作機の開発が完了していることが必要です。
- ・申請に当たって、実施するモニター調査の内容の一部を登録施設等へ情報提供するとともに、当協会のホームページから情報提供することに同意いただくこととなります。
- ・適切かつ効果的なモニター調査を推進する観点から、モニター調査の計画作成及び実施にあたって、当協会が設置するモニター調査検討委員会から指導・助言を行います。
- ・モニター調査は、利用者の同意を得て実施することとし、安全性への配慮が必要な案件については、保険の加入を促すこととする。また、実証試験を行う際には、倫理審査の実施が必須となります。

#### (4) モニター調査の枠組み

本モニター調査は、下記にまとめた①～⑤の観点に基づいて実施していただきます。（ただし、①～⑤の全てを行う必要はありません）

応募に際して、機器開発の状況、今回のモニター調査で把握したい事項などについて、この枠組みに即して記載してください。

なお、利用者に対する効果・影響、介護者の負担軽減等について客観的データ取得に努めるものとして、③については、取得を必須とする指標を定めておりますので、ご注意ください。

#### モニター調査項目の基本的な考え方と指標の例

##### ①利用対象者の適用範囲

開発の狙いと想定する身体機能レベルの整合性について、複数の被験者の評価結果等から整理する。

調査手法	観察法、インタビュー法、質問紙法、日々の利用状況が確認できる日誌等の確認、定点観測
指標	要介護度、ベッド利用時の状態・時間・転落の危険性の有無、姿勢保持レベル、コミュニケーション能力、歩行・移動の自立度、排泄の自立度
調査結果の活用	利用者の適用範囲について条件を整理し、その条件でのモニター調査を経ても支障がなかったかを確認する。支障が生じた場合には、その原因と支障が及ぶ範囲を把握し、その結果をもとに適用範囲を修正する。

##### ②利用環境の条件

機器利用環境の条件について、複数の被験者の評価結果等から整理する。

調査手法	観察法、インタビュー法、質問紙法、日々の利用状況が確認できる日誌等の確認、定点観測
指標	利用時に必要となる空間（広さ）、設備、介助者の条件
調査結果の活用	利用環境について条件を整理し、その条件でのモニター調査を経ても支障がなかったかを確認する。支障が生じた場合には、その原因と支障が及ぶ範囲を把握し、その結果をもとに適用範囲を修正する。

##### ③機器の利用効果

機器開発の狙いに即して、調査すべき項目・指標を設定する。

調査手法	観察法、インタビュー法、質問紙法、日々の利用状況が確認できる日誌等の確認、定点観測
指標設定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの研究開発の蓄積から、独自に設定。</li> <li>・ 学識経験者、類似開発経験者等有識者の指導・協力を得て設定。</li> <li>・ モニター調査協力施設との意見交換により設定。等</li> </ul>
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>i 被介護者（取得必須指標、以下のうち1つ以上） 要介護度、ADL、IADL（FIM 指標）、LSA（Life Space Assessment）、日常生活時間、QOL（sf-36、QOL26 等）</li> <li>ii 介護者（取得必須指標、以下のうち1つ以上）</li> </ul>

	腰痛等の有無、介護負担指標（Zarit 介護負担尺度、BIC-11 等）、ストレス指標、生体情報（筋電図、心電図、運動解析情報） iii 介護サービス提供全体の流れ プロセス全体の時間、人員構成、職務タイムスタディ法
調査結果の活用	提案するロボットを活用することにより、各指標がどの程度改善したかを確認する。改善が見られない場合は、その原因を把握し、ロボットの改良につなげる。

#### ④機器の導入・活用可能性

開発するロボットの操作可能性（介護職員等が取扱うことができる技術であるか）、想定される導入コスト、導入した場合の利用者満足度を調査する。

調査手法	観察法、インタビュー法、質問紙法、日々の利用状況が確認できる日誌等の確認
指標	・ QUEST（満足度評価） ・ VAS（Visual Analogue Scale） ・ SUS（System Usability Scale）
調査結果の活用	開発するロボットが、介護現場にとって導入・活用が可能なものか確認し、導入・活用が困難な場合は搭載する技術の見直し等を行う。

#### ⑤介護現場での利用継続性

上記①～④の調査を踏まえた上で、モニター調査に協力した施設等で継続して利用したいと思うか調査する。

調査手法	インタビュー法、質問紙法等
調査内容	利用継続性の有無について、その理由も聴取
調査結果の活用	理由に基づき、今後の改良・修正箇所の確認、新商品の開発につなげる。

### （5）応募書類と方法

#### ●提出資料

様式C 介護ロボット等モニター調査事業 要望書 …… **P 1 8**

様式D 介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書 …… **P 1 9**

任意様式 会社概要（A 4で1枚程度）

#### ●提出方法

電子メール（FAXによる提出は不可。）

#### ●提出期限 **令和6年7月10日(水) 12時**

上記の様式は、当協会のホームページからダウンロードしてください。

当協会ホームページ：[https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab22\\_detail](https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab22_detail)

### （6）募集期間

**令和6年6月10日(月)～7月10日(水) 12時**

※) 募集期間に予定の件数及び予算に満たない場合には追加募集します。詳しくは当協会にお尋ねください。



## (7) 採否の決定等

当協会による書面審査及び当協会が設置するモニター調査検討委員会の意見を踏まえて、最終的に当協会が決定します。

採否については、決定しだい応募された方へ通知いたします。

但し、介護施設等とのマッチング件数は、10件程度となります。予定する予算に到達した時点で受付は終了となります。従って、採択されてもモニター調査先を選定することができない場合もあり得ることを予めご了承ください。

本事業に採択された企業におかれましては、2月（予定）に開催するモニター調査検討委員会において成果報告のプレゼンテーションを行っていただきます。

## (8) モニター調査の流れ

★7月10日（水）12時厳守

**（様式C）介護ロボット等モニター調査事業 要望書**及び、

**（様式D）介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書**の提出期限

→ 協会にて書面審査を行います。

本事業は、企業に対する費用の交付はございませんが、介護施設等に対してモニター調査協力を当協会から予算の範囲内で交付します。従って、事務処理の都合上、一定程度の募集期間を設けておりますが、期間内で予定の件数及び予算に満たない場合には、追加募集することといたします。詳しくは、協会まで問い合わせてください。

→ 書面審査の結果を踏まえて、次のステップへ進みます。

★7月下旬～

① → **試用介護機器等の事前検証**の実施

書面審査の結果をクリアした案件については、原則として、当協会が設置する「モニター調査検討委員会」において、**試用介護機器等の事前検証**を行います。

事前検証は、**当協会が指定した開催日に会場（東京都内を予定）までお越しいただき、当該機器の対象及び有用性、さらには想定するモニター調査の内容等について説明していただきます。**

なお、事前検証に伴う旅費等の費用は応募者の負担となります。

また、インフルエンザ等感染症予防の観点から、モニター調査検討委員会の開催をオンライン会議とする場合もあり得ます。この場合には事務局の指示に従ってください。

② → 委員会による審議を踏まえて、**採択企業を決定**

委員会審議の結果を送付します。

なお、委員会による審議の結果、モニター調査としては不採択であっても、当協会から「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」「試作介護機器へのアドバイス支援事業」の実施へ誘導する場合があります。

③ → 採択後の**モニター調査の計画作成に係わる助言・指導**

適切かつ効果的なモニター調査を推進する観点から、モニター調査の計画作成にあたって、当協会の設置するモニター調査検討委員会等から、助言・指導を得ることができます。

④ → モニター調査を実施する**介護施設等とのマッチング**

協力いただく介護施設等は、原則として、当協会が募集している「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド（介護施設等）」の中から選定していただくことになります。

予定する予算に到達した時点で受付終了となります。

次のステップへ進みます。



★8月下旬～令和7年1月末

→ 介護施設等において、**介護ロボット等モニター調査**の実施

調査開始にあたり、協力いただく介護施設等と相談のうえ「計画概要書（様式D）」を実際の調査内容に合わせて修正し、再提出いただくことも可能です。

→ モニター調査終了後、「事業報告書（様式E）」を提出していただきます。

必要に応じて協会職員が同行し、また適切なモニター調査が行われるよう、状況に応じて当該機器に適した専門家等を派遣します。

当協会では、製品の安全性やモニター調査にあたって生じた事故等の責任を負いません。必要に応じて保険をかけるなどし、十分注意して調査を行ってください。



★令和7年2月（予定）

→ モニター調査検討委員会において、**成果報告のプレゼンテーション**の実施

モニター調査結果を踏まえて、プレゼンテーションをしていただきます。プレゼンテーション資料のご用意をお願いします。開催日はおってお知らせします。

インフルエンザ等感染症予防の観点から、モニター調査検討委員会の開催をオンライン会議とする場合もあり得ます。この場合には事務局の指示に従ってください。

※事業の実施後、介護ロボットのプラットフォーム事業における相談窓口・リビングラボ等の取組を紹介し、介護現場での活用方法の検討や機器の改良等に向けて、更なる支援を希望する場合、当該事業の事務局への取次ぎを行います。



～ 以下は、協力いただく介護施設等の関係書類です。参考として掲載しています。 ～

様式 4	介護ロボット等モニター調査	実施希望書	……	<b>P 2 7</b>
様式 5	介護ロボット等モニター調査	結果報告書	……	<b>P 2 9</b>
様式 6	モニター調査事業・協力施設	請求書	……	<b>P 3 1</b>

#### モニター調査の実施方法等について

原則、現地での打合せやモニター調査等を行うこととしますが、インフルエンザ等感染症の流行に伴い、介護施設等への来所が制限されたり、禁止される場合も想定されます。そうした場合には、打合せをオンライン会議に切り替えるなど、介護施設等の意向に従うことといたします。

また、実施にあたっては、原則、当協会が間に入ることといたします。

#### (9) 「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2024」の作成について

事業終了時に成果報告を冊子として取りまとめる予定です。原稿の作成にご協力をお願いいたします。

(参考) 福祉用具・介護ロボットの開発と普及2023

<https://www.techno-aids.or.jp/robot/kaihatsu2023book/index.html?pNo=1>

### 3. 本事業に関する問い合わせ先（事務局）

**公益財団法人テクノエイド協会 企画部**（伊東・松本・五島（ごしま））  
〒162-0823  
東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階  
TEL 03（3266）6883  
電子メール [monitor@techno-aids.or.jp](mailto:monitor@techno-aids.or.jp)

# メモ

日付	問い合わせ内容	結果・対応

## 4. 様式（企業向けの様式）

様式 A（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書）

令和 年 月 日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

（依頼者）

〒

住所

事業者名

担当者所属

担当者名

電話番号

電子メールアドレス

### 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援・広報等一式の一環として行う、介護ロボット等に係る「**介護現場と開発企業の意見交換実施事業**」又は「**試作介護機器へのアドバイス支援事業**」について、下記の書類を提出して依頼します。

#### 記

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書
2. 会社概要（任意様式）
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類（任意様式）  
※）実績がない場合は、提出不要

（本書類の取扱いと留意事項について）

- ご提出いただく「介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なお協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

**介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書**

**1. 希望する事業の種類**（いずれかに○印を記入してください。）

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	<input type="checkbox"/>
2. 試作介護機器へのアドバイス支援事業	<input type="checkbox"/>

**2. 依頼者（企業）の概要**

企業名		
担当者名		
担当者連絡先	住所	〒
	電話	
	電子メールアドレス	
主たる業種		
主要な製品		
希望する施設等の種類や職種等 希望施設に☑を入れてください 複数選択可	<input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設：老人保健施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護：グループホーム <input type="checkbox"/> 特定施設入居者生活介護：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、地域密着型特定施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 居宅介護サービス：訪問介護、看護、デイサービス、リハ、福祉用具貸与サービス事業者、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 等 <input type="checkbox"/> ショートステイ <input type="checkbox"/> 障害者福祉施設 <input type="checkbox"/> 医療機関：介護療養型、介護医療院、病院、リハビリテーションセンター 等 <input type="checkbox"/> その他：（ ）	
その他		

**3. 当該機器の開発コンセプト又は試作介護機器等の概要**（可能な限り詳しく記入してください。）

機器の名称（仮称）		
試作介護機器の有無及び機器のコンセプト（試作介護機器あれば写真を添付）	試作介護機器の有無	1. 有 ・ 2. 無
	機器の目的及び特徴	

<p>想定する使用者及び使用方法、使用場面</p>	<p>①想定する使用者</p> <p>②想定する使用場面</p> <p>③想定する使用方法</p>
<p>現在の開発状況と主な課題</p>	
<p>特にアドバイス（意見交換）を希望している事項</p>	
<p>その他</p>	

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式C（介護ロボット等モニター調査事業 要望書）

令和 年 月 日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

(要望者)

〒

住所

事業者名

担当者所属

担当者名

電話番号

電子メールアドレス

**介護ロボット等モニター調査事業 要望書**

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援・広報等一式の一環として行う「**介護ロボット等モニター調査事業**」について、下記の書類を添付して要望します。

## 記

1. 介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書
2. 会社概要（任意様式）
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類（任意様式）  
※）実績がない場合は、提出不要

（本書類の取扱いと留意事項について）

- ご提出いただく「介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。  
従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なお協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書

1. 申請者（企業）の概要等

企業名		
担当者名		
担当者連絡先	住所	〒
	電話	
	電子メールアドレス	
主たる業種		
主要な製品		
希望する施設等の種類や職種等 希望施設に☑を入れてください 複数選択可	<input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設：老人保健施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護：グループホーム <input type="checkbox"/> 特定施設入居者生活介護：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、地域密着型特定施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 居宅介護サービス：訪問介護、看護、デイサービス、リハ、福祉用具貸与サービス事業者、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 等 <input type="checkbox"/> ショートステイ <input type="checkbox"/> 障害者福祉施設 <input type="checkbox"/> 医療機関：介護療養型、介護医療院、病院、リハビリテーションセンター 等 <input type="checkbox"/> その他：（ ）	
その他の希望		

2. 試用介護機器の概要 (可能な限り詳しくご記入ください。)

機器の名称 (仮称)	
機器の概要 (写真を添付すること)	<u>想定する使用者、使用場面</u>
	<u>機能と使用方法、有用性</u>
	<u>類似する機器との相違</u>
	<u>当該機器と介護業務との関連性</u>



現在の開発状況と課題	機器に関するリスクアセスメント（性能安全と利用安全の確保対策） ※アセスメント結果を添付して下さい。
	社内や社外モニター調査の実績 ※実績ありの場合は、その結果を添付して下さい。
	開発に関する当面の課題

### 3. モニター調査の概要

1. 調査のねらい	
2. 調査概要	1) 調査対象：  2) 調査したい場面、場所：  3) 調査期間（日数）：  4) 機器の台数：

### 4. モニター調査の実施手法（協力施設等へお願いしたい内容）

※本書のP9～10を参考にモニター調査の具体的な実施方法を記載してください。

注）5つの項目全てを行う必要はありません。（実施しない項目は「特になし」としてください。）

※モニター調査検討委員会等の審議により採択された場合には、当協会及び専門家によるアドバイスをを行います。

1. 利用対象者の適用範囲に関すること	【調査手法】 <input type="checkbox"/> 観察法 <input type="checkbox"/> インタビュー法 <input type="checkbox"/> 質問紙法 <input type="checkbox"/> その他：  【想定する調査方法】
---------------------	---

2. 利用環境の条件 に関すること	<p>【調査手法】  <input type="checkbox"/> 観察法 <input type="checkbox"/> インタビュー法 <input type="checkbox"/> 質問紙法 <input type="checkbox"/> その他：</p> <p>【想定する調査方法】</p>
3. 機器の利用効果 に関すること	<p>【調査手法】  <input type="checkbox"/> 観察法 <input type="checkbox"/> インタビュー法 <input type="checkbox"/> 質問紙法 <input type="checkbox"/> その他：</p> <p>【取得指標】</p> <p>i 被介護者（取得必須指標、以下のうち1つ以上）  <input type="checkbox"/> 要介護度 <input type="checkbox"/> ADL <input type="checkbox"/> IADL <input type="checkbox"/> LSA <input type="checkbox"/> 日常生活時間 <input type="checkbox"/> QOL  <input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>ii 介護者（取得必須指標、以下のうち1つ以上）  <input type="checkbox"/> 腰痛等の有無 <input type="checkbox"/> 介護負担指標 <input type="checkbox"/> ストレス指標 <input type="checkbox"/> 生体情報  <input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>iii 介護サービス提供全体の流れ  <input type="checkbox"/> プロセス全体の時間 <input type="checkbox"/> 人員構成 <input type="checkbox"/> 職務タイムスタディ法  <input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>【想定する調査方法】</p>
4. 機器の使い勝手 に関すること	<p>【調査手法】  <input type="checkbox"/> 観察法 <input type="checkbox"/> インタビュー法 <input type="checkbox"/> 質問紙法 <input type="checkbox"/> その他：</p> <p>【想定する調査方法】</p>
5. 介護現場での利 用の継続性に関す ること	<p>【調査手法】  <input type="checkbox"/> 観察法 <input type="checkbox"/> インタビュー法 <input type="checkbox"/> 質問紙法 <input type="checkbox"/> その他：</p> <p>【想定する調査方法】</p>
6. その他	

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式E（介護ロボット等モニター調査事業 事業報告書）

令和 年 月 日

公益財団法人テクノエイド協会理事長 殿

事業者名  
 担当者所属  
 担当者名  
 電話番号  
 電子メールアドレス

**介護ロボット等モニター調査事業 事業報告書**

標記について、下記のとおり報告します。

案件番号									
機器の名称（仮称）									
モニター調査の実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査期間</li> <li>・ 対象者</li> <li>・ 調査体制</li> <li>・ 実施場所</li> </ul>								
実施経過	<table border="1"> <tr> <th>実施時期</th> <th>主な実施内容</th> </tr> <tr> <td>年 月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>年 月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>年 月</td> <td></td> </tr> </table>	実施時期	主な実施内容	年 月		年 月		年 月	
	実施時期	主な実施内容							
	年 月								
	年 月								
年 月									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査手法（具体的な評価方法）</li> <li>・ 調査結果（調査のねらいに対し期待通りの実施結果が得られたか）</li> <li>・ 調査結果から得られた課題</li> </ul>									
<p>（計画概要書に沿って記入してください）</p>									
市場投入に向けて有用となった事項									
モニター調査後の協力施設との関係									
本事業に対する要望等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題解決や開発の継続に必要なと感じる支援の方策、その他</li> </ul>								

（注1）必要に応じて記載欄を増やしてください。

（注2）本資料は令和7年2月（予定）に行う成果報告に使用するものであり、一般に公表するものではありません。

## 5. 参考資料（介護施設等向けの様式）

様式1（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書）

令和 年 月 日

### 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書

#### 1. 事業の種類 ※いずれか一つに○印をつけてください。

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	<input type="checkbox"/>
2. 試作介護機器へのアドバイス支援事業	<input type="checkbox"/>

※上記「2」を選択した場合には、案件に応じて、Ns、PT、OT、ST等がアドバイスを行うメンバーに入る必要があります。在籍していない場合には、当協会にご相談ください。

#### 2. 希望する案件・機器の名称

案件番号	
企業名	
機器の名称（仮称）	

#### 3. 実施体制

実施機関名			
実施責任者名			
主担当者名			
主担当者連絡先	住所	〒	
	電話		
	電子メールアドレス		
主担当者の職種と日常業務			
アドバイス（意見交換）に係わる者  （ <u>アドバイス等に係わる全ての方を記載してください。</u> ）	氏名	所属	資格及び業務経験等、経験年数
			年
			年
			年
			年
福祉用具の開発に関与した実績等（あれば記載してください）			

その他	
-----	--

#### 4. 実施機関の概況

介護業務における 現状の課題	
当案件を希望する 理由	

#### 5. アドバイス支援等の具体的な実施方法

実施方法	
------	--

(注) 本事業では、介護職員等の専門職が試用する事業であり、原則、実際の高齢者が試用するものではありません。

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

## 様式2（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書）

令和 年 月 日

## 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書

## 1. 実施体制

実施機関名			
実施責任者			
主担当者名			
連絡先	電話		メールアドレス
主担当者の職種と 日常業務			
アドバイス（意見交換）に係わった担当者 （アドバイス等に 係わった全ての方 を記載してください。）	氏名	所属	資格及び業務経験等、経験年数
			年
			年
			年

## 2. 実施結果

案件番号		機器の名称	
企業名			
アドバイス（意見交換） の実施経過	実施日	実施方法等	
使用者の適応範囲に関する留意点、課題			
使用時の利用環境に関する留意点、課題			
期待する効果を発揮するための課題及びその対応策			
使い勝手に関する課題及びその対応策			
特にアドバイス（意見交換）してほしい事柄に対する結果			
その他			

（注）必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式3（請求書：介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作介護機器へのアドバイス支援事業）

## 請求書

金 \_\_\_\_\_ 円

令和6年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援・広報等一式の一環として行った「介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作介護機器へのアドバイス支援事業」について、上記のとおり請求します。

なお、上記金額は次の口座にお振り込み下さい。

## 1. 振込先

金融機関名	銀行	支店
預貯金種別		
口座番号		
(フリガナ) 口座名		

## 2. 事業の種類 ※いずれか一つに○印をつけてください。

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	
2. 試作介護機器へのアドバイス支援事業	

## 3. 実施機関及び案件

実施機関名	
担当者名	
案件番号	
機器の名称	
企業名	

令和 年 月 日

公益財団法人 テクノエイド協会  
理事長 大橋謙策 殿

(請求者)  
住所 〒

事業者名

代表者

印



## 様式4（介護ロボット等モニター調査 実施希望書）

令和 年 月 日

## 介護ロボット等モニター調査 実施希望書

## 1. 希望するモニター調査事業

案件番号		機器の名称	
企業名			

## 2. 実施体制

実施機関名			
実施責任者氏名			
主担当者名			
主担当者連絡先	住所	〒	
	電話		
	電子メールアドレス		
主担当者の職種と日常業務			
モニター調査に係わる者  (モニター調査に係わる全ての方を記載してください。)	氏名	所属	資格及び業務経験等、経験年数
			年
			年
			年
			年
モニター調査実施可能な期間			
福祉用具の開発に関与した実績等（あれば記載してください）			
今回、モニター調査を希望する施設としてのねらい			

## 3. メーカーがモニター調査したい内容に対する対応予定

項目	対応予定

#### 4. 当該機器に対して、介護施設等の側からモニターしたい内容等

項目	モニターしたい内容

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

## 様式5（介護ロボット等モニター調査 結果報告書）

令和 年 月 日

## 介護ロボット等モニター調査 結果報告書

## 1. 実施体制

実施機関名			
主担当者名			
連絡先	電話		メールアドレス
主担当者の資格と 日常業務			
モニター調査に係 わった担当者  （モニター調査に 係わった全ての方 を記載してくださ い。）	氏名	所属	資格及び業務経験等、経験年数
			年
			年
			年
			年

## 2. 実施状況

案件番号		機器の名称	
企業名			
実施期間	月 日 ~ 月 日		
調査対象とした介護サ ービスの種類・内容			
機器を利用した介護サ ービス場面			
機器を利用した対象者 の状態像、人数			
モニター調査結果の収 集と記録の方法			
応募時と異なったこと 想定していなかったこ と等			
その他			

### 3. モニター調査結果

利用対象者の適用範囲 (特に留意すべき点など)	
利用環境の条件 (特に留意すべき点など)	
機器の利用効果  (機器の特性に即して あてはまる項目について 記入すること。)	<u>介護を受ける側への効果</u> (本人のADLやQOLの維持・向上、精神的負担の軽減等)
	<u>介護する側への効果</u>
	<u>介護業務の過程における効果</u> (安全な介護の実施や効率的な介護の実現等)
	<u>その他</u>
使い勝手や操作機能性	
改良の希望とその理由	
その他	

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式6（請求書：介護ロボット等モニター調査）

## 請求書

金 150,000円

令和6年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援・広報等一式の一環として行った「介護ロボット等モニター調査」について、上記のとおり請求します。

なお、上記金額は次の口座にお振り込み下さい。

## 1. 振込先

金融機関名	銀行	支店
預貯金種別		
口座番号		
(フリガナ) 口座名		

## 2. 実施機関及び案件

実施機関名	
担当者名	
案件番号	
機器の名称	
企業名	

令和 年 月 日

公益財団法人 テクノエイド協会  
理事長 大橋謙策 殿

(請求者)  
住所 〒

事業者名

代表者

印

## 公益財団法人テクノエイド協会の概要

### ○目的

当協会は、福祉用具に関する調査研究及び開発の推進、福祉用具情報の収集及び提供、福祉用具の臨床的評価、福祉用具関係技能者の養成並びに義肢装具士に係る試験事務等を行うことにより、福祉用具の安全かつ効果的な利用を促進し、高齢者及び障害者の福祉の増進に寄与することを目的としています。

### ○設立

- ・ 1987年（昭和62年）3月16日  
財団法人設立許可（厚生省社第220号）
- ・ 1987年（昭和62年）4月1日  
法人設立登記
- ・ 2011年（平成23年）7月1日  
公益財団法人へ移行登記

### ○主な事業

- ・ 福祉用具・介護ロボットの開発普及に係る事業
- ・ 福祉用具の臨床評価に関する事業
- ・ 福祉用具情報の収集及び提供に関する事業
- ・ 福祉用具に関する調査研究事業
- ・ 福祉用具の規格化・標準化に関する事業
- ・ 福祉用具関係技能者の養成
- ・ 義肢装具士の国家試験
- ・ その他、福祉用具に係る事業



### ○所在地

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階  
公益財団法人テクノエイド協会 企画部 伊東・松本・五島（ごしま）  
TEL 03-3266-6883

### 福祉用具・介護ロボットの開発と普及に関する取り組み

これまでの福祉用具・介護ロボットに関する取り組み及び情報、研究報告等は、当協会のホームページに掲載しています。

本事業に必要な様式も以下からダウンロード可能となっています。

<https://www.techno-aids.or.jp/>

令和6年7月

厚生労働省「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」

# 介護ロボットの 試用貸出リスト





## はじめに

日本の高齢化は、世界に例を見ない速度で進行しており、生産年齢人口が減少し、介護ニーズが増大していく中、介護人材の確保は喫緊の課題であり、介護職員の負担軽減や介護現場の生産性向上を図り、さらに質の高いサービスを効率的に提供するためには、介護現場へのテクノロジーの導入が不可欠となっております。

この「介護ロボットの試用貸出リスト」は、厚生労働省が公益財団法人テクノエイド協会に委託した「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」の一環として作成したものです。

テクノエイド協会において、実用化している介護ロボットの開発企業等に対して試用貸出への参加を募り、同意を得ることができた企業及び製品名等を掲載しております。

本リストの掲載内容は、重点分野に該当する介護ロボットを基本とし、原則的には開発企業から提供された情報となっております。従って、介護ロボットの機能や性能の有効性及び、安全性を協会が保障するものではありません。

本リストは、厚生労働省が実施する介護現場の生産性向上に向けた介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業の相談窓口等において、開発企業と試用貸出を希望する介護施設等の取次等で活用されます。

また、本リストは協会のホームページや介護ロボット地域フォーラムの協力機関などからも、広く周知されます。

これにより介護ロボットの効果的な導入と利活用を推進します。

### ※掲載製品の取り扱いについて

掲載している全ての製品が各都道府県が実施している「介護テクノロジー導入支援事業」等の補助対象となるわけではありません。また、掲載されていない製品でも各都道府県の判断により補助の対象となる製品があることに留意してください。

詳しくは、各都道府県にお問い合わせください(都道府県の「介護テクノロジー導入支援事業」等の実施状況は、テクノエイド協会のホームページから確認できます)。

台数には限りがありますので、詳細については、相談窓口等にご相談ください。

令和6年7月

厚生労働省  
(公益財団法人テクノエイド協会)

# 目次

## はじめに

移乗支援	A-01 ▶	株式会社ジェイテクト	介護・看護用アシストスーツ J-PAS fleairy (ジェイパスフレアリー)	1
	A-02 ▶	ユーピーアール株式会社	サポートジャケット Ep+ROBO	5
	A-03 ▶	株式会社イノフィス	マッスルスーツ Every	9
	A-04 ▶	株式会社コガネイ	Assist Lumbar (アシストランパー)	13
	A-05 ▶	CYBERDYNE 株式会社	HAL <sup>®</sup> 腰タイプ	17
	A-06 ▶	ダイヤ工業株式会社	DARWING Hakobelude (2024 年バージョン)	21
	A-07 ▶	株式会社加地	レイボエクススケルトン	25
	A-08 ▶	株式会社FUJI	移乗サポートロボット Hug T1	29
	A-09 ▶	マッスル株式会社	ROBOHELPER SASUKE	33
	A-10 ▶	アイ・ソネックス株式会社	スカイリフト iR	37
	A-11 ▶	株式会社アイザック	移乗・移動ロボット Keipu-Sb	41
	A-12 ▶	株式会社あかね福祉	移乗支援介護ロボット「移乗です」	45
	A-13 ▶	株式会社いうら	排泄サポートリフト「onbu (おんぶ)」	49
	A-14 ▶	株式会社モリトー	介護リフトつるべ Y6 セット Li-PINK Safety Robo	53
	A-15 ▶	アルジョ・ジャパン株式会社	サラフレックス	57
	A-16 ▶	日本ケアリフトサービス株式会社	SOEL <sup>®</sup> MX-Air ソエル エムエックス エア	61
移動支援	B-01 ▶	RT. ワークス株式会社	ロボットアシストウォーカー RT.3	65
	B-02 ▶	パナソニック株式会社	Walk training robo	69
	B-03 ▶	AssistMotion 株式会社	curara	73
	B-04 ▶	株式会社スペース・バイオ・ラボラトリーズ	RE-Gait <sup>®</sup>	77
	B-05 ▶	株式会社 INOWA	体感型歩行自立支援システム Arbre	81
排泄支援	C-01 ▶	株式会社アム	水洗式ポータブルトイレ「流せるポータくん」3号洗浄便座付き	85
	C-02 ▶	日本セイフティ株式会社	ラップボン・プリーツ (S) 普通便座 (ベージュ)	89
	C-03 ▶	DFree株式会社	排尿予測デバイス [DFree] professional	93
	C-04 ▶	株式会社リリアム大塚	リリアムスポット 2	97
	C-05 ▶	富士フィルムメディカル株式会社	iViz air	101
	C-06 ▶	パシフィックサプライ株式会社	クイックレイザー2	105
見守り・コミュニケーション	D-01 ▶	パラマウントベッド株式会社	眠り SCAN	109
	D-02 ▶	コニカミノルタ QOL ソリューションズ株式会社	HitomeQ ケアサポート (ヒトメク ケアサポート)	113
	D-03 ▶	エコナビスタ株式会社	ライフリズムナビ <sup>®</sup> +Dr.	117
	D-04 ▶	株式会社ツカモトコーポレーション	アルゴスリープ (AlgoSleep) 介護用見守りセンサー	121
	D-05 ▶	トーテックアメニティ株式会社	見守りライフ	125
	D-06 ▶	キング通信工業株式会社	シルエット見守りセンサ	129
	D-07 ▶	株式会社ラムロック	みまもり CUBE- システム Light-	133
	D-08 ▶	エイアイビューライフ株式会社	A.I.Viewlife	137
	D-09 ▶	株式会社TAOS研究所	睡眠見守りセンサー AiSleep	141
	D-10 ▶	TOPPAN 株式会社	SensingWave <sup>®</sup> 介護・睡眠見守りシステム	145
	D-11 ▶	ノーリツプレジジョン株式会社	見守りシステム Neos+Care (ネオスケア)	149
	D-12 ▶	株式会社メティコム	見守りサービス“ヴェスタ”	153
	D-13 ▶	株式会社 Z-Works	ライブコネク	157
	D-14 ▶	株式会社ソルクシーズ	見守り支援システム「いまイルモ」	161
	D-15 ▶	フランスベッド株式会社	見守りケアシステム M-2	165
	D-16 ▶	株式会社バイオシルバー	aams. 介護	169
	D-17 ▶	株式会社エイビス	エイビスみまもりシステム	173

## 見守り・コミュニケーション

D-18 ▶	ミネバアミツミ株式会社	ベッドセンサーシステムベーシック	177
D-19 ▶	株式会社 FEN	どこでもナースコール・見守りセンサー	181
D-20 ▶	積水化学工業株式会社	見守りセンサー「ANSIEL」	185
D-21 ▶	株式会社アルコ・イーエックス	ペイシエントウォッチャープラス	189
D-22 ▶	ドーンコーラス合同会社	高齢者・障害者支援施設向け 見守り支援システム「もりん2」	193
D-23 ▶	竹中エンジニアリング株式会社	サーバー内蔵予測型見守りセンサー	197
D-24 ▶	シーホネンス株式会社	ベッド内蔵型見守りセンサー 「iサポート」搭載 Xシリーズ	201
D-25 ▶	システムファイブ株式会社	介護施設向け見守りシステム「すいすいケア」	205
D-26 ▶	三昌商事株式会社	見守りシステム「CareBird」	209
D-27 ▶	株式会社ハピネスコーポレーション	lot 見守りシステム Happiness 絆	213
D-28 ▶	株式会社コンフォート	エンジェルアイ	217
D-29 ▶	アールジービー株式会社	つながROOM「テンシル」	221
D-30 ▶	株式会社インフィック・コミュニケーションズ	LASHIC care (ラシクケア)	225
D-31 ▶	株式会社マクニカ	AttentiveConnect (アテンティブコネクト)	229
D-32 ▶	株式会社フォーエヴァー	【睡眠!ケア】いきいきセンサー	233
D-33 ▶	新生電子株式会社	サーモカメラによる見守りシステム pakemo (パケモ)	237
D-34 ▶	ジーコム株式会社	ココヘルパ	241
D-35 ▶	株式会社エヌジェイアイ	安心ひつじα	245
D-36 ▶	ヒューメトリクス	iCue Smart Mat	249
D-37 ▶	株式会社バイタルヴォイス	VitalVoice オンライン 自動モニタリングシステム	253
D-38 ▶	エニーシステム株式会社	パルスハートバンド (Pulseheart-band)	257
D-39 ▶	加藤電機株式会社	見守りシステム SANフラワーXヘルシーライフ	261
D-40 ▶	株式会社メディカルスイッチ	見守り機能付き服薬支援ロボット 「FUKU助」	265
D-41 ▶	株式会社レイトロン	音声認識コミュニケーションロボット 「Chapit」(チャピット)	269
D-42 ▶	株式会社 ZIPCARE	まもる~の ONE	273
D-43 ▶	株式会社フューチャーインク	Vital Beats 3in1	277
D-44 ▶	株式会社リンクジャパン	スマートナースコール eBell(イーベル)	281
D-45 ▶	アーバン警備保障株式会社 アーバンテック	iTSUMO 2	285
D-46 ▶	株式会社トレイル	うららかGPSウォーク	289
D-47 ▶	富士ソフト株式会社	PALRO 高齢者福祉施設向けモデルⅢ	293
D-48 ▶	シャープマーケティングジャパン株式会社	介護施設向けレクリエーションロボット 「ロボシルバークパーク Lite」	297
D-49 ▶	ザ・ハーモニー株式会社	認知症コミュニケーションロボット 「だいちゃん」	301
D-50 ▶	YORICOM 株式会社	寄り添いコミュニケーション 星輝しおり	305

## 入浴支援

E-01 ▶	株式会社ハイレックスコーポレーション	バスアシスト	309
E-02 ▶	株式会社ミクニライフ&オート	ミクニマイティエースⅡ浴室セット ROBO	313

## 介護業務支援

F-01 ▶	NEC プラットフォームズ株式会社	NEC サニタリー利用記録システム	317
F-02 ▶	アロン化成株式会社	ポータブルトイレ FX-30 標準便座 自動計測タイプ	321
F-03 ▶	合同会社 AUTOCARE	ケア記録 AI アプリ FonLog (フォンログ)	325

## A-01 移乗支援

株式会社ジェイテクト

### 介護・看護用アシストスーツ J-PAS fleairy (ジェイパスフレアリー)

問い合わせ先

株式会社豊通オールライフ

※豊通オールライフとジェイテクトは同じトヨタグループに属しております

住所

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅四丁目11番27号 シンフォニー豊田ビル12F

TEL

052-533-5198

MAIL

jigyokikaku@tal.toyotsu.net

所属部署

株式会社豊通オールライフ

担当者名

丸山知寿



#### 機器の概要

##### 機器の機能

動きを検知してモーターでアシスト力の調整を可能とするアクティブタイプで、複合的な連続する作業動作に対応し、しっかりとしたアシスト感を提供。

フレーム構造をもたない、ベルト巻き上げ式により大幅な軽量化を実現できました。介護作業における腰部の負担へ高い軽減効果。トイレ空間等での立位保持介助では59%低減、オムツ交換などの中腰姿勢保持では約94%低減を実現します。

IP55を取得し、浴室作業可。



機器の写真

販売開始

2021年3月

販売価格

382,800円(税込み)

TAISコード

02013-000002



#### 機器の仕様

介護作業時の腰の負担軽減に着目して開発した電動タイプのアシストスーツです。移乗だけでなく、中腰姿勢保持や入浴介助、トイレ介助時にも効果を発揮します。フレームレスの衣服型で、20秒で簡単着脱可能です。軽量かつ装着部を布で覆っているため、介護する側・される側の双方に優しく製作しています。センサー内蔵で人の動きに調和し、背中から膝裏まで伸びたベルトをモーターが巻き上げることで、人の上半身を起こす力をアシストします。防水認証を取得し、浴室内での入浴介助でも使用可能。トイレ空間等での立位保持介助では腰部にかかる負担を59%低減、おむつ交換などの中腰姿勢では94%の負担低減を実現します。

## 機器の貸出

### 必須環境・推奨環境

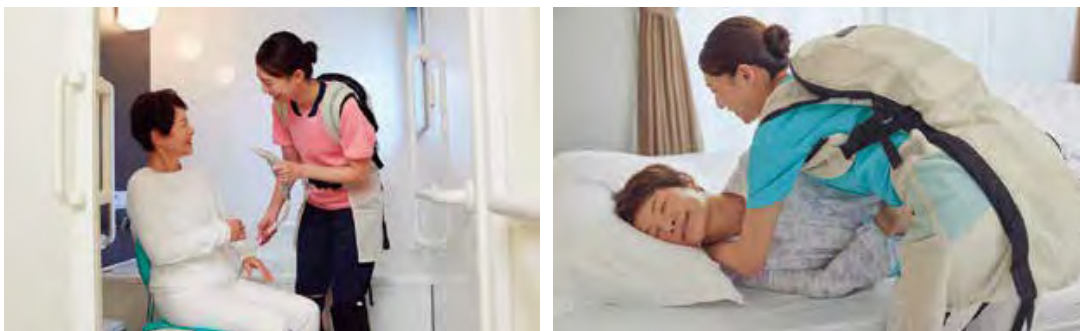
100V 電源 (充電用)

### 試用期間中のサポート


アシストスーツをより有効にご使用いただけるよう、使用のコツをサポートします。  
ご購入希望の際のご相談承ります。

貸出期間 1 週間

貸出可能台数 1 台



入浴介助も OK

パンフレット 等	製品カタログ	<a href="https://active-life.jp/jpasfleairy/catalog/">https://active-life.jp/jpasfleairy/catalog/</a>	
	使用方法等の動画	<a href="https://www.youtube.com/channel/UCxtQRSMVtDsFZmJUkNfdOHA">https://www.youtube.com/channel/UCxtQRSMVtDsFZmJUkNfdOHA</a>	

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

## 製品情報

	項目	内容
適用	対象者（介護者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適身長（目安）145～185cm</li> <li>・適身体重（目安）規定なし</li> <li>・腹囲 65～125cm</li> <li>・骨盤幅 規定なし</li> </ul>
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用できない環境（場所）：水中</li> <li>・装着者の身体状況：お酒を飲んでいる方、過労睡眠不足の方、妊娠中の方、16歳未満の方、病気がけがを負われている方、ペースメーカを装着されている方</li> </ul>
使用上の注意	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・装着についての注意点：装着者のサイズに適切に合わせ、締め付けすぎないように注意すること</li> <li>・その他注意点：本製品は、装着者の腰への負担を軽減する製品である。非装着状態でできないことに対して使用しないこと</li> </ul>
	安全に利用するための配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮が必要な利用環境（水回り等）における注意点：動作温度0℃～40℃相対湿度20%～85%、保管温度-10℃～40℃</li> <li>・機器のメンテナンスにかかる注意点：分解しない</li> </ul>
使用方法	使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本体の電源を入れた後、J-PAS fleairy に付属する装具を肩、腰、スネに装着すれば準備完了。本体の操作は、腰部についているスイッチで可能</li> </ul>
	使用環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動作環境：動作温度0℃～40℃相対湿度20%～85%</li> <li>・使用できない環境：水中</li> </ul>
	使用場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車いす移乗、トイレ介助、入浴介助、ベッド周り作業</li> </ul>
	習熟期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入教育実施後</li> </ul>
	高齢者に対する安全面の配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>
効果	介護者に対する安全面の配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が出せる力を増強するものではない</li> <li>・ペースメーカを装着されている方、病気、けがを負われている方は使用しないこと</li> </ul>
	使用することで実現する高齢者への効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護者の介助時の負担が減ることで、サービスに向ける時間が増え、介助品質の向上が見込める</li> <li>介助時の姿勢が安定することで、安心して体を預けることができる</li> </ul>
	使用することで実現する施設への効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護作業中にかかる腰への負荷が軽減する</li> <li>介助時の腰の負担が軽減することで、より高齢者の様子に沿った介助が可能</li> </ul>
	使用することで実現する施設への効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員の腰への負荷を軽減することができるので、従業員の労働環境改善になる</li> </ul>



製品	メーカー名	株式会社ジェイテクト
	製品名	介護・看護用アシストスーツ J-PAS fleairy(ジェイパスフレアリー)

	項目	内容
仕様、構造	アクティブ・パッシブ (区分)	アクティブ: バッテリー駆動
	使用場所、必要スペースなど	使用場所: 屋内、浴室 (バッテリーおよびバッテリーカバー内: 水濡れ不可、他: 水没不可)、屋外
	サイズ	幅 222mm × 奥行 94mm × 高さ 289mm
	重量 (バッテリー含む)	1.6kg (装具除く)
	材質	A B S、アルミ他
	電源・バッテリー	マキタ製バッテリー BL1820B
	充電時間	45 分 (充電機 DC18SD 使用時)
	連続使用時間	約4時間 (弊社標準作業の場合)
	使用時の音	モーター作動音あり
	緊急発報の方法	ライト点滅
	安全性の認証取得	ISO13482 取得済み
	防水・防塵加工	IP55
	アシスト力を発揮する部位	腰部
	最大アシスト力	150N
	稼働方式	モータ
	必要な通信環境	なし
データの記録機能、有無と内容	なし	
他の機器との連携・互換性	なし	
メンテナンス	保管方法	・高温、多湿を避け、保管中に落下することが無いように置くこと
	ユーザーによるお手入れ	・本体は、乾いた柔らかい布で表面の汚れ、ホコリなどを軽くふき取る ・装具は洗濯可。洗濯機を使用する場合、洗濯ネットに入れること
	消耗品の有無	装具、バッテリー
	保証期間	納品より1年間
	耐用年数	3年
コスト	本体・付属品の定価	税込み 382,800 円
問合せ先	緊急時の問合せ先	ジェイテクト アクティブ・ライフ事業部 事業開発室 金谷 0566-25-5193
	デモ・貸出	あり
	よくある質問 (Q&A)	<a href="https://active-life.jp/jpasfleairy/faq/">https://active-life.jp/jpasfleairy/faq/</a>

移乗支援

移動支援

排泄支援

見守り・コミュニケーション

入浴支援

介護業務支援

## A-02 移乗支援

ユーピーアール株式会社

品番・型番

# サポートジャケットEp+ROBO

SJ-Ep11

問い合わせ先 ユーピーアール株式会社

住所 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-3-2 内幸町東急ビル 12F

TEL 03-6852-8932

MAIL

pas\_info@upr-net.co.jp

FAX 03-3593-3016

所属部署 アシストスーツ営業所

担当者名

松江、井沢



### 機器の概要

#### 機器の機能

「サポートジャケット Ep+ROBO」は、スイッチを入れると装着者の動作をセンサーが感知し、自動的に必要な部分をアシストします。また、左右のモーターが独立して動くため、身体のあらゆる動きに対応します。左右の動きや、斜め前方から引き寄せ動作等において、常時快適なアシストが可能です。また上げ動作時だけでなく、長時間の前傾・中腰姿勢にもご利用いただけます。



機器の写真

#### 販売開始

2019年10月

#### 販売価格

657,800円(税込み)



### 機器の仕様

- ・タイプ：外骨格型アクティブタイプ
- ・外寸(H×W×D)：70×50×36cm
- ・収納寸法(H×W×D)：22×45×31cm
- ・本体重量：約3.4kg(バッテリー含む)
- ・アシスト力：23Nm(最大10kgf)
- ・稼働時間：約4時間(当社想定作業による)
- ・想定装着者：身長155～190cm、胸囲66～117cm



## 機器の貸出

### 必須環境・推奨環境

動作環境：0～40℃  
防水・防塵性能：IP55

### 試用期間中のサポート




エリアに応じて、訪問やオンライン・電話・メールでの製品紹介や装着方法の説明を行います

貸出期間 要相談

貸出可能台数 要相談



機器の使用場面

パンフレット等	製品カタログ	<a href="https://www.upr-net.co.jp/products/suit/eprobo-2">https://www.upr-net.co.jp/products/suit/eprobo-2</a>	
	取扱説明書	<a href="https://www.upr-net.co.jp/wordpress/wp-content/uploads/2023/09/manual_SUPPORT-JACKET-EpROBO.pdf">https://www.upr-net.co.jp/wordpress/wp-content/uploads/2023/09/manual_SUPPORT-JACKET-EpROBO.pdf</a>	
	使用方法等の動画	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=dm4olbKYibo">https://www.youtube.com/watch?v=dm4olbKYibo</a>	

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

## 製品情報

	項目	内容	
適用	対象者 (介護者)	適身身長 (目安) : 155 ~ 190cm 胸囲 : 66 ~ 117cm	
	専門職の関与	不要	
禁止事項	禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次の場合は装着不可 18才未満の方、妊婦の方、内臓疾患のある方、豊胸手術をされている方、ペー スメーカーを着用されている方、腰痛の方、飲酒した方、体調不良の方</li> <li>・ 製品を着用して走ったり、飛び跳ねる行為や乗り物へ搭乗しない</li> <li>・ 経年劣化・ほつれ・破れ等が生じた場合は使用しない</li> <li>・ 機器を分解・改造・改変しない</li> </ul>	
使用上の注意	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 異常音などがした場合は使用を中止する</li> <li>・ 胸フレームで体重を支える使用は避ける</li> <li>・ 使用時はベルト・バックルを荷物にひっかけないように注意する</li> </ul>	
	安全に利用するための配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用中にずれや緩み、過度の圧迫などあれば装着し直す</li> <li>・ アシストが不要な方は一時停止ボタンにてアシストを切る</li> <li>・ 製品の外装などに過度な衝撃を与えないようにする</li> <li>・ 漏電の恐れがあるため、結露には注意する</li> <li>・ 使用中に子供を近づけさせない</li> </ul>	
	倫理面の配慮	特になし	
使用方法	使用方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 胸フレームの取り付け</li> <li>2. バッテリーの取り付け</li> <li>3. 主電源スイッチ ON</li> <li>4. 肩ベルト調節</li> <li>5. 背負う</li> <li>6. 胸パッドを留める</li> <li>7. 腰ベルトを留める</li> <li>8. ももベルトをしめる</li> <li>9. 胸フレーム高さ調整</li> <li>10. 肩ベルトの長さ調整</li> <li>11. 動作確認</li> </ol>	
	使用環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動作環境 : 摂氏 0 ~ 40 度</li> <li>・ 使用できない環境 : 氷点下 20 度以下、摂氏 60 度以上</li> </ul>	
	使用場面	中腰作業などの腰部負担がかかる作業	
	習熟期間	特になし	
	高齢者に対する安全面の配慮	機器が身体にあたらぬよう配慮する	
	介護者に対する安全面の配慮	取扱説明書の内容に準ずる	
	効果	使用することで実現する高齢者への効果	快適なサービスを受けられる
		使用することで実現する介護者への効果	腰の負担が軽減されることにより、腰痛リスクが軽減
使用することで実現する施設への効果		労働環境の改善・離職者の減少	
仕様・構造	アクティブ・パッシブ (区分)	アクティブ (モーター)	
	使用場所、必要スペースなど	機械が当たらない場所、スペース	
	サイズ	外寸 (H × W × D) : 70 × 50 × 36cm 収納寸法 (H × W × D) : 22 × 45 × 31cm	
	重量 (バッテリー含む)	約 3.4kg	
	電源・バッテリー	21.6V リチウムイオンバッテリー 保護回路付き	
	充電時間	60 ~ 90 分間	
	連続使用時間	約 4 時間	
	使用時の音	モーター作動音あり	
	緊急発報の方法	アラーム音	
	防水・防塵加工	IP55	
アシスト力を発揮する部位	腰部		

製 品	メーカー名	ユーピーアール株式会社		
	製 品 名	サポートジャケットEp+ROBO	型 番	SJ-Ep11

	項 目	内 容
	最大アシスト力	10kgf
	稼働方式	モーター
	必要な通信環境	なし
	必要なシステム・設備	なし
	データの記録機能、有無と内容	なし
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	準備・片付け	取扱説明書参照
	保管方法	・温度が0～40度の日陰（湿気の多い所、危険物の近くでは保管しない） ・保管時は主電源はOFFにし、バッテリーは必ず外す
	メーカーによるメンテナンス	有償にて対応可
	ユーザーによるお手入れ	・各部の汚れは強く絞った布でふく、薄めた中性洗剤であれば使用可能 ・お手入れの前に主電源スイッチをOFFにしてバッテリーを抜く ・バッテリーカバーは必ず閉める
	消耗品の有無	・電気部品（バッテリー・充電器セット） ・ベルト一式（肩・腰・補助・もも） ・クッション一式（胸・腰・背中） ・胸フレーム一式（胸/パット・胸フレーム） ・その他（バッテリーカバー・通函）
	保証期間	・製品納品年月より12ヶ月
	耐用年数	3年を想定
コスト	本体・付属品の定価	・本体価格：657,800円（税込） ・追加バッテリー：44,000円（税込）
問合せ先	緊急時の問合せ先	03-6852-8932
	デモ・貸出	デモ可能

移乗支援

移動支援

排泄支援

見守り・コミュニケーション

入浴支援

介護業務支援

## A-03 移乗支援

株式会社イノフィス

マッスルスーツEvery

品番・型番

MS08-SM-TO/MS08-ML-TO/  
MS08-SM-SO/MS08-ML-SO

問い合わせ先 株式会社イノフィス

住所	〒192-0082 東京都八王子市東町 7-6 エバース第 12 八王子ビル		
TEL	042-610-2988	MAIL	info@innophys.jp
所属部署	国内営業部	担当者名	長澤



### 機器の概要

#### 機器の機能

装着することで、装着者の動きをアシストし、腰への負担を軽減させます。移乗介助のように負担の大きな業務で効果を発揮します。また中腰姿勢の維持の際の負担も軽減されるため、ベッド上での排泄介助や、体位変換でもご活用頂くことが可能です。マッスルスーツの駆動源には McKibben 型人工筋肉を使用しており、充電等が必要ありません。防塵防水のため、浴室等での使用も可能です。



機器の写真

#### 販売開始

2019年11月

#### 販売価格

149,600 円 (税込み)

#### TAISコード

01553-000010  
01553-000011  
01553-000012



### 機器の仕様

タイプ：ソフトフィット / タイツフィット  
サイズ 適用身長(推奨)：S-Mサイズ：150cm ~ 165cm  
M-Lサイズ：160cm ~ 185cm  
本体重量：3.8kg ※カバー含まず  
駆動源：圧縮空気  
アクチュエータ：McKibben型人工筋肉  
圧縮空気供給方法：手動式空気入れ  
補助力：25.5kgf(100Nm)  
使用環境温度：-30℃~ 50℃  
防塵・防水性能(保護等級)：IP56  
本体寸法：高さ×幅×奥行：  
S-Mサイズ：805mm/465mm/170mm  
M-Lサイズ：840mm/465mm/170mm

## 機器の貸出

### 必須環境・推奨環境

下記範囲内でご使用ください。  
 使用環境温度：-30℃～50℃  
 防塵・防水性能（保護等級）：IP56

### 試用期間中のサポート




オンラインや電話・メールでの運用サポート

貸出期間 要相談

貸出可能台数 要相談



機器の使用場面

パンフレット等	製品カタログ	<a href="https://musclesuit.co.jp/product/">https://musclesuit.co.jp/product/</a>	
	取扱説明書	<a href="https://musclesuit.co.jp/howto/">https://musclesuit.co.jp/howto/</a>	
	使用方法等の動画	<a href="https://www.youtube.com/playlist?list=PLwixNCOuEClkGj4kEwNmXUdD0cWB5raO_">https://www.youtube.com/playlist?list=PLwixNCOuEClkGj4kEwNmXUdD0cWB5raO_</a>	

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

## 製品情報

	項目	内容
適用	対象者（介護者）	適用身長（目安） ・S-M サイズ：150cm ～ 165cm ・M-L サイズ：160cm ～ 185cm
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：温度が -30℃～ 50℃以外の場所 ・装着者の身体状況：体格が製品に合わない人、体調が優れない人
使用上の注意	注意事項	・装着についての注意点： ①初めて使用する場合は、安全な場所で、装着のしかたについて、十分なトレーニングを行うこと ②周囲の人や物に接触しないよう、十分な距離を確保して装着すること ・その他注意点： ①必ず機器にカバーを取り付けてから身体に装着すること ②ズボンや上着のポケットにもものを入れたまま装着しないこと
	安全に利用するための配慮	・配慮が必要な利用環境（水回り等）における注意点： ①この製品を装着したまま足元が不安定な場所、すべる場所へは行かないこと。 また、そのような場所でのこの製品を着用しないこと ・機器のメンテナンスにかかる注意点： ①空気を充填しすぎた状態で内股で動作を行わないこと
	倫理面の配慮	機器使用にあたり画像撮影など、高齢者・介護者のプライバシーに関わる情報を収集・活用する場合は、同意書等取得をすること
使用方法	使用方法	1. 肩ベルトでリュックのように背負い肩ベルトのアジャスタを引上げて腰ベルトを腰の高さに合わせる 2. 腰ベルトをしめた後、左右のアジャスタでしっかりと引きしめる 3. お尻ベルトの長さを調整したら、ももパッドを前にまわす 4. 30 ～ 45 回程度ポンピングし空気を充填する 5. 補助力の具合を空気の量で調整する 6. 後ろの隙間にこぶしが一つ入る程度余裕を持たせる 7. 胸前の左右のアジャスタをしめ装着完了
	使用環境	・動作環境 ①使用環境温度が -30℃～ 50℃ ②防塵・防水性能（保護等級）：IP56 ・使用出来ない環境 ①湿気、ごみ、ほこりが極端に多い場所や、溶液、鉄粉、粉塵、木くずなどの異物がかかる場所 ②アンモニア、酸、塩分、オゾンガス等、腐食性ガスのある場所
	使用場面	移乗介助、ベッドでの排泄介助、体位変換
	習熟期間	・特になし
	高齢者に対する安全面の配慮	・特になし
	介護者に対する安全面の配慮	・空気の充填はマッスルスーツ装着後に行うこと。
	効果	使用することで実現する高齢者への効果
使用することで実現する介護者への効果	・中腰姿勢を続けたりする際の身体負担や介助者の腰への負担を軽減	
使用することで実現する施設への効果	・労働環境の改善 ・負担軽減による作業効率向上	

製 品	メーカー名	株式会社イノフィス		
	製 品 名	マッスルスーツEvery	型 番	MS08-SM-TO/MS08-ML-TO/MS08-SM-SO/MS08-ML-SO

	項 目	内 容
仕様、構造	アクティブ・パッシブ (区分)	パッシブ：圧縮空気
	使用場所、必要スペースなど	①使用場所：居室、浴室、トイレなど ②利用に必要なスペース等：人が入れないスペースでは使用不可
	サイズ	高さ×幅×奥行： ・S-M サイズ：805mm/465mm/170mm ・M-L サイズ：840mm/465mm/170mm
	重量 (バッテリー含む)	3.8kg ※カバー含まず
	材質	アルミ・樹脂・鉄
	電源・バッテリー	空気入れでポンピング約 30 回～ 45 回
	充電時間	なし
	連続使用時間	なし
	使用時の音	ごく弱音
	緊急発報の方法	なし
	安全性の認証取得	ISO13482 取得
	防水・防塵加工	防塵・防水性能 (保護等級)：IP56
	アシスト力を発揮する部位	腰部
	最大アシスト力	25.5kgf (100Nm)
	必要な通信環境	なし
データの記録機能、有無と内容	なし	
他の機器との連携・互換性	なし	
メンテナンス	準備・片付け	取扱説明書参照
	保管方法	平らな場所に置くか、ハンガーに掛けて保管
	ユーザーによるお手入れ	・外装カバーは洗濯ネットに入れて水洗いし、十分に乾かしてから使用すること ・その他は取扱説明書参照
	消耗品の有無	・肩ベルト・腰ベルトパッド・ももパッドカバー・本体外装カバー・空気入れ・空気圧ゲージ
保証期間	6ヶ月 / 購入後1ヶ月以内の製品登録にて1年に延長	
コスト	本体・付属品の定価	本体価格：149,600円 (税込)
問合せ先	緊急時の問合せ先	042-610-2988
	デモ・貸出	貸出可能

乗 支 援

移 動 支 援

排 泄 支 援

見 守 り ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン

入 浴 支 援

介 護 業 務 支 援



## A-04 移乗支援

株式会社コガネイ

**Assist Lumbar**  
(アシストランバー)

品番・型番

AL10□□  
(サイズ・カラー各3種類選択)

問い合わせ先

株式会社コガネイ

住所

〒184-8533 東京都小金井市緑町3丁目11番28号

TEL

042-383-7138

MAIL

support\_assistlumbar@koganei.co.jp

FAX

042-380-7412

所属部署

MIRAI 事業部 MIRAI グループ

担当者名

真島和弘



### 機器の概要

#### 機器の機能

中腰姿勢・前傾姿勢の腰部負担を低減するアシストスーツです。独自開発の空気圧人工筋肉 P n e u m u s c l e (ニューマッスル) を搭載していて、軽量性と確かなアシスト力を両立しています。装着するとき専用の手動ポンプで空気を充填して使用します。装着者が中腰姿勢や前傾姿勢になると体幹を支えるアシスト力が発生します。アシスト力の調整(解除・復帰)は肩ベルトで簡単に操作できます。



機器の写真

コア技術の空気圧人工筋肉

販売開始

2023年8月

販売価格

85,800円(税込み)



### 機器の仕様

- 約700gの軽量性
- 中腰姿勢時の腰部負荷を約24%低減[弊社試験条件による]
- 1min以下で装着可能
- 独自開発の機構で歩行を妨げない[独自機構のΛ(ラムダ)テンションシステム]
- 入浴介助などの水回りでも使用可能[電気不使用]
- 専用袋に入れて洗濯機で丸洗い可能(乾燥機は使用不可)

サイズ：S(145~160cm)・M(160~175cm)・L(175~190cm)※身長は目安

カラー：ライトグレー・ダークブルー・レッドバイオレット



## 機器の貸出

### 必須環境・推奨環境

使用環境温度：0～40℃

### 試用期間中のサポート

試用開始時にオンラインまたは訪問にて、製品の特長や取り扱い方法を説明します（所要時間45min程度）。

試用期間中にご不明な点や装具に不具合の発生などがあれば、都度お電話・メール・訪問などで対応します。

貸出期間 都度相談（最長1ヵ月）




貸出可能台数 都度相談（1台から対応可能。  
1事業所に3サイズ×5着＝計15着を貸出した実績あり）



移乗介助（中腰姿勢の保持）



リネン交換（前傾姿勢の保持）

パンフレット等	製品カタログ	<a href="https://www.mirai-projects.com/_files/ugd/0b9744_ed8b19f735af4416b378b1f81cfb5d50.pdf">https://www.mirai-projects.com/_files/ugd/0b9744_ed8b19f735af4416b378b1f81cfb5d50.pdf</a>	
	取扱説明書	<a href="https://www.mirai-projects.com/_files/ugd/0b9744_d9042af0ed87455ab81dbec3faa15e67.pdf">https://www.mirai-projects.com/_files/ugd/0b9744_d9042af0ed87455ab81dbec3faa15e67.pdf</a>	
	Assist Lumbar 特設ホームページ	<a href="https://www.mirai-projects.com/assistlumbar">https://www.mirai-projects.com/assistlumbar</a>	

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

## 製品情報

	項目	内容
適用	対象者（介護者）	中腰姿勢や前傾姿勢をとる作業時間が長い方々や作業頻度が多い方々 例えば、移乗介助、立上り・着座介助、体位転換、ベッドシーツの交換、入浴介助、食事・口腔ケア介助、更衣介助、排泄介助・おむつ交換などの作業を担当される方々
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	製品の目的・用途以外および使用範囲外での使用はしない 身体サイズが合わない方、著しい関節障害を有する方、動作の手順や注意点などの簡単な説明をご理解いただけない方の使用はしない 製品装着状態で装着者の腕力・握力の範疇を超えた重量物の持ち上げ動作などは行わない 製品は着火源の近くで使用しない アシストスーツおよび手動ポンプは改造しない
使用上の注意	注意事項	製品ははさみ込んだり、巻き込まれたりする危険がある機械・装置類の近くで使用しない 製品を装着して乗り物の運転や機械・装置類の操作を行なう場合は、運転や操作に支障を与えないように細心の注意を払うこと 鋭利なものなどで、製品を傷つけない。特に、内蔵している空気圧人工筋肉を傷つけると、空気が漏れて使用できなくなる
	安全に利用するための配慮	アレルギー体質の方や皮膚が敏感な方、腰部や関節部に痛みや疾患がある方は、ご使用前に担当の医師に相談
使用方法	使用方法	製品の着脱・使用は、取扱説明書・クイックリファレンス・使用方法解説動画などを確認して正しく行なうこと
	習熟期間	製品を初めて使用する場合は、製品を装着して手動ポンプで空気を充填した後、安全な場所で中腰姿勢や前屈姿勢のときのアシスト力を確認する 製品を装着しているときと装着していないときでは、アシスト力の影響で身体のバランスが異なるため、転倒防止のためにも十分に慣れるまでの時間を習熟期間として設けてください。
効果	使用することで実現する高齢者への効果	介護業務の質を高めることで、非介助者のQOL向上に寄与することが期待できる
	使用することで実現する介護者への効果	腰部の負担を低減することで、身体的・精神的負担を軽減する
	使用することで実現する施設への効果	介護現場における介助者の腰部負担を低減することで、腰痛発症のリスクやそれに伴う長期離脱や離職を予防する
仕様、構造	アクティブ・パッシブ（区分）	パッシブ（着用時に付属の手動ポンプで圧縮空気を印加）
	サイズ	Sサイズ（145～160 cm） Mサイズ（160～175 cm） Lサイズ（175～190 cm） ※身長は目安です。体格などによって適用サイズが変わる可能性がありますので、試用貸出を活用して事前に確認することを推奨
	重量（バッテリー含む）	約700g
	材質	生地：ナイロン・ポリエステル・ポリウレタンなど 構造物：ABS・ポリアセタールなど
	電源・バッテリー	不使用
	アシスト力を発揮する部位	腰部
	稼働方式	空気圧（装着時に付属の手動ポンプで印加）

製品	メーカー名	株式会社コガネイ		
	製品名	Assist Lumbar (アシストランバー)	型番	AL10□□(サイズ・カラー各3種類選択)

	項目	内容
メンテナンス	保管方法	付属のハンガーにかけて保管、または付属の保管兼洗濯用バッグに入れて保管
	メーカーによるメンテナンス	空気圧人工筋肉Assyフルセット交換【¥14,300 (税込み)】
	ユーザーによるお手入れ	アルコールなどのスプレーで除菌可能 付属の保管兼洗濯用バッグに入れて洗濯機で丸洗い可能 (但し、乾燥は風通しの良いところで日陰干しとする。乾燥機の使用および天日干しは不可)
	消耗品の有無	左右の膝ベルトおよび膝ベルトのゴムバンドは使用状況に応じて消耗の可能性あり 膝ベルト (左右セット)【¥14,300 (税込み)】 ゴムバンド (膝ベルト用)【¥2,200 (税込み)】
	保証期間	製品出荷後 6 カ月 (製品購入後、Assist Lumbar特設ホームページからユーザー登録を行うことで 18 カ月に延長可能)
	修理対応期間	製品販売中は随時対応。
コスト	本体・付属品の定価	本体一式 (付属品：クイックリファレンス1枚、ショルダーパッド2枚、手動ポンプ1個、保管用ハンガー1個、保管兼洗濯用バッグ1個) / ¥85,800 (税込)
問合せ先	緊急時の問合せ先	株式会社コガネイ MIRAI事業部 TEL：042-383-7138
	デモ・貸出	Assist Lumbar特設ホームページで随時受付

移乗支援

移動支援

排泄支援

見守り・コミュニケーション

入浴支援

介護業務支援

## A-05 移乗支援

CYBERDYNE 株式会社

品番・型番

HAL<sup>®</sup>腰タイプ

HAL-BB04-SSSJP

問い合わせ先 CYBERDYNE 株式会社

住所	〒305-0818 茨城県つくば市学園南 2-2-1		
TEL	029-869-8448	MAIL	contact@cyberdyne.jp
所属部署	営業部門	担当者名	古市、吉原



### 機器の概要

#### 機器の機能

HAL<sup>®</sup>腰タイプは、介護する側と介護される側に対して、介護支援と自立支援の2つの用途で活用できる装着型サイボーグ<sup>®</sup>です。

介護者が装着することで、介護動作時の腰部負荷や腰痛発生リスクを低減することを目的とした「介護支援用途」と、足腰の弱った方が装着することで、体幹・下肢機能の向上を目的とした「自立支援用途」の2つの用途で使用可能です。



機器の写真

#### 販売開始

2019年8月

#### 販売価格

1,540,000円(税込み)



### 機器の仕様

適用身長(目安) 140 ~ 180cm

適用体重(目安) 40 ~ 80kg

腹 囲 120cm以下

骨 盤 幅 36cm以下

外形寸法 奥行き292mm×幅450mm×高さ522mm

重 量 3.1kg(バッテリー含む)

可動範囲 股関節：伸展30°/ 屈曲130°

動作環境 温度：0℃～ 40℃ 湿度：20%～ 80%

※結露しないこと

防水性能：IPX4、防塵性能：IP5X

## 機器の貸出

### 必須環境・推奨環境

動作環境 温度：0℃～40℃  
 湿度：20%～80%  
 ※結露しないこと  
 防水性能：IPX4、防塵性能：IP5X 範囲内での環境

### 試用期間中のサポート

オンライン（Zoom）や電話・メールでの運用サポート

貸出期間 1週間

貸出可能台数 1台



介護支援用途 移乗介助



自立支援用途 立ち座り動作

パンフレット 等	製品カタログ	<a href="https://www.cyberdyne.jp/products/bb04.html">https://www.cyberdyne.jp/products/bb04.html</a>	
	使用方法等の動画	<a href="https://www.youtube.com/channel/UCIKuavnK77vzMcfxHXUbtA">https://www.youtube.com/channel/UCIKuavnK77vzMcfxHXUbtA</a>	

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

## 製品情報

	項目	内容
適用	対象者（高齢者）	適用身長（目安）140～180cm 腹 囲 120cm 以下 適用体重（目安）40～80kg 骨 盤 幅 36cm 以下
	対象者（介護者）	適用身長（目安）140～180cm 腹 囲 120cm 以下 適用体重（目安）40～80kg 骨 盤 幅 36cm 以下
	専門職の関与	なし
禁止事項	禁止事項	使用環境に合わない場所での利用。次の場合は装着不可（身体サイズが合わない方、著しい関節障害を有する方、妊娠中の女性、動作の手順や注意点などの簡単な説明をご理解いただけない方、皮膚疾患などにより、電極の貼り付けができない方（ただし電極利用者のみ））
使用上の注意	注意事項	次の場合は装着に十分注意する。骨粗鬆症の方、失神やめまいの恐れのある方、ベルトによる固定部締め付けに問題のある方、心臓ペースメーカーなどの能動型埋め込み医療機器をご利用の方
	安全に利用するための配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴介助時のバッテリー交換等、高湿・水滴がかかる場所でのバッテリー交換は要注意</li> <li>・バッテリーを交換する時は水気を十分拭き取る</li> <li>・本体のバッテリーカバーを確実に閉める</li> <li>・除細動器を使用する時は、本製品を使用者から外す</li> <li>・磁気共鳴画像診断装置が動作している場所で保管及び使用をしない</li> <li>・水や洗浄液などの液体を直接本製品にかけない</li> <li>・水洗い、指定外の薬品及び溶剤による洗浄、加熱、紫外線及び放射線による殺菌は行わない</li> </ul>
	倫理面の配慮	機器使用にあたり画像撮影など、高齢者・介護者のプライバシーに関わる情報を収集・活用する場合の配慮をお願いしたい（例：同意書を取得する）
使用方法	使用方法	<p>使用手順</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) HAL<sup>®</sup> 本体にバッテリーを取り付ける</li> <li>2) 腰部ベルトのバックルを外し、装着者の腰部に HAL<sup>®</sup> を乗せる</li> <li>3) 腹部側で腰部ベルトのバックル二箇所を留める</li> <li>4) 脚部ベルトを大腿部に固定する</li> <li>5) HAL<sup>®</sup> の電源を入れ、装着者に合ったアシストトルクに設定する</li> </ol> <p>外し方</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6) アシストを停止し、電源を停止する</li> <li>7) 脚部ベルトと腰部ベルトのバックルを外す</li> <li>8) バッテリーを外す</li> </ol>
	使用環境	<p>動作環境 温度：0℃～40℃ 湿度：20%～80% ※結露しないこと</p> <p>防水性能：IPX4、防塵性能：IP5X</p> <p>※ HAL モニターを利用する場合はWi-Fi 環境下で使用する</p> <p>※ 薬品などの液体がかかる場所、油煙・埃の多い場所は避ける</p>
	使用場面	移乗介助、入浴介助、体位変換介助やベッドサイドでの中腰作業などの腰部負荷がかかる作業
	習熟期間	<p>機体の取り付け方法や、ボタン操作などの基本操作は1回もしくは2～3回程度の装着で習得可能</p> <p>&lt;身体負荷低減目的使用の場合&gt;</p> <p>装着者自身が HAL を使用する事で作業が楽に感じたり、身体負荷が低減したと感じる事を習熟と定義した場合</p> <p>1週間～1ヶ月程度</p> <p>・目安の装着時間は 10 時間から 20 時間程度</p>
	高齢者に対する安全面の配慮	転倒防止器具の併用
介護者に対する安全面の配慮	使用上の注意に準ずる	



製品	メーカー名	CYBERDYNE株式会社	型番	HAL-BB04-SSSJP
	製品名	HAL®腰タイプ		

	項目	内容
効果	使用することで実現する高齢者への効果	HAL® を装着して意思に従った運動を行うことにより、身体機能の維持・向上や自立度を高めることが期待される。コンパクトな軽量モデルのため、施設ではグループで楽しく、訪問介護ではじっくりとなど、様々な場面で気軽に活用することができる
	使用することで実現する介護者への効果	移乗介助・体位変換介助などの介助動作時の腰部負荷について医学的解剖学的観点から解析・シミュレーションし、より低減できる機能を実現。腰痛を引き起こすリスクを減らす。防水機能もあるため、負担の大きい入浴介助でもご使用いただけ、これまで通りの介護を楽に行うことができる
	使用することで実現する施設への効果	介護する人の身体的負荷を低減することは、労働環境改善や労働災害防止につながる。また、介助なしでの立ち座り動作など、介護される人の自立度の向上は、本人はもちろん介護する人の負担も大きく軽減する
仕様、構造	アクティブ・パッシブ（区分）	バッテリー駆動
	使用場所、必要スペースなど	①使用場所：居室、浴室、トイレなど ②利用に必要なスペース等：人が入れないスペースでは使用不可
	サイズ	奥行き 292mm × 幅 450mm × 高さ 522mm
	重量（バッテリー含む）	3.1kg（バッテリー含む）
	電源・バッテリー	バッテリー駆動（1個付き） 付属の充電器にてバッテリーを充電可能
	充電時間	90分
	連続使用時間	4.5時間
	使用時の音	ごく弱音
	緊急発報の方法	ライトおよびアラート音（詳細は取り扱い説明書に記載）
	安全性の認証取得	IOS13482 取得
	防水・防塵加工	防水性能：IPX4、防塵性能：IP5X
	アシスト力を発揮する部位	腰部
	必要な通信環境	Wi-Fi（自立支援用途での使用の場合）
データの記録機能、有無と内容	無し	
他の機器との連携・互換性	無し	
メンテナンス	準備・片付け	安全使用講習の動画参照
	保管方法	使用環境を満たしており、十分な広さのある安定した台の上に置いて保管
	ユーザーによるお手入れ	水拭き、もしくはエチルアルコールもしくは、イソプロピル・アルコール（濃度70～90%）その他詳細は取扱説明書参照
	消耗品の有無	腰部・脚部のベルト、パッド類、生体電位ケーブル、バッテリー、充電器一式
	修理対応期間	契約期間中
	耐用年数	5年
コスト	本体・付属品の定価	本体価格：1,540,000円（税込）
	ランニングコスト	保守料：月額22,000円（税込）
	教育研修費	初期導入費：110,000円（税込）
問合せ先	緊急時の問合せ先	0120-813-189
	デモ・貸出	貸出可能

移乗支援

移動支援

排泄支援

見守り・コミュニケーション

入浴支援

介護業務支援

## A-06 移乗支援

ダイヤ工業株式会社

**DARWING Hakobelude**  
**(2024年バージョン)**

品番・型番

0010522/0010523

問い合わせ先 **ダイヤ工業株式会社**

住所 〒701-0203 岡山県岡山市南区古新田 1125

TEL 086-282-1217

MAIL

shinshijou\_eigy@daiyak.co.jp

所属部署 新市場開拓部門

担当者名 安達 理絵



### 機器の概要

#### 機器の機能

DARWING Hakobelude は、ダイヤ工業独自の空気圧式の人工筋肉を用いることで持ち上げ作業をアシスト。

軽量かつ柔軟性を実現したサポートウェアです。2024年2月にリニューアルしたばかりで、メッシュ生地で暑さの軽減、また大腿部の装着がより簡単になったことで装着の手間も減った製品として再登場しました。



2024年リニューアルの新製品です



移乗介助の際、腰への負担を軽減

#### 販売開始

2024年2月

#### 販売価格

99,000円(税込み)



### 機器の仕様

リュックサックを背負うように装着した背面には、肩から腰と脇から腰にかけて特殊高反発ゴムを、腰から大腿部にかけて特殊高反発ゴムと人工筋肉を配置しています。

腰を落として屈むことにより背後から引っ張られ、ゴムの収縮力が発生して自然と上半身を起こしてくれるようなアシストが得られます。

これにより、腰に負担のかかりやすい移乗介助の際、背中から大腿部にかけての筋肉を補助する機能を発揮します。

また人工筋肉は空気を送り込むことで人の筋肉と同じように収縮しパワーを発揮します。

その作用によって人が中腰姿勢を維持するときに使う背面の筋肉を助ける働きをします。長時間、中腰姿勢で作業する場合などに長時間の姿勢保持がラクになるよう設計されています。



## 機器の貸出

### 必須環境・推奨環境

- ・動作環境：温度が0度～40度
- ・使用できない環境：温度が0度～40度以外・水中・ホコリの多い場所・化学薬品で腐食しやすい場所等

### 試用期間中のサポート

WEB商談 (Microsoft teams) で製品紹介や装着レクチャーが可能です。  
 ※ ネット環境があればWEB商談の準備は弊社で行います。

貸出期間 1週間～1か月ほど

貸出可能台数 Lサイズ・Mサイズ ご希望台数  
 ※要相談



機器の使用場面

パンフレット等	製品カタログ	<a href="https://www.daiyak.co.jp/product/detail/?id=4931">https://www.daiyak.co.jp/product/detail/?id=4931</a>	
	使用方法等の動画	<a href="https://youtu.be/l6QQyN0bjnQ">https://youtu.be/l6QQyN0bjnQ</a>	

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

## 製品情報

	項目	内容
適用	対象者（高齢者）	介助が必要な高齢者（ベッドからの移乗、歩行、トイレなど）
	対象者（介護者）	・適身長（目安）Lサイズ：170～185cm Mサイズ：155～170cm ・胸囲（目安）Lサイズ：80～110cm Mサイズ：75～100cm ・大腿周囲（目安）Lサイズ：50～70cm Mサイズ：45～60cm
	専門職の関与	・専門職の関与は不要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：温度が0度～40度以外の環境 ・装着者の身体状況：能動型埋め込み医療機器利用、妊娠中の女性、装着者の身体サイズが合わない等
使用上の注意	注意事項	・装着についての注意点： 使い始めは1～2時間程度装着し、不快感やかゆみがないか確認をすること また、就寝時のご使用を避けること
	安全に利用するための配慮	・配慮が必要な利用環境（水回り等）における注意点：洗濯時は空気供給口を必ず閉めること
使用方法	使用方法	・機器利用前の準備（機器の移動・調整等）、高齢者の移乗時の基本ステップ、移乗終了後の動作の説明
	使用環境	・動作環境：温度が0度～40度 ・使用できない環境：温度が0度～40度以外・水中
	使用場面	・移乗介助・トイレ介助・入浴介助
	習熟期間	自動的に動くものではなく、通常の動きに追従するので特になし
	高齢者に対する安全面の配慮	・特になし
	介護者に対する安全面の配慮	・体を支える部分はマジックテープを使用せず、アタッチメントを使用
効果	使用することで実現する高齢者への効果	・介助時のパフォーマンスがアップし、より快適なサービスが受けられる
	使用することで実現する介護者への効果	・介助動作の腰部、臀部への負荷軽減
	使用することで実現する施設への効果	・労働環境の改善、退職者の軽減
仕様、構造	アクティブ・パッシブ（区分）	パッシブ：サポーター、圧縮
	使用場所、必要スペースなど	・使用場所：ベッド・浴室・トイレなど ・必要スペース：人、一人分
	サイズ	・Lサイズ：幅 290mm × 奥行 30mm × 高さ 800mm ・Mサイズ：幅 280mm × 奥行 30mm × 高さ 700mm
	重量（バッテリー含む）	・Lサイズ：1,165 g ・Mサイズ：1,120 g
	材質	・ナイロン、ポリエステル
	電源・バッテリー	・なし
	充電時間	・電源、バッテリーを不使用のため、無し
	連続使用時間	・電源、バッテリーを不使用のため、無し
	使用時の音	・電源、バッテリーを不使用のため、無し
	緊急発報の方法	・電源、バッテリーを不使用のため、無し
	安全性の認証取得	・なし
	防水・防塵加工	・なし
	アシスト力を発揮する部位	・腰部、臀部
	稼働方式	・無電力（高反発ゴムと独自開発の人工筋にポンプを使い空気を入れることで、オン・オフ切り替え可能）
	必要な通信環境	・なし
	データの記録機能、有無と内容	・なし
	他の機器との連携・互換性	・なし

製品	メーカー名	ダイヤ工業株式会社		
	製品名	DARWING Hakobelude(2024年バージョン)	型番	0010522/0010523

	項目	内容
メンテナンス	準備・片付け	・特になし
	保管方法	・温度が0度～40度内の日陰 ・避けてください（ホコリの多い、化学薬品などにより腐食しやすい場所）
	メーカーによるメンテナンス	・特になし
	ユーザーによるお手入れ	・特になし
	消耗品の有無	・あり
	保証期間	・1年間
	修理対応期間	・なし
コスト	耐用年数	・約2～5年 人工筋・高反発ゴムの保証期間は1年まで 使用頻度・使用用途により変動する。また都度修理を受け付けている
	本体・付属品の定価	・本体価格 99,000 円（税込） 交換人工筋価格 22,000 円（税込）
	ランニングコスト	・年 / 交換人工筋価格 22,000 円（税込）
オプション	追加できる機能	・なし（WEBにてレクチャー可能）
	教育研修費	・なし
問合せ先	追加できる機能	・なし
	緊急時の問合せ先	・ダイヤ工業株式会社 TEL:086-282-1217
	デモ・貸出	・L、Mともに要相談

移乗支援

移動支援

排泄支援

見守り・コミュニケーション

入浴支援

介護業務支援

## A-07 移乗支援

株式会社加地

品番・型番

# レイボエクソスケルトン

V2.6

問い合わせ先 株式会社加地

住所 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台 3-2-7

TEL 0774-98-2633

MAIL

y\_kojima@exgel.jp

所属部署 レイボアジアグループ

担当者名

小島悠斗



### 機器の概要

#### 機器の機能

腰の支持だけでなく、体のバランスを整えて前屈作業するときの体幹を支持します。上半身のブロックである肋骨と下半身のブロックである骨盤の間の体幹を安定させることで、無駄な労力を使わずに作業に集中してもらい、身体的疲弊を軽減することでサービスの品質維持向上を目指すための道具です。骨格構造に沿って装着しますので、機能オンオフレバーがあり、オフの場合はデスクワークなどの着座作業も装着したままでも行えます。



バージョンで仕様が異なります

2024 標準仕様

#### 販売開始

2017年1月

#### 販売価格

536,250円(税込み)



### 機器の仕様

- ・前屈姿勢を取るときの自重のエネルギーを腰部のガススプリングに溜めます。
- ・その溜めた力で前屈姿勢時の上半身を支えます。回旋動作中も支え続けます。
- ・アシスト方向は、前側から肋骨部を持ち上げるので、肩のストレスゼロとなり、腕が動かしやすくなります。
- ・上体を起こす動作に伴い、ガススプリングで溜めた力を開放することで、アシスト力を発揮します。

## 機器の貸出

### 必須環境・推奨環境

レイボ V2.6 は屋内用です

### 試用期間中のサポート

関東近郊・近畿圏であれば、貸し出しに伴い訪問して装着レクチャーを実施します。遠方の場合は、Zoom 等によるオンライン装着レクチャーを初回に実施し、都度必要であれば、オンライン対応します。

貸出期間 1 週間 / 2 週間

貸出可能台数 2 台



中腰姿勢をサポート

パンフレット等	製品カタログ	<a href="https://laevo.jp">https://laevo.jp</a>	
	使用方法等の動画	本体 <a href="https://youtu.be/C__jpMx_-Ps">https://youtu.be/C__jpMx_-Ps</a>	
	使用方法等の動画	腰固定ユニット <a href="https://youtu.be/Qadu0k6bR7U">https://youtu.be/Qadu0k6bR7U</a>	

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

## 製品情報

	項目	内容
適用	対象者（介護者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適身身長（目安）150～189cm</li> <li>・適身体重（目安）30～110kg</li> <li>・腹囲 60～120cm</li> <li>・骨盤幅 30cm以上</li> </ul>
禁止事項	禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用できない環境（場所）：入水場所</li> <li>・装着者の身体状況：金属アレルギー等には対応していない</li> </ul>
使用上の注意	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レイボは重量物を持ち上げるための装置ではありません</li> <li>・装着についての注意点：骨格構造にフィットさせること</li> <li>・ヘルニア等症状のある方が使用する場合は医師にご相談ください</li> <li>・使用中、使用後にヘルニア等症状が現れた場合は医師にご相談ください</li> <li>・高所での作業や敷地外での乗り物の運転には使用しないでください</li> </ul>
	安全に利用するための配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮が必要な利用環境（水回り等）における注意点：腰部のパーツに水がかかる場合は、その部分を覆って利用すること</li> <li>・機器のメンテナンスにかかる注意点：3年毎にガススプリングとストラクチャーを交換すること</li> </ul>
	倫理面の配慮	なし
使用方法	使用方法	必ず、装着手順動画の視聴や株式会社加地スタッフ等からの装着レクチャーを受けること
	使用環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動作環境：周囲温度が0℃から40℃の屋内環境</li> <li>・使用できない環境：浴槽内</li> </ul>
	使用場面	体位変換・おむつ交換などのベッド上でのケア、移乗ケア等
	習熟期間	1週間
	高齢者に対する安全面の配慮	移乗などで介護者に身体を預けるときに機械が当たっても痛くないような介護用ベストをオプション設定し、必要に応じて活用して頂いている
	介護者に対する安全面の配慮	前屈時にレバーのオンオフができないので、急にアシストがなくなったりしない
効果	使用することで実現する高齢者への効果	品質の高いサービスを受けることができる
	使用することで実現する介護者への効果	身体的疲労の軽減による疲れの蓄積を減らし、働く意欲の継続
	使用することで実現する施設への効果	高齢者が求める人的助介品質の維持向上と労働環境改善による介助者の身体的疲弊を防ぐことができる
仕様、構造	アクティブ・パッシブ（区分）	パッシブ
	使用場所、必要スペースなど	①身体寸法外側に左右5cm／前後は身体寸法で問題なし ②装着時は、ジャケットを羽織るのに必要なスペースがあれば問題なし
	重量（バッテリー含む）	約2.8kg（仕様で異なります）
	材質	スチール・アルミ・ナイロン・ウレタン・エクスジェル
	電源・バッテリー	なし
	充電時間	不要
	連続使用時間	制限無し（初めての使用時は徐々に使用時間を伸ばしてください）
	使用時の音	なし
	緊急発報の方法	なし
	安全性の認証取得	CEマーキング
	アシスト力を発揮する部位	主に体幹（腰回り）
	稼働方式	ガススプリング
	必要な通信環境	なし
	データの記録機能、有無と内容	なし
	他の機器との連携・互換性	なし

製品	メーカー名	株式会社加地		
	製品名	レイボエクソスケルトン	型番	V2.6

	項目	内容
メンテナンス	準備・片付け	ベルトを緩めておく
	保管方法	ハンガーに吊るす
	メーカーによるメンテナンス	3年毎に、ガススプリングとストラクチャー交換及びオーバーホール
	ユーザーによるお手入れ	ゴミや埃の除去 2-3ヶ月ごとに、サポートカム部へのグリース塗布
	消耗品の有無	ガススプリングとストラクチャー ファブリックパーツ
	保証期間	1年
	修理対応期間	期限なし
	耐用年数	3年毎にパーツ交換、耐用年数は設定なし
コスト	本体・付属品の定価	536,250 円 (税込) ■付属品 ・レイボ V2.6 ベスト ・レッグパッド用エクソジェルパッドベルト付 ・レイボ腰固定ユニットセット
	ランニングコスト	なし
	教育研修費	無料
オプション	追加できる機能	オプションパーツあり
問合せ先	緊急時の問合せ先	0774-98-2633 laevo@exgel.jp
	デモ・貸出	1 週間 / 2 週間
	よくある質問 (Q & A)	Q : 就業中装着したままでも問題ないか A : 機能のオンオフレバーの切り替えで、オフにすればデスクワーク等着座も可能

移乗支援

移動支援

排泄支援

見守り・コミュニケーション

入浴支援

介護業務支援



## A-08 移乗支援

株式会社FUJI

品番・型番

# 移乗サポートロボット Hug T1

T1-02

問い合わせ先 株式会社FUJI

住所 〒472-8686 愛知県知立市山町茶碓山 19 番地

TEL 0566-55-8800

MAIL

hug@fuji.co.jp

所属部署 RS 事業本部 新規事業部 Hug プロジェクト



### 機器の概要

#### 機器の機能

座位間の移乗動作、トイレや脱衣所での立位保持、更衣介助をサポートする製品です。一人介助を可能にし、さらに介助者の腰痛予防に役立ちます。スリングシート不要なので準備に手間取らず、簡単リモコン操作で技量に頼らない移乗が可能です。

人が立ち上がる動作を再現しているため、残存機能を活かします。また、身体保持部分の高さ調節が可能のため、幅広い体格の方にお使いいただけ、安定した姿勢保持を実現します。



移乗サポートロボット Hug T1



機器の写真

販売開始

2019年10月

販売価格

1,080,000 円 (非課税)

TAISコード

01666-000003



### 機器の仕様

寸法 (全長×全幅×全高) : 950 × 620 × 880 ~ 1350mm

総重量 : 35kg

最大使用者体重 : 100kg

動作条件 温度 : 0 ~ 40℃ / 湿度 : 20 ~ 90% RH

バッテリー 型式 : 鉛蓄電池 / 定格電圧 : DC24V

充電時間 : 8時間 / 最大使用回数 : 100回

## 機器の貸出

### 必須環境・推奨環境

段差、傾斜、凹凸のない、フローリングなど硬めの床（クッション性のある床は取り回しが重くなり転倒してしまう可能性があります）

### 試用期間中のサポート

デモ機貸出をご希望の際は、代理店がお客様の元へ実機をお持ちし、実機の説明、貸出、貸出後のアフターフォローをさせていただきます。  
使い方レクチャーをオンラインでご希望の際はご相談ください。

貸出期間 2週間


貸出可能台数 1台



寝室、リビング、脱衣所での移乗・更衣介助



お手洗いで排泄介助

パンフレット等	製品カタログ	<a href="https://hug.fuji.co.jp/">https://hug.fuji.co.jp/</a>	
	使用方法等の動画	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=lkOqKd3llp4">https://www.youtube.com/watch?v=lkOqKd3llp4</a>	

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

## 製品情報

	項目	内容
適用	対象者（高齢者）	<b>【高齢者・障がい者】</b> ・適用身長（目安）140～180cm ・適用体重（目安）～100kg ・要介護度（目安）1～4 ・移乗動作に補助が必要な方 ・端座位がとれる方 ・上半身がしっかりしており脇で挟む力がある方 ・介助者の指示が理解できる方
	専門職の関与	介護を受ける方の症状・身体機能、介護する方の体力や機器への適応能力などに合わせて、専門の医師や理学療法士、作業療法士などに相談すること
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：水が直接かかる場所（浴室：床が濡れている程度であれば問題ない）・屋外・段差を越えての使用・クッション性が強い床や畳・傾斜・凹凸のある場所、滑りやすい床 ・その他：ペースメーカーを使用している方への使用
使用上の注意	注意事項	・被介助者の症状にあわせて使用すること ・2人以上を移乗させないこと ・操作は必ず介助者が行うこと ・最大使用者体重（100kg）を超える荷重を加えないこと ・被介助者を乗せた状態で長距離移動・長時間放置をしないこと ・湿気の多い場所に長時間放置しないこと ・使用可能温度以外の場所で使用しないこと ・本体に水を直接かけないこと ・取扱説明書をよく読んで上で使用すること
	安全に利用するための配慮	・滑りやすい床、柔らかい床、段差・傾斜・凹凸のある場所・屋外で使用しないこと ・周囲環境に注意すること（建物の一部、家具、人などに接触しないか確認） ・介助者・被介助者ともにかかとが低く、つま先が尖っていない靴を着用すること（介助者はスリッパや裸足で操作しないこと） ・介助者・被介助者ともに衣服の前面に装飾がついていないこと ・髪が長い場合は束ねること ・マフラーやストールなど首に巻いている場合は取り外すこと
	倫理面の配慮	個人情報などプライバシーに関わる記録をする機能なし
使用方法	使用方法	<b>【操作】</b> ①足裏をフットプレートに置き、さらにひざがひざパッドにふれるまで近づける ②「上」「下」を押して身体保持部バーが脇下に軽くふれるまで調整する ③身体保持部に体重が掛かるように、介護を受ける方の上体を乗せる ④「たつ」ボタンを押して、起立する。 ⑤ハンドルを持って、ゆっくりと移乗先へ移動する。 ⑥移乗先に着いたら「すわる」ボタンを押して座らせる。浅座り防止には車いすの位置を介護を受ける方側に調整する
	使用環境	・動作環境：温度 0～40℃、湿度 20～90%RH ・周辺に干渉するものがない場所 ・座面高さ：40～60cm 以内 ・水が直接かからない場所
	使用場面	・移乗動作：ベッド⇄車いす、車いす⇄シャワーチェア、車いす⇄トイレ ・立位保持：トイレでの排泄ケア、脱衣場での更衣介助
	習熟期間	生活場面での使用まで1週間程度
	高齢者に対する安全面の配慮	・対象者の体調、症状の確認 ・Hug に対する不安・恐怖をなくすための声掛け
	介護者に対する安全面の配慮	不安定なスリッパや裸足で操作しないこと
効果	使用することで実現する高齢者への効果	トイレでの排泄、残存機能の活用による ADL 向上、精神的負担軽減
	使用することで実現する介護者への効果	腰痛予防、身体的・精神的負担の軽減、一人での移乗介助が可能、業務効率向上
	使用することで実現する施設への効果	人材確保促進、労働環境改善、職場の魅力向上
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、トイレ、脱衣場、リビング
	サイズ	全長 950×全幅 620×全高 880～1350 (mm)
	重量（バッテリー含む）	35kg
	材質	本体：鉄 カバー：ABS

製品	メーカー名	株式会社FUJI		
	製品名	移乗サポートロボット Hug T1	型番	T1-02

	項目	内容
仕様、構造	形状	床走行式
	電源・バッテリー	型式:鉛蓄電池、定格電圧:DC24V、充電時間:8時間、最大使用回数:100回(使用環境による)
	連続使用時間	2分(その後18分間休めること)
	連続使用回数	連続使用は故障の恐れあり
	使用時の音	なし
	緊急発報の方法	なし
	安全性の認証取得	充電器:PSE(電気用品安全法) アクチュエータ:CEマーク
	防水・防塵加工	なし
	稼働方式	モーター
	必要な通信環境	なし
	データの記録機能、有無と内容	なし
他の機器との連携・互換性	なし	
メンテナンス	準備・片付け	【準備】 ・電源スイッチを押して、電源を入れる ・動きが停止するまですわるボタンを長押しする ・リモコンの高さ調節の「+」ボタンを押して、身体保持部を上昇させる ・対象者の近くまでゆっくりと近づける 【片付け】 ・保管場所へ戻してキャスターをロックした後、電源スイッチを押して電源を切る
	保管方法	・キャスターをロックする ・使用後はこまめに充電する
	メーカーによるメンテナンス	なし
	ユーザーによるお手入れ	お手入れ前にキャスターをロック・電源が入っていないことを確認する ①水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、かたく絞って拭く ②水で浸した布をかたく絞って水拭き(中性洗剤を拭き取る) ③乾いた布で乾拭き
	消耗品の有無	あり
	保証期間	1年
	修理対応期間	保守部品供給:5年(調達可能期間は対応)
コスト	本体・付属品の定価	本体:1,080,000円(非課税)
	設置導入に伴う費用	なし
	ランニングコスト	なし
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	フラット膝当て・立位サポートベルト・Hugベルト&クッション(脇・胸)
問合せ先	緊急時の問合せ先	0566-55-8800 / hug@fuji.co.jp
	デモ・貸出	対応可能
	よくある質問(Q&A)	Q:介護保険レンタルの対象か? A:対象 Q:補助金対象か? A:各種補助金に対応(詳細は各自治体に確認要) Q:片麻痺や認知症の方に使えるか? A:使える方もいる。使えるか確認した上で導入のこと Q:浴室内で使用できるか? A:防水仕様ではないため不可。脱衣場での使用は可。 Q:トイレではどの程度スペースが必要か? A:便器の根元から1m程度 Q:導入実績はあるか? A:Hugシリーズ4,000台出荷。

移乗支援

移動支援

排泄支援

見守り・コミュニケーション

入浴支援

介護業務支援

## A-09 移乗支援

マッスル株式会社

**ROBOHELPER SASUKE**

品番・型番

RS1-08Y-A  
RS1-08Y-B/RS1-12Y-B

問い合わせ先 マッスル株式会社

住所	〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋6階		
TEL	06-6229-9550	MAIL	healthcare@musclecorp.com
所属部署	ヘルスケア事業開発部	担当者名	齋藤、飛澤



### 機器の概要

#### 機器の機能

抱き上げ式で移乗介助をアシストし、介護をうける方・おこなう方の双方にやさしさと安心をお届けします。

専用シートで身体全体を支えるので体圧分散し、揺れの少ない安定した移乗を行います。簡単なレバー操作で一人でも120kgの方まで移乗が可能です。臥位から座位まで自由な角度と高さに調整でき、ベッド上の臥位姿勢のまま抱き上げも可能です。効率化と質の高いケアを可能にする事で介護サービスの生産性向上を期待できます。



RS1-12Y-B

#### 販売開始

2019年10月

#### 販売価格

(RS1-12Y-B) 998,000円 (非課税)

#### TAISコード

01554-000002  
01554-000004  
01554-000005



### 機器の仕様

SASUKEの両アームを専用シート両端に通してベッドから抱き上げます。シート全体で抱き上げるため、体圧が分散され局所に圧が集中しにくく安全な移乗が行えます。移乗の際に双方が密着しすぎず、感染予防対策としても有効です。抱き上げる際は、介護をうける方の足元に立ち、一方の手でレバー操作し、もう一方の手は介護をうける方に添えることができます。そのままお互いの顔を見ながらベッド⇄車いす(ストレッチャー)へ移動し、車いす等と介護をうける方の姿勢を合わせて着座します。操作は指で軽く操作レバーを上下するだけで、昇降(高さ調整)と回転(座位⇄臥位の任意の姿勢調整)が行えます。専用シートは柔らかい素材で日中は車いすに敷いたままでござせ、シートの着脱に生じる双方の心身負担が軽減されます。コードレスで取外し可能なバッテリーにて稼働します。安全性では「ISO13482」の認証を取得しています。

本体重量 70kg、

サイズ(幅・奥行・高さ)①収納・出入時：80cm×85cm×152cm ②使用時：120cm×100cm×130cm、

バッテリー充電時間 約2-4時間で100回以上の移乗が可能。

## 機器の貸出

### 必須環境・推奨環境

- ①ベッド下に SASUKE の脚が入る空間が7~10cm必要
- ②お部屋に入るために 80cm 以上の間口が必要
- ③床質が、分厚い絨毯・たたみ・超クッションフロアの場合はご使用できない可能性があります。

### 試用期間中のサポート

短期間でも皆様により安心・安全にご使用いただくため、製品説明や実演（リモート）を実施いたします。ご希望があれば、何度でもご説明いたします。

貸出期間 通常 1 ~ 2 週間程度

貸出可能台数 1施設につき1台



機器の使用場面

パンフレット等	製品カタログ	<a href="https://musclecorp.com/care/download/#care-download-catalog">https://musclecorp.com/care/download/#care-download-catalog</a>	
	取扱説明書	<a href="https://musclecorp.com/care/">https://musclecorp.com/care/</a>	
	使用方法等の動画	<a href="https://youtu.be/wlWfTWo-Aug">https://youtu.be/wlWfTWo-Aug</a>	

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。



## 製品情報

	項目	内容
適用	対象者（高齢者）	体重 120kg 以下、身長 140cm ～ 180cm
	対象者（介護者）	SASUKE の正しい操作ができる介護者
	専門職の関与	必要時
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内での使用は禁止 ・その他：移動機器としての試用は禁止
使用上の注意	注意事項	使用前に必ず取扱説明書を確認
	安全に利用するための配慮	使用前の機器安全確認。床面の状態の確認。使用環境の安全確認
	倫理面の配慮	施設基準順守。（機器使用の画像撮影などの高齢者・介護者のプライバシーに関わる情報集・活用、同意書の取得等）
使用方法	使用方法	専用シートを敷き込み、 ①シートにアームを通す、②シートごと抱き上げ姿勢調整、③着座（着臥）する ※シートの敷込みと取外しについては、その日の最初の移乗で敷き込み、最後の移乗で取り外すことを推奨。車いす上でも敷いたままで OK
	使用環境	・動作環境：居室及び脱衣室（温度：0～ 40℃、湿度：20 ～ 80%） ・使用できない環境：浴室、屋外
	使用場面	ベッド⇄車いす、ベッド⇄ストレッチャー（特浴など）など移乗の場面
	習熟期間	操作方法：数分程度 使用方法：30 分～1時間程度 基本の使用方法を理解すれば、利用者の状態に適した応用での使用も可能
	高齢者に対する安全面の配慮	対象者の健康状態の確認
	介護者に対する安全面の配慮	足先を覆う履物を着用
効果	使用することで実現する高齢者への効果	・揺れない安心安全な移乗が行える ・移乗時の緊張が緩和され負荷が軽減→移乗後の活動へ穏やかに移行できる ・身体を密着されることなく移乗が行える
	使用することで実現する介護者への効果	・介助動作の腰部負荷軽減、腰痛リスク軽減 ・1人移乗が可能になる
	使用することで実現する施設への効果	・介護負担軽減による離職予防や人員不足対応などが期待できる（労働環境改善） ・介護ロボットを導入しているという実績から新規雇用への期待（職場の魅力向上） ・2人→1人介助等 業務の効率化、質の高いケアの提供ができる（介護サービスの生産性向上）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、脱衣室
	サイズ	幅 x 奥行x高さ ①収納時：80cmx85cmx152cm ②使用時：120cmx100cmx130cm
	重量（バッテリー含む）	70kg（バッテリー含む）
	材質	専用シート：ポリエステル 本体：ABS、ステンレス等
	形状	抱き上げ式
	電源・バッテリー	取外し可能なバッテリー稼働。専用充電器
	連続使用時間	約6時間～8時間
	連続使用回数	約 100 回
	使用時の音	静音
	緊急発報の方法	アラート音、ライト点灯（緊急停止ボタン始動時）
	安全性の認証取得	ISO13482 認証取得
	防水・防塵加工	無
	稼働方式	操作レバーによる操作
	必要な通信環境	無
	データの記録機能、有無と内容	有（メンテナンス用）
他の機器との連携・互換性	無	



製品	メーカー名	マッスル株式会社		
	製品名	ROBOHELPER SASUKE	型番	RS1-08Y-A/RS1-08Y-B/RS1-12Y-B

	項目	内容
メンテナンス	準備・片付け	使用前の安全確認
	保管方法	居室あるいは居室に相当する環境で保管。(高温多湿等は避ける)
	メーカーによるメンテナンス	必要時メーカー対応
	ユーザーによるお手入れ	本体(特にアーム)の清拭。専用シートの洗濯
	消耗品の有無	専用シート、専用クッション
	保証期間	原則として1年。ただし、法人購入の場合は3年付帯
	修理対応期間	原則として1年。ただし、法人購入の場合は3年付帯
	耐用年数	原則として5年(法定耐用年数)
コスト	本体・付属品の定価	希望小売価格：本体 998,000 円(非課税)、シート：M 40,700 円(税込)、L 55,000 円(税込) ※国内では殆どの方が M サイズで対応可能
	設置導入に伴う費用	無
	ランニングコスト	無
	教育研修費	導入時スタート講習(回数制限無)は無料。アフターフォローも現在のところ無料で実施中
オプション	追加できる機能	無
問合せ先	緊急時の問合せ先	マッスル株式会社ヘルスケア部 TEL：06-6229-9550
	デモ・貸出	デモ・貸出ともに有 リモート及び訪問によるデモを随時実施。貸出は代理店及びメーカー、又は、介護ロボットプラットフォーム事業相談窓口経由も可能
	よくある質問(Q&A)	「浴室でも使用可能か?」 →水に直接濡れない脱衣室等では使用可能 「介護保険は適応可能か?」 →介護保険上では、SASUKE 本体は貸与種目(TAISコード 01554-000005)、専用シート(TAISコード 01554-000006・000007)は買い取り種目に該当している 「補助金の対象になるか?」 →各種補助金に対応(介護ロボット補助金/エイジフレンドリー補助金など)詳細は各都道府県へ確認願いたい

移乗支援

移動支援

排泄支援

見守り・コミュニケーション

入浴支援

介護業務支援

## A-10 移乗支援

アイ・ソネックス株式会社

品番・型番

スカイリフトiR

SL-2023

問い合わせ先 アイ・ソネックス株式会社

住所	〒702-8004 岡山県岡山市中区江並 100 番地 7		
TEL	086-200-1550	MAIL	nakahara@nasent.net
FAX	086-200-1553		
所属部署	営業部		



### 機器の概要

#### 機器の機能

起立姿勢で移乗・移動ができるスタンディングリフトです。車いすやトイレへの移乗はもちろん、下衣の着脱、臀部の清潔保持、パッドの交換等、排泄ケアをサポートします。1人介助の実現、介助者の腰痛予防だけではなく、要介護者が気兼ねなく介助を頼める、下肢機能の維持・改善が期待できる等、双方が安心して使用できます。車いすと同等サイズのコンパクトさで小回りがきき、ボタンは4つだけの簡単操作です。



機器の写真

#### 販売開始

2023年10月

#### 販売価格

680,000円(非課税)

#### TAISコード

00149-000066



### 機器の仕様

- ・サイズ：幅55.6×奥行95.9×高さ130.9cm
- ・重量：43kg
- ・適応対象者：身長／145～180cm、体重／100kg未満
- ・バッテリー内蔵型(家庭用AC100Vで充電)
- ・安全装置：停止センサー(挟み込みを防止)、緊急下降ボタン、自動電源オフ機能

## 機器の貸出

### 必須環境・推奨環境

- ・100V 電源（充電用）
- ・電動ベッド：ボトムフレーム下の高さ 65mm 以上
- ・車いすやシャワーキャリーへ：スカイリフト開脚内幅 610 ～ 792 mm内に収まる幅
- ・フローリング等、硬めの床

### 試用期間中のサポート

ご希望がある場合は、地域の担当営業が訪問の上、フィッティングやデモンストレーションを行います。遠隔地や訪問が困難な場合は、オンラインやお電話にてサポート致します。

貸出期間 2 週間

貸出可能台数 1 台



移乗・移動に



排泄ケアに

パンフレット 等	製品カタログ	<a href="https://www.nasent.net/%e5%95%86%e5%93%81%e7%b4%b9%e4%bb%8b/%e7%a7%bb%e4%b9%97%e3%83%bb%e7%a7%bb%e5%8b%95%e7%94%a8%e5%85%b7/%e3%82%b9%e3%82%ab%e3%82%a4%e3%83%aa%e3%83%95%e3%83%88ir/">https://www.nasent.net/%e5%95%86%e5%93%81%e7%b4%b9%e4%bb%8b/%e7%a7%bb%e4%b9%97%e3%83%bb%e7%a7%bb%e5%8b%95%e7%94%a8%e5%85%b7/%e3%82%b9%e3%82%ab%e3%82%a4%e3%83%aa%e3%83%95%e3%83%88ir/</a>	
	取扱説明書	<a href="https://www.nasent.net/wordpress/wp-content/uploads/2024/03/%E3%82%B9%E3%82%AB%E3%82%A4%E3%83%AA%E3%83%95%E3%83%88iR-SL-2023%E5%8F%96%E6%89%B1%E8%AA%AC%E6%98%8E%E6%9B%B8.pdf">https://www.nasent.net/wordpress/wp-content/uploads/2024/03/%E3%82%B9%E3%82%AB%E3%82%A4%E3%83%AA%E3%83%95%E3%83%88iR-SL-2023%E5%8F%96%E6%89%B1%E8%AA%AC%E6%98%8E%E6%9B%B8.pdf</a>	
	使用方法等の動画	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=cS9W7JTkdwb">https://www.youtube.com/watch?v=cS9W7JTkdwb</a>	
	活用事例の動画	スカイリフト活用事例（在宅／特別養護老人ホーム） <a href="https://youtu.be/WpCp92kwlGs">https://youtu.be/WpCp92kwlGs</a>	

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

## 製品情報

	項目	内容
適用	対象者（高齢者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適量身長（目安）145cm～180cm</li> <li>・適身体重（目安）100kg未満</li> <li>・ベッドに自力、または一部介助で端座位が可能な方</li> <li>・座位から立位までの下肢関節の可動域がある程度保たれている方</li> <li>・片麻痺、両下肢麻痺、四肢麻痺があっても下肢に体重をかけることが可能な方</li> </ul>
	対象者（介護者）	操作方法を正しく理解できる方
	専門職の関与	重度の骨粗しょう症、変形性関節症のある方は、専門職に相談の上、使用すること
禁止事項	禁止事項	使用できない環境（場所）：水分が直接かかる環境、凹凸のある床
使用上の注意	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高温、多湿な場所では保管しない</li> <li>・バッテリーは残量に関わらずこまめに充電する</li> </ul>
	安全に利用するための配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段差の乗り越えや斜面地の移動、急激な横移動はしない</li> <li>・可動部や伸縮部に触れたり、隙間に手指を入れない</li> </ul>
	倫理面の配慮	記録や情報を収集する機能はなし
使用方法	使用方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>①座位になる（ベッドでの端座位、車いす座位など）</li> <li>②スリングをセットし、スリングと背中との中心を合わせる</li> <li>③リフトに足を乗せる</li> <li>④胸パッドを腹部に当てて、前輪キャスターをロックする</li> <li>⑤膝に合うように膝パットの位置を調整する</li> <li>⑥胸パッドを下げる</li> <li>⑦スリングのループをフックにかけ、ずり上がりがないか確認する</li> <li>⑧不快感がないか等表情を見ながら上昇する</li> <li>⑨移乗先に合わせて脚部を開閉させて、移動・移乗する</li> </ol>
	使用環境	使用できない環境：水分が直接かかる環境（屋外、浴室）
	使用場面	ベッド ⇄ 車いす、車いす ⇄ トイレ、車いす ⇄ シャワーキャリー等への移乗・移動、立位訓練
	習熟期間	1か月程度
	高齢者に対する安全面の配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調がすぐれない場合は、使用を控えること</li> <li>・不安や痛み、疼痛がないか表情や姿勢をよく観察して使用する</li> </ul>
	介護者に対する安全面の配慮	足先を覆う履物を着用の上、使用すること
	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレでの排泄や排泄量の増加等、排泄の質が向上</li> <li>・気兼ねからの解放や視線が変わることによる精神的負担の軽減</li> <li>・下肢の屈伸動作による下肢関節の可動域を維持・改善</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腰痛等、身体的負担の軽減</li> <li>・業務効率の改善</li> <li>・ゆとりあるケアの実現</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働環境の向上</li> <li>・転倒事故の防止</li> <li>・職場の魅力向上（人材確保の促進）</li> </ul>	

製品	メーカー名	アイ・ソネックス株式会社		
	製品名	スカイリフトiR	型番	SL-2023

	項目	内容
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、トイレ、脱衣所
	サイズ	幅 556mm × 奥行 959mm × 高さ 1309mm
	重量（バッテリー含む）	43kg（バッテリー含む）
	材質	本体：スチール、スリング：ポリエステル
	形状	スタンディング
	電源・バッテリー	バッテリー駆動（家庭用AC 100V 充電）
	充電時間	3.5 時間
	連続使用回数	（バッテリー残量 50%まで）約 30 往復
	使用時の音	プッシュ音（昇降ボタン操作時、電源 ON/OFF 時）
	緊急発報の方法	アラート音（挟み込み防止センサー作動時、バッテリー残量低下時、連続使用による過負荷状態時） ライト点滅（緊急下降ボタン／挟み込み防止センサー作動時）
	防水・防塵加工	なし
	稼働方式	電動アクチュエータ
	必要な通信環境	なし
	データの記録機能、有無と内容	なし
他の機器との連携・互換性	なし	
メンテナンス	準備・片付け	【準備】電源スイッチを入れて3秒間待機後、操作開始 【片付け】バッテリー残量に関わらず、使用後はこまめに充電する
	保管方法	・電源を切り、キャスターロックをして保管 ・長期間使用しない場合は、3 か月に 1 回充電すること
	メーカーによるメンテナンス	なし（導入後のフォローアップは有り）
	ユーザーによるお手入れ	本体：水で薄めた中性洗剤での清拭後、乾いた布で拭き取り スリング：付属の洗濯ネットに入れて洗濯 定期的に安全点検を行うこと
	消耗品の有無	バッテリー、専用スリングシート
	保証期間	購入日から 1 年間
	修理対応期間	生産終了から 7 年間
	耐用年数	6 年
コスト	本体・付属品の定価	本体：680,000 円（非課税）、専用スリングシート：37,400 円～（税込）
	設置導入に伴う費用	なし
	ランニングコスト	バッテリー交換（約 1 ～ 2 年おきに）
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	本体：なし、専用スリングシート：オプション品あり
問合せ先	緊急時の問合せ先	アイ・ソネックス株式会社 営業部 TEL：086-200-1550
	デモ・貸出	デモ・貸出とも有り
	よくある質問（Q & A）	Q. 麻痺のある方でも使用可能か？ → 下肢に体重をかけることができる場合、使用可能 Q. スリングは M と L どちらがいいか？ → サイズ目安（胴周り） M：65 ～ 90cm、L：85 ～ 110cm Q. お風呂場でも使用可能か？ → 水分が直接かかる場所では使用不可。脱衣所での使用や、シャワーキャリーへの移乗は可能 Q. 導入後、組み立てが必要か？ → 操作ハンドルのみ取付が必要（付属の六角棒スパナを使用）

移乗支援

移動支援

排泄支援

見守り・コミュニケーション

入浴支援

介護業務支援

## A-11 移乗支援

株式会社アイザック

品番・型番

# 移乗・移動ロボット Keipu-Sb

AIZ-39

問い合わせ先

株式会社アイザック

住所	〒965-0020 福島県会津若松市山見二丁目 9-8		
TEL	0242-93-5061	MAIL	info@aizuk.jp
FAX	0242-85-8590		
所属部署	研究開発部	担当者名	三好



### 機器の概要

#### 機器の機能

車いすや移乗機と違い、手すり、椅子の位置の上下機構や後部から前方移乗型で乗り込むことで移乗時の介護者の腰痛負担軽減はもちろんのこと、利用者移乗時の落下を防ぎます。トイレ動作は、その場回転機能機能を利用し、機器の方向を容易に変えることで便座の前でロボットから後方へ移乗できることで介護者の負担を軽減します。搭乗中は、椅子を高くすることにより利用者の視線が高くなることにより自立支援での効果が得られます。



ロボットの全体イメージ

椅子の上下が可能（横から）

販売開始

2021年6月

販売価格

900,000円（非課税）

TAISコード

01689-000002



### 機器の仕様

寸法(全長×全幅×全高)：750mm×605mm×1165mm(最大)、総重量(バッテリー含)：55kg、駆動モータ：DCブラシレスモータ24V180W×2、バッテリー：リチウムイオン二次電池(着脱式)、充電器：電源AC100V～240V・50/60Hz・1.3～0.6A、左右駆動輪/前後キャスト：エアレスタイヤ200mm、前後キャスト径100mm、制動方式：モータ回生制動+無励磁作動形ブレーキ、操舵方式：ジョイスティック操舵、最高速度：1.5km、実用登坂可能斜度(停止可能斜度)：6度(勾配10%、路面状況による)、最小回転半径：0.38m、段差乗り越し高さ：5mm、連続走行可能距離：最大約3.6km(条件：荷重75kg、速度1.5Km/h、気温0℃、平坦路)、利用者最大荷重(積載物含む)：75kg、シート昇降機構：電動シリンダ(DCモータ24V、2.7Amax)、その他の機能：駆動輪ブレーキ開放機能(左右独立)、衝突回避機能(近距離減速)：0.7～1.5m以内で減速50%、0.7m以内で走行停止、無線操作機能：電波到達操作可能距離(10m)



## 機器の貸出

### 必須環境・推奨環境

家庭用コンセントが利用可。段差乗越えが最大 5mm のためバリアフリー環境が必要。保管場所は、湿度 40% 以上 70% 以下（建築物衛生法管理基準値）の範囲内で保管。浴室など湿度の高い場所での使用、保管は厳禁

### 試用期間中のサポート

貸出中のトラブルは、メーカーより直接対応いたします。なお、貸出先様の故意による故障につきましては別途修理費用が発生いたします。貸出先様の所在地により、サポート対応までの時間が変わります。

貸出期間 1～2週間


貸出可能台数 1台



利用者の前方移乗型



狭いトイレでも自由に出入り可能

パンフレット等	製品カタログ	<a href="https://www.aizuk.jp/keipu-sb.html">https://www.aizuk.jp/keipu-sb.html</a>	
	取扱説明書	詳細はご連絡ください	
	使用方法等の動画	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=DG1M_Lzy8Co">https://www.youtube.com/watch?v=DG1M_Lzy8Co</a>	
	会社 URL	<a href="https://www.aizuk.jp">https://www.aizuk.jp</a>	

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。



## 製品情報

	項目	内容
適用	対象者（高齢者）	・適用身長（目安）145～180cm ・適用体重（目安）～75kg（実測値では、100kgは可能） ・ベッドサイドで端坐位（手すりにつかまっても）の姿勢を保てる方
	対象者（介護者）	特に限定はなし
	専門職の関与	特に専門職の関与は必要としない
禁止事項	禁止事項	・屋外（建物内の中庭 / 屋外も含む） ・使用できない環境（場所）：浴室内および湿気の多いところ ・その他：水分による洗浄など
使用上の注意	注意事項	移乗後、シートベルトを利用し、被介護者の体を固定すること
	安全に利用するための配慮	段差 5mm 以上の乗り越えは不可。傾斜の 6 度以上の上り降りは安全のため避けること 乗車時の服装は、マフラーや裾の長い物での乗車は避けること。タイヤに巻き込む可能性があるため
	倫理面の配慮	特になし
使用方法	使用方法	屋内の移乗・移動に使用すること 施設 / 病院などの大型施設内でも可能 公共施設の屋内でも利用可能
	使用環境	温度 10～35℃ 湿度 40%～70%の範囲内で保管すること
	使用場面	短距離での移動を推奨 ベッド→Keipu→トイレ ベッド→Keipu→リハ室 ベッド→Keipu→食堂 など
	習熟期間	短時間での利用習熟が可能（20分ほど）
	高齢者に対する安全面の配慮	認知症などの方は、利用不可（介助者の見守りがある場合は可）
	介護者に対する安全面の配慮	乗車時の服装は、マフラーや裾の長い物での乗車は避けること。タイヤに巻き込む可能性があるため 履物は、着用して、底が滑りにくいものを着用すること
効果	使用することで実現する高齢者への効果	移乗時の落下リスク低減 自立支援効果（自立移動、および目線が高くなるため他者との会話チャンスが広がる）
	使用することで実現する介護者への効果	移乗時の被介護者の落下リスク低減 介護者の身体的腰痛の削減 移乗時の一人介護（介護時間の短縮）
	使用することで実現する施設への効果	対外的に施設環境の改善 労働環境の改善（スピーディーな移乗、移動が可能）廃用症候群の予防 利用者の自立心の向上

製品	メーカー名	株式会社アイザック		
	製品名	移乗・移動ロボット Keipu-Sb	型番	AIZ-39

	項目	内容
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、トイレ、食堂、リハ室へ移動
	サイズ	幅 750mm ×奥行 605mm ×高さ 1165mm
	重量（バッテリー含む）	55kg
	材質	鉄およびアルミ材、手すり/シート部分：レザー
	形状	前方移乗型リフト付き移動機
	電源・バッテリー	バッテリー：リチウムイオン二次電池
	充電時間	3.5 時間
	連続使用時間	2.5 時間
	連続使用回数	バッテリーの予備をお持ちであれば、継続的な利用可
	使用時の音	駆動輪のモーター音、手すり、シートの上下時のモーター音
	緊急発報の方法	アラート音
	安全性の認証取得	ISO13482 準拠
	防水・防塵加工	家庭用防水程度
	稼働方式	モーターによる稼働
	必要な通信環境	スマートフォン（Android スマートフォン）の利用により、遠隔操作が可能
必要なシステム・設備	ご自宅においては、バリアフリー構造が必要	
データの記録機能、有無と内容	特になし	
他の機器との連携・互換性	特になし	
メンテナンス	準備・片付け	電源 off 後に、収納場所で保管
	保管方法	水分・湿気のないところ
	メーカーによるメンテナンス	訪問してメンテナンスかあるいは SENDバック方式
	ユーザーによるお手入れ	樹脂表面のアルコールでの拭き掃除
	消耗品の有無	バッテリー消耗時は交換が必要
	保証期間	導入後、3ヶ月
	修理対応期間	5 年
	耐用年数	7 年
コスト	本体・付属品の定価	本体：¥900,000（非課税）
	設置導入に伴う費用	輸送料及び設置調整料
	ランニングコスト	特になし
	教育研修費	特になし
オプション	追加できる機能	物入用カゴ装着・シートベルト（L サイズ、M/S サイズ）
問合せ先	緊急時の問合せ先	（株）アイザック 0242-93-5061
	デモ・貸出	対応可
	よくある質問（Q & A）	バッテリーは、どれぐらい持つか？→連続移動で約 2 時間 30 分 充電時間は？→約 3 時間 30 分で満充電する

移乗支援

移動支援

排泄支援

見守り・コミュニケーション

入浴支援

介護業務支援

## A-12 移乗支援

株式会社あかね福祉

品番・型番

# 移乗支援介護ロボット「移乗です」

AKI-1001

問い合わせ先 株式会社あかね福祉

住所	〒963-0111 福島県郡山市安積町荒井字雷神 16-1		
TEL	024-937-5022	MAIL	me-ka@akane-fukushi.co.jp
所属部署	メーカー事業部	担当者名	池田・橋本



### 機器の概要

#### 機器の機能

座位姿勢の要介護者の太ももの下に差し込んだ“持ち上げプレート”をアクチュエータの動力を使いリモートコントローラを操作し要介護者を移乗可能な高さ上昇させます。リモートコントローラにはメモリー機能が標準装備されており、3つの高さ設定が可能。移乗先へは予め設定した高さに自動停止させることができます。手動停止も可能です。



機器の写真

#### 販売開始

2021年9月

#### 販売価格

オープン価格（非課税）

#### TAISコード

01341-000009



### 機器の仕様

寸法：幅760×奥行730×高さ957mm  
材質：本体(スチール/ステンレス) マット部分(発砲ポリウレタン)  
質量：本体(アクチュエータ・バッテリーを含む)38kg  
アクチュエータ：推力1000N  
ストローク：250mm 12Vモーター  
バッテリー：NI-MH10セル DC12V/3.6Ah  
充電器：inAC100-240V outDC12V  
耐荷重：80kg  
安全ベルト(付属品)  
材質：ポリエステル100%  
寸法：1770mm×190mm  
質量：200g

## 機器の貸出

### 必須環境・推奨環境

ベースフレームと床との隙間が 65mm 以上ある事。移乗先が車いすの場合は肘台が跳ね上がり又は取り外し出来る事。他の場合は持ち上げプレートが左右展開出来る事。走行面は平面で段差が無い事。

### 試用期間中のサポート

使用上の不明点、問い合わせのご相談を頂いた際は、電話並びにリモート（WEB 面談）にて対応します。利用者の状況や使用環境、使用目的等を確認させて頂き、ご提案をさせていただきます。

貸出期間 1ヶ月

貸出可能台数 5台



機器の使用場面

パンフレット等	製品カタログ	<a href="https://www.akane-fukushi.co.jp/item_ijou/">https://www.akane-fukushi.co.jp/item_ijou/</a>	
	使用方法等の動画	<a href="https://www.akane-fukushi.co.jp/item_ijou/">https://www.akane-fukushi.co.jp/item_ijou/</a>	

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

## 製品情報

	項目	内容
適用	対象者（高齢者）	【高齢者及び障がい者】 ・適用身長（目安）140cm～175cm ・適用体重（目安）80kgまで 歩行が困難又は不安定な方で座位姿勢、前傾姿勢ができる、もしくは支えれば座位姿勢ができる身体状態の方
	専門職の関与	必要なし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：斜面等平面ではない場所、段差のある場所 ・その他：高温・多湿な場所・浴室での使用
使用上の注意	注意事項	湿気・水気の多い場所での保管はしないこと。移乗以外での使用はしないこと。 歩くスピード以上での使用はしないこと
	安全に利用するための配慮	安全ベルトを装着して平面で使用し、昇降させる前に姿勢の確認を行うこと。移動はゆっくりと行うこと
	倫理面の配慮	対象者を長時間、持ち上げた状態（足が床に付かない状態）で放置しないこと
使用方法	使用方法	ベッド上で端座位姿勢をとって頂く。「移乗です」を利用者の前に近づけ、前傾姿勢をとって頂き安全ベルトを装着する。利用者の太もも下に持ち上げプレートを差し込む（左右とも）昇降レバーを操作して利用者のお尻及びつま先が上がるまで持ち上げる。移乗先に移動したら昇降レバー又はメモリを操作して着座させ、持ち上げプレートを外し安全ベルトを解除して終了
	使用環境	・動作環境：気温5度以上40度未満 ・使用できない環境：水中・屋外・その他水分が機器にかかる環境 床面が傾斜又は段差のある処。
	使用場面	ベッド⇔車椅子⇔ポータブルトイレ⇔食事椅子⇔入浴用搬送車など
	習熟期間	基本の操作手順がわかれば30分で使いこなすことは可能。1分以内で移乗ができるようになるには1週間ほど使い込めば可能
	高齢者に対する安全面の配慮	座位姿勢及び前傾姿勢である事と高く持ち上げ無い。安全ベルトが装着できる事
	介護者に対する安全面の配慮	持ち上げ動作及び無理な姿勢等腰への負担がない
効果	使用することで実現する高齢者への効果	対面による介助に加え、抱きかかえない移乗介助なので痛みや恐怖などの緊張感を感じさせないので、生活行動が増える。異常行動の減少
	使用することで実現する介護者への効果	介助時の腰への負担軽減、腰痛リスクの軽減、一人移乗が可能になる。利用者の表情を見ながら移乗ができる安心感
	使用することで実現する施設への効果	労働環境改善、職場の魅力向上、腰痛による休職や離職の削減、高齢職員の継続勤務等経営環境の改善が図れる。介護事故の軽減

製品	メーカー名	株式会社あかね福祉		
	製品名	移乗支援介護ロボット「移乗です」	型番	AKI-1001

	項目	内容
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	使用場所：居室・脱衣場など床が平面の場所。幅 120cm のスペースを設けられる事
	サイズ	幅 760mm ×奥行 730mm ×高さ 957mm
	重量 (バッテリー含む)	38kg (バッテリー含む)
	材質	本体 (スチール / ステンレス) マット部分 (発砲ポリウレタン)
	形状	頑丈な金属フレームに昇降用アクチュエータを搭載 身体の触れる部分は発砲ポリウレタン素材で保護
	電源・バッテリー	バッテリー駆動方式
	充電時間	4 ~ 8 時間
	連続使用時間	連続した昇降動作は5分以内、2分間の小休止を挟む事で連続使用可能
	連続使用回数	満充電からの昇降可能回数は約 200 回
	使用時の音	アクチュエータ音、電源オン・オフ、メモリ設定音、停止音
	緊急発報の方法	エラー時 (負荷オーバー) は両端の LED ランプが点滅と同時にアラート音
	安全性の認証取得	充電アダプターに P S E マーク
	防水・防塵加工	ボックス内に制御基盤、バッテリーなどを収納し防塵対応、防水加工無し
	稼働方式	バッテリーによるモーター (アクチュエータ) 駆動
	必要な通信環境	無し
	必要なシステム・設備	無し
データの記録機能、有無と内容	無し	
他の機器との連携・互換性	無し	
メンテナンス	準備・片付け	適切な場所に保管し、使用開始時はバッテリーの残量確認及び安全ベルトの保管
	保管方法	極度に湿度の高い場所や直射日光を避け、安定した室温、湿度環境
	メーカーによるメンテナンス	故障・破損時は代替え機を準備したうえで対応
	ユーザーによるお手入れ	汚れ除去 (中性洗剤使用)・各部消毒・バッテリー充電
	消耗品の有無	マット部分・グリップ・バッテリー・キャスター・安全ベルト
	保証期間	1 年間
	修理対応期間	6 年間
コスト	耐用年数	6 年間
	本体・付属品の定価	本体：オープン価格 (非課税) 安全ベルト：15,000 円 サポートシート：3,000 円
	ランニングコスト	バッテリー充電の電気代のみ・他故障時の修理費など
オプション	教育研修費	オンライン指導は無料。 現地研修は 50,000 円 / 日及び実費交通費
	追加できる機能	無し
問合せ先	緊急時の問合せ先	024-937-5022
	デモ・貸出	対応可能

移乗支援

移動支援

排泄支援

見守り・コミュニケーション

入浴支援

介護業務支援

## A-13 移乗支援

株式会社いうら

品番・型番

排泄サポートリフト「onbu (おんぶ)」

TL-300

問い合わせ先 株式会社いうら

住所 〒174-0063 東京都板橋区前野町2丁目30-24

TEL 03-5939-8611

MAIL

tokyo@iura.co.jp

FAX 03-5939-8612

所属部署

営業部

担当者名

試用貸出担当



### 機器の概要

#### 機器の機能

吊り下げたり、立たせたりすることなく、脇、胸、膝裏で、おんぶのように支える吊り具不要の新発想リフトです。臀部を支える吊り具がありませんから、下衣の脱ぎ着が手早く簡単に行えます。車椅子やベッドなどから座位姿勢のまま移乗できます。また、マスト下降時の挟み込みを感知すると自動で停止し安全です。その他、トイレや車椅子の高さを3か所まで記憶でき、記憶した高さまでマストが昇降し、自動でアームが下りて着座します。



機器の写真

販売開始

2024年2月

販売価格

780,000円 (非課税)

TAISコード

00084-000149



### 機器の仕様

- 寸法：奥行1,060×全幅750×高さ845～1,175mm
- 前輪フレーム高さ：58mm
- 膝受け下面高さ：360～675mm(100kg負荷時)
- 本体重量：約42kg
- 最大持ち上げ質量：100kg
- 上昇時間：約26秒(100kg負荷時)
- 下降時間：約22秒(100kg負荷時)
- キャスター径：前輪50mm/後輪125mm
- 主要素材：スチール
- 充電器/バッテリー1個付  
バッテリー仕様(24V/2.9Ah)  
フル充電約4時間/100kg負荷で約70回往復動作可



## 機器の貸出

### 必須環境・推奨環境

- ・利用者の身体状況がわかる専門の医師や理学療法士、作業療法士などに相談できること
- ・トイレの間口：780mm 以上
- ・便座高：380mm 以上
- ・フローリングなど硬めの床

### 試用期間中のサポート




貸出時にお客様のところにお伺いし取扱説明をします。貸出後は、オンラインや電話でサポートします。  
ご希望を相談ください。

貸出期間 1～2週間

貸出可能台数 1台



機器の使用場面

パンフレット等	製品カタログ	<a href="https://www.iura.co.jp/products/tl300/index.html">https://www.iura.co.jp/products/tl300/index.html</a>	
	取扱説明書	<a href="https://www.iura.co.jp/pdf/TL-300_setsumei.pdf">https://www.iura.co.jp/pdf/TL-300_setsumei.pdf</a>	
	使用方法等の動画	<a href="https://www.iura.co.jp/products/tl300/index.html#prettyPhoto/0/">https://www.iura.co.jp/products/tl300/index.html#prettyPhoto/0/</a>	

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

## 製品情報

	項目	内容
適用	対象者（高齢者）	【高齢者・障がい者】 ・適応体重 ～ 100kg ・端座位が取れる方 ・専門の医師や理学療法士、作業療法士が使えたと判断した方
	対象者（介護者）	【介護者】 ・取扱説明書の内容が十分ご理解ができる方
	専門職の関与	専門の医師や理学療法士、作業療法士にご相談の上、利用者の症状や体調に合わせて使用すること
禁止事項	禁止事項	・防水構造ではないので、浴室や屋外など水や雨が掛かる場所や湿度の高い場所で使用または保管しない ・取扱説明書の内容が十分ご理解ができない方には操作させない
使用上の注意	注意事項	・バッテリーは落とすなどして衝撃を与えない ・傾斜地では使用しない ・本製品は1人用。必ず一人の方に使用すること ・マストには、はさみ込み防止機能があるが、下降中に何かに当たった場合は直ちに下降する動作を中止する ・本体に貼付てあるシールの内容は安全上、および正しく使用いただくために非常に重要なので必ず守ること
	安全に利用するための配慮	・周囲の安全を確認してから操作する ・介助者は利用者に乗せたまま本体から離れない ・アーム、アクチュエーター、膝受け、マストなど可動部のすき間で手や足などをはさまないように注意する ・利用者の様子を見ながらゆっくりと操作する。少しでも異常が見られたときは直ちに操作を中止する
	倫理面の配慮	・個人情報など記録を取集する機能はなし
使用方法	使用方法	・座位のままの利用者にリフトを近づける ・アームを両脇に挟む ・胸受けに体を預けるように前傾させる ・グリップハンドルをしっかり握る ・膝受け開閉レバーを引上げ、利用者の膝裏を支える ・安全ベルトを締め、脇、胸、膝裏で体が支えられていることを確認する ・アームを上げ、座っているところから持ち上げる ・便座まで移動し、下衣を下げる ・便座に座る位置までアームを降ろす
	使用環境	・浴室など水のかかる場所、湿度が高い場所、屋外では使用しない
	使用場面	・移乗動作：車椅子⇄ベッド、車椅子⇄トイレ ・排泄介助：トイレでの排泄ケア
	習熟期間	・本体操作：1日程度 ・現場での実働：3日～1週間
	高齢者に対する安全面の配慮	・転落、転倒、手足（身体）のはさみ込み、物のはさみ込みに十分気を付ける ・転落防止のため、必ず安全ベルトを着用して使用する ・利用者の症状や体調に合わせて使用する
	介護者に対する安全面の配慮	・ベース部分には足を乗せない
効果	使用することで実現する高齢者への効果	・トイレでの排泄 ・精神的負担の軽減 ・転倒リスクの軽減
	使用することで実現する介護者への効果	・腰痛など身体への負担軽減 ・一人で移乗介護、排泄介助が可能 ・精神的負担の軽減
	使用することで実現する施設への効果	・業務の省力化 ・転倒事故の防止 ・労働環境の改善 ・離職率の低減
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・居室、リビング、トイレ
	サイズ	・奥行 1,060 ×全幅 750 ×高さ 845 ～ 1,175mm
	重量（バッテリー含む）	・約 42kg
	材質	・スチール
	形状	・床走行式
	電源・バッテリー	・バッテリー駆動：リチウムイオンバッテリー使用 仕様：24V / 2.9Ah
	充電時間	・フル充電約 4 時間 / 100kg 負荷で約 70 回往復動作可

製品	メーカー名	株式会社いうら	
	製品名	排泄サポートリフト「onbu(おんぶ)」	型番 TL-300

	項目	内容
仕様、構造	連続使用時間	・アクチュエーター：2分間 2分間使用した場合は18分間休止する
	連続使用回数	・2分間以上連続使用すると故障する恐れがある
	使用時の音	・なし
	緊急発報の方法	・バッテリー残量低下：ピー音がする ・アクチュエーターの連続使用：ランプ点滅、停止 ・持ち上げ質量オーバー：ランプ点滅、停止
	安全性の認証取得	・充電器：PSEマーク（電気用品安全法） ・アクチュエーター：CEマーク
	防水・防塵加工	・なし
	稼働方式	・電動アクチュエーター
	必要な通信環境	・なし
	必要なシステム・設備	・なし
	データの記録機能、有無と内容	・なし
他の機器との連携・互換性	・なし	
メンテナンス	準備・片付け	<b>【準備】</b> ・バッテリーを装着し、点灯する残量計で残量を確認する ・ケーブル類にひび割れや傷がないか確認する ・昇降できるか確認する ・ブレーキがかかるか確認する <b>【片付け】</b> ・保管場所に戻しブレーキをかける ・バッテリーを取り外し充電する
	保管方法	・直射日光を避けて風通しの良い場所に保管する ・ブレーキをかけ、バッテリーを取り外し充電する
	メーカーによるメンテナンス	・なし（ご要望があれば有償メンテナンス契約あり）
	ユーザーによるお手入れ	・本体、バッテリー：水で薄めた中性洗剤にタオルを浸し、硬く絞って汚れを拭取る ・アームカバー、胸受けカバー：汚れがひどい場合は、中性洗剤を使用し、ぬるま湯（30℃）で手もみ洗いをする。手もみ洗い後は、風通しの良い日陰に干しする ・消毒が必要な場合は、金属、プラスチック部分はエタノールで清拭消毒をする
	消耗品の有無	・あり
	保証期間	・1年間
	修理対応期間	・販売後8年（8～12年はオーバーホールを含む場合は対応可）
耐用年数	・6年	
コスト	本体・付属品の定価	・本体：定価 780,000 円（非課税） オプション ・ストッパー：定価 6,000 円（税込価格 6,600 円）
	設置導入に伴う費用	・なし
	ランニングコスト	・バッテリー（1～2年ごとに）
	教育研修費	・なし
オプション	追加できる機能	・なし
問合せ先	緊急時の問合せ先	・株式会社いうら 営業部 089-964-7770
	デモ・貸出	・デモ、貸し出し対応可能（現地での説明も可能）
	よくある質問（Q&A）	Q：低床ベッドは使用できるか？ ⇒前輪ベース高58mmなので、対応可能。 Q：介護保険には、対応しているか？ ⇒対応している。 Q：トイレはどのくらいの広さが必要か？ ⇒入口の開口幅780mm以上、室内幅1200mm以上、便座の先から970mm以上の広さが必要。 Q：片麻痺の方は使用できるか？ ⇒使える方もいる。専門の医師や理学療法士、作業療法士にご相談の上、使用すること。

## A-14 移乗支援

株式会社モリトー

### 介護リフトつるべY6セット Li-PINK Safety Robo

問い合わせ先	株式会社モリトー		
住所	〒491-0074 愛知県一宮市東島町3-36		
TEL	0586-71-6151	MAIL	kato@moritoh.co.jp
FAX	0586-72-4555		
所属部署	特販部	担当者名	加藤 良治



#### 機器の概要

##### 機器の機能

吊り具の掛け忘れ、掛け間違いを未然に防止する機能を有したリフトです。吊り上げ時、約20kgの重さを感じるとリフトが一旦止まり、安全確認のための音声ガイドが流れます。



音声のお知らせで安全・安心 オプションの手すりを使用して歩行補助



##### 販売開始

2024年2月

##### 販売価格

748,000円(非課税)



#### 機器の仕様

昇降速度 上昇 36.3mm/sec

昇降速度 下降 37.2mm/sec

耐荷重 120kg

上下ストローク 約1,315mm

材質 スチール

## 機器の貸出

### 必須環境・推奨環境

平らの床であり、フローリングなど硬い床が望ましいです。段差や勾配がある場所では使用できません。居室、トイレ、脱衣場などで使用できます。

### 試用期間中のサポート

利用者や環境に合わせた吊り具の選定と使い方のサポートをします。

貸出期間 2週間程度、期間をご相談に応じます

貸出可能台数 1



車いすから床への移乗場面



オプションの体重計を接続したイメージ

パンフレット  
等

製品カタログ

[https://www.moritoh.co.jp/wordpress2/wp-content/uploads/2010/02/Y6\\_Li-PINK\\_SafetyRobo\\_web202309.pdf](https://www.moritoh.co.jp/wordpress2/wp-content/uploads/2010/02/Y6_Li-PINK_SafetyRobo_web202309.pdf)



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

## 製品情報

	項目	内容
適用	対象者（高齢者）	ベッドから車いすへの移乗が自力又は介助で困難な方
	対象者（介護者）	スイッチのボタンを押せる方 ベッド上などで、対応者（高齢者）を側臥位の姿勢にして吊り具を装着出来る方
	専門職の関与	人工股関節置換術等で股関節の可動域制限があり、身体状況により吊り姿勢や吊り具の選定が困難な場合はセラピストや医師へ相談する
禁止事項	禁止事項	傾斜や段差があるところでは使用しない
使用上の注意	注意事項	湿気が多い場所では使用しない
	安全に利用するための配慮	ベッド下などリフトが移動するところに障害物がないことを確認して使用する
	倫理面の配慮	吊り具、リフトを操作する前に、対象者（高齢者）へ声を掛けること
使用方法	使用方法	装着した吊り具のストラップをリフトのハンガーに掛けて、リフトの上昇ボタンを押す。回転は対象者（高齢者）を中心に介助者がリフトを操作して移動する。車いすなど移乗先の真上にリフトのハンガーが来たら、リフトの下降ボタンを押す
	使用環境	段差、勾配がない平らな床
	使用場面	ベッド、車いす間・車いすから床やトイレの便座への移乗など
	習熟期間	1週間程度
	高齢者に対する安全面の配慮	必要以上にリフトを上昇させない リフトを移動させるときは揺れないようにゆっくりと回転させる
	介護者に対する安全面の配慮	リフトのキャスターで足を挟まない又は挟んでしまった場合を想定して室内でも室内履きの靴やスリッパを履くことを推奨
効果	使用することで実現する高齢者への効果	吊り具で移乗するため、体圧分散により身体に掛かる負担を軽減し、拘縮の予防にもつながる
	使用することで実現する介護者への効果	人的な介助に比べて、身体に掛かる負担が軽減するため、腰痛予防につながる
	使用することで実現する施設への効果	移乗の度に必要であった人員を削減することができる
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、トイレ、脱衣場など
	サイズ	990 × 1,200 × 1,150 mm
	重量（バッテリー含む）	約 38kg
	材質	スチール
	形状	床走行式・アーム式
	電源・バッテリー	リチウムイオン電池
	充電時間	4時間
	連続使用時間	2分
	連続使用回数	最大上下ストローク 2回
	使用時の音	電動モーター音
	緊急発報の方法	介助者による発報
	安全性の認証取得	特になし
	防水・防塵加工	IPX6
	稼働方式	電動ギア方式
	必要な通信環境	特になし
	必要なシステム・設備	特になし
データの記録機能、有無と内容	設定なし	
他の機器との連携・互換性	特になし	

製 品	メーカー名	株式会社モリトー
	製 品 名	介護リフトつるべ-Y6セット Li-PINK Safety Robo

	項 目	内 容
メンテナンス	準備・片付け	使用する前には周りに障害物がないか確認する 使用後はキャスターのブレーキをロックする
	保管方法	平らな床にリフトのキャスターのブレーキをロックして保管 バッテリーの消耗を抑えるため、音声のボリュームをオフにする
	メーカーによるメンテナンス	有償メンテナンスの設定あり
	ユーザーによるお手入れ	キャスターにゴミ等が付着していたら取り除く
	消耗品の有無	バッテリー、キャスター
	保証期間	3年間
	修理対応期間	10年
	耐用年数	6年（税法上）
コスト	本体・付属品の定価	748,000円
	設置導入に伴う費用	搬入組み立て費
	ランニングコスト	バッテリー消耗時の交換費用
	教育研修費	ご相談に応じる
オプション	追加できる機能	体重計、手すり
問合せ先	緊急時の問合せ先	0120-65-2525 又は 0586-71-6151
	デモ・貸出	0586-71-6151
	よくある質問（Q&A）	<a href="https://www.moritoh.co.jp/faq/">https://www.moritoh.co.jp/faq/</a>

移乗支援

移動支援

排泄支援

見守り・コミュニケーション

入浴支援

介護業務支援



## A-15 移乗支援

アルジョ・ジャパン株式会社

品番・型番

サラフレックス

HEB0000-28

問い合わせ先

サラヤ株式会社（※日本総代理店）

住所

〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町 4-2-5

TEL

06-7657-0707

MAIL

tsuruta-m@saraya.com

所属部署

メディカル事業本部・製品戦略企画部

担当者名

鶴田正彦



### 機器の概要

#### 機器の機能

サラフレックスは、自身の脚で立ちたいという利用者の意思と尊厳を尊重し、また介助者の身体的負担を軽減するために開発された電動立位補助機です。人間工学に基づき、自然な動きで無理なく利用者を立ち上げさせます。車いす・トイレ・シャワーチェアへの移乗や着替えが一人介助で安全に行え、また起立姿勢で脚に自重負荷をかけることにより、下肢訓練や拘縮予防のリハビリにも利用できます。



機器の写真

販売開始

2017年7月

販売価格

1,728,000円（非課税）

TAISコード

01746-000012



### 機器の仕様

【製品仕様】

最大安全耐荷重200kg

製品重量52kg(体重計付53.6kg)

全長996mm

最小持ち上げ高さ991mm

最大持ち上げ高さ1518mm

全高1162mm

シャーシ高100.5mm

閉脚時外寸レグ幅660mm

開脚時外寸レグ幅1029mm

バッテリー24V DC 4Ah

バッテリー3.8kg

本体保護等級IP24

ハンドコントロール保護等級IPX7

低摩擦キャスター 後方2キャスターはブレーキ付

充電残量表示(BDI)ー電池の再充電が必要な時表示します

サービスマーターがモーターの合計使用時間を表示します

緊急停止及びシステム故障時の停止機能

連続使用時間 2～3時間程度

連続使用回数 100回程度

【適合規格】

EN/IEC 60601-1 (TÜV SÜD)

EN ISO 10535 : 2006 (TÜV SÜD)

## 機器の貸出

### 必須環境・推奨環境

#### 【推奨環境】

- ・硬めの床材（毛足の長い絨毯以外）
- ・周辺に干渉するものがない場所
- ・防水性能：IPX4（ハンドコントローラー部は完全防水のIPX7）

### 試用期間中のサポート




安全にお使い頂く為に試用前に製品説明と実演をご提供致します。運用のご相談や使用方法についてご不明点等ございましたらお気軽にご連絡下さい。直接訪問が難しい場合はオンラインによるリモート対談も承ります。

貸出期間 通常1～2週間程度

貸出可能台数 1台



機器の使用場面

パンフレット等	製品カタログ	<a href="https://www.arjo.com/ja-jp/products/safe-patient-handling/standing-and-raising-aid/sara-flex/">https://www.arjo.com/ja-jp/products/safe-patient-handling/standing-and-raising-aid/sara-flex/</a>	
	取扱説明書	<a href="https://qbank.arjo.com/product/documentation/04.KL.00.JA%20rev.%208.pdf">https://qbank.arjo.com/product/documentation/04.KL.00.JA%20rev.%208.pdf</a>	
	使用方法等の動画	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=ONQqvnRlvlg&amp;t=1s">https://www.youtube.com/watch?v=ONQqvnRlvlg&amp;t=1s</a>	

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

## 製品情報

	項目	内容
適用	対象者（高齢者）	・適用身長（目安）145～195cm ・適用体重（目安）45～200kg
	対象者（介護者）	・機器の操作が理解できる介護者
	専門職の関与	・専門職の関与は特になし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：屋外での使用（凹凸のある道等）、浴室内
使用上の注意	注意事項	・推奨しない保管場所：湿度が高い場所（80%以上）や濡れた場所での長期保管（製品の腐食防止の為）
	安全に利用するための配慮	広さ、床面の状態、障害物の確認等
	倫理面の配慮	利用者への同意やプライバシーに関する配慮等
使用方法	使用方法	1. 起動：本体の電源ボタンを押す 2. 脚部幅調整：車いすの幅に合わせてシャーシを開く 3. 移乗用スリング装着：利用者の腰部から腹部にかけて巻き、バックルを留める 4. 移乗：利用者の足をフットプレートに乗せ、レッグサポートに膝を付ける 5. スリングを本体へ取付：ベルトのクリップ部を本体のフックに掛ける 6. 起立昇降：利用者に声かけし電動昇降ボタンの上ボタンを押し起立 7. 移動：利用者の状態を確認しながら移動
	使用環境	動作環境：温度 -25°～70°、湿度 10%～80%
	使用場面	ベッド⇄車いす、車いす⇄トイレ、車いす⇄シャワーチェア等
	習熟期間	対象者によるが、うまく使いこなすようになるまで約1～2か月程度
	高齢者に対する安全面の配慮	健康状態、認知機能の確認
	効果	使用することで実現する高齢者への効果
使用することで実現する介護者への効果		介助動作の腰部負荷軽減、腰痛リスク軽減、1人移乗が可能になる。介護者高齢化による身体的理由の離職軽減
使用することで実現する施設への効果		労働環境改善、職場の魅力向上
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、脱衣室、トイレ
	サイズ	幅 660mm × 奥行 996mm × 高さ 1162mm
	重量（バッテリー含む）	52kg
	電源・バッテリー	バッテリー 24V DC4Ah
	充電時間	空の状態から満充電まで6時間程度
	連続使用時間	2～3時間程度
	連続使用回数	100回程度
	使用時の音	充電残量が10%を下回るとピープ音が発報
	安全性の認証取得	EN / IEC 60601-1 認証、EN ISO10535:2006 認証
	防水・防塵加工	IPX4 ※ハンドコントローラー部は IPX7
	稼働方式	SaraFlex アームの上昇と下降、脚部の開閉機能
	必要な通信環境	なし
	データの記録機能、有無と内容	あり：（データ内容：利用頻度、総ストローク回数等）
	他の機器との連携・互換性	なし